

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

令和5年(2023年)

愛媛県感染症情報センター

(愛媛県立衛生環境研究所)

はじめに

感染症発生動向調査事業は、**1999**年(平成**11**年)に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下「感染症法」という。)に基づき、感染症の患者発生及び原因病原体を把握・分析することにより、感染症を予防し、流行拡大を防止することを目的としています。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、**2022**年(令和**4**年)に感染症法が改正され、自治体における予防計画の記載事項の充実や都道府県連携協議会の創設などが行われ、感染症危機管理体制が強化されることになりましたが、感染症発生動向調査は引き続き重要な基盤となるものです。

さらに、**2025**年(令和**7**年)4月から急性呼吸器感染症(**ARI**)が五類感染症に追加され、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等を含む広義の**ARI**の病原体サーベイランスも開始される予定です。

さて、本報告書にまとめられた当県の**2023**年(令和**5**年)感染症発生動向の特記事項としては、日本紅斑熱及び梅毒が感染症法に基づく調査開始以降で最多の発生となり、咽頭結膜熱及び3種類の性感染症(性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症)が例年より多く発生しました。

関係各位の皆様には、平素から本事業の推進にご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。今回、お陰様をもちまして、本報告書を取りまとめることができました。感染予防対策の資料として、広くご活用いただければ幸いです。今後とも、感染症情報センターと関係各位とのより一層の緊密な情報網の構築に努めてまいりますので、引き続きご協力並びにご指導、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年3月吉日

愛媛県立衛生環境研究所
所長 四宮博人

目 次

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要	1
指定届出機関一覧	4
2023年(令和5年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -	
報告週対応表	6
1 全数把握対象 ー 五類感染症、新型インフルエンザ等感染症	
(1) 一類感染症	7
(2) 二類感染症	7
(3) 三類感染症	7
(4) 四類感染症	9
(5) 五類感染症	13
(6) 新型インフルエンザ等感染症	23
表2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	24
表2-1-2 2023年全数把握対象疾患発生状況(月別)	25
表2-1-3 2023年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	26
表2-1-4 2023年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	27
2 定点把握対象 五類感染症	
(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況	28
表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数	30
表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数	32
表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	34
表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数	35
表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり患者報告数	36
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	37
(2) インフルエンザ/COVID-19定点対象疾患(週報)	38
(3) 小児科定点対象疾患(週報)	45
(4) 眼科定点対象疾患(週報)	71
(5) 基幹定点対象疾患(週報)	75
(6) STD定点対象疾患(月報)	83
(7) 基幹定点対象疾患(月報)	89
2023年(令和5年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -	
1 細菌検査状況	
(1) 全数把握対象感染症	92
(2) 定点把握対象感染症	96
2 ウイルス検査状況	
(1) 全数把握対象感染症	97
(2) 定点把握対象感染症	97

2023年(令和5年)結核登録者情報

1 概況	104
2 新登録患者の状況	
(1) 患者数及び罹患率の動向	104
(2) 性・年齢階級別	105
(3) 保健所別	106
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向	107
(5) 発見の遅れ	108
3 年末現在結核登録者の状況	109
表4-1 2023年新登録患者数 - 保健所別	110
表4-2 2023年新登録患者数 - 性、年齢階級別	110
表4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	111
表4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	111
表4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	111
表4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	111
表4-7 2023年新登録患者数 - 結核病類、性、年齢階級別	112
表4-8 2023年新登録肺結核患者数 - 職業、菌情報、保健所別	113
表4-9 2023年新登録患者数 - 発見方法別	114
表4-10 2023年新登録有症状肺結核患者数 - 発見の遅れの期間別	114
表4-11 2023年新登録患者数 - 化療内容、保健所別	115
表4-12 2023年年末現在登録者数 - 保健所別	117
表4-13 2023年年末現在登録者数 - 性、年齢階級別	117

参考資料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱	118
愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱	133
愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領	135
感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律 第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(届出基準等通知)	145

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)に基づく施策として、「愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱」(平成13年1月施行)の定めにより実施しているもので、指定届出機関(定点)からの感染症の患者発生に関する情報(患者情報)及び疑似症の患者発生に関する情報(疑似症情報)と、感染症の病原体に関する情報(病原体情報)を迅速かつ的確に収集及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ確かな感染症対策の確立に資することを目的としている。

対象疾患は一類から五類感染症までの112疾患に、新型インフルエンザ等感染症の4疾患及び疑似症1疾患を加えた116疾患である。このうち全医療機関を対象とする全数把握感染症は、一類から四類感染症までの63疾患と五類感染症のうち24疾患に、新型インフルエンザ等感染症4疾患を加えた91疾患で、定点が報告する定点把握感染症は、五類感染症のうち25疾患(週単位あるいは月単位で報告)に疑似症1疾患(患者発生時に直ちに報告)を加えた26疾患である。

1 全数把握の対象(91疾患)

(1) 一類感染症(7疾患)

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

(2) 二類感染症(7疾患)

急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)

(3) 三類感染症(5疾患)

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス

(4) 四類感染症(44疾患)

E型肝炎、ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、A型肝炎、エキノコックス症、エムポックス、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ポツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

(5) 五類感染症(24疾患)

アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)、急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

(6) **新型インフルエンザ等感染症(4 疾患)**

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、再興型コロナウイルス感染症

2 **定点把握の対象(26 疾患)**

(1) **五類感染症(25 疾患)**

インフルエンザ/COVID-19 定点の対象(2 疾患)

インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）

新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であることに限る。）

小児科定点の対象(10 疾患)

R S ウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

眼科定点の対象(2 疾患)

急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎

STD 定点の対象(4 疾患)

性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症

基幹定点の対象(8 疾患)

感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

(2) **疑似症(1 疾患)**

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

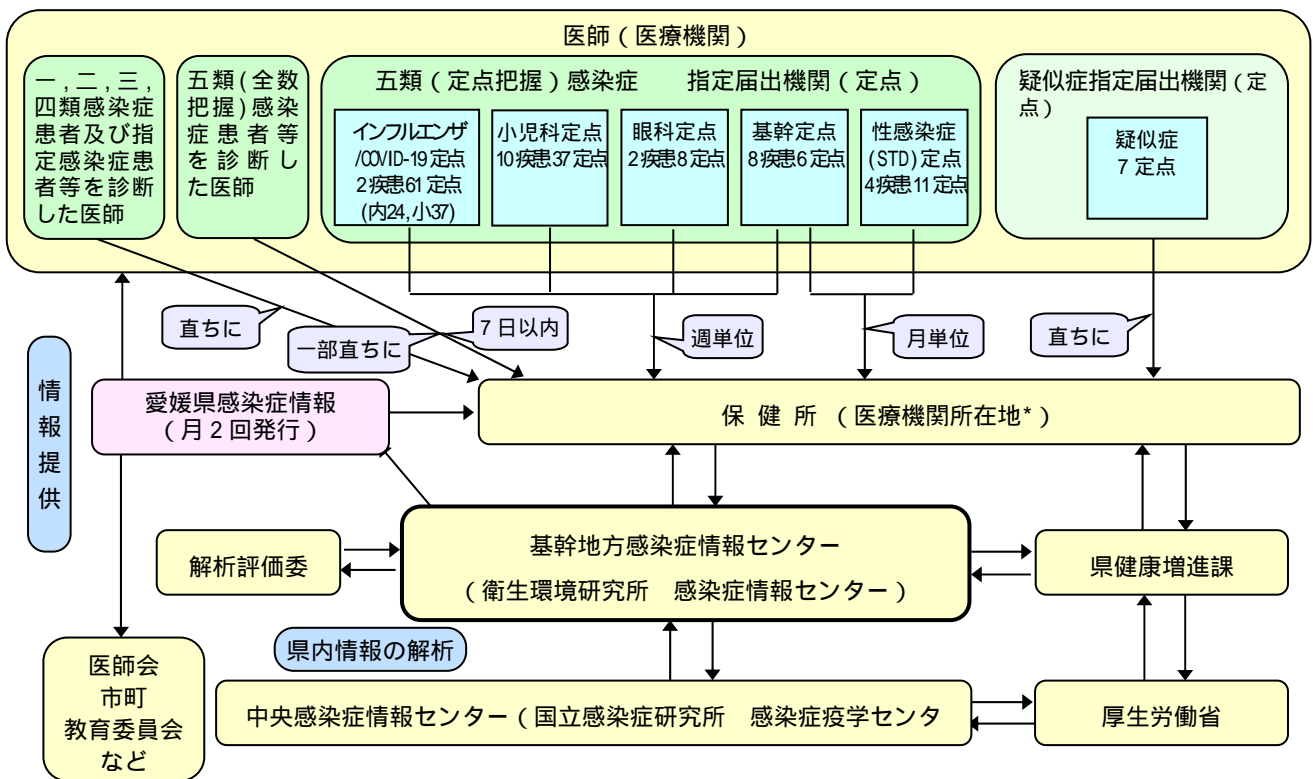
定点には患者定点と疑似症定点、病原体定点がある。患者定点は**インフルエンザ/COVID-19 定点**（内科と小児科）、**小児科定点**、**眼科定点**、**性感染症（STD）定点**（皮膚科、泌尿器科、婦人科）、**基幹定点**（内科と小児科を持つ**300床以上の病院**）の**5種類**があり、疑似症定点とともに、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されている。また、患者定点の中から病原体定点を設定し、病原体の分離等の検査情報を収集している。

表 保健所別定点数

保健所	患者定点					疑似症 定 点	病原体 定 点
	インフルエンザ/ COVID-19	小児科	眼科	性感染症 (STD)	基幹		
四国中央	5	3	—	1	1	1	2
西 条	10	6	1	2	1	1	3
今 治	8	5	1	1	1	1	3
松 山 市	17	11	3	4	—	1	4
中 予	7	4	1	1	1	1	3
八 幡 浜	7	4	1	1	1	1	3
宇 和 島	7	4	1	1	1	1	1
合 計	61	37	8	11	6	7	19

※ 小児科定点はインフルエンザ/COVID-19 定点を兼ねる。

医療機関からの患者情報は保健所を通じて基幹地方感染症情報センター（衛生環境研究所 感染症情報センター）へ集約され、中央感染症情報センター（国立感染症研究所 感染症疫学センター）へ報告するとともに関係機関へ週報単位で還元している。疑似症情報については中央感染症情報センターに集約された情報を随時解析し関係機関へ還元している。また月 2 回、解析評価委員による県内情報の解析・評価が行われ、その結果を「愛媛県感染症情報」として関係機関に提供している。これらの情報はホームページでも公開している。



*但し、結核については患者等住所地

図 令和 5 年（2023 年）愛媛県における感染症発生動向調査事業のながれ

指定届出機関一覧(令和5年)

(令和5年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点
四国中央	インフルエンザ	川関高橋医院	四国中央市金生町下分257	
		やべ内科クリニック	四国中央市三島宮川4丁目6-71	
	小児科	川上こどもクリニック	四国中央市金生町山田井895-2	
		鈴木医院	四国中央市土居町小林1200	○
	STD	公立学校共済組合 四国中央病院	四国中央市川之江町2233	
	基幹	公立学校共済組合 四国中央病院	四国中央市川之江町2233	○
疑似症	HITO病院	四国中央市上分町788-1		
西条	インフルエンザ	井石内科医院 ¹	新居浜市西原町1-1-65	
		西の土居あらいクリニック ²	新居浜市西の土居町1丁目8番5号	
		土岐医院	西条市神拝甲538-6	○
		中萩診療所	新居浜市萩生1061	
		福田医院	西条市丹原町願連寺278	
	小児科	愛媛労災病院	新居浜市南小松原町13-27	
		かとうクリニック	新居浜市船木甲4322-2	
		キッズクリニックパパ	西条市周布486-3	
		県立新居浜病院	新居浜市本郷3-1-1	
		高橋こどもクリニック	西条市朔日市313-5	○
		星加小児科内科ファミリークリニック	西条市大町612-1	
	眼科	いしづち眼科	新居浜市庄内町1丁目8-30	
	STD	西条市立周桑病院	西条市壬生川131	
		中山皮膚科クリニック	新居浜市中須賀町1丁目6番10号	
基幹	住友別子病院	新居浜市王子町3-1	○	
疑似症	県立新居浜病院	新居浜市本郷3-1-1		
今治	インフルエンザ	医療法人大樹会今治南病院	今治市四村103番地1	
		消化器科久保病院	今治市内堀1丁目1-19	
		瀬戸内海病院	今治市北宝来町2丁目4-9	
	小児科	あおい小児科	今治市東村5丁目9-37	○
		喜多嶋診療所	今治市伯方町木浦甲3449	
		丹こどもクリニック	今治市末広町3丁目4-12	
		まつうらバンビクリニック	今治市北宝来町3丁目3-34	
		みぶ小児科	今治市北宝来町3丁目1-27	
	眼科	高木眼科病院	今治市北宝来町2丁目3-1	○
	STD	今井皮膚泌尿器科医院	今治市共栄町2丁目1-24	
基幹	県立今治病院	今治市石井町4丁目5-5	○	
疑似症	県立今治病院	今治市石井町4丁目5-5		
松山市	インフルエンザ	今村循環器科内科	松山市古川西2丁目3-23	
		沖永内科医院	松山市北斎院町85-1	
		しらかた内科クリニック	松山市森松町663番地1	
		永山内科	松山市北梅本町666-2	
		久野内科	松山市此花町8-24	
		矢野内科	松山市東長戸1丁目10-18	○
		石丸小児科	松山市三番町6丁目5-1	○
	小児科	いとう小児科 ³	松山市森松町976-1	
		加賀田小児科	松山市古川北1丁目21-28	
		くす小児科	松山市西長戸町274-2	
		児玉小児科医院	松山市桑原4丁目13-24	○
		ひだまりこどもクリニック ⁴	松山市古川北3丁目4-15	
		檜垣小児科内科医院	松山市北条辻415-3	
		平井こどもクリニック	松山市和気町1-714-3	

(令和5年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点
松山市	小児科	まつうら小児科	松山市愛光町1-8	
		みなくちこどもクリニック	松山市木屋町3丁目13-9	
		山田小児科医院	松山市余戸中2丁目15-30	
	眼科	一色眼科	松山市小坂5丁目7-7	
		たかのみどり眼科クリニック	松山市鷹子町236-1	
		吉田眼科	松山市道後町2丁目1-12	○
	STD	新田産婦人科クリニック	松山市湊町4丁目1-6	
		ほこいし泌尿器科	松山市柳井町1丁目14-8	
		松山市赤十字病院	松山市文京町1	
	松山まどんな病院	松山市喜与町1丁目7-1		
疑似症	松山市赤十字病院	松山市文京町1		
中予	インフルエンザ	きむら内科クリニック	伊予市灘町151	
		久万高原町立病院	上浮穴郡久万高原町久万65	
		辻井循環器科内科 ^{*1}	東温市田窪2030	○
		いずみ内科循環器クリニック ^{*2}	東温市志津川南1丁目1-2	○
	小児科	いのうえ小児科	東温市野田2丁目485-1	○
		小泉小児科	伊予郡砥部町拾町281番地2	
		みかわクリニック	上浮穴郡久万高原町上黒岩2920	
		むかいだ小児科	伊予郡松前町恵久美792-1	
	眼科	いずみだ眼科	東温市田窪2228-1	
	STD	重信クリニック	東温市志津川246-6	
基幹	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川	○	
疑似症	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川		
八幡浜	インフルエンザ	市立大洲病院	大洲市西大洲字ヤスバ甲570	○
		西予市立野村病院	西予市野村町野村9-53	
		三瓶病院	西予市三瓶町朝立2番耕地1-7	
	小児科	おおむら小児科	喜多郡内子町城廻846-30	
		ごとう小児科	大洲市東大洲74番地2	
		みかんこどもクリニック	八幡浜市白浜通1536-5	○
		山下小児科	西予市宇和町伊賀上1656-57	
	眼科	東大洲城戸眼科	大洲市東大洲149-2	
	STD	なかの泌尿器科	八幡浜市保内町喜木1番耕地240番地1	
	基幹	市立八幡浜総合病院	八幡浜市大平1-638	○
疑似症	市立八幡浜総合病院	八幡浜市大平1-638		
宇和島	インフルエンザ	宇和島市立吉田病院	宇和島市吉田町北小路甲217	
		粉川ファミリークリニック	南宇和郡愛南町城辺甲86	
		田中循環器科内科	宇和島市堀端町29	
		ますだクリニック	宇和島市伊吹町甲1155-7	
	小児科	上田小児科	宇和島市広小路1-26	
		こばやし小児科	宇和島市長堀3丁目5-12	
		県立南宇和病院	南宇和郡愛南町城辺甲2433-1	
		市立宇和島病院	宇和島市御殿町1-1	○
	眼科	阿部眼科	宇和島市堀端町1-4	
	STD	秋山医院	宇和島市堀端町1-16	
基幹	市立宇和島病院	宇和島市御殿町1-1	○	
疑似症	市立宇和島病院	宇和島市御殿町1-1		

*1: 令和5年5月までの指定届出機関 *2: 令和5年5月からの指定届出機関 *3: 令和5年4月に医療機関所在地変更
*4: 令和5年7月に医療機関名称変更(旧: 徳丸小児科)

2023 年(令和5年)感染症発生動向調査結果

一患者情報一

2023年(令和5年)感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
52							1
1	2	3	4	5	6	7	8
2	9	10	11	12	13	14	15
3	16	17	18	19	20	21	22
4	23	24	25	26	27	28	29
5	30	31					

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
26						1	2
27	3	4	5	6	7	8	9
28	10	11	12	13	14	15	16
29	17	18	19	20	21	22	23
30	24	25	26	27	28	29	30
31	31						

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5			1	2	3	4	5
6	6	7	8	9	10	11	12
7	13	14	15	16	17	18	19
8	20	21	22	23	24	25	26
9	27	28					

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
31		1	2	3	4	5	6
32	7	8	9	10	11	12	13
33	14	15	16	17	18	19	20
34	21	22	23	24	25	26	27
35	28	29	30	31			

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
9			1	2	3	4	5
10	6	7	8	9	10	11	12
11	13	14	15	16	17	18	19
12	20	21	22	23	24	25	26
13	27	28	29	30	31		

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
35					1	2	3
36	4	5	6	7	8	9	10
37	11	12	13	14	15	16	17
38	18	19	20	21	22	23	24
39	25	26	27	28	29	30	

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
13						1	2
14	3	4	5	6	7	8	9
15	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	23
17	24	25	26	27	28	29	30

10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
39							1
40	2	3	4	5	6	7	8
41	9	10	11	12	13	14	15
42	16	17	18	19	20	21	22
43	23	24	25	26	27	28	29
44	30	31					

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
18	1	2	3	4	5	6	7
19	8	9	10	11	12	13	14
20	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	28
22	29	30	31				

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
44			1	2	3	4	5
45	6	7	8	9	10	11	12
46	13	14	15	16	17	18	19
47	20	21	22	23	24	25	26
48	27	28	29	30			

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
22				1	2	3	4
23	5	6	7	8	9	10	11
24	12	13	14	15	16	17	18
25	19	20	21	22	23	24	25
26	26	27	28	29	30		

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
48					1	2	3
49	4	5	6	7	8	9	10
50	11	12	13	14	15	16	17
51	18	19	20	21	22	23	24
52	25	26	27	28	29	30	31

愛媛県感染症情報発行日

2023年(令和5年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -

1 全数把握対象 一～五類感染症、新型インフルエンザ等感染症

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として届出票に記載されていたものを示す。

(1) 一類感染症

一類感染症 7 疾患（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）の届出はなかった。

(2) 二類感染症

結核

結核は 112 人の届出があり、前年（125 人）から 13 人減少した。病型は、患者 87 人、無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）25 人であった。性別は男性 49 人、女性 63 人で、年齢は 10 歳未満 2 人、10 歳代 2 人、20 歳代 10 人、30 歳代 5 人、40 歳代 4 人、50 歳代 7 人、60 歳代 11 人、70 歳代 25 人、80 歳代 31 人、90 歳以上 15 人であった。感染経路は飛沫・飛沫核感染が 56 人、その他（不明を含む）が 56 人であった。感染地域（重複あり）は国内 82 人（うち県内 75 人、県外 2 人、都道府県不明 5 人）、国外 10 人（うちフィリピン 4 人、ベトナム 2 人、インドネシア 1 人、中華人民共和国 1 人、バングラデシュ 1 人、ロシア連邦 1 人）、不明 22 人であった。

なお、結核の動向の詳細は、結核登録者情報システムでの集計に基づき、別章（2023 年（令和 5 年）結核登録者情報）に掲載した。

その他 6 疾患（急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9））の届出はなかった。

(3) 三類感染症

細菌性赤痢

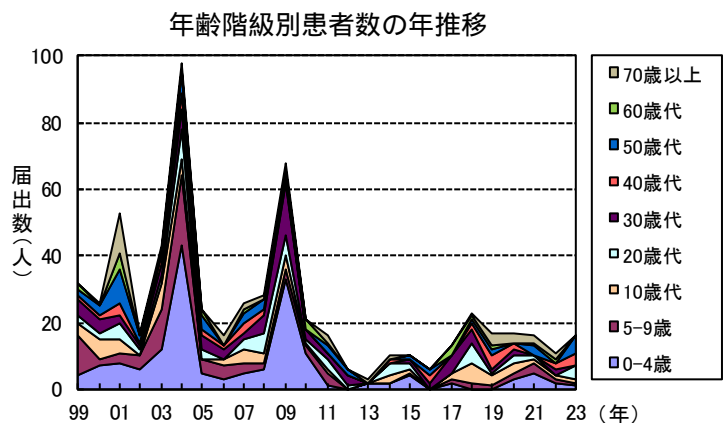
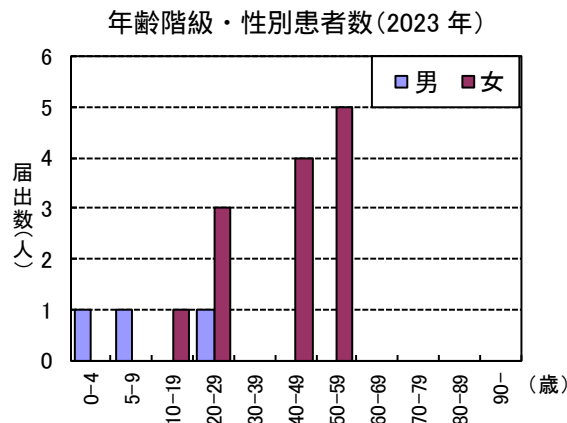
細菌性赤痢は 20 歳代男性 1 人の届出があった。感染地域は国内で、菌型はフレキシネルであった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	菌型	感染地域
11月 27日	48 週	西条	男	20歳代	腹痛、直腸潰瘍形成、血便	フレキシネル	国内

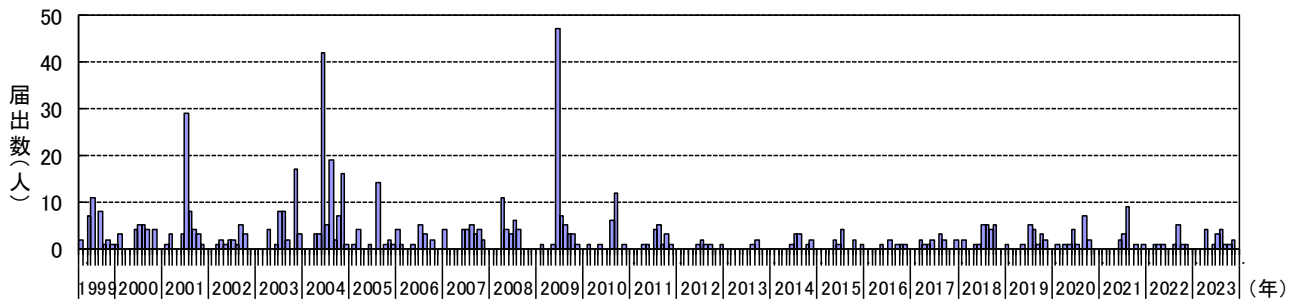
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は 13 事例 16 人（患者 7 人、無症状病原体保有者 9 人）の届出があった。性別は男性 3 人、女性 13 人で、年齢は 10 歳未満 2 人、10 歳代 1 人、20 歳代 4 人、40 歳代 4 人、50 歳代 5 人であった。血清型及び Vero 毒素は、O157 VT2 が 5 人、O26 VT1、O132 VT2、O157 VT1・VT2 が各 2 人、O15 VT1、O91 VT1、O103 VT1・VT2、O156 VT1、O181 VT2 が各 1 人であった。感染地域は県内 13 人、不明 3 人で、感染経路は経口感染が 4 人、接触感染が 2 人、動物・蚊・昆虫等からの感染が 1 人、不明が 9 人であった。溶血性尿毒素症候群（HUS）発症等、重症例の報告はなかった。

事例番号	診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	血清型	ベロ毒素
1	4月 3日	14 週	今治	女	40歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O26	VT1
	4月 8日	14 週	今治	女	10歳代	なし	O26	VT1
2	4月 25日	17 週	松山市	女	40歳代	なし	O181	VT2
3	4月 27日	17 週	松山市	女	50歳代	なし	O156	VT1
4	6月 30日	26 週	松山市	女	20歳代	水様性下痢、血便、発熱	O157	VT2
	7月 7日	27 週	八幡浜	女	50歳代	なし	O157	VT2
5	7月 26日	30 週	松山市	男	20歳代	なし	O132	VT2
	7月 31日	31 週	中予	女	50歳代	なし	O132	VT2
6	8月 1日	31 週	宇和島	男	10歳未満	腹痛、水様性下痢、血便	O157	VT1・VT2
7	8月 26日	34 週	西条	女	40歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O157	VT2
8	8月 29日	35 週	松山市	女	40歳代	なし	O157	VT2
9	8月 30日	35 週	西条	女	20歳代	腹痛、水様性下痢、発熱、全身の痛み、関節痛	O157	VT1・VT2
10	9月 25日	39 週	松山市	男	10歳未満	血便、発熱、下痢	O157	VT2
11	10月 27日	43 週	松山市	女	50歳代	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O103	VT1・VT2
12	11月 20日	47 週	八幡浜	女	20歳代	なし	O91	VT1
13	11月 27日	48 週	松山市	女	50歳代	なし	O15	VT1



腸管出血性大腸菌感染症 届出数(月推移)



その他3疾患(コレラ、腸チフス、パラチフス)の届出はなかった。

(4) 四類感染症

E型肝炎

E型肝炎は50歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は経口感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
12月 4日	49 週	松山市	男	50歳代	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、肝腫大	県内	経口感染

A型肝炎

A型肝炎は20歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は性的接触であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
11月 8日	45 週	松山市	男	20歳代	全身倦怠感、発熱、黄疸、肝機能異常	県内	性的接触

Q熱

Q熱は20歳代女性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
12月 20日	51 週	八幡浜	女	20歳代	発熱、頭痛、筋肉痛	県内	動物・蚊・昆虫等からの感染

重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は3人の届出があった。性別は男性1人、女性2人で、年齢は70歳代1人、80歳代2人であった。感染地域は県内2人(八幡浜保健所管内、宇和島保健所管内各1人)、県外1人で、いずれも感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。なお、全国では届出開始(2013年3月4日)以降最多となる134人の届出があった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域(保健所)	感染経路
3月4日	9週	宇和島	男	70歳代	3月3日	発熱、筋肉痛、神経症状、下痢、食欲不振、血小板減少、白血球減少	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
4月5日	14週	松山市	女	80歳代	4月3日	発熱、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、刺し口	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
5月23日	21週	宇和島	女	80歳代	5月17日	発熱、頭痛、神経症状、腹痛、下痢、嘔吐、血小板減少、白血球減少	県外	動物・蚊・昆虫等からの感染

つつが虫病

つつが虫病は70歳代女性1人の届出があった。感染地域は県内(西条保健所管内)で、感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域(保健所)	感染経路
10月30日	44週	西条	女	70歳代	10月4日	発熱、刺し口、発疹、DIC、ARDS	西条	動物・蚊・昆虫等からの感染

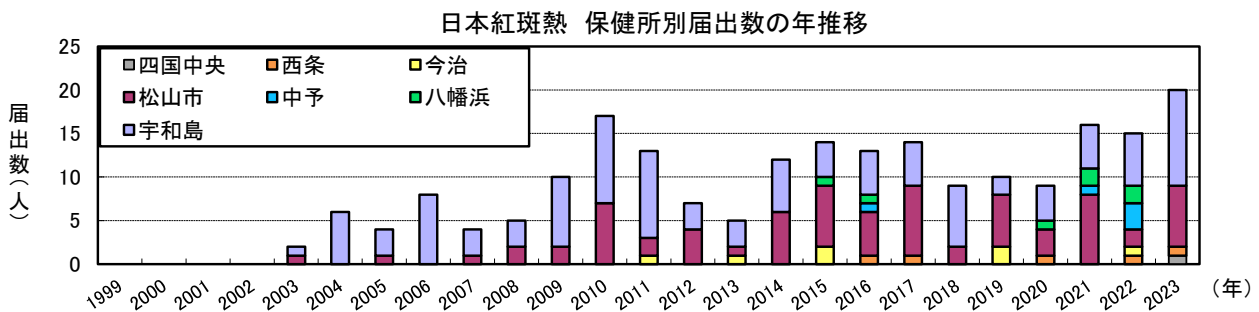
日本紅斑熱

日本紅斑熱は20人の届出があった。性別は男性9人、女性11人で、年齢は10歳代1人、50歳代1人、60歳代4人、70歳代9人、80歳代5人であった。感染地域はすべて県内(宇和島保健所管内9人、松山市保健所管内5人、八幡浜保健所管内3人、四国中央保健所管内2人、西条保健所管内1人)であった。いずれも感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染で、20人中9人にマダニ類による刺し口が確認された。感染症法施行(1999年4月)以降に届出された患者213人のうち、性別は男性103人(48.4%)、女性110人(51.6%)であり、年齢は50歳以上が193人(90.6%)を占めている。また、患者の届出は、宇和島保健所が113人(53.1%)と多く、次いで松山市保健所が75人(35.2%)、今治保健所、八幡浜保健所が各7人(3.3%)、西条保健所、中予保健所が各5人(2.3%)、四国中央保健所が1人(0.5%)であった。

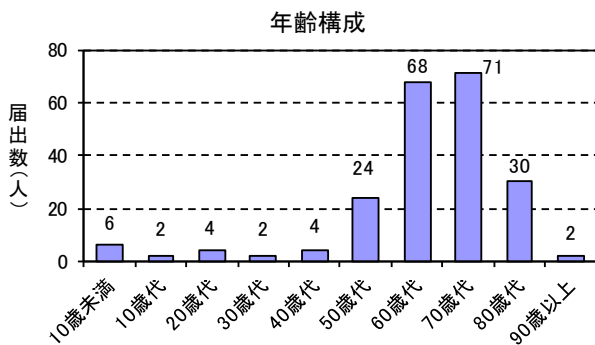
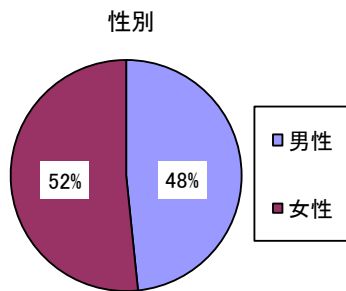
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域(保健所)	感染経路
4月18日	16週	松山市	男	70歳代	4月12日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月2日	22週	宇和島	男	70歳代	5月23日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月2日	22週	宇和島	女	80歳代	5月26日	発熱、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月12日	24週	宇和島	男	70歳代	5月19日	発熱、刺し口、発疹	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
7月19日	29週	宇和島	男	70歳代	6月13日	発熱、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染

(続き)

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域(保健所)	感染経路
7月 28日	30 週	松山市	男	70歳代	7月 25日	発熱、頭痛、刺し口、発疹	四国中央	動物・蚊・昆虫等からの感染
8月 21日	34 週	宇和島	女	80歳代	6月 29日	発熱、発疹、肝機能異常	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 4日	36 週	宇和島	女	70歳代	8月 3日	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 13日	37 週	宇和島	女	70歳代	9月 4日	発熱、刺し口、発疹、一過性の認知症状	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 22日	38 週	松山市	女	70歳代	8月 31日	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 25日	39 週	宇和島	女	60歳代	8月 28日	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 11日	41 週	松山市	女	10歳代	9月 15日	発熱、発疹、左頸部リンパ節腫脹、浮腫、食欲不振	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 24日	43 週	四国中央	女	50歳代	8月 28日	発熱、刺し口、発疹	四国中央	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 27日	43 週	松山市	女	60歳代	10月 23日	発熱、発疹、肝機能異常、血小板低下	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 27日	43 週	西条	男	80歳代	10月 4日	発熱、発疹、DIC、肝機能異常、嘔吐	西条	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 1日	44 週	宇和島	女	70歳代	10月 19日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 1日	44 週	宇和島	男	60歳代	10月 18日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 10日	45 週	松山市	女	80歳代	10月 2日	発熱、頭痛、刺し口、DIC	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 16日	46 週	松山市	男	80歳代	11月 12日	発熱、発疹、DIC、肝機能異常、腎機能障害、代謝性アシドーシス	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 22日	47 週	宇和島	男	60歳代	10月 24日	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染



感染症法施行(1999年4月)以降に届出された日本紅斑熱患者(213人)の内訳



マラリア

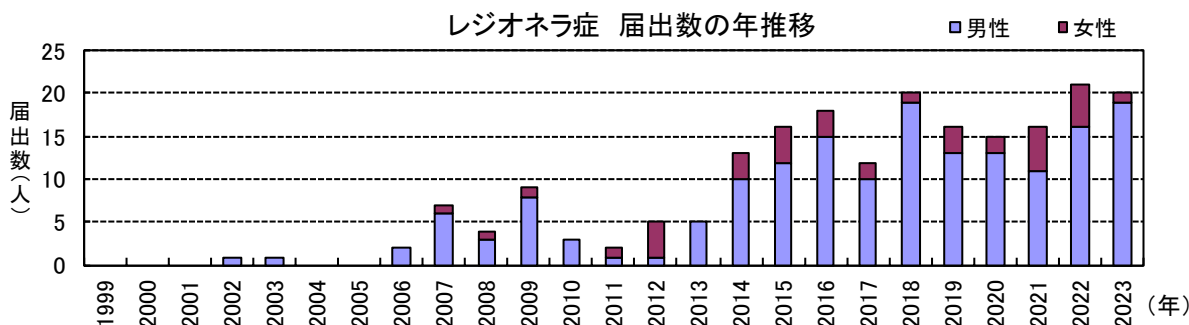
マラリアは 50 歳代男性 1 人の届出があった。病型は卵形で、感染地域は国外（ウガンダ共和国）、感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
9月 8日	36 週	松山市	男	50歳代	卵形	発熱、悪寒、脾腫、 急性腎不全	国外 (ウガンダ共和国)	動物・蚊・昆虫等 からの感染

レジオネラ症

レジオネラ症は 20 人の届出があり、病型は肺炎型 19 人、ポンティアック熱型 1 人であった。性別は男性 19 人、女性 1 人で、年齢は 50 歳代 3 人、60 歳代 8 人、70 歳代 2 人、80 歳代 7 人であった。感染地域は県内 16 人（西条保健所管内 5 人、今治保健所管内、八幡浜保健所管内各 3 人、中予保健所管内 2 人、松山市保健所管内 1 人、管内不明 2 人）、不明 4 人であった。感染経路は水系感染が 3 人、不明が 17 人であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域 (保健所)	感染経路
1月 4日	1 週	西条	男	80歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	西条	不明
2月 22日	8 週	八幡浜	男	60歳代	肺炎型	呼吸困難、意識障害、肺炎	八幡浜	不明
4月 17日	16 週	松山市	男	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	県内	水系感染
4月 20日	16 週	西条	男	80歳代	ポンティアック熱型	発熱	西条	不明
5月 24日	21 週	八幡浜	男	80歳代	肺炎型	咳嗽、下痢、肺炎	八幡浜	不明
5月 29日	22 週	今治	男	80歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、倦怠感、 摂食障害	今治	不明
6月 8日	23 週	西条	男	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、血痰	県内	水系感染
6月 23日	25 週	松山市	男	60歳代	肺炎型	発熱、肺炎	中予	水系感染
7月 1日	26 週	西条	男	50歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、下痢、肺炎、 急性腎不全	不明	不明
7月 13日	28 週	中予	男	60歳代	肺炎型	発熱、肺炎	中予	不明
7月 24日	30 週	西条	男	60歳代	肺炎型	呼吸困難、意識障害、肺炎、 多臓器不全	不明	不明
9月 5日	36 週	今治	男	50歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、意識障害、肺炎、 肝障害	不明	不明
9月 15日	37 週	八幡浜	男	80歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	八幡浜	不明
10月 7日	40 週	西条	男	80歳代	肺炎型	咳嗽、呼吸困難、肺炎	今治	不明
10月 18日	42 週	西条	男	60歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	不明	不明
11月 4日	44 週	松山市	女	70歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	松山市	不明
11月 22日	47 週	西条	男	60歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	西条	不明
11月 24日	47 週	今治	男	70歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	今治	不明
11月 24日	47 週	西条	男	50歳代	肺炎型	発熱、下痢、肺炎	西条	不明
11月 24日	47 週	西条	男	80歳代	肺炎型	肺炎	西条	不明



レプトスピラ症

レプトスピラ症は 50 歳代女性 1 人の届出があった。感染地域は県内で感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 13日	2 週	松山市	女	50歳代	発熱、筋肉痛、出血症状、蛋白尿、腎不全	県内	動物・蚊・昆虫等からの感染

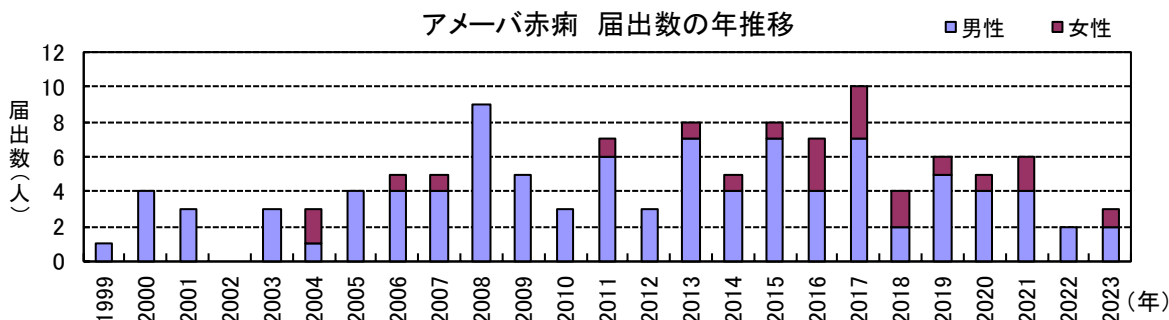
その他 35 疾患（ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、エキノкокクス症、エムポックス、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1 及び H7N9 を除く。)、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ペネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱)の届出はなかった。

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は 3 人の届出があった。性別は男性 2 人、女性 1 人で、年齢は 40 歳代 1 人、50 歳代 1 人、60 歳代 1 人であった。いずれも病型は腸管アメーバ症で、感染地域は県内であった。感染経路は性的接触 1 人、その他 1 人、不明 1 人であった。

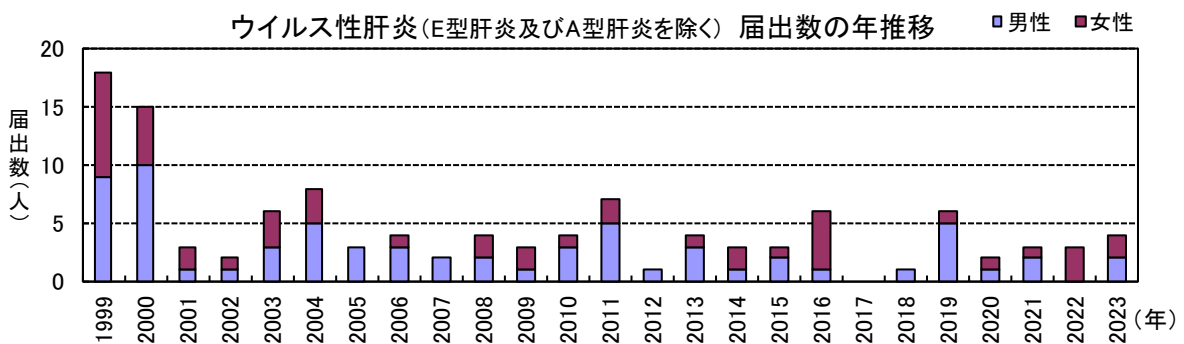
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
1月 24日	4 週	今治	男	50歳代	腸管アメーバ症	粘血便、大腸粘膜異常所見	県内	その他
5月 15日	20 週	西条	女	60歳代	腸管アメーバ症	腹痛、大腸粘膜異常所見	県内	不明
12月 8日	49 週	松山市	男	40歳代	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見	県内	性的接触



ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)

ウイルス性肝炎は4人の届出があり、病型はサイトメガロウイルス3人、B型1人であった。性別は男性2人、女性2人で、年齢は10歳代1人、20歳代2人、30歳代1人であった。いずれも感染地域は県内で、感染経路は性的接触が1人、不明が3人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
2月 9日	6週	今治	女	10歳代	サイトメガロウイルス	全身倦怠感、嘔吐、発熱、肝機能異常	県内	不明
6月 8日	23週	今治	女	30歳代	サイトメガロウイルス	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、皮疹	県内	不明
6月 17日	24週	今治	男	20歳代	サイトメガロウイルス	全身倦怠感、発熱、肝機能異常	県内	不明
10月 23日	43週	今治	男	20歳代	B型	肝機能異常、黄疸	県内	性的接触



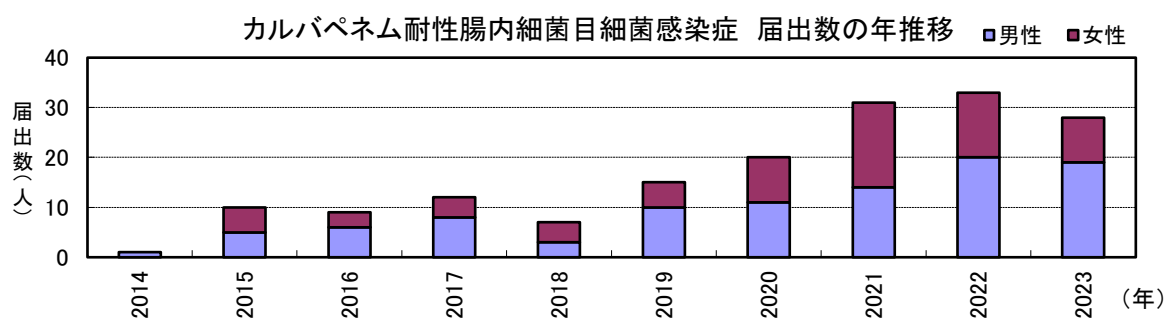
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症は28人の届出があった。性別は男性19人、女性9人で、年齢は20歳代1人、50歳代2人、60歳代2人、70歳代12人、80歳代8人、90歳以上3人であった。感染地域は県内22人、国内2人、不明4人で、感染経路は以前からの保菌が13人、医療器具関連感染が3人、手術部位感染が1人、その他が2人、不明が9人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 25日	4週	宇和島	男	70歳代	尿路感染症	県内	以前からの保菌
2月 15日	7週	松山市	男	70歳代	菌血症、発熱	県内	不明
3月 13日	11週	西条	男	80歳代	尿路感染症	県内	医療器具関連感染
4月 26日	17週	松山市	女	90歳以上	腹膜炎、術後創離開、人工肛門周囲の皮膚離開	県内	以前からの保菌
5月 2日	18週	宇和島	男	80歳代	肺炎	国内	不明
5月 9日	19週	宇和島	男	90歳以上	尿路感染症	県内	以前からの保菌
5月 29日	22週	松山市	男	80歳代	胆管炎	県内	以前からの保菌
6月 16日	24週	宇和島	男	90歳以上	敗血症、胆管炎	県内	以前からの保菌
6月 22日	25週	宇和島	男	20歳代	扁桃周囲膿瘍	県内	以前からの保菌
6月 29日	26週	宇和島	男	70歳代	尿路感染症	不明	以前からの保菌

(続き)

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
7月 14日	28 週	松山市	女	80歳代	尿路感染症、発熱	県内	以前からの保菌
7月 17日	29 週	中予	男	70歳代	腹腔内膿瘍	県内	手術部位感染
7月 24日	30 週	西条	男	70歳代	肺炎	不明	不明
8月 1日	31 週	宇和島	女	80歳代	尿路感染症	県内	医療器具関連感染
8月 22日	34 週	西条	女	80歳代	胆管炎	不明	不明
8月 29日	35 週	西条	女	70歳代	腹膜炎、菌血症	不明	不明
9月 8日	36 週	宇和島	男	70歳代	肺炎	県内	その他
9月 14日	37 週	宇和島	男	70歳代	尿路感染症	県内	不明
9月 21日	38 週	松山市	女	80歳代	尿路感染症	国内	以前からの保菌
9月 22日	38 週	今治	男	70歳代	尿路感染症	県内	不明
10月 10日	41 週	松山市	男	70歳代	胆嚢炎	県内	以前からの保菌
11月 2日	44 週	宇和島	男	70歳代	発熱	県内	その他
11月 6日	45 週	松山市	男	50歳代	肺炎	県内	以前からの保菌
11月 16日	46 週	松山市	男	60歳代	敗血症、発熱	県内	不明
11月 29日	48 週	宇和島	女	60歳代	尿路感染症	県内	医療器具関連感染
12月 22日	51 週	松山市	女	50歳代	発熱	県内	以前からの保菌
12月 22日	51 週	宇和島	男	70歳代	尿路感染症	県内	以前からの保菌
12月 25日	52 週	松山市	女	80歳代	肺炎、腹膜炎	県内	不明



急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)

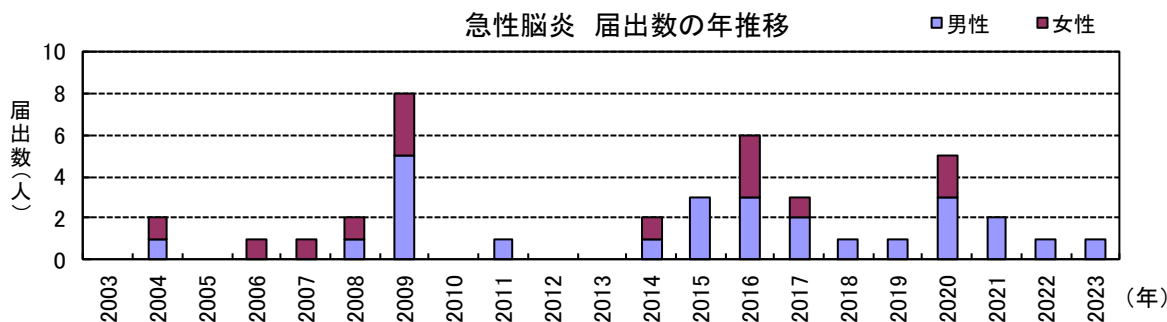
急性弛緩性麻痺は5～9歳男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路及び病原体は不明であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
3月 10日	10 週	松山市	男	5～9歳	弛緩性麻痺:左下肢、弛緩性麻痺:右下肢、膀胱直腸障害、髄液細胞数増加、発熱、感覚障害、脊髄の画像異常所見	県内	不明

急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)

急性脳炎は60歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で感染経路は不明であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
7月 14日	28 週	宇和島	男	60歳代	発熱、頭痛、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加	県内	不明



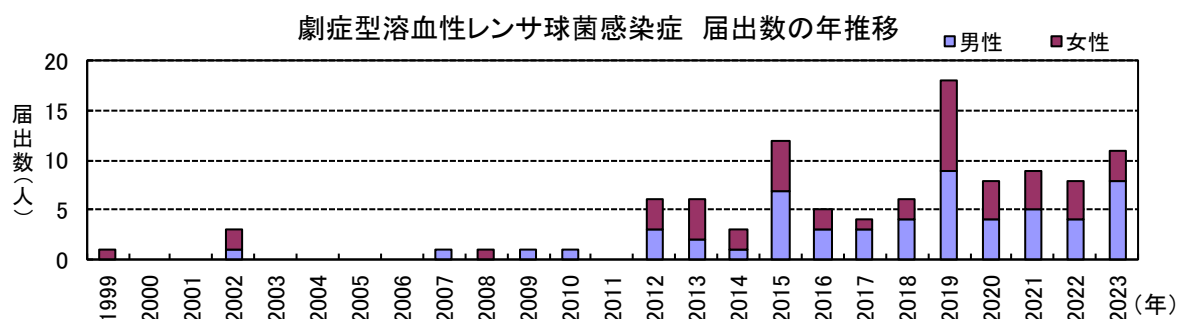
劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は11人の届出があった。性別は男性8人、女性3人で、年齢は40歳代1人、50歳代2人、60歳代3人、70歳代3人、80歳代1人、90歳以上1人であった。感染地域は県内9人、不明2人で、感染経路は創傷感染が4人、その他が1人、不明が6人であった。検出された病原体の血清群はG群が5人、A群、B群が各3人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病原体	症状	感染地域	感染経路
2月 20日	8 週	松山市	男	60歳代	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
3月 9日	10 週	松山市	男	40歳代	B群	ショック、腎不全、軟部組織炎、左足壊死	県内	創傷感染
4月 21日	16 週	松山市	女	60歳代	G群	ショック、腎不全、軟部組織炎、全身性紅斑性発疹	県内	不明
4月 26日	17 週	松山市	男	60歳代	B群	ショック、腎不全、DIC、中枢神経症状	県内	不明
5月 17日	20 週	松山市	男	50歳代	B群	ショック、急性呼吸窮迫症候群、中枢神経症状、菌血症	不明	不明

(続き)

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病原体	症状	感染地域	感染経路
5月 24日	21 週	今治	男	70歳代	A群	ショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、左下肢壊死性筋膜炎	不明	不明
5月 31日	22 週	松山市	男	80歳代	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
7月 19日	29 週	松山市	男	70歳代	G群	ショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、感染性心内膜炎	県内	不明
9月 19日	38 週	宇和島	男	70歳代	G群	ショック、腎不全、DIC、皮膚びらん、胸水	県内	その他
10月 31日	44 週	中予	女	50歳代	G群	ショック、DIC、軟部組織炎	県内	不明
12月 8日	49 週	宇和島	女	90歳以上	G群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染



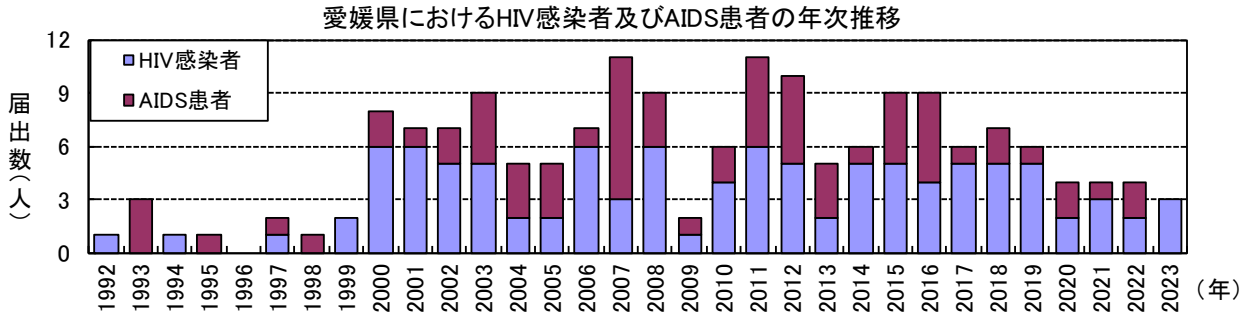
後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は 3 人の届出があり、病型は無症候性キャリアが 2 人、その他が 1 人であった。性別はすべて男性で、年齢は 20 歳代 1 人（無症候性キャリア）、30 歳代 2 人（無症候性キャリア 1 人、その他 1 人）であった。感染地域は国外 1 人、不明 2 人で、感染経路は同性間性的接触が 1 人、不明が 2 人であった。

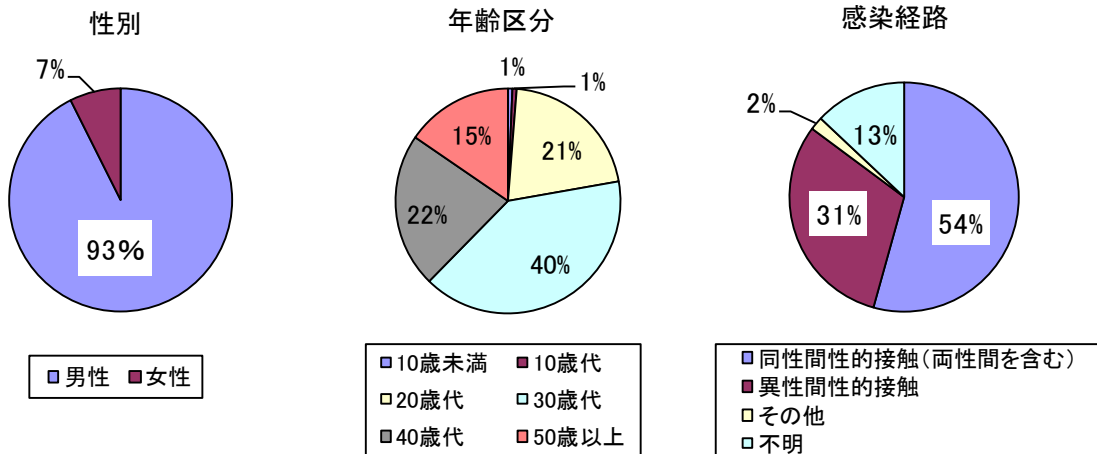
県内の HIV 感染者（無症候性キャリア、その他）及び AIDS 患者数は、1992 年から 1999 年までは年間 1～3 人であった。2000 年以降届出数が増加し 2009 年を除き年間 5～11 人で推移していたが、2016 年以降はやや減少傾向にある。

1999 年 4 月以降、感染症法に基づいて届出された 162 人のうち、性別は男性が 150 人と全体の 92.6% を占めている。男性 150 人の年齢は、10 歳代が 1 人（0.7%）、20 歳代が 33 人（22.0%）、30 歳代が 61 人（40.7%）、40 歳代が 30 人（20.0%）、50 歳代が 16 人（10.7%）、60 歳以上が 9 人（6.0%）であり、20～40 歳代が 124 人（82.7%）と多い。感染経路は性的接触が 138 人（同性間（両性間を含む）88 人、異性間 50 人）と 85.2% を占め、感染地域は国内感染例が 129 人（79.6%）を占める。これらのことから、県内における HIV 感染者及び AIDS 患者は、20 歳代から 40 歳代の男性を中心に、国内での性的接触によるものが多いと言える。また、AIDS を発症してはじめて感染が確認される割合は年齢が上がるにつれ多くなり、50 歳以上では 7 割以上を占めることから、発症前の検査で早期に発見することが重要である。

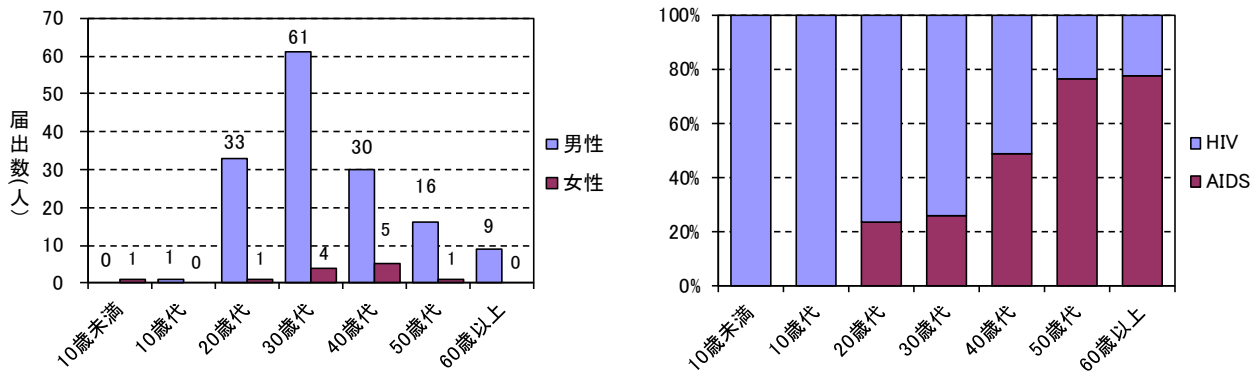
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
3月 17日	11 週	八幡浜	男	30歳代	その他	不明	不明
11月 14日	46 週	中予	男	30歳代	無症候性キャリア	国外 (アメリカ合衆国)	同性間性的接触
11月 29日	48 週	西条	男	20歳代	無症候性キャリア	不明	不明



1999年4月以降 感染症法に基づいて届出されたHIV感染者及びAIDS患者(162人)の内訳



1999年4月以降 感染症法に基づいて届出された HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢分布 (n=162)



侵襲性インフルエンザ菌感染症

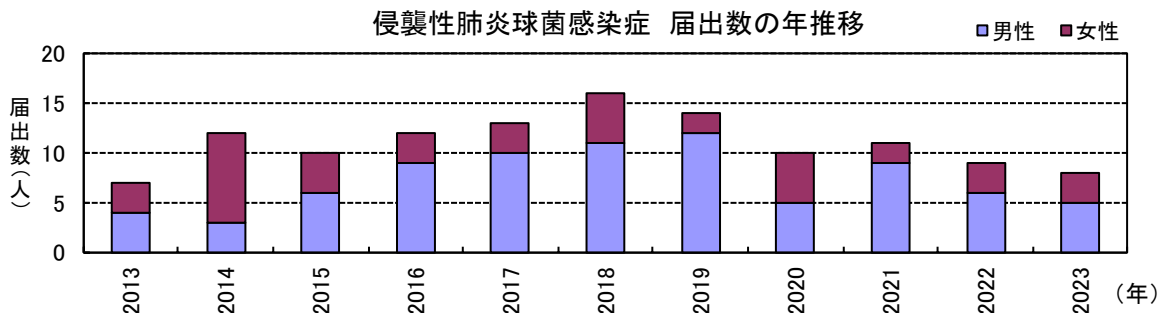
侵襲性インフルエンザ菌感染症は4人の届出があった。性別は男性2人、女性2人で、年齢は10歳未満1人、60歳代1人、70歳代1人、80歳代1人であった。感染地域はいずれも県内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染1人、不明3人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
6月 22日	25 週	宇和島	女	80歳代	発熱、嘔吐、菌血症、下痢	県内	不明
7月 27日	30 週	西条	男	10歳未満	発熱、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
8月 8日	32 週	松山市	女	70歳代	発熱、ショック、肺炎、菌血症	県内	不明
11月 20日	47 週	松山市	男	60歳代	頭痛、発熱、意識障害、髄膜炎	県内	不明

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は8人の届出があった。性別は男性5人、女性3人で、年齢は10歳未満1人、10歳代1人、70歳代1人、80歳代4人、90歳以上1人であった。感染地域は県内7人、国内1人で、感染経路は飛沫・飛沫核感染が5人、不明が3人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 7日	1 週	松山市	女	90歳以上	発熱、意識障害、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
1月 30日	5 週	宇和島	男	10歳代	頭痛、発熱、菌血症、副鼻腔炎	県内	不明
7月 3日	27 週	西条	男	80歳代	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症	国内	飛沫・飛沫核感染
8月 6日	31 週	宇和島	女	80歳代	発熱、意識障害、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
8月 17日	33 週	八幡浜	女	80歳代	発熱、全身倦怠感、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
8月 18日	33 週	四国中央	男	70歳代	発熱、嘔吐、意識障害、髄膜炎、菌血症	県内	不明
10月 26日	43 週	松山市	男	10歳未満	発熱、菌血症	県内	不明
12月 14日	50 週	八幡浜	男	80歳代	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染



水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）（入院例）

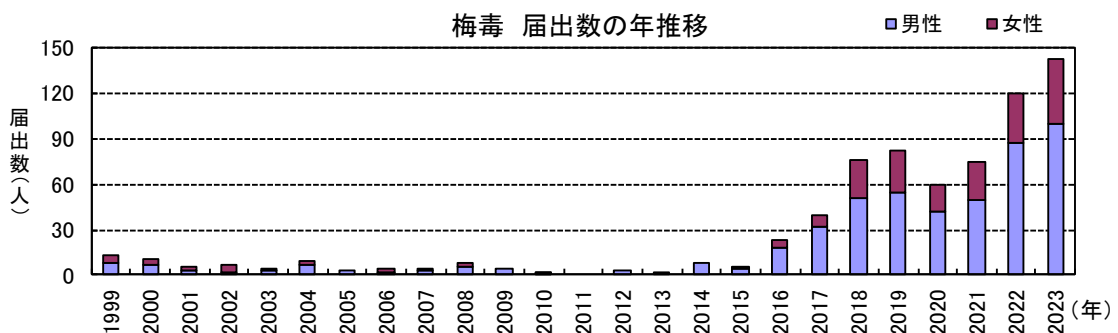
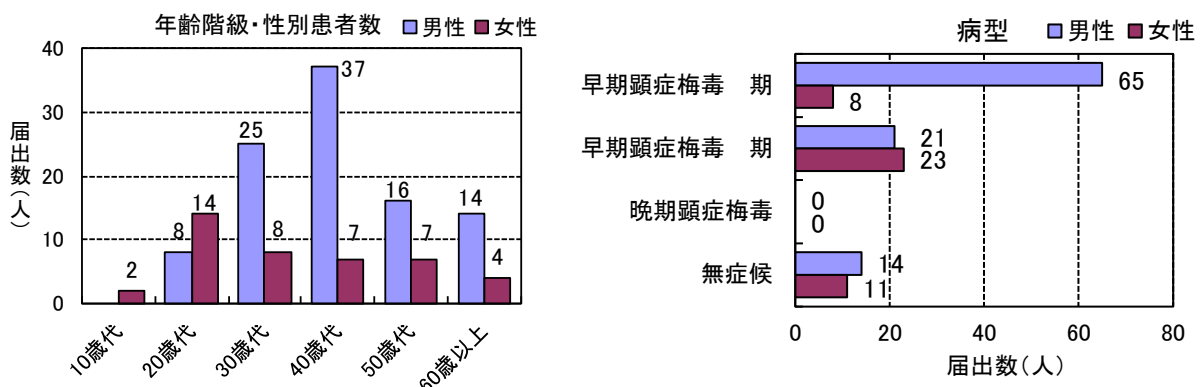
水痘（入院例）は5人の届出があった。性別は男性1人、女性4人で、年齢は10歳未満1人、30歳代1人、50歳代1人、70歳代1人、90歳以上1人であった。病型は臨床診断例3人、検査診断例2人で、感染地域はいずれも県内であった。感染経路は院内感染が3人、接触感染が1人、不明が1人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
3月 6日	10週	西条	女	90歳以上	臨床診断例	発疹、他疾患入院中の発症	県内	不明
7月 24日	30週	西条	女	10歳未満	臨床診断例	発熱、発疹	県内	接触感染
11月 13日	46週	松山市	女	70歳代	検査診断例	発熱、発疹、膿痂疹、他疾患入院中の発症、播種性帯状疱疹	県内	院内感染
11月 30日	48週	松山市	男	30歳代	検査診断例	発熱、発疹	県内	院内感染
12月 28日	52週	今治	女	50歳代	臨床診断例	発熱、発疹、他疾患入院中の発症	県内	院内感染

梅毒

梅毒は142人の届出があった。性別は男性100人、女性42人で、男性の年齢は20歳代8人、30歳代25人、40歳代37人、50歳代16人、60歳代10人、70歳代4人で、20～40歳代が70.0%を占めた。女性の年齢は10歳代2人、20歳代14人、30歳代8人、40歳代7人、50歳代7人、60歳代1人、70歳代2人、80歳代1人で、20～40歳代が69.0%を占めた。病型は早期顕症梅毒117人（I期73人、II期44人）、無症候25人で、感染地域は国内117人（うち県内97人、県外14人、都道府県不明6人）、不明25人で、感染経路は性的接触が121人、不明が21人であった。

県内の梅毒届出数は1999年から2015年までは年間1～13人であったが、2016年以降届出数が増加している。2020年に一旦減少したものの2021年からは再び増加し、2023年は142人と届出開始以降最多となった。なお、全国でも届出開始以降最多となる15,055人の届出があった。



播種性クリプトコックス症

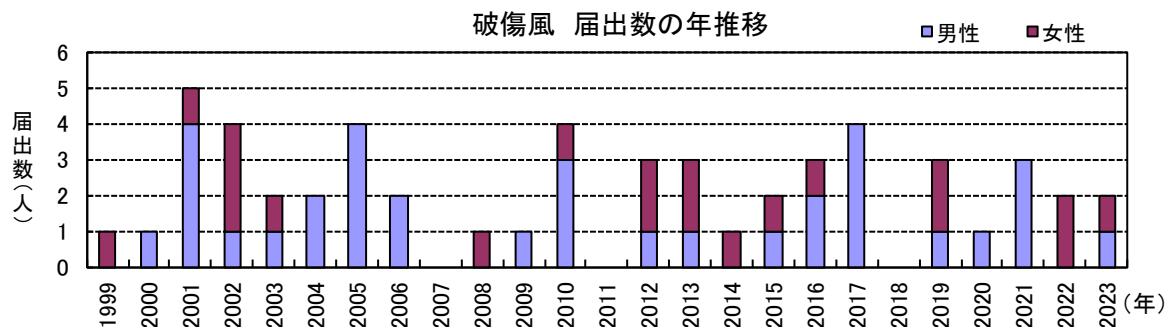
播種性クリプトコックス症は4人の届出があった。性別は男性1人、女性3人で、年齢は60歳代1人、70歳代1人、80歳代2人であった。いずれも感染地域は県内で、感染経路・感染原因は免疫不全であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
4月 10日	15 週	中予	女	60歳代	頭痛、胸部異常陰影、小脳症状	県内	免疫不全
9月 7日	36 週	宇和島	女	70歳代	発熱、呼吸器症状	県内	免疫不全
10月 20日	42 週	今治	女	80歳代	頭痛、項部硬直、胸部異常陰影、真菌血症	県内	免疫不全
12月 14日	50 週	中予	男	80歳代	発熱、意識障害、痙攣	県内	免疫不全

破傷風

破傷風は2人の届出があった。性別は男性1人、女性1人で、年齢は50歳代1人、70歳代1人であった。いずれも感染地域は県内で、感染経路・感染原因はその他1人、不明が1人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
9月 1日	35 週	松山市	女	70歳代	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣	県内	その他
10月 31日	44 週	四国中央	男	50歳代	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害	県内	不明



バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は90歳以上女性2人の届出があった。いずれも遺伝子型はVanAで、検体は尿、感染地域は県内、感染経路は不明であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	遺伝子型	菌検出検体	感染地域	感染経路
1月 24日	4 週	今治	女	90歳以上	発熱	VanA	尿	県内	不明
3月 3日	9 週	今治	女	90歳以上	発熱、膀胱炎	VanA	尿	県内	不明

百日咳

百日咳は 26 人の届出があった。性別は男性 10 人、女性 16 人で、年齢は 10 歳未満 10 人、10 歳代 9 人、20 歳代 2 人、30 歳代 3 人、40 歳代 2 人であった。感染地域は県内 21 人、国内 3 人、不明 2 人で、感染経路（重複あり）は学校または幼稚園で流行が 3 人、家族内感染が 2 人、不明が 22 人であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 18日	3 週	今治	女	10歳代	持続する咳	不明	不明
4月 3日	14 週	西条	男	10歳代	持続する咳	県内	不明
4月 7日	14 週	西条	女	10歳代	持続する咳	県内	不明
5月 9日	19 週	西条	男	10歳未満	持続する咳	県内	不明
5月 10日	19 週	西条	男	10歳未満	持続する咳	県内	不明
5月 26日	21 週	西条	女	20歳代	持続する咳	県内	不明
5月 29日	22 週	西条	女	10歳代	持続する咳	県内	不明
5月 30日	22 週	西条	女	10歳未満	持続する咳	県内	不明
6月 1日	22 週	西条	男	10歳未満	持続する咳	県内	不明
6月 8日	23 週	西条	女	10歳未満	持続する咳	県内	不明
6月 10日	23 週	松山市	男	10歳未満	持続する咳	県内	学校・幼稚園
6月 13日	24 週	松山市	男	10歳未満	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	学校・幼稚園 家族内感染
6月 16日	24 週	西条	男	10歳未満	持続する咳	県内	不明
6月 26日	26 週	松山市	女	20歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	国内	不明
7月 20日	29 週	西条	男	10歳代	持続する咳	県内	不明
7月 20日	29 週	西条	女	10歳未満	持続する咳	県内	不明
7月 20日	29 週	西条	男	10歳代	持続する咳	県内	不明
7月 21日	29 週	西条	女	30歳代	持続する咳	県内	家族内感染
7月 24日	30 週	西条	女	10歳未満	持続する咳	県内	不明
8月 14日	33 週	西条	女	10歳代	持続する咳	県内	不明
9月 7日	36 週	松山市	女	30歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	県内	不明
9月 19日	38 週	松山市	男	40歳代	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐	国内	不明
11月 8日	45 週	西条	女	10歳代	持続する咳、夜間の咳き込み	国内	不明
11月 29日	48 週	西条	女	10歳代	持続する咳	県内	学校・幼稚園
12月 11日	50 週	宇和島	女	30歳代	持続する咳	県内	不明
12月 20日	51 週	今治	女	40歳代	持続する咳、スタッカート	不明	不明

その他 9 疾患（クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、ジアルジア症、侵襲性髄膜炎菌感染症、先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症）の届出はなかった。

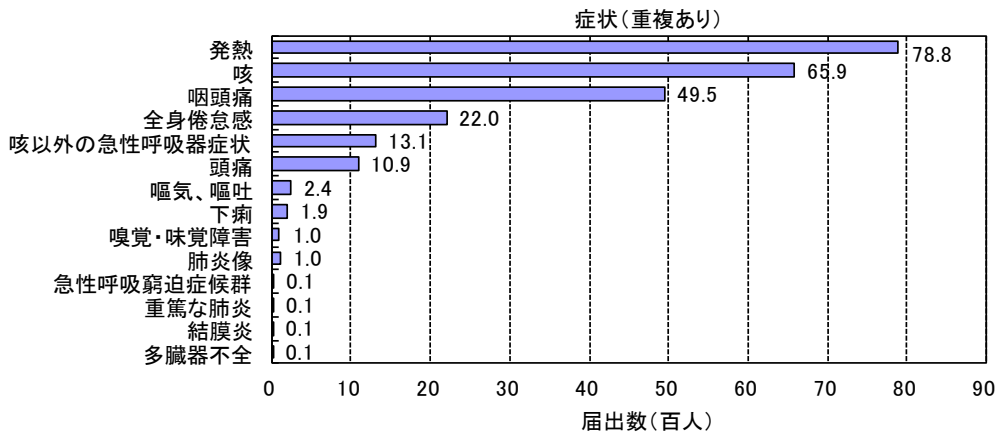
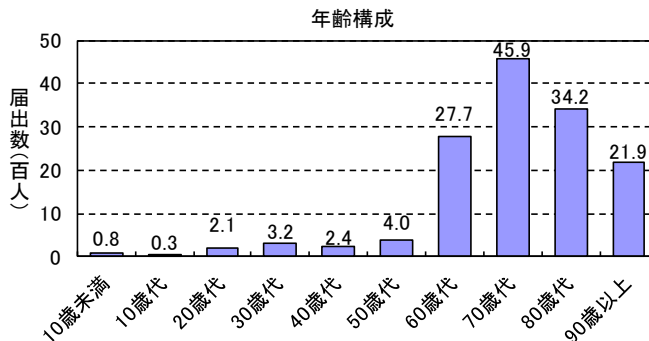
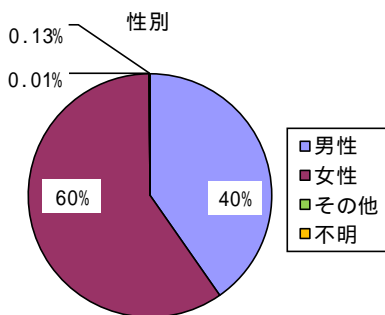
(6) 新型インフルエンザ等感染症

「新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）」における集計内容を示す。届出対象は 65 歳以上の者、入院を要する者、重症化リスクがあり、かつ、新型コロナウイルス感染症治療薬の投与が必要な者又は重症化リスクがあり、かつ、新型コロナウイルス感染症罹患により新たに酸素投与が必要な者、妊婦に限る。なお本疾患は 2023 年 5 月 8 日（第 19 週）に新型インフルエンザ等感染症（全数把握対象疾患）から五類感染症（定点把握対象疾患）に移行した。五類感染症（定点把握対象疾患）移行後の発生動向は「2 定点把握対象 五類感染症 (2) インフルエンザ・COVID-19 定点対象疾患（週報）」に掲載している。

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は 14,254 人の届出があった。性別は男性 5,744 人、女性 8,490 人、その他 1 人、不明 19 人であった。年齢は 10 歳未満 83 人、10 歳代 34 人、20 歳代 208 人、30 歳代 324 人、40 歳代 240 人、50 歳代 404 人、60 歳代 2,765 人、70 歳代 4,589 人、80 歳代 3,419 人、90 歳以上 2,188 人であった。診断類型は患者 13,812 人、無症状病原体保有者 328 人、疑似症 100 人、感染症死亡者の死体 12 人、感染症死亡疑い者の死体 2 人であった。

新型コロナウイルス感染症 保健所別届出数の週推移



その他 3 疾患（新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、再興型コロナウイルス感染症）の届出はなかった。

表 2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)

感染症 類 型	疾病名	年	愛媛県					全国						
			2023	2022	2021	2020	2019	2018	2023	2022	2021	2020	2019	2018
一類	エボラ出血熱													
	クリミア・コンゴ出血熱													
	痘そう													
	南米出血熱													
	ペスト													
	マールブルグ病													
二類	ラッサ熱													
	急性灰白髄炎													
	結核		112	125	138	158	147	176	15,377	14,798	16,299	17,745	21,672	22,448
	ジフテリア													
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)													
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る)													
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)													
	鳥インフルエンザ(H7N9)													
	コレラ								2	1		1	5	4
	細菌性赤痢		1					1	47	16	7	87	140	268
	腸管出血性大腸菌感染症		16	11	16	17	17	23	3,826	3,370	3,243	3,092	3,744	3,854
	腸チフス					1			39	16	4	21	37	35
四類	パラチフス								9	10		7	21	23
	E型肝炎		1	2		1	3		552	435	460	454	493	446
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
	A型肝炎		1		1	1	2	3	56	69	71	120	425	926
	エキノкокクス症								14	28	35	22	28	19
	エムボックス ^{*1}								225	7				
五類	黄熱													
	オウム病								8	12		9	7	13
	オムスク出血熱													
	回帰熱								23	25	10	15	7	6
	キャサスル森林病													
	Q熱		1						1		1		2	3
六類	狂犬病												1	
	コクシジオイデス症								4	2		6	2	2
	ジカウイルス感染症								2			1	3	
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)		3	4	2	2	3	3	134	118	110	78	101	77
	腎症候性出血熱													
	西部ウマ脳炎													
七類	ダニ媒介脳炎													1
	炭疽													
	チクングニア熱								7	5		3	49	4
	つつが虫病		1			1			445	492	544	536	404	456
	デング熱						1		175	98		8	45	461
	東部ウマ脳炎													
八類	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)													
	ニパウイルス感染症													
	日本紅斑熱		20	15	16	9	10	9	500	457	490	421	318	305
	日本脳炎								6	5	3	5	9	
	ハンタウイルス肺症候群													
	Bウイルス病													2
九類	鼻疽													
	ブルセラ症								2	1	1	2	2	3
	ベネズエラウマ脳炎													
	ヘンドラウイルス感染症													
	登しんチフス													
	ボツリヌス症										1	5	4	3
十類	マラリア		1	1				1	36	31	30	21	57	50
	野兔病						1	1						
	ライム病								28	14	23	27	17	13
	リッサウイルス感染症													
	リフトバレー熱													
	類鼻疽									2			1	2
十一類	レジオネラ症		20	21	16	15	16	20	2,291	2,143	2,133	2,058	2,316	2,142
	レプトスピラ症		1	1			1		49	38	34	16	32	32
	ロッキー山紅斑熱													
	アメーバ赤痢		3	2	6	5	6	4	489	533	537	613	853	843
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)		4	3	3	2	6	1	244	211	203	246	331	277
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 ^{*2}		28	33	31	20	15	7	2,113	2,015	2,066	1,952	2,333	2,289
十二類	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) ^{*3}		1	1		1	1	3	55	41	25	34	78	141
	急性脳炎 ^{*4}		1	1	2	5	1	1	661	399	338	490	959	679
	クリプトスポリジウム症								16	7	5	6	19	25
	クロイツフェルト・ヤコブ病				3	6	3	3	170	172	179	154	193	221
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11	8	9	8	18	6	939	708	622	764	894	694
	後天性免疫不全症候群		3	4	4	4	6	7	948	893	1,053	1,096	1,231	1,301
十三類	ジアルジア症								39	32	32	28	53	68
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	1		2	5		566	211	194	253	543	488
	侵襲性髄膜炎菌感染症							1	21	8	1	14	48	37
	侵襲性肺炎球菌感染症		8	9	11	10	14	16	1,987	1,347	1,405	1,655	3,344	3,328
	水痘(入院例)		5	4	3	1	3	2	405	327	301	362	492	466
	先天性風しん症候群										1	1	1	4
十四類	梅毒		142	120	75	60	82	76	15,055	13,221	7,978	5,871	6,642	7,007
	播種性クリプトкокクス症		4	7	4	1	1	1	173	159	163	152	156	180
	破傷風		2	2	3	1	3		109	96	93	105	126	134
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	1			1		115	133	124	136	80	80
	百日咳 ^{*5}		26	9	4	43	320	151	1,000	491	707	2,947	16,845	12,115
十五類	風しん			1		1	6	7	12	15	12	102	2,298	2,941
	麻しん								28	6	6	10	744	279
	薬剤耐性アシネトバクター感染症							1	15	13	6	10	24	24
	新型インフルエンザ													
	再興型インフルエンザ													
	再興型コロナウイルス感染症 ^{*6 *7 *8 *9}		14,254	163,285	4,940	471	-	-	-	19,068,920	1,484,328	243,553	-	-
計		14,676	163,671	5,287	846	692	523	49,018	19,112,152	1,523,899	285,350	68,655	64,945	

*1:サル痘から名称変更 *2:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から名称変更 *3:2018年5月1日からの集計 *4:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 *5:2018年1月1日からの集計 *6:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。 *7:2020年2月3日からの集計 *8:全国の値は2022年9月25日(第38週)まで *9:愛媛県の値は2023年5月7日(第18週)まで

表 2-1-2 2023年全数把握対象疾患発生状況(月別)

2023年1月2日～2023年12月31日

感染症 類型	疾病名	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一類	エボラ出血熱													
	クリミア・コンゴ出血熱													
	痘そう													
	南米出血熱													
	ベスト													
	マールブルグ病													
二類	ラッサ熱													
	急性灰白髄炎													
	結核	112	8	9	13	10	5	7	14	9	9	7	11	10
	ジフテリア													
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る) 中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る)													
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)													
	鳥インフルエンザ(H7N9)													
	コレラ													
	細菌性赤痢	1											1	
	腸管出血性大腸菌感染症	16				4		1	3	4	1	1	2	
四類	腸チフス													
	バラチフス													
	E型肝炎	1												1
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
	A型肝炎	1											1	
	エキソコックス症													
	エムボックス*1													
	黄熱													
	オウム病													
	オムスク出血熱													
	回帰熱													
	キャサスル森林病													
	Q熱	1												1
	狂犬病													
	コクシジオイデス症													
	ジカウイルス感染症													
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)	3			1	1	1							
	腎症候性出血熱													
	西部ウマ脳炎													
	ダニ媒介脳炎													
	炭疽													
	チクングニア熱													
	つつが虫病	1											1	
	デング熱													
	東部ウマ脳炎													
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)													
	ニパウイルス感染症													
	日本紅斑熱	20				1		3	2	1	4	4	5	
	日本脳炎													
	ハンタウイルス肺症候群													
	Bウイルス病													
	鼻疽													
	ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ボツリヌス症														
マラリア	1										1			
野兎病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症	20	1	1		2	2	2	3		2	2	5		
レプトスピラ症	1	1												
ロッキー山紅斑熱														
五類	アメーバ赤痢	3	1				1							1
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	4		1				2				1		
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症*2	28	1	1	1	1	3	3	3	3	4	1	4	3
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1			1									
	急性脳炎*3	1							1					
	クリプトスポリジウム症													
	クロイツフェルト・ヤコブ病													
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11		1	1	2	3		1		1			1
	後天性免疫不全症候群	3			1									2
	ジアルジア症													
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4							1	1	1			1
	侵襲性髄膜炎菌感染症													
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	2							1	3		1	1
	水痘(入院例)	5			1					1				2
	1													1
	先天性風しん症候群													
	梅毒	142	8	7	8	14	10	17	18	15	11	11	12	11
	播種性クリプトコックス症	4				1						1	1	1
	破傷風	2										1	1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	1		1										
百日咳	26	1			2	5	6	5	1	2		2	2	
風しん														
麻しん														
薬剤耐性アシネトバクター感染症														
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ													
	再興型インフルエンザ													
	新型コロナウイルス感染症**4*5	14,254	10,364	2,237	892	646	115	-	-	-	-	-	-	-
	再興型新型コロナウイルス感染症													
計		14,676	10,388	2,257	920	684	145	42	53	37	37	32	48	33

(診断年月日による集計)

*1:サル痘から名称変更 *2:カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症から名称変更 *3:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 *4:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。 *5:2023年5月7日(第18週)まで

表 2-1-3 2023年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)

2023年1月2日～2023年12月31日

感染症 類 型	疾病名	保健所	計	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
一類	エボラ出血熱									
	クリミア・コンゴ出血熱									
	痘そう									
	南米出血熱									
	ペスト									
二類	マールブルグ病									
	ラッサ熱									
	急性灰白髄炎									
	結核		112	6	21	16	31	6	17	15
	ジフテリア									
三類	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限り)									
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限り)									
	鳥インフルエンザ(H5N1)									
	鳥インフルエンザ(H7N9)									
	コレラ									
四類	細菌性赤痢		1		1					
	腸管出血性大腸菌感染症		16		2	2	8	1	2	1
	腸チフス									
	バラチフス									
	E型肝炎		1				1			
五類	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)									
	A型肝炎		1				1			
	エキノコックス症									
	エムボックス ^{*1}									
	黄熱									
六類	オウム病									
	オムスク出血熱									
	回帰熱									
	キャサスル森林病									
	Q熱		1						1	
七類	狂犬病									
	コクシジオイデス症									
	ジカウイルス感染症									
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限り)		3				1			2
	腎症候性出血熱									
八類	西部ウマ脳炎									
	ダニ媒介脳炎									
	炭疽									
	チクングニア熱									
	つつが虫病		1		1					
九類	デング熱									
	東部ウマ脳炎									
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)									
	ニバウイルス感染症									
	日本紅斑熱		20	1	1		7			11
十類	日本脳炎									
	ハンタウイルス肺症候群									
	Bウイルス病									
	鼻疽									
	ブルセラ症									
十一類	ベネズエラウマ脳炎									
	ヘンドラウイルス感染症									
	発しんチフス									
	ボツリヌス症									
	マラリア		1				1			
十二類	野兎病									
	ライム病									
	リッサウイルス感染症									
	リフトバレー熱									
	類鼻疽									
十三類	レジオネラ症		20		10	3	3	1	3	
	レプトスピラ症		1				1			
	ロッキー山紅斑熱									
	アメーバ赤痢		3		1	1	1			
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)		4			4				
十四類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ^{*2}		28		4	1	10	1		12
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1				1			
	急性脳炎 ^{*3}		1							1
	クリプトスポリジウム症									
	クロイツフェルト・ヤコブ病									
十五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11			1	7	1		2
	後天性免疫不全症候群		3		1			1	1	
	ジアルジア症									
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		4		1		2			1
	侵襲性髄膜炎菌感染症									
十六類	侵襲性肺炎球菌感染症		8	1	1		2		2	2
	水痘(入院例)		5		2	1	2			
	先天性風しん症候群									
	梅毒		142	7	24	16	69	13	7	6
	播種性クリプトコックス症		4			1		2		1
十七類	破傷風		2	1			1			
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症									
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2			2				
	百日咳		26		18	2	5			1
	風しん									
十八類	麻しん									
	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
	新型インフルエンザ									
	再興型インフルエンザ									
	新型コロナウイルス感染症		14,254	868	2,505	1,782	4,780	1,091	1,687	1,541
十九類	再興型新型コロナウイルス感染症									
	計		14,676	884	2,593	1,832	4,934	1,117	1,720	1,596

(届出受理保健所による集計)

*1:サル痘から名称変更 *2:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から名称変更 *3:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 *4:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。 *5:2023年5月7日(第18週)まで

表 2-1-4 2023年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)

2023年1月2日～2023年12月31日

感染症 種類	疾病名	年齢区分																	
		計	0 歳	1 4	5 9	10 14	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65 69	70 歳 以上	
一類	エボラ出血熱																		
	クリミア・コンゴ出血熱																		
	痘そう																		
	南米出血熱																		
	ペスト																		
	マールブルグ病																		
二類	ラッサ熱																		
	急性灰白髄炎																		
	結核	112	2				2	3	7	2	3	2	2	3	4	4	7	71	
	ジフテリア																		
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																		
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る)																		
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)																		
	鳥インフルエンザ(H7N9)																		
	コレラ																		
	細菌性赤痢	1								1									
	腸管出血性大腸菌感染症	16		1	1	1		2	2			4		1	4				
	腸チフス																		
四類	パラチフス																		
	E型肝炎	1														1			
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																		
	A型肝炎	1							1										
	エキノコックス症																		
	エムボックス ^{*1}																		
	黄熱																		
	オウム病																		
	オムスク出血熱																		
	回帰熱																		
	ギャサスル森林病																		
	Q熱	1						1											
	狂犬病																		
	コクシジオイデス症																		
	ジカウイルス感染症																		
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)	3																	3
	腎症候性出血熱																		
	西部ウマ脳炎																		
	ダニ媒介脳炎																		
	炭疽																		
	チクングニア熱																		
	つつが虫病	1																	1
	デング熱																		
	東部ウマ脳炎																		
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)																		
	ニパウイルス感染症																		
	日本紅斑熱	20					1									1	1	3	14
	日本脳炎																		
	ハンタウイルス肺症候群																		
	Bウイルス病																		
	鼻疽																		
	ブルセラ症																		
	ベネズエラウマ脳炎																		
	ハンドラウイルス感染症																		
	発しんチフス																		
	ボツリヌス症																		
	マラリア	1													1				
	野兔病																		
	ライム病																		
	リッサウイルス感染症																		
リフトバレー熱																			
類鼻疽																			
レジオネラ症	20													1	2	5	3	9	
レプトスピラ症	1													1					
ロッキー山紅斑熱																			
五類	アメーバ赤痢	3										1							
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	4					1		2	1					1	1			
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 ^{*2}	28						1							1	1	1	1	23
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1			1														
	急性脳炎 ^{*3}	1																1	
	クリプトスポリジウム症																		
	クロイツフェルト・ヤコブ病																		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11													1	1	2	1	5
	後天性免疫不全症候群	3								1	1	1							
	ジアルジア症																		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4		1															2
	侵襲性髄膜炎菌感染症																1		
	侵襲性肺炎球菌感染症	8		1		1													6
	水痘(入院例)	5	1									1							2
	先天性風しん症候群																		
	梅毒	142						2	10	12	14	19	26	18	10	13	7	4	7
	播種性クリプトコックス症	4																1	3
	破傷風	2														1			1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2																	2
	百日咳	26		1	9	5	4			2	1	2	2						
	風しん																		
	麻しん																		
薬剤耐性アシネトバクター感染症																			
新型イン フルエンザ等	新型インフルエンザ																		
	再興型インフルエンザ																		
	新型コロナウイルス感染症 ^{*4*}	14,254	39	28	16	11	23	55	153	168	156	89	151	196	208	278	2,487	10,196	
	再興型コロナウイルス感染症																		
計	14,676	42	32	27	18	33	72	181	187	182	125	171	215	238	300	2,508	10,345		

(届出時の年齢による集計)

*1:サル痘から名称変更 *2:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から名称変更 *3:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*4:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。 *5:2023年5月7日(第18週)まで

2 定点把握対象 五類感染症

(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況

2023年(令和5年)における定点把握感染症の流行状況を、愛媛県内の流行規模で分類した。週報対象疾患は以下のとおりであった。なお、(イ)はインフルエンザ/COVID-19 定点、(小)は小児科定点、(眼)は眼科定点、(基)は基幹定点からの報告疾患であることを示す。

例年と比較し、大きな流行となった疾患

咽頭結膜熱(小): 2023年の患者報告数は2,375人(定点当たり64.26人/年)で、前年の9.5倍に増加し、1999年以降最も大きな発生規模となった。8月下旬から報告数が急増し、12月末まで増加傾向が続いたまま2024年に移行した。年齢別では1~6歳までの幼児が全体の87.2%を占めた。

ヘルパンギーナ(小): 2023年の患者報告数は2,450人(定点当たり66.23人/年)で、前年の13.2倍に増加し、過去10年で最も大きな発生規模であった。地域別では宇和島保健所からの報告が多かった。年齢別では例年に比べ1~3歳の割合が60.4%と減少し、4~6歳の割合が27.4%と増加した。

例年と同程度の流行となった疾患

インフルエンザ(イ): 2022/2023シーズンの患者報告数は10,267人(定点当たり168.38人/シーズン)で、前シーズンの410.7倍に増加した。3シーズンぶりに流行開始の目安である定点当たり1.0人/週を超えたものの、シーズンを通じて低い水準で推移し、流行が収束することなく2023/2024シーズンに移行した。検出されたウイルス型別は、AH3が68例、AH1pdm09が3例であった。

RSウイルス感染症(小): 2023年の患者報告数は2,651人(定点当たり71.67人/年)で、前年の1.2倍に増加したが、過去10年と比較すると同程度の発生規模であった。本年は過去5年で最も早く4月中旬から流行がみられ始め、7月下旬まで高いレベルで推移した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(小): 2023年の患者報告数は3,415人(定点当たり92.36人/年)で、前年の4.5倍に増加した。過去10年と比較すると同程度の発生規模であったが、9月上旬以降報告数が急増し、流行が収束することなく2024年を迎えた。

感染性胃腸炎(小): 2022/2023シーズンの患者報告数は12,241人(定点当たり330.99人/シーズン)で、前シーズンの1.1倍に増加したが、過去10シーズンと比較すると同程度の発生規模であった。例年に比べやや遅く1月上旬から報告数が増加し、第7週(2月中旬)にピークを迎えた。地域別では西条保健所、松山市保健所からの報告が多かった。年齢別では1~5歳の幼児が全体の60.3%を占めた。病原体はノロウイルス、サポウイルス、カンピロバクター、サルモネラ属菌が検出された。

水痘(小): 2023年の患者報告数は146人(定点当たり3.95人/年)で、前年と同程度の発生規模であった。年齢別では5~14歳が全体の69.9%を占めた。

伝染性紅斑(小): 2023年の患者報告数は11人(定点当たり0.30人/年)で、前年の0.4倍に減少した。年間を通して報告数が少なく、1999年以降最も小さい発生規模であった。年齢別では0~14歳でごく少数の報告があった。

流行性耳下腺炎(小): 2023年の患者報告数は95人(定点当たり2.57人/年)で、前年の1.4倍に増加したが、過去10年と比較すると同程度の発生規模であった。年齢別では1歳から19歳まで幅広い年齢層にわたって報告があった。

流行性角結膜炎(眼): 2023年の患者報告数は533人(定点当たり66.63人/年)で、前年の2.1倍に増加したが、過去10年と比較すると同程度の発生規模であった。地域別では西条保健所、今治保健所からの報告が多かった。年齢別では20歳以上の成人が全体の69.4%を占めた。

例年と比較し、小さな流行となった疾患

手足口病(小): 2023年の患者報告数は813人(定点当たり21.99人/年)で、前年の0.7倍に減少した。7月中旬から地域が入れ替わりながら流行し、12月下旬まで発生が続いた。年齢別では2歳以下の乳幼児が全体の59.2%を占めた。病原体はコクサッキーウイルスA16型、ライノウイルス、コクサッキーウイルスA6型、エンテロウイルス71型が検出された。

突発性発しん(小): 2023年の患者報告数は756人(定点当たり20.46人/年)で、前年の0.9倍に減少し、1999年以降最も小さい発生規模であった。年齢別では1歳以下が全体の83.3%を占めた。

報告が少なかった疾患

急性出血性結膜炎(眼): 2023年の患者報告数は2人(定点当たり0.25人/年)で、前年と同様少数の報告であった。本疾患は、2004年9~10月に宇和島地区で地域的な短期流行があって以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)(基): 2023年の患者報告数は3人(定点当たり0.50人/年)で、前年と同様少数の報告であった。

細菌性髄膜炎(基): 2023年の患者報告数は1人(定点当たり0.17人/年)で、前年と同様少数の報告であった。病原体は不明であった。

無菌性髄膜炎(基): 2023年の患者報告数は4人(定点当たり0.67人/年)で、前年と同様少数の報告であった。病原体は不明であった。

マイコプラズマ肺炎(基): 2023年の患者報告数は6人(定点当たり1.00人/年)で、前年と同様少数の報告であった。

クラミジア肺炎(基): 2023年の患者報告はなかった。

その他

新型コロナウイルス感染症(イ): 2023年(第19週~第52週)の患者報告数は17,392人(定点当たり258.27人/年)であった。6月下旬から報告数が増加し、第30週(7月下旬)に1回目のピークを、第36週(9月上旬)に2回目のピークを迎えた。本疾患は2023年5月8日(第19週)から定点把握対象疾患となった。

STD 定点対象疾患(月報)の性器クラミジア感染症(304人)、尖圭コンジローマ(94人)は前年に比べて増加した。性器クラミジア感染症は男性女性ともに増加し、尖圭コンジローマは男性で報告数が増加した。淋菌感染症(102人)は前年と同程度であったが、女性では増加した。性器ヘルペスウイルス感染症(125人)は男性女性ともに前年に比べ減少した。

基幹定点対象疾患(月報)では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(108人)は前年に比べ増加した。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はなかった。

表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数

週	期間	インフルエンザ/ COVID-19定点		小児科定点						
		イン*1 フル エン ザ	感新*2,3 染型 症コ ロ ナ ウ イ ル ス	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑
1	1/2 ~ 1/8	451		6	1	24	161	1	10	
2	1/9 ~ 1/15	625		7	7	13	291	2	8	
3	1/16 ~ 1/22	544		6	2	19	403		4	
4	1/23 ~ 1/29	544		6	2	13	350	4	1	
5	1/30 ~ 2/5	575		18	1	12	442	1	1	
6	2/6 ~ 2/12	368		21	3	22	387	1		
7	2/13 ~ 2/19	387		26	2	27	649	1		
8	2/20 ~ 2/26	457		14	4	17	513	2	1	1
9	2/27 ~ 3/5	430		17	7	6	510	1		
10	3/6 ~ 3/12	565		9	5	28	444	4		
11	3/13 ~ 3/19	416		10	4	16	384		1	
12	3/20 ~ 3/26	261		7	7	14	314	4	1	1
13	3/27 ~ 4/2	234		24	13	14	208	1	1	
14	4/3 ~ 4/9	166		9	4	9	210		2	
15	4/10 ~ 4/16	130		23	4	13	258	1	3	
16	4/17 ~ 4/23	77		41	13	53	282	2	1	
17	4/24 ~ 4/30	52		39	12	73	242	8		
18	5/1 ~ 5/7	63		61	9	15	151	1	1	
19	5/8 ~ 5/14	115	88	50	24	40	275	3	1	
20	5/15 ~ 5/21	223	159	50	28	24	327	2	2	
21	5/22 ~ 5/28	224	147	81	29	32	293	7	6	
22	5/29 ~ 6/4	222	180	111	25	35	343		9	
23	6/5 ~ 6/11	219	227	178	22	29	304	5	7	
24	6/12 ~ 6/18	232	237	235	25	48	264	4	9	
25	6/19 ~ 6/25	151	252	207	28	33	257	2	13	
26	6/26 ~ 7/2	143	373	241	20	53	225	5	8	1
27	7/3 ~ 7/9	264	671	219	18	38	210	1	10	
28	7/10 ~ 7/16	327	958	236	13	39	217	2	19	1
29	7/17 ~ 7/23	341	1,220	208	16	33	168	1	22	
30	7/24 ~ 7/30	407	1,288	158	15	32	200	6	14	
31	7/31 ~ 8/6	317	1,200	97	24	27	160	3	16	1
32	8/7 ~ 8/13	179	924	61	29	55	148	1	16	
33	8/14 ~ 8/20	137	1,017	56	33	25	108	2	18	
34	8/21 ~ 8/27	102	1,035	34	30	25	103	1	12	
35	8/28 ~ 9/3	185	1,072	27	77	33	148	6	16	1
36	9/4 ~ 9/10	296	1,177	14	92	32	150	1	23	
37	9/11 ~ 9/17	736	1,001	22	84	48	151	2	30	
38	9/18 ~ 9/24	858	643	8	81	62	141	4	36	
39	9/25 ~ 10/1	844	508	2	97	82	170	4	44	
40	10/2 ~ 10/8	1,018	289	3	76	97	131	1	34	
41	10/9 ~ 10/15	1,117	236	1	76	70	111		25	
42	10/16 ~ 10/22	2,447	219	1	66	117	91	3	23	
43	10/23 ~ 10/29	3,139	242	2	79	119	155	1	24	
44	10/30 ~ 11/5	1,868	150		80	133	141	1	28	2
45	11/6 ~ 11/12	1,004	103		99	141	137	3	18	
46	11/13 ~ 11/19	1,061	125		116	151	179	1	48	
47	11/20 ~ 11/26	932	142		148	210	198	7	47	
48	11/27 ~ 12/3	1,024	189	3	157	201	227	9	26	1
49	12/4 ~ 12/10	1,322	279	1	112	277	267	8	43	
50	12/11 ~ 12/17	1,095	347	1	151	255	344	3	48	
51	12/18 ~ 12/24	992	354		147	237	331	7	47	2
52	12/25 ~ 12/31	964	340		158	194	364	6	36	
合計		30,850	17,392	2,651	2,375	3,415	13,237	146	813	11
男性		16,389	8,628	1,421	1,258	1,805	7,077	87	475	4
女性		14,461	8,764	1,230	1,117	1,610	6,160	59	338	7

*1:鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *2:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年)
*3:2023年5月8日から対象疾患に追加 *4:感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

(人)

			眼科定点		基幹定点					定点数				
突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎 ^{*4}	細菌性髄膜炎 ^{*5}	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	COVID-19	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
12	3	3		2						61	37	8	6	
12	1			3						61	37	8	6	
17		1		2				1		61	37	8	6	
15		1		1				1		61	37	8	6	
13		2		4						61	37	8	6	
17	1	1		5						61	37	8	6	
19		2		6						61	37	8	6	
11	1			1						61	37	8	6	
9	1	2		3						61	37	8	6	
20		3		4						61	37	8	6	
21		1		3						61	37	8	6	
14	1	1								61	37	8	6	
19	1	4		2						60	36	8	6	
10	1			8						61	37	8	6	
16	3			6						61	37	8	6	
18	3			7						61	37	8	6	
22	1	1		3						61	37	8	6	
22		1		3						61	37	8	6	
20	5	2		14						61	37	8	6	
20	27	2		6						61	37	8	6	
15	81			12						61	37	8	6	
25	138	1		6						61	37	8	6	
11	227	2		5	1					61	37	8	6	
13	296	1		9						61	37	8	6	
10	287	11		7	1					61	37	8	6	
13	245	6		5						61	37	8	6	
18	237	3		7						61	37	8	6	
23	255	1		18						61	37	8	6	
20	123	7		14						61	37	8	6	
15	93	2		11	1					61	37	8	6	
11	45	4		13			1			61	37	8	6	
19	42	2		8						61	37	8	6	
10	22	3		8						61	37	8	6	
20	25	2		27						61	37	8	6	
20	33			13						61	37	8	6	
13	30			13						61	37	8	6	
10	24			17			1			61	37	8	6	
6	24			13						61	37	8	6	
13	27	4		17						61	37	8	6	
13	32	1	1	19						61	37	8	6	
12	18	1		18						60	36	8	6	
12	15	2		21			1	1		61	37	8	6	
12	18	2		17						61	37	8	6	
10	8	2		12				3		61	37	8	6	
12	6	3		23						61	37	8	6	
12	10	4	1	12						61	37	8	6	
11	9			13						61	37	8	6	
13	4			9						61	37	8	6	
5	3			15						61	37	8	6	
8	5	2		20		1	1			61	37	8	6	
9	12	2		27						61	37	8	6	
15	7			21						60	37	8	6	
756	2,450	95	2	533	3	1	4	6						
386	1,287	58	1	266	2	1	1	3						
370	1,163	37	1	267	1		3	3						

一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)
 *5:インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表2-2-2 週報対象疾患－週別定点当たり患者報告数

週	期間	インフルエンザ／ COVID-19定点		小児科定点						
		イン フル エン ザ ^{*1}	感 染 症 ^{*2,3} 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑
1	1/2 ~ 1/8	7.39		0.16	0.03	0.65	4.35	0.03	0.27	
2	1/9 ~ 1/15	10.25		0.19	0.19	0.35	7.86	0.05	0.22	
3	1/16 ~ 1/22	8.92		0.16	0.05	0.51	10.89		0.11	
4	1/23 ~ 1/29	8.92		0.16	0.05	0.35	9.46	0.11	0.03	
5	1/30 ~ 2/5	9.43		0.49	0.03	0.32	11.95	0.03	0.03	
6	2/6 ~ 2/12	6.03		0.57	0.08	0.59	10.46	0.03		
7	2/13 ~ 2/19	6.34		0.70	0.05	0.73	17.54	0.03		
8	2/20 ~ 2/26	7.49		0.38	0.11	0.46	13.86	0.05	0.03	0.03
9	2/27 ~ 3/5	7.05		0.46	0.19	0.16	13.78	0.03		
10	3/6 ~ 3/12	9.26		0.24	0.14	0.76	12.00	0.11		
11	3/13 ~ 3/19	6.82		0.27	0.11	0.43	10.38		0.03	
12	3/20 ~ 3/26	4.28		0.19	0.19	0.38	8.49	0.11	0.03	0.03
13	3/27 ~ 4/2	3.90		0.67	0.36	0.39	5.78	0.03	0.03	
14	4/3 ~ 4/9	2.72		0.24	0.11	0.24	5.68		0.05	
15	4/10 ~ 4/16	2.13		0.62	0.11	0.35	6.97	0.03	0.08	
16	4/17 ~ 4/23	1.26		1.11	0.35	1.43	7.62	0.05	0.03	
17	4/24 ~ 4/30	0.85		1.05	0.32	1.97	6.54	0.22		
18	5/1 ~ 5/7	1.03		1.65	0.24	0.41	4.08	0.03	0.03	
19	5/8 ~ 5/14	1.89	1.44	1.35	0.65	1.08	7.43	0.08	0.03	
20	5/15 ~ 5/21	3.66	2.61	1.35	0.76	0.65	8.84	0.05	0.05	
21	5/22 ~ 5/28	3.67	2.41	2.19	0.78	0.86	7.92	0.19	0.16	
22	5/29 ~ 6/4	3.64	2.95	3.00	0.68	0.95	9.27		0.24	
23	6/5 ~ 6/11	3.59	3.72	4.81	0.59	0.78	8.22	0.14	0.19	
24	6/12 ~ 6/18	3.80	3.89	6.35	0.68	1.30	7.14	0.11	0.24	
25	6/19 ~ 6/25	2.48	4.13	5.59	0.76	0.89	6.95	0.05	0.35	
26	6/26 ~ 7/2	2.34	6.11	6.51	0.54	1.43	6.08	0.14	0.22	0.03
27	7/3 ~ 7/9	4.33	11.00	5.92	0.49	1.03	5.68	0.03	0.27	
28	7/10 ~ 7/16	5.36	15.70	6.38	0.35	1.05	5.86	0.05	0.51	0.03
29	7/17 ~ 7/23	5.59	20.00	5.62	0.43	0.89	4.54	0.03	0.59	
30	7/24 ~ 7/30	6.67	21.11	4.27	0.41	0.86	5.41	0.16	0.38	
31	7/31 ~ 8/6	5.20	19.67	2.62	0.65	0.73	4.32	0.08	0.43	0.03
32	8/7 ~ 8/13	2.93	15.15	1.65	0.78	1.49	4.00	0.03	0.43	
33	8/14 ~ 8/20	2.25	16.67	1.51	0.89	0.68	2.92	0.05	0.49	
34	8/21 ~ 8/27	1.67	16.97	0.92	0.81	0.68	2.78	0.03	0.32	
35	8/28 ~ 9/3	3.03	17.57	0.73	2.08	0.89	4.00	0.16	0.43	0.03
36	9/4 ~ 9/10	4.85	19.30	0.38	2.49	0.86	4.05	0.03	0.62	
37	9/11 ~ 9/17	12.07	16.41	0.59	2.27	1.30	4.08	0.05	0.81	
38	9/18 ~ 9/24	14.07	10.54	0.22	2.19	1.68	3.81	0.11	0.97	
39	9/25 ~ 10/1	13.84	8.33	0.05	2.62	2.22	4.59	0.11	1.19	
40	10/2 ~ 10/8	16.69	4.74	0.08	2.05	2.62	3.54	0.03	0.92	
41	10/9 ~ 10/15	18.62	3.93	0.03	2.11	1.94	3.08		0.69	
42	10/16 ~ 10/22	40.11	3.59	0.03	1.78	3.16	2.46	0.08	0.62	
43	10/23 ~ 10/29	51.46	3.97	0.05	2.14	3.22	4.19	0.03	0.65	
44	10/30 ~ 11/5	30.62	2.46		2.16	3.59	3.81	0.03	0.76	0.05
45	11/6 ~ 11/12	16.46	1.69		2.68	3.81	3.70	0.08	0.49	
46	11/13 ~ 11/19	17.39	2.05		3.14	4.08	4.84	0.03	1.30	
47	11/20 ~ 11/26	15.28	2.33		4.00	5.68	5.35	0.19	1.27	
48	11/27 ~ 12/3	16.79	3.10	0.08	4.24	5.43	6.14	0.24	0.70	0.03
49	12/4 ~ 12/10	21.67	4.57	0.03	3.03	7.49	7.22	0.22	1.16	
50	12/11 ~ 12/17	17.95	5.69	0.03	4.08	6.89	9.30	0.08	1.30	
51	12/18 ~ 12/24	16.26	5.80		3.97	6.41	8.95	0.19	1.27	0.05
52	12/25 ~ 12/31	16.07	5.67		4.27	5.24	9.84	0.16	0.97	
合計		506.37	285.27	71.67	64.26	92.36	358.00	3.95	21.99	0.30
男性		269.01	141.52	38.42	34.04	48.82	191.40	2.35	12.85	0.11
女性		237.36	143.76	33.25	30.22	43.54	166.59	1.60	9.14	0.19

*1:鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *2:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年

*3:2023年5月8日から対象疾患に追加 *4:感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

(人/定点当たり)

			眼科定点		基幹定点					定点数				
突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎 ^{*4}	細菌性髄膜炎 ^{*5}	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	C O V I D - 19	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
0.32	0.08	0.08		0.25						61	37	8	6	
0.32	0.03			0.38						61	37	8	6	
0.46		0.03		0.25				0.17		61	37	8	6	
0.41		0.03		0.13				0.17		61	37	8	6	
0.35		0.05		0.50						61	37	8	6	
0.46	0.03	0.03		0.63						61	37	8	6	
0.51		0.05		0.75						61	37	8	6	
0.30	0.03			0.13						61	37	8	6	
0.24	0.03	0.05		0.38						61	37	8	6	
0.54		0.08		0.50						61	37	8	6	
0.57		0.03		0.38						61	37	8	6	
0.38	0.03	0.03								61	37	8	6	
0.53	0.03	0.11		0.25						60	36	8	6	
0.27	0.03			1.00						61	37	8	6	
0.43	0.08			0.75						61	37	8	6	
0.49	0.08			0.88						61	37	8	6	
0.59	0.03	0.03		0.38						61	37	8	6	
0.59		0.03		0.38						61	37	8	6	
0.54	0.14	0.05		1.75						61	37	8	6	
0.54	0.73	0.05		0.75						61	37	8	6	
0.41	2.19			1.50						61	37	8	6	
0.68	3.73	0.03		0.75	0.17					61	37	8	6	
0.30	6.14	0.05		0.63	0.17					61	37	8	6	
0.35	8.00	0.03		1.13						61	37	8	6	
0.27	7.76	0.30		0.88	0.17					61	37	8	6	
0.35	6.62	0.16		0.63						61	37	8	6	
0.49	6.41	0.08		0.88						61	37	8	6	
0.62	6.89	0.03		2.25						61	37	8	6	
0.54	3.32	0.19		1.75						61	37	8	6	
0.41	2.51	0.05		1.38	0.17					61	37	8	6	
0.30	1.22	0.11		1.63			0.17			61	37	8	6	
0.51	1.14	0.05		1.00						61	37	8	6	
0.27	0.59	0.08		1.00						61	37	8	6	
0.54	0.68	0.05		3.38						61	37	8	6	
0.54	0.89			1.63						61	37	8	6	
0.35	0.81			1.63						61	37	8	6	
0.27	0.65			2.13			0.17			61	37	8	6	
0.16	0.65			1.63						61	37	8	6	
0.35	0.73	0.11		2.13						61	37	8	6	
0.35	0.86	0.03	0.13	2.38						61	37	8	6	
0.33	0.50	0.03		2.25						60	36	8	6	
0.32	0.41	0.05		2.63			0.17	0.17		61	37	8	6	
0.32	0.49	0.05		2.13						61	37	8	6	
0.27	0.22	0.05		1.50				0.50		61	37	8	6	
0.32	0.16	0.08		2.88						61	37	8	6	
0.32	0.27	0.11	0.13	1.50						61	37	8	6	
0.30	0.24			1.63						61	37	8	6	
0.35	0.11			1.13						61	37	8	6	
0.14	0.08			1.88						61	37	8	6	
0.22	0.14	0.05		2.50		0.17	0.17			61	37	8	6	
0.24	0.32	0.05		3.38						61	37	8	6	
0.41	0.19			2.63						60	37	8	6	
20.46	66.23	2.57	0.25	66.63	0.50	0.17	0.67	1.00						
10.44	34.79	1.57	0.13	33.25	0.33	0.17	0.17	0.50						
10.01	31.44	1.00	0.13	33.38	0.17		0.50	0.50						

一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)

*5:インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表2-2-3 週報対象疾患一年齢区分別患者報告数

年齢区分	インフルエンザ/ COVID-19定点		小児科定点										眼科定点		基礎定点						
	インフルエンザ イ*1	感染*2,3 症 新型コロナウイルス	R S ウイルス感染症	咽 頭 結 膜 熱	咽 A 頭 群 炎	咽 頭 結 膜 熱	咽 A 頭 群 炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル ペ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ロ タ ウ イ ル ス 胃 腸 炎 *4	細菌性髄膜炎 *5	無 菌 性 髄 膜炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ シ ア 肺 炎 (オ ウ ム 病 を 除 く)
6ヶ月未満	82	156	235	11	3	64	3	5	8	15	8	15			2			1			
12ヶ月未満	236	340	336	87	14	534	10	46	2	183	2	158			4						
1歳	845	498	769	473	106	1,762	12	282	2	439	2	557	4		12		1		2		
2歳	1,006	389	501	353	131	1,599	5	148	2	79	2	500	4		15		1				
3歳	1,361	347	372	395	256	1,510	6	118	24	24	24	423	9		19						
4歳	1,695	408	209	369	355	1,513	5	83	2	15	2	330	14		19		1		1		
5歳	2,162	469	117	293	494	1,379	18	71	1	5	1	233	15		25						
6歳	2,260	474	45	188	416	965	15	29	2	2	2	108	11		15						
7歳	2,108	554	22	74	377	728	14	11				52	11		13				1		
8歳	2,075	579	14	43	342	552	16	5				29	8		5				1		
9歳	1,990	564	8	31	225	447	13	6	1	1	1	16	3		8						
10~14歳	7,454	2,729	15	44	564	1,235	26	8	1	1	1	29	15		12						
15~19歳	2,192	1,379	1	1	36	209	1	1					1		14						
20~29歳*6	1,068	1,144	7	13	96	740	2	1						1	54						
30~39歳	1,528	1,416													98						
40~49歳	1,324	1,739													72						
50~59歳	636	1,504													52						
60~69歳*7	445	1,085												1	39					1	
70歳以上	229	915													55						
80歳以上	154	703																			
合計	30,850	17,392	2,651	2,375	3,415	13,237	146	813	11	756	11	2,450	95		533		3	1	4	6	

*1:鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *2:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。 *3:2023年5月8日から対象疾患に追加 *4:感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) *5:インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。 *6:小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20~29歳"に計上。 *7:眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70~79歳"に計上。

表2-2-4 月報対象疾患一月別患者報告数

(人)

月	STD定点 (定点数:11)				淋菌感染症				メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				薬剤耐性緑膿菌感染症		定点数	
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女		
1	17	6	11	9	9		6	6	2	12	10	2	11	3	8				11	6
2	18	6	12	9	8	1	8	6	2	8	5	3	13	5	8				11	6
3	31	12	19	8	6	2	12	9	3	6	2	4	7	3	4				11	6
4	28	13	15	10	9	1	7	6	1	4	4		6	4	2				11	6
5	37	13	24	16	15	1	10	9	1	10	4	6	8	4	4				11	6
6	28	7	21	12	10	2	11	11		9	9		11	8	3				11	6
7	25	11	14	7	7		9	8	1	4	2	2	13	6	7				11	6
8	18	5	13	11	8	3	8	7	1	7	5	2	7	5	2				11	6
9	27	7	20	10	9	1	4	4		8	5	3	7	2	5				11	6
10	29	13	16	12	9	3	6	6		11	7	4	7	4	3				11	6
11	23	7	16	12	9	3	8	8		14	11	3	8	5	3				11	6
12	23	7	16	9	7	2	5	4	1	9	5	4	10	6	4				11	6
合計	304	107	197	125	106	19	94	84	10	102	69	33	108	55	53					

表2-2-5 月報対象疾患一月別定点当たり患者報告数

月	(人/定点当たり)																	
	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)						定点数					
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		S	T	D	基幹
合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	
1	1.55	0.55	1.00	0.82	0.82	0.55	0.55	0.18	1.09	0.91	0.18	1.83	0.50	1.33	11	6		
2	1.64	0.55	1.09	0.82	0.73	0.55	0.45	0.27	0.73	0.45	0.27	2.17	0.83	1.33	11	6		
3	2.82	1.09	1.73	0.73	0.55	1.09	0.18	0.27	0.55	0.18	0.36	1.17	0.50	0.67	11	6		
4	2.55	1.18	1.36	0.91	0.82	0.64	0.36	0.09	0.36	0.36		1.00	0.67	0.33	11	6		
5	3.36	1.18	2.18	1.45	1.36	0.91	0.36	0.09	0.91	0.36	0.55	1.33	0.67	0.67	11	6		
6	2.55	0.64	1.91	1.09	0.91	1.00	0.82	0.18	0.82	0.82		1.83	1.33	0.50	11	6		
7	2.27	1.00	1.27	0.64	0.64	0.82	0.18	0.09	0.36	0.18	0.18	2.17	1.00	1.17	11	6		
8	1.64	0.45	1.18	1.00	0.73	0.64	0.45	0.09	0.64	0.45	0.18	1.17	0.83	0.33	11	6		
9	2.45	0.64	1.82	0.91	0.82	0.36	0.73	0.27	0.73	0.45	0.27	1.17	0.33	0.83	11	6		
10	2.64	1.18	1.45	1.09	0.82	0.55	1.00	0.27	1.00	0.64	0.36	1.17	0.67	0.50	11	6		
11	2.09	0.64	1.45	1.09	0.82	0.73	1.27	0.27	1.27	1.00	0.27	1.33	0.83	0.50	11	6		
12	2.09	0.64	1.45	0.82	0.64	0.45	0.82	0.18	0.82	0.45	0.36	1.67	1.00	0.67	11	6		
合計	27.64	9.73	17.91	11.36	9.64	8.55	9.27	6.27	9.27	6.27	3.00	18.00	9.17	8.83				

表2-2-6 月報対象疾患一年齢区分別患者報告数

年齢区分	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)								
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
0歳															
1~4歳															
5~9歳															
10~14歳	4		4												
15~19歳	32	3	29	2	1	1	13	2	11	1					
20~24歳	85	21	64	10	5	5	19	13	6	3					
25~29歳	59	14	45	6	2	4	19	12	7	4	1	3			
30~34歳	38	15	23	10	10		15	11	4						
35~39歳	28	13	15	3	1	2	12	10	2	3	2	1			
40~44歳	20	12	8	7	5	2	7	5	2	2	1	1			
45~49歳	18	14	4	5	5		6	6		2	1	1			
50~54歳	6	4	2	29	27	2	4	4		5	2	3			
55~59歳	10	7	3	17	17		4	4		2	1	1			
60~64歳	3	3		4	3	1	1		1	5	4	1			
65~69歳	1	1		4	4		2	2		3	1	2			
70歳以上				28	26	2				73	40	33			
合計	304	107	197	125	106	19	94	84	10	33	69	102	55	53	

(人)

(2) インフルエンザ/COVID-19 定点対象疾患(週報)

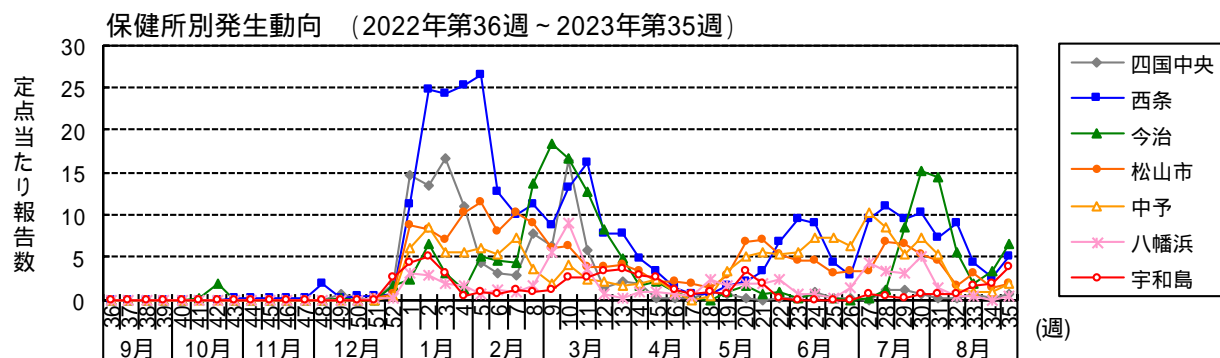
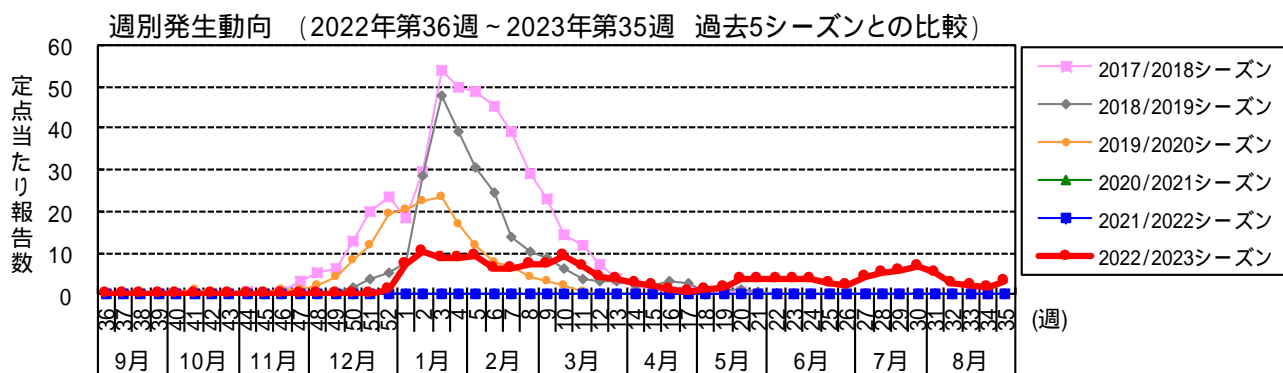
インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)

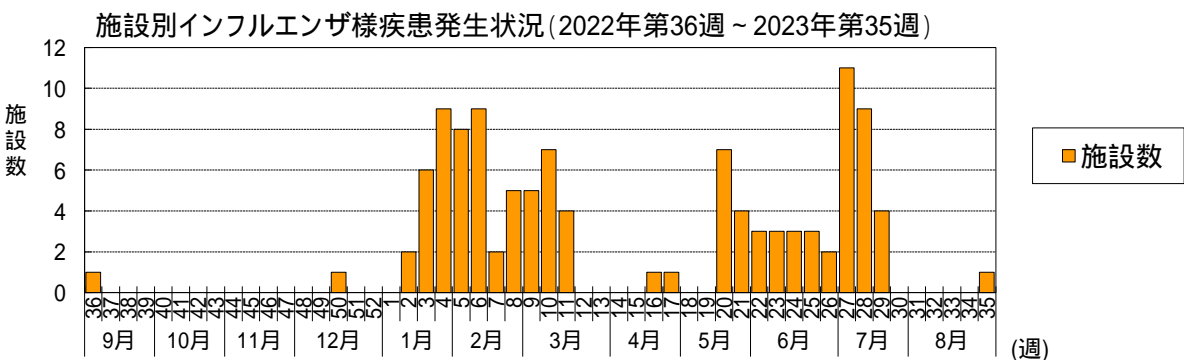
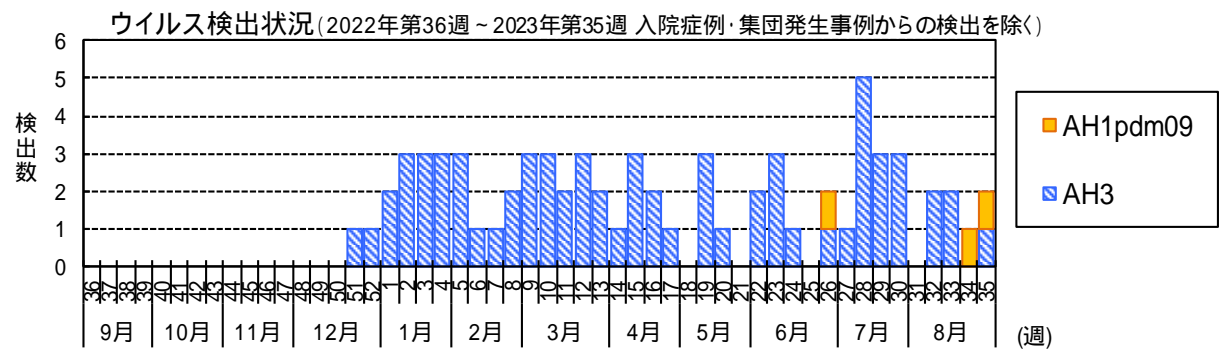
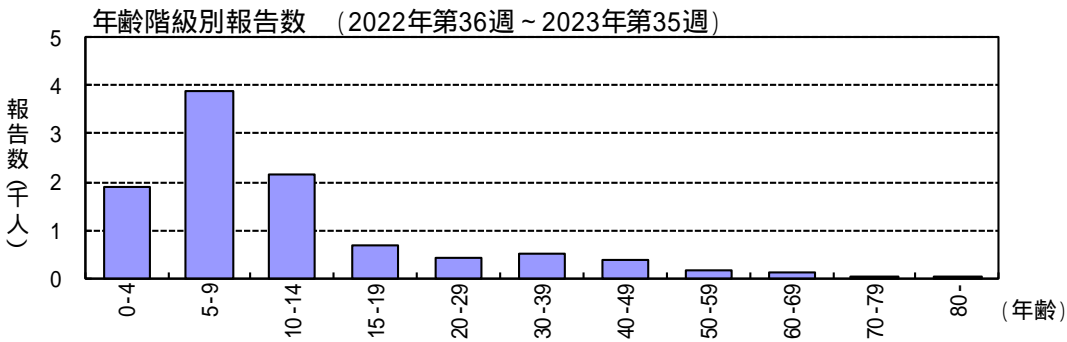
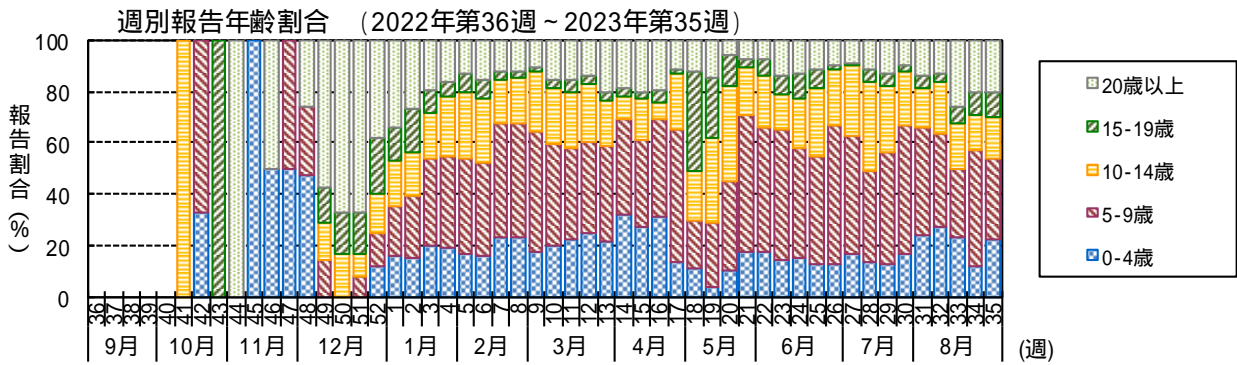
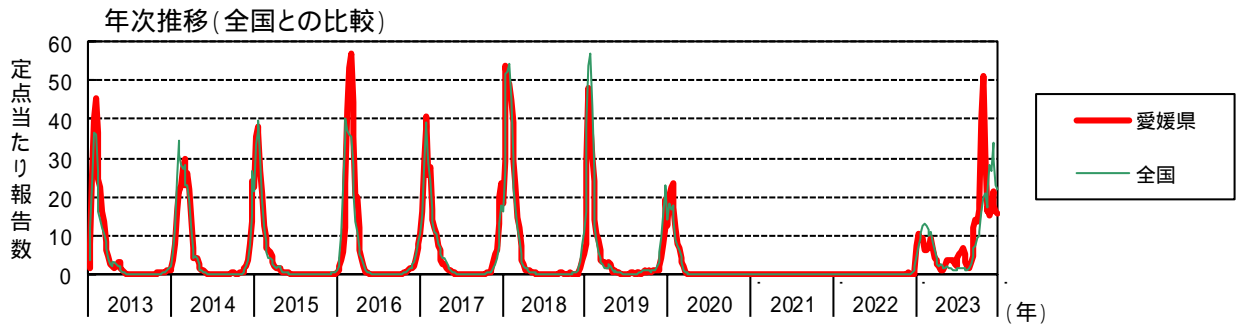
2022/2023シーズン(2022年第36週~2023年第35週)の患者報告数は10,267人(定点当たり168.38人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数25人、定点当たり0.41人/シーズン)の410.7倍に増加した。本疾患は2020/2021シーズン以降、シーズンを通じてごく少数の発生に留まっていたが、本シーズンは第41週(10月中旬)から散発し、第52週(12月下旬)に定点当たり1.07人/週と3シーズンぶりに流行開始の目安である定点当たり1.0人/週を超えた。第2週(1月中旬)に注意報レベル(定点当たり10人/週)を超えたものの、翌週には下回り、明確なピークを示すことなく低い水準で推移した。その後、第17週(4月下旬)に定点当たり1.0人/週を下回ったが、第18週には再度増加に転じシーズン終了まで流行が収束することなく2023/2024シーズンに移行した。

ほぼ同時期にすべての保健所で報告数が増加し始め、四国中央保健所、今治保健所、宇和島保健所では第52週に、それ以外の保健所では第1週に定点当たり1.0人/週を上回った。西条保健所、今治保健所、松山市保健所、中予保健所では1~4月と5~8月に流行がみられたのに対し、四国中央保健所は1~4月は流行がみられたものの5~8月は散発的な発生であった。八幡浜保健所、宇和島保健所は1~4月、5~8月ともに他の保健所に比べて小さな流行規模で、地域別の定点当たり報告数は、西条保健所323.80人/シーズン、松山市保健所181.07人/シーズン、今治保健所173.13人/シーズン、中予保健所154.14人/シーズン、四国中央保健所120.60人/シーズン、八幡浜保健所68.71人/シーズン、宇和島保健所58.14人/シーズンの順であった。年齢別の患者報告数は、5~9歳が3,890人(37.9%)、10~14歳2,151人(21.0%)、0~4歳1,910人(18.6%)の順で、例年と同じく小児を中心に流行がみられたが、新型コロナウイルス感染症流行前5シーズン(2015/2016~2019/2020シーズン)に比べ5~9歳、10~14歳、15~19歳が多くを占めた。

検出されたウイルス型別は、AH3が68例、AH1pdm09が3例であった。

学校等におけるインフルエンザ様疾患の発生報告は111施設/シーズンあり、学校(施設)の種別は、保育所・幼稚園14件、小学校82件、中学校8件、高等学校7件で、措置の内訳は、休校・休園1件、学年閉鎖32件、学級閉鎖78件であった。





インフルエンザ [2022/2023シーズン(2022年第36週～2023年第35週)]

月 週	患者報告数										定点当たり報告数											
	愛媛県					全国					2022/2023シーズン				保健所別							
	2022 / 2023	2021 / 2022	2020 / 2021	2022 / 2023	2021 / 2022	2020 / 2021	2022 / 2023	2021 / 2022	2020 / 2021	2022 / 2023	2021 / 2022	2020 / 2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	愛媛県	全国	
36				133	111	3																0.03
37				80	3	1																0.02
38				52	5	4																0.02
39				71	8	7																0.01
40				97	10	17																0.01
41				111	15	20																0.02
42				159	20	29																0.02
43	1			274	23	32																0.03
44	2			555	26	23																0.06
45	1			547	20	22																0.08
46	1			638	25	44																0.11
47	2			1,246	25	49																0.13
48	19			2,618	25	63																0.25
49	3			6,136	28	58																0.53
50	1			10,422	49	71																1.24
51	5				37	69																2.14
52	6																					2.14
53	10																					2.14
1	73	113	20	23,553	50	68																4.78
2	67	248	53	36,592	54	56																7.39
3	83	243	25	47,514	71	58																9.59
4	55	252	10	51,412	60	58																10.39
5	22	264	40	62,677	75	91																12.66
6	16	128	37	64,102	37	48																12.95
7	15	100	34	62,280	26	39																12.58
8	39	113	109	55,928	53	46																11.31
9	32	89	146	50,368	38	26																10.18
10	82	133	134	54,834	18	45																11.10
11	29	161	102	41,522	17	24																8.44
12	7	79	67	31,791	14	26																6.44
13	11	78	39	20,033	15	24																4.05
14	10	48	13	13,639	16	18																2.77
15	1	33	17	10,593	6	12																2.15
16	1	14	8	12,304	18	17																2.50
17	1	8	2	10,951	8	14																2.23
18	5	6	25	8,317	11	6																1.70
19	3	16	8	6,647	6	9																1.35
20	1	21	13	9,317	4	8																1.89
21	35	5	119	7,932	8	4																1.61
22	1	68	8	7,418	2	6																1.50
23	1	94	1	6,636	7	4																1.35
24	5	90	5	6,287	6	3																1.27
25	1	44	1	5,855	6	3																1.19
26	1	29	53	6,129	12	8																1.24
27	96	2	59	8,116	48	2																1.64
28	6	110	10	8,548	175	1																1.74
29	6	95	69	7,723	187	2																1.56
30	4	102	122	8,073	145	5																1.63
31	1	73	115	7,099	160	2																1.44
32	1	90	44	5,327	113	2																1.09
33	3	43	15	4,938	138	3																1.02
34	1	26	28	6,872	138	5																1.40
35	4	52	52	12,651	135	4																2.56
合計	603	3,238	1,385	807,640	2,197	1,335																163.50
																						0.43

(参考)インフルエンザ【2023年第1週～2023年第52週】

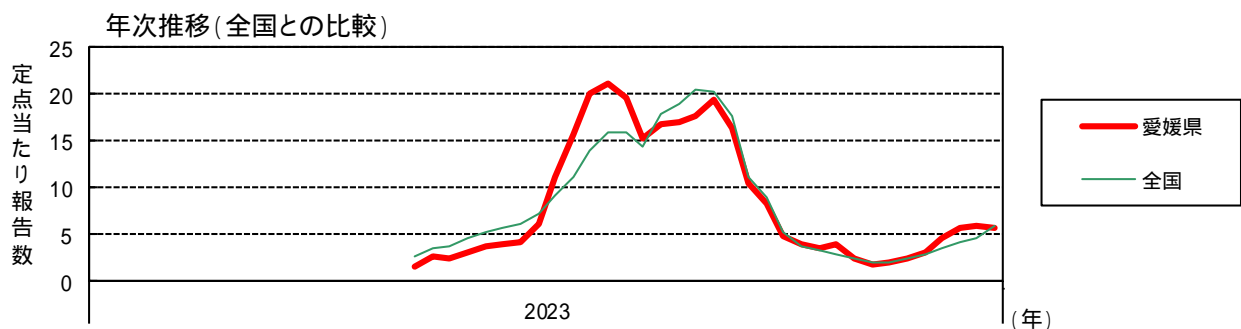
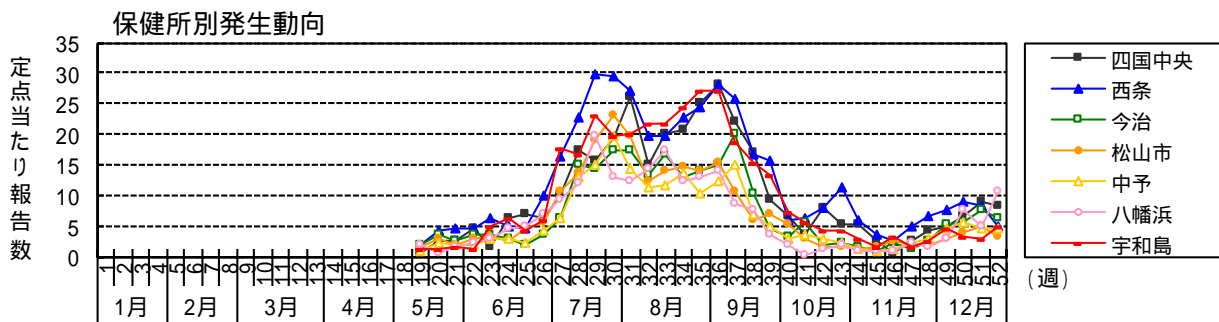
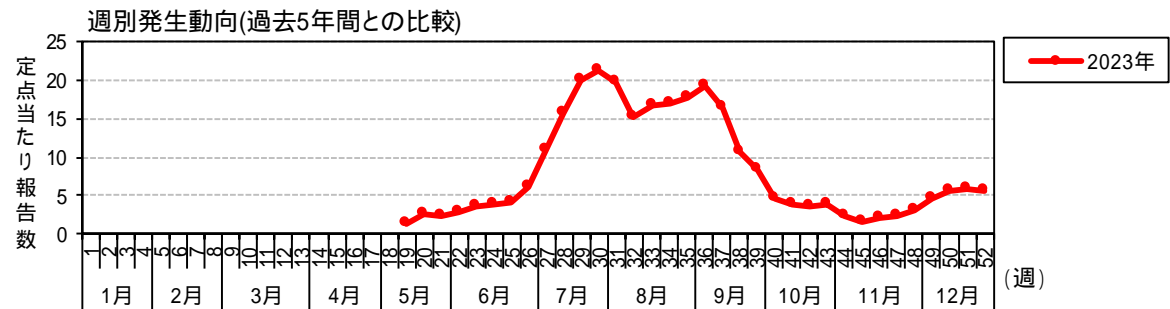
月週	患者報告数											定点当たり報告数													
	2023年 保健所別						愛媛県					全国													
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022
1	73	113	20	149	43	22	31	451	1	23,553	50	68													
2	6	16	128	37	136	38	9	368	1	64,102	37	48													
3	83	243	25	119	39	13	22	544	1	47,514	71	58													
4	55	252	10	174	39	11	3	544	1	51,412	60	58													
5	22	264	40	194	43	5	7	575		62,677	75	91													
6	16	128	37	136	38	9	4	368	1	64,102	37	48													
7	15	100	34	173	51	6	8	387	2	62,280	26	39													
8	39	113	109	153	25	11	7	457	1	55,928	53	46													
9	32	89	146	102	13	39	9	430	1	50,368	38	26													
10	82	133	134	106	28	64	18	565	2	54,834	18	45													
11	29	161	102	64	16	26	18	416	1	41,522	17	24													
12	7	79	67	65	15	5	23	261	2	31,791	14	26													
13	11	78	39	66	12	2	26	234	1	20,033	15	24													
14	10	48	13	56	13	6	20	166	1	13,639	16	18													
15	1	33	17	38	16	7	18	130		10,593	6	12													
16	1	14	8	35	6	4	9	77	1	12,304	18	17													
17	1	8	2	3	5	5	2	52	1	10,951	8	14													
18	5	6	25	3	17	7	63	6		8,317	11	6													
19	3	16	8	48	23	12	5	115		6,647	6	9													
20	1	21	13	114	36	14	24	223	1	9,317	4	8													
21	1	35	5	119	39	13	13	224		7,932	8	4													
22	1	68	8	90	38	16	1	222		7,418	2	6													
23	1	94	1	79	39	5	5	636		6,636	7	4													
24	5	90	5	77	51	4	4	232		6,287	6	3													
25	1	44	1	53	51	1	1	151	1	5,855	6	3													
26	1	29	2	58	45	10	1	143		6,129	12	8													
27	2	96	2	59	71	31	5	264		8,116	48	2													
28	6	110	10	114	60	24	3	327		8,548	175	1													
29	6	95	69	110	38	22	1	341		7,723	187	2													
30	4	102	122	89	51	35	4	407		8,073	145	5													
31	1	73	115	77	37	10	4	317		7,099	160	2													
32	1	90	44	27	9	3	5	179	3	5,327	113	1													
33	3	43	15	55	7	3	11	137		4,938	138	3													
34	1	26	28	26	7	7	14	102		6,872	138	5													
35	4	52	52	33	14	3	27	185		12,651	135	4													
36	20	22	73	70	25	9	77	296		23,148	133	8													
37	41	33	237	99	46	35	245	736		34,861	111	1													
38	48	44	226	138	44	142	216	858		35,028	80	3													
39	31	64	156	227	59	145	162	844		47,369	52	5													
40	80	110	155	345	73	110	145	1,018		49,410	71	8													
41	117	158	100	401	111	123	107	1,113	2	54,766	97	10													
42	620	684	100	674	153	118	98	2,447	15	81,272	111	15													
43	711	1,281	239	537	161	83	127	3,139	1	97,359	159	20													
44	365	507	282	344	156	95	119	1,868	2	104,556	274	23													
45	93	233	126	275	120	75	82	1,004	1	85,826	412	26													
46	77	105	159	362	128	102	128	1,061	2	106,967	555	20													
47	61	70	135	346	131	95	94	932	2	140,022	547	25													
48	54	130	203	336	139	60	102	1,024	19	132,294	638	25													
49	67	243	254	400	138	89	131	1,322	7	166,776	1,246	25													
50	41	195	276	296	75	113	99	1,095	6	148,008	2,618	28													
51	32	167	133	339	99	118	104	992	12	114,254	6,136	49													
52	24	163	121	338	71	116	131	964	65	106,367	10,422	37													
合計	3,070	7,403	4,329	8,583	2,805	2,105	2,555	30,850	150	2,311,261	25,539	1,065													
										614.00	740.30	541.13	210.83	400.71	300.71	365.00	506.37	2.46	0.28	468.53	5.20	0.22			

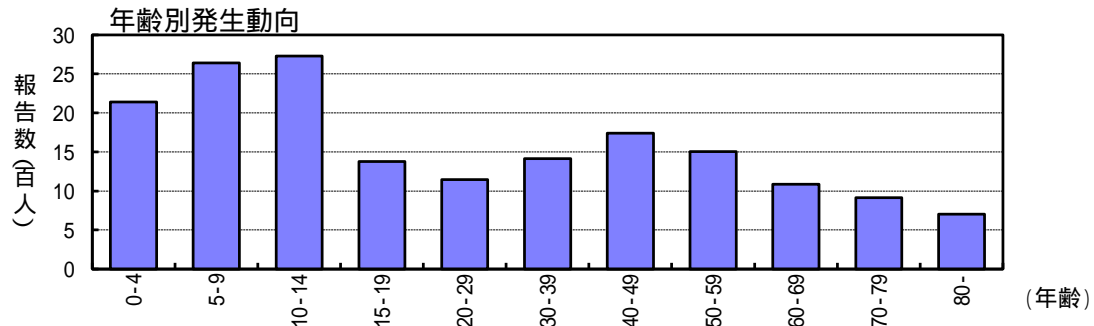
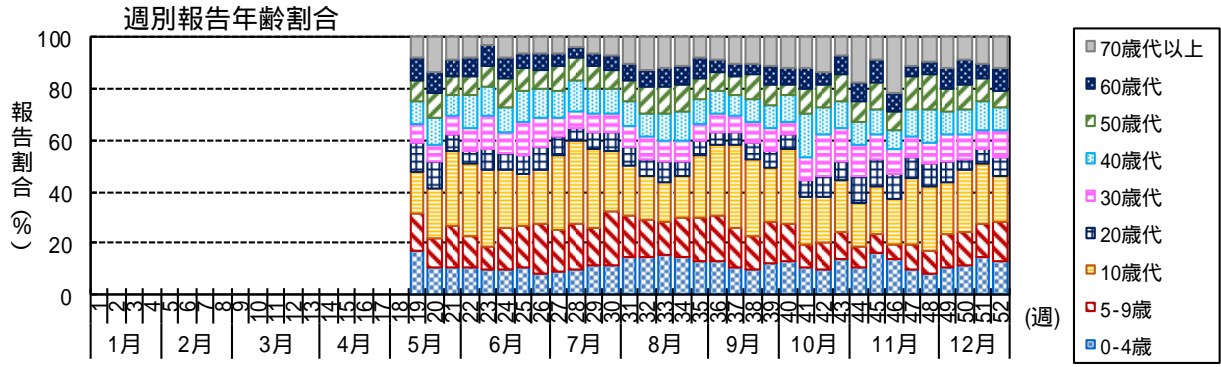
新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(全数把握対象疾患)から五類感染症(定点把握対象疾患)に移行した2023年5月8日(第19週)以降の発生動向を示す。五類感染症(定点把握対象疾患)移行前の発生動向は「1 全数把握対象 (6) 新型コロナウイルス感染症」に掲載している。

2023年(第19週～第52週)の患者報告数は17,392人(定点当たり285.27人/年)であった。第26週(6月下旬)から報告数が増加し、第30週(7月下旬)に定点当たり21.11人/週と1回目のピークを、第36週(9月上旬)に定点当たり19.30人/週と2回目のピークを迎えた。第26週以降すべての保健所で報告数が増加し、四国中央保健所、西条保健所、今治保健所、中予保健所では県全体と同様に二峰性のピークがみられた。地域別の定点当たり報告数は、西条保健所が422.30人/年と最も多く、次いで、四国中央保健所342.80人/年、宇和島保健所340.14人/年、今治保健所244.88人/年、松山市保健所240.91人/年、八幡浜保健所219.00人/年、中予保健所213.29人/年の順であった。乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層で報告があり、年齢別の患者報告数は、10～14歳2,729人(15.7%)、5～9歳2,640人(15.2%)、0～4歳2,138人(12.3%)の順であった。

なお、ゲノム解析の結果は「2023年(令和5年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 - 2 ウイルス検査状況」に掲載している。



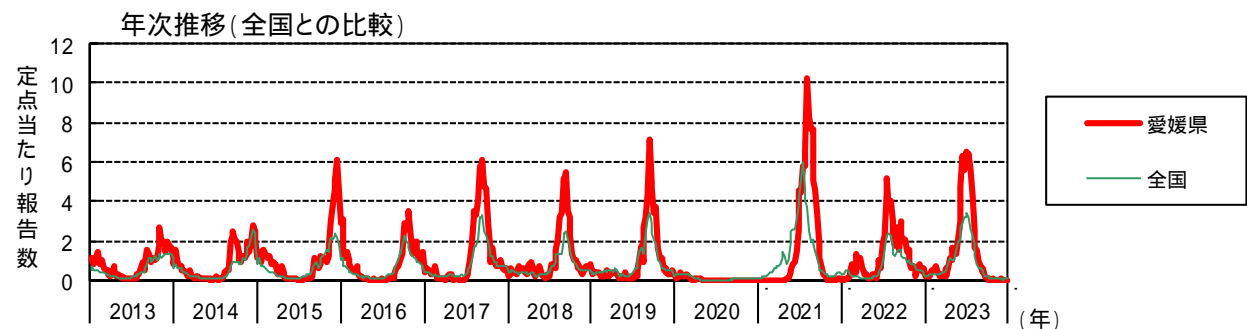
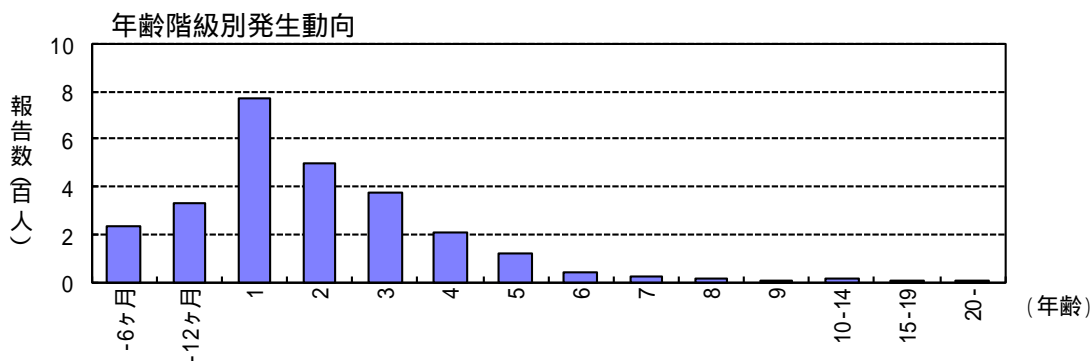
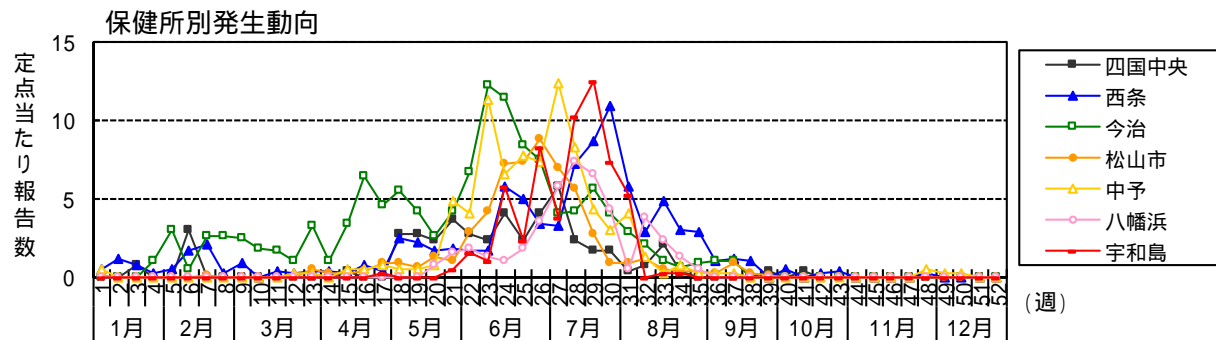
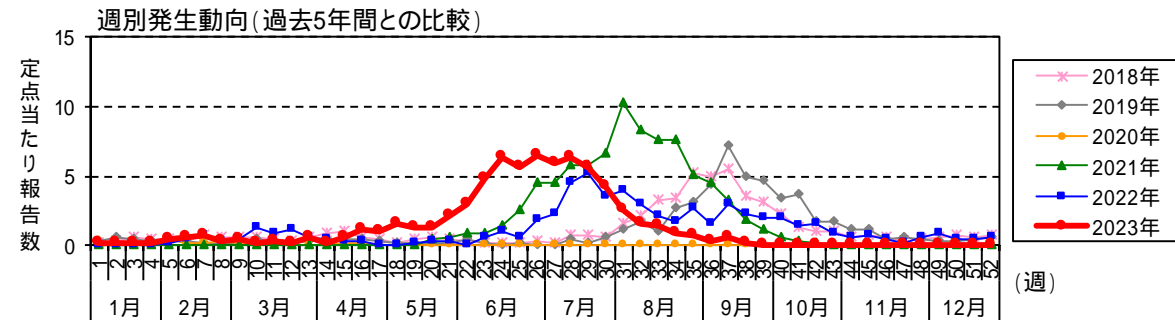


月	週	患者報告数																定点当たり報告数										
		2023年 保健所別							愛媛県							全国			2023年 保健所別				愛媛県			全国		
		2023年 保健所別							愛媛県							全国			2023年 保健所別				愛媛県			全国		
		西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022
1	1	3	17	14	27	6	13	8	88	12,962	0.60	1.70	1.75	1.59	0.86	1.86	1.14	1.44	2.64									
2	2	13	41	28	51	15	3	8	159	17,462	2.60	4.10	3.50	3.00	2.14	0.43	1.14	2.61	3.55									
3	3	13	47	20	32	14	10	11	147	17,942	2.60	4.70	2.50	1.88	2.00	1.43	1.57	2.41	3.65									
4	4	22	45	29	46	14	16	8	180	22,457	4.40	4.50	3.63	2.71	2.00	2.29	1.14	2.95	4.56									
5	5	8	61	27	57	21	20	33	227	25,140	1.60	6.10	3.38	3.35	3.00	2.86	4.71	3.72	5.12									
6	6	31	48	22	42	20	31	43	237	27,673	6.20	4.80	2.75	2.47	2.86	4.43	6.14	3.89	5.61									
7	7	25	34	46	14	79	16	33	30	30,286	6.80	4.60	1.75	4.65	2.29	4.71	4.29	4.13	6.14									
8	8	31	99	27	96	30	48	42	373	35,780	6.20	9.90	3.38	5.65	4.29	6.86	6.00	6.11	7.25									
9	9	49	162	50	178	43	65	124	671	45,141	9.80	16.20	6.25	10.47	6.14	9.29	17.71	11.00	9.15									
10	10	86	226	121	234	91	84	116	958	54,500	17.20	22.60	15.13	13.76	13.00	12.00	16.57	15.70	11.07									
11	11	79	297	114	326	106	137	161	1,220	68,624	15.80	29.70	14.25	19.18	15.14	19.57	23.00	20.00	13.91									
12	12	97	296	139	390	138	90	138	1,288	78,587	19.40	29.60	17.38	22.94	19.71	12.86	19.71	21.11	15.91									
13	13	131	271	138	336	100	85	139	1,200	78,107	26.20	27.10	17.25	19.76	14.29	12.14	19.86	19.67	15.82									
14	14	75	198	107	211	80	101	152	924	70,118	15.00	19.80	13.38	12.41	11.43	14.43	21.71	15.15	14.41									
15	15	100	196	132	235	82	121	151	1,017	86,782	20.00	19.60	16.50	13.82	11.71	17.29	21.57	16.67	17.84									
16	16	103	227	103	251	95	85	171	1,035	93,830	20.60	22.70	12.88	14.76	13.57	12.14	24.43	16.97	19.05									
17	17	125	244	111	239	73	91	189	1,072	101,340	25.00	24.40	13.88	14.06	10.43	13.00	27.00	17.57	20.49									
18	18	140	280	120	263	87	98	189	1,177	99,890	28.00	28.00	15.00	15.47	12.43	14.00	27.00	19.30	20.20									
19	19	110	257	159	178	106	60	131	1,001	87,005	22.00	25.70	19.88	10.47	15.14	8.57	18.71	16.41	17.59									
20	20	85	166	82	101	48	54	107	643	54,377	17.00	16.60	10.25	5.94	6.86	7.71	15.29	10.54	11.00									
21	21	46	157	36	116	34	25	94	508	43,732	9.20	15.70	4.50	6.82	4.86	3.57	13.43	8.33	8.83									
22	22	32	58	25	90	21	13	50	289	25,717	6.40	5.80	3.13	5.29	3.00	1.86	7.14	4.74	5.21									
23	23	18	62	44	46	25	2	39	236	18,595	3.60	6.20	5.50	2.88	3.57	0.29	5.57	3.93	3.76									
24	24	39	80	14	28	19	9	30	219	16,014	7.80	8.00	1.75	1.65	2.71	1.29	4.29	3.59	3.24									
25	25	26	113	18	28	15	13	29	242	14,105	5.20	11.30	2.25	1.65	2.14	1.86	4.14	3.97	2.85									
26	26	26	59	13	19	9	5	19	150	12,067	5.20	5.90	1.63	1.12	1.29	0.71	2.71	2.46	2.44									
27	27	13	36	7	26	5	5	11	103	9,943	2.60	3.60	0.88	1.53	0.71	0.71	1.57	1.69	2.01									
28	28	3	24	17	42	9	7	23	125	9,646	0.60	2.40	2.13	2.47	1.29	1.00	3.29	2.05	1.95									
29	29	12	48	10	29	16	16	11	142	11,480	2.40	4.80	1.25	1.71	2.29	2.29	1.57	2.33	2.32									
30	30	21	65	20	34	21	11	17	189	13,609	4.20	6.50	2.50	2.00	3.00	1.57	2.43	3.10	2.75									
31	31	25	76	43	51	31	21	32	279	17,381	5.00	7.60	5.38	3.00	4.43	3.00	4.57	4.57	3.52									
32	32	32	90	44	67	40	52	22	347	20,533	6.40	9.00	5.50	3.94	5.71	7.43	3.14	5.69	4.15									
33	33	45	81	60	84	31	34	19	354	22,564	9.00	8.10	7.50	4.94	4.86	4.86	2.71	5.80	4.57									
34	34	41	50	51	57	32	75	34	340	28,358	8.20	5.00	6.38	3.56	4.57	10.71	4.86	5.67	5.79									
35	35	1,714	4,223	1,959	4,089	1,493	1,533	2,381	17,392	1,371,797	342.80	422.30	244.88	240.91	213.29	219.00	340.14	285.27	278.35									

(3) 小児科定点対象疾患(週報)

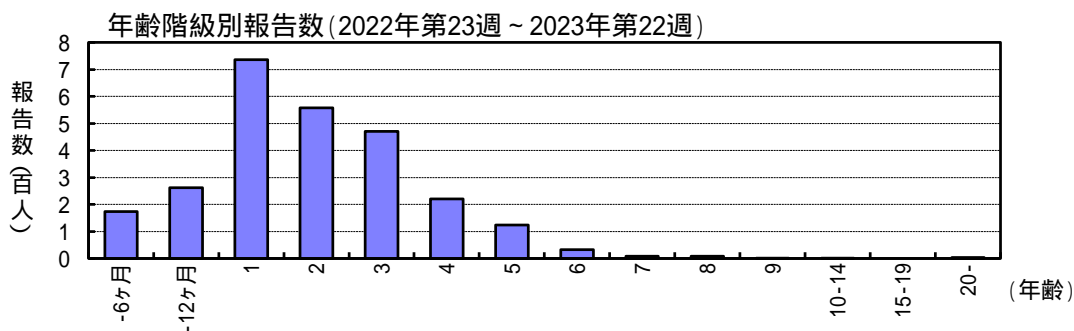
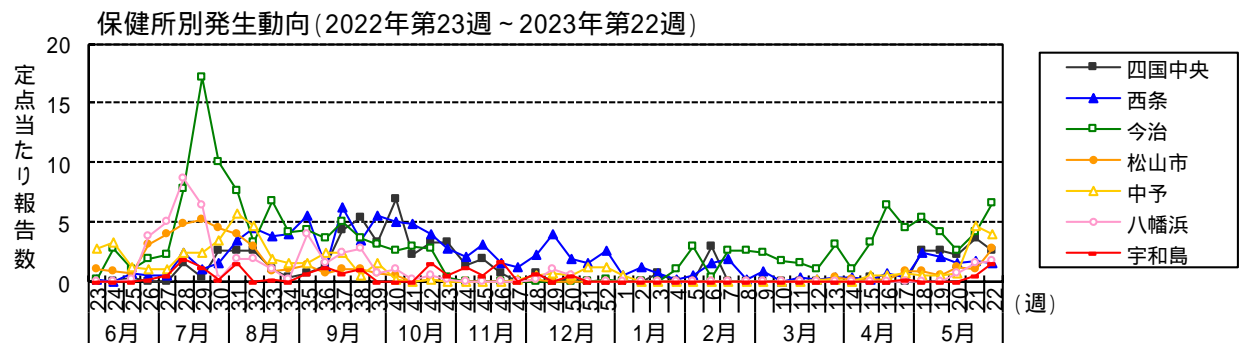
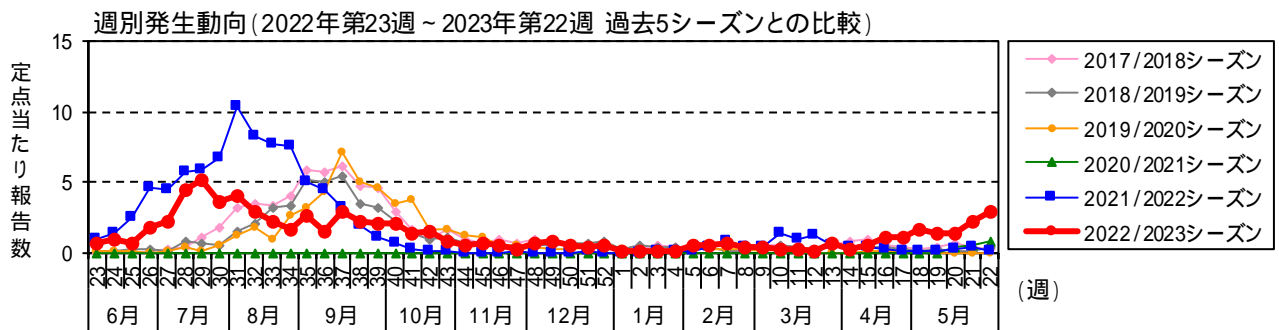
RS ウイルス感染症

2023年の患者報告数は2,651人(定点当たり71.67人/年)で、前年(患者報告数2,288人、定点当たり61.89人/年)の1.2倍に増加したが、過去10年と比較すると同程度の発生規模であった。本年は過去5年で最も早く4月中旬から報告数が増加し始め、5月下旬から6月中旬にかけて急増したものの、明確なピークを示すことなく7月下旬まで高いレベルで推移した。最高値は第26週(6月下旬)定点当たり6.51人/週であった。今治保健所では1月下旬から報告数が多い状況が続き、5月上旬からはその他の保健所でも流行がみられた。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所が124.40人/年と最も多く、次いで西条保健所88.83人/年、中予保健所81.75人/年、宇和島保健所59.00人/年、松山市保健所56.50人/年、四国中央保健所46.00人/年、八幡浜保健所43.50人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳769人(29.0%)、2歳501人(18.9%)、3歳372人(14.0%)の順であった。



(参考)RSウイルス感染症(シーズン)

2022/2023 シーズン(2022年第23週~2023年第22週)の患者報告数は2,604人(定点当たり70.40人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数3,413人、定点当たり92.29人/シーズン)の0.8倍に減少した。6月下旬から報告数が増加し、第29週(7月下旬)に定点当たり5.16人/週とピークを迎えた。その後も12月まで報告が続き、1月には一旦減少したものの2月上旬からは再び報告がみられ始めた。6月下旬から今治保健所、松山市保健所、八幡浜保健所で報告数が増加し、四国中央保健所、中予保健所、西条保健所と地域が入れ替わりながら流行した。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所152.00人/シーズン、西条保健所102.00人/シーズン、四国中央保健所65.67人/シーズン、中予保健所58.50人/シーズン、八幡浜保健所49.00人/シーズン、松山市保健所48.23人/シーズン、宇和島保健所18.75人/シーズンの順であった。年齢別の患者報告数は、1歳が736人(28.3%)、2歳が558人(21.4%)、3歳が470人(18.0%)の順であった。

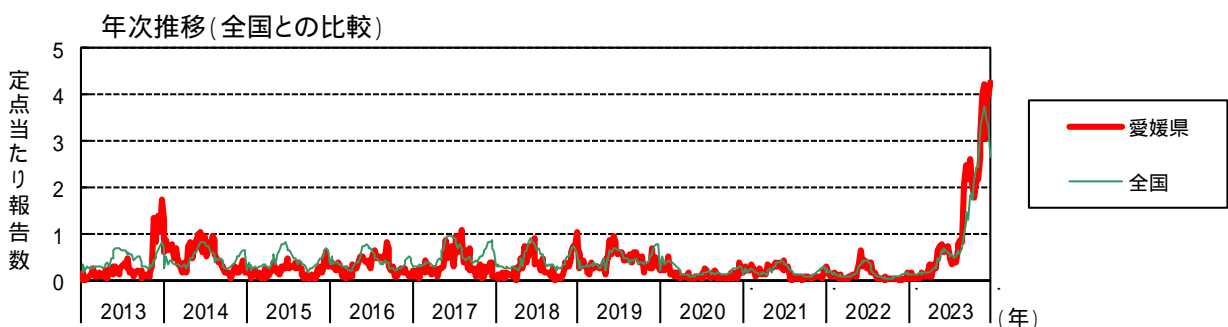
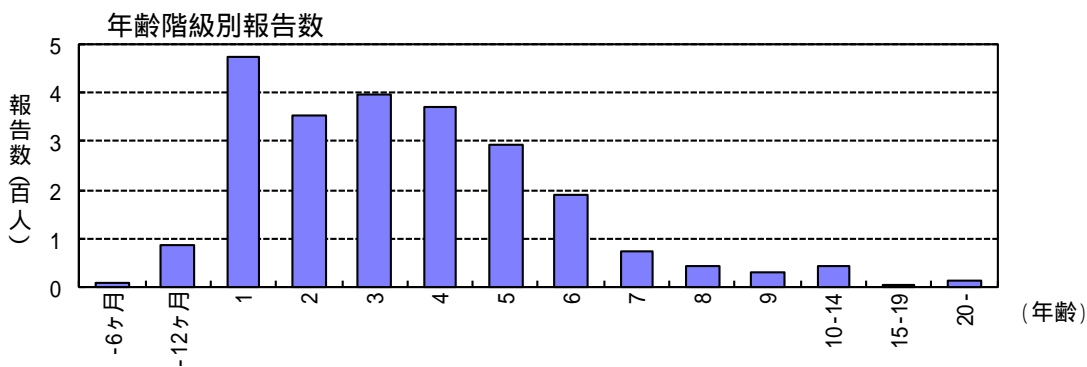
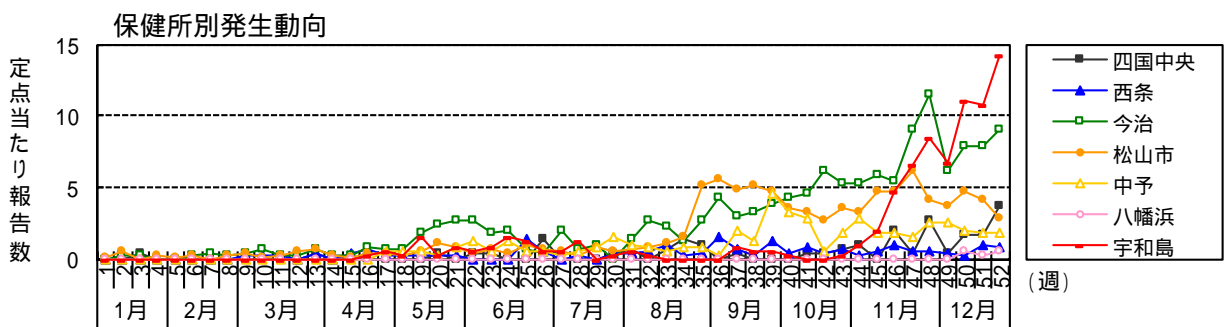
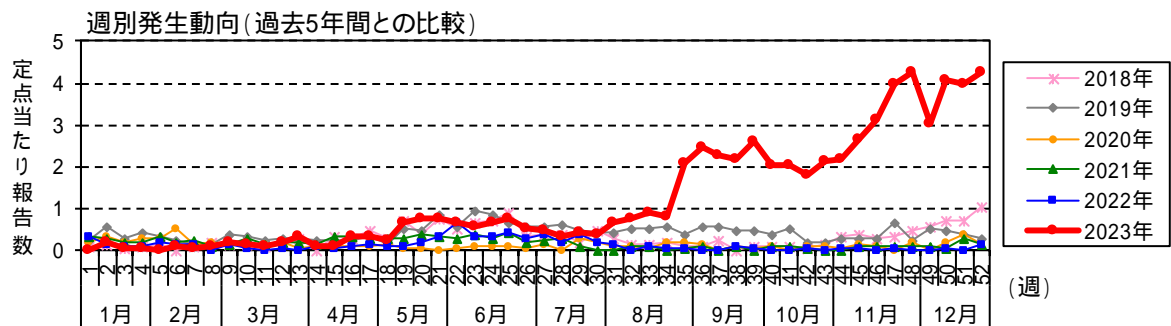


(参考)RSウイルス感染症 [2022/2023シーズン(2022年第23週~2023年第22週)]

月週	患者報告数																	
	2022/2023シーズン 保健所別							愛媛県										
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2022 / 2023	2021 / 2022	2020 / 2021	
23	1	1	1	12	11	11	1	25	35	844	0.17	0.20	1.09	2.75	0.25	0.68	0.95	0.27
24	1	4	5	10	13	10	1	37	52	1,353	0.67	2.80	0.91	3.25	0.25	1.00	1.41	0.43
25	3	10	8	35	4	5	15	68	170	2,985	0.50	2.00	3.18	1.00	3.75	1.84	4.59	0.59
26	3	11	4	44	4	4	20	84	165	4,783	0.50	2.20	4.82	1.00	5.00	2.27	4.46	0.95
27	5	39	10	35	10	10	35	165	213	7,184	1.67	7.80	4.82	2.50	8.75	4.46	5.76	2.30
28	1	6	86	57	10	26	5	191	216	7,248	0.33	17.20	5.18	2.50	6.50	5.16	5.84	2.30
29	8	10	50	49	14	1	1	133	246	7,450	2.67	10.00	4.45	3.50	2.25	3.59	6.65	2.37
30	8	21	38	45	23	8	6	149	381	7,302	2.67	7.60	4.09	5.75	2.00	4.03	10.30	2.33
31	8	27	17	32	19	8	8	111	306	7,626	2.67	3.40	2.91	4.75	2.00	3.00	8.27	1.65
32	3	23	34	9	8	4	1	82	283	4,108	1.00	6.80	0.82	2.00	1.00	2.22	7.65	1.32
33	2	24	21	11	6	1	1	64	282	6,572	0.33	4.20	1.00	1.50	0.25	1.73	7.62	2.01
34	1	33	22	16	6	16	3	98	188	4,583	0.67	4.40	1.45	1.50	4.00	2.65	5.08	1.26
35	2	33	18	8	10	6	5	58	168	5,029	1.33	3.60	0.73	2.50	1.50	1.57	4.54	1.60
36	4	7	18	8	10	10	3	111	121	3,543	4.33	5.00	1.09	2.50	2.50	3.00	3.27	1.60
37	13	38	25	12	10	10	3	111	121	5,047	3.33	3.60	1.09	2.50	2.75	2.27	1.89	1.60
38	16	21	18	12	2	11	4	84	70	3,926	5.33	3.60	0.73	1.50	0.75	2.05	1.14	1.25
39	10	33	16	8	6	3	3	76	42	3,745	3.33	3.20	0.73	1.50	0.75	2.03	0.68	1.19
40	21	30	13	6	1	4	1	75	25	3,540	7.00	2.60	0.55	0.25	1.00	2.03	0.27	1.13
41	7	29	15	15	1	1	1	52	10	3,064	2.33	3.40	0.82	2.00	0.25	1.41	0.27	0.97
42	10	24	14	2	1	2	6	59	6	3,113	3.33	2.80	0.18	0.25	0.50	1.59	0.16	0.43
43	10	17	2	1	1	1	1	33	4	2,945	3.33	0.40	0.09	0.25	0.25	0.89	0.11	0.99
44	4	13	9	1	1	1	1	22	1	2,708	1.33	1.17	0.09	0.25	0.25	0.59	0.03	0.86
45	6	19	7	1	1	1	7	27	1	2,467	2.00	3.17	0.18	0.25	0.50	0.73	0.03	0.78
46	2	9	9	1	1	1	1	18	18	2,345	0.67	1.50	0.09	0.25	0.75	0.49	0.03	0.75
47	7	7	1	5	1	1	1	9	3	1,842	1.17	1.00	0.09	0.25	0.25	0.24	0.08	0.58
48	2	14	2	2	2	2	3	24	2	1,584	0.67	0.18	0.18	0.50	0.25	0.65	0.05	0.50
49	24	49	1	1	3	4	2	32	2	1,713	4.00	0.09	0.09	0.75	1.00	0.86	0.05	0.30
50	1	12	13	1	2	2	2	39	2	1,507	0.33	2.60	0.20	0.50	0.50	0.51	0.05	0.48
51	10	10	5	5	5	5	2	15	4	1,257	1.67	0.20	0.09	1.25	0.25	0.41	0.11	0.40
52	16	16	1	1	5	5	2	23	2	885	2.67	0.20	0.09	1.25	0.25	0.62	0.05	0.29
53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	3	7	1	1	2	2	3	6	1	579	0.50	0.09	0.09	0.50	0.25	0.16	0.03	0.18
2	4	4	4	5	4	4	6	7	4	562	1.17	3.40	0.18	0.50	0.50	0.19	0.11	0.18
3	2	4	1	5	6	6	1	6	4	806	0.67	1.00	0.09	0.25	0.25	0.16	0.11	0.28
4	1	5	1	5	4	4	4	6	4	954	0.17	1.00	0.09	0.25	0.25	0.16	0.11	0.28
5	3	15	2	2	2	2	7	18	7	960	0.50	3.00	0.09	0.25	0.25	0.49	0.19	0.30
6	9	10	2	2	2	2	2	21	17	952	1.67	0.40	0.09	0.25	0.25	0.57	0.46	0.30
7	12	13	1	1	1	1	1	26	30	1,012	3.00	2.60	0.09	0.25	0.25	0.70	0.81	0.30
8	1	13	1	1	1	1	1	14	13	965	0.17	2.60	0.09	0.25	0.25	0.38	0.35	0.31
9	5	12	2	2	2	2	2	17	15	1,062	0.83	2.40	0.20	0.25	0.25	0.46	0.41	0.34
10	9	9	1	1	1	1	1	9	9	1,120	0.33	1.80	0.18	0.25	0.25	0.46	0.41	0.34
11	2	8	1	1	1	1	1	10	34	1,233	0.33	1.60	0.09	0.25	0.25	0.27	0.92	0.36
12	1	5	1	1	1	1	1	7	44	1,316	0.17	1.00	0.09	0.25	0.25	0.19	1.19	0.39
13	2	16	5	5	1	1	2	24	22	1,516	0.33	3.20	0.50	0.25	0.25	0.67	0.61	0.42
14	2	5	2	2	2	2	2	9	16	1,685	0.33	1.00	0.18	0.50	0.25	0.24	0.44	0.54
15	1	1	1	2	2	2	2	23	13	2,720	0.33	3.40	0.18	0.50	0.25	0.62	0.36	0.87
16	4	32	3	3	3	3	3	41	11	3,523	0.67	6.40	0.27	0.50	0.25	1.11	0.31	1.12
17	2	23	10	3	3	3	1	39	3	3,390	0.33	4.60	0.91	0.75	0.25	1.05	0.08	1.08
18	8	15	27	9	2	2	2	61	3	3,101	2.67	5.40	0.82	0.50	0.50	1.65	0.08	0.99
19	8	13	21	6	2	2	2	50	7	3,258	2.67	4.20	0.55	0.50	0.75	1.35	0.19	1.04
20	7	10	13	14	3	3	3	50	10	4,896	2.33	2.60	1.27	0.75	0.25	1.35	0.27	1.56
21	11	11	21	11	19	19	6	81	13	6,125	3.67	6.20	1.00	4.75	1.50	3.00	0.35	0.57
22	8	10	33	31	16	16	7	6	11	6,657	2.67	6.60	2.82	4.00	1.75	3.00	0.08	1.95
合計	197	612	760	530	234	196	75	2,604	3,413	153,962	65.67	152.00	48.23	58.50	49.00	70.40	92.29	49.03

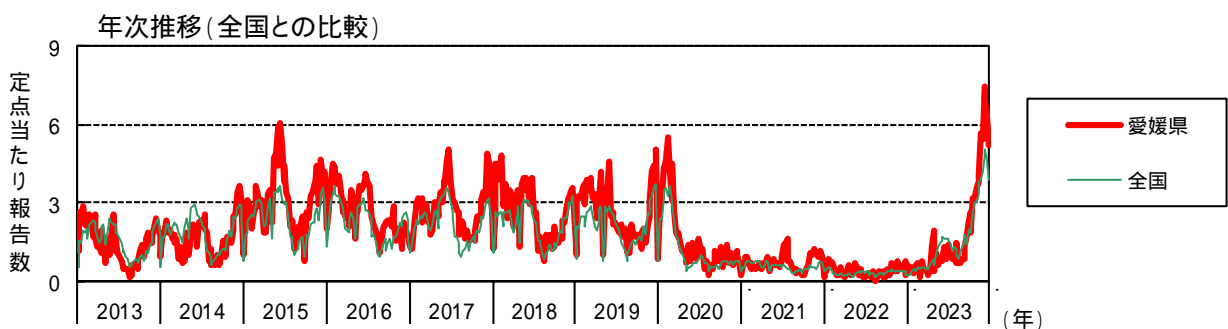
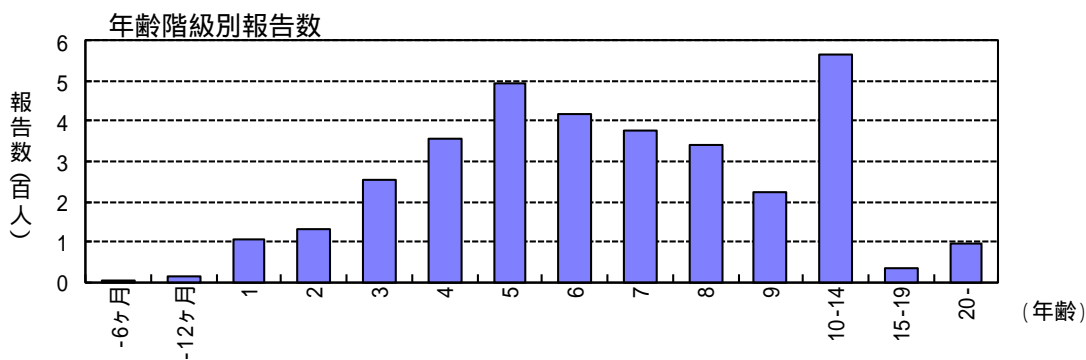
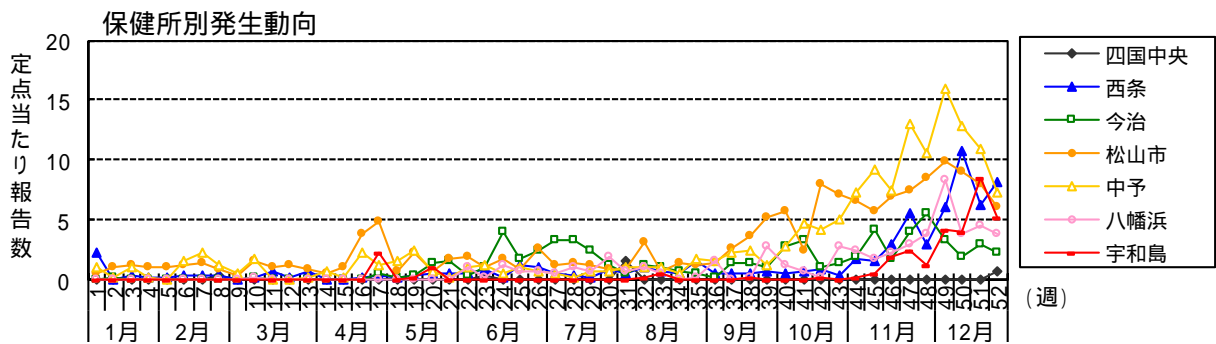
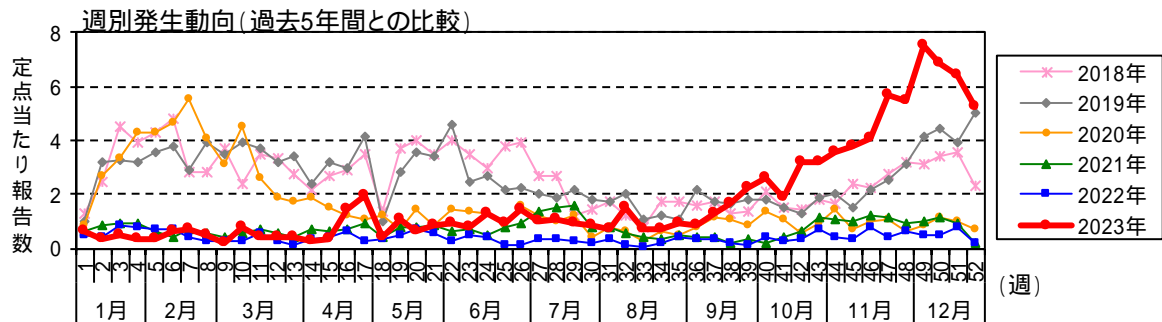
咽頭結膜熱

2023年の患者報告数は2,375人(定点当たり64.26人/年)で、前年(患者報告数251人、定点当たり6.80人/年)の9.5倍に増加し、1999年の調査開始以降最も大きな発生規模となった。第35週(8月下旬)から報告数が急増し、12月末まで増加傾向が続いたまま2024年に移行した。最高値は第52週(12月下旬)の定点当たり4.27人/週であった。8月上旬から今治保健所で報告数が増加し始め、続いて松山市保健所、中予保健所、宇和島保健所、四国中央保健所でも報告数が増加した。西条保健所、八幡浜保健所では散発程度の発生であった。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所が135.40人/年と最も多く、次いで松山市保健所92.57人/年、宇和島保健所78.50人/年、中予保健所47.75人/年、四国中央保健所22.00人/年、西条保健所18.00人/年、八幡浜保健所1.25人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳が473人(19.9%)と最も多く1~6歳までの幼児が2,071人と全体の87.2%を占めた。



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2023年の患者報告数は3,415人(定点当たり92.36人/年)で、前年(患者報告数758人、定点当たり20.54人/年)の4.5倍に増加した。本疾患は例年初夏と晩秋冬季に多発する傾向を示すが、新型コロナウイルス感染症流行後は年間を通じて低い水準で推移していた。本年も8月下旬までは散發程度の発生であったが、第37週(9月中旬)以降報告数が急増し、流行が収束することなく2024年を迎えた。最高値は第49週(12月上旬)の定点当たり7.49人/週であった。9月上旬から松山市保健所、中予保健所で増加傾向がみられ、やや遅れて今治保健所、八幡浜保健所、西条保健所、宇和島保健所でも報告数が増加した。四国中央保健所は年間を通してほとんど発生がみられなかった。地域別の定点当たり報告数は、松山市保健所が154.78人/年と最も多く、次いで中予保健所が150.25人/年、今治保健所69.60人/年、西条保健所が68.17人/年、八幡浜保健所54.00人/年、宇和島保健所33.25人/年、四国中央保健所3.00人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、10~14歳が564人(16.5%)、5歳494人(14.5%)、6歳416人(12.2%)の順であった。

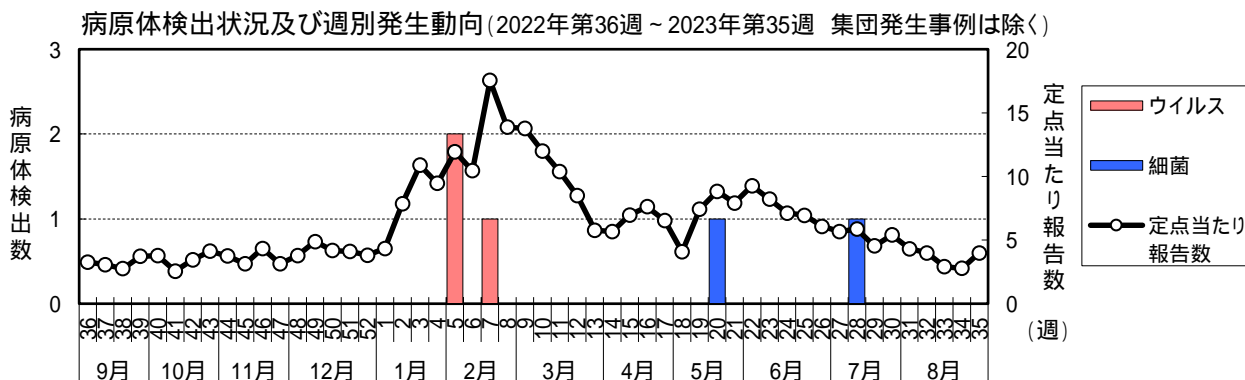
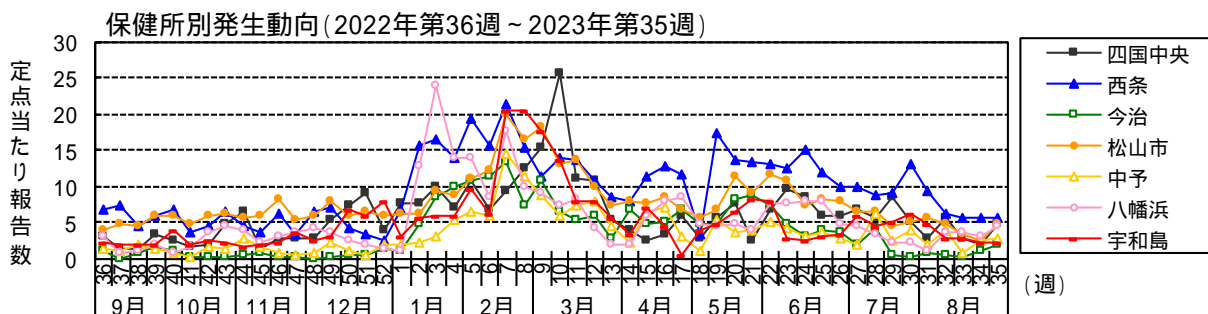
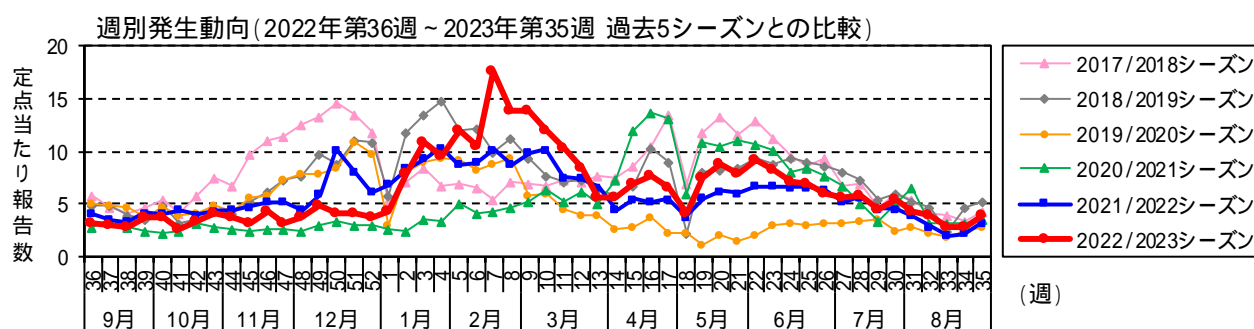


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

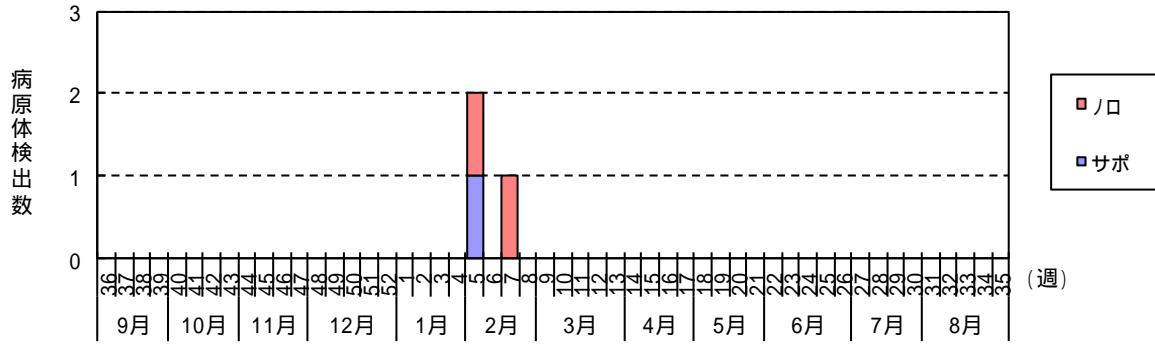
月 週	患者報告数											定点当たり報告数								
	2023年 保健所別						愛媛県					全国								
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021				
1		14	6	4	4		24	19	24	673	1,223	1,677		0.65	0.51	0.65	0.21	0.39	0.53	
2			11	11	1	1	13	15	30	867	1,471	1,789		0.35	0.41	0.81	0.27	0.47	0.57	
3		2		13	4		19	31	35	1,264	1,771	2,240		0.51	0.84	0.95	0.40	0.56	0.71	
4		1	11	1	1		13	28	35	1,271	1,504	2,360		0.35	0.76	0.95	0.40	0.48	0.75	
5		1	11	11	6		12	26	22	1,387	1,246	2,503		0.32	0.70	0.59	0.44	0.40	0.79	
6		2	14	6	6		22	26	16	1,312	987	2,304		0.59	0.70	0.44	0.42	0.31	0.73	
7		2	16	9	9		27	16	26	1,648	985	2,305		0.73	0.70	0.52	0.52	0.31	0.73	
8	1	2	9	5	5		17	10	20	1,472	855	2,117	0.33	0.46	0.27	0.54	0.47	0.27	0.67	
9			4	2	2		6	9	16	1,510	802	2,426		0.16	0.24	0.43	0.48	0.25	0.77	
10		1	18	7	7	1	28	10	21	1,607	824	2,496		0.76	0.27	0.57	0.51	0.26	0.79	
11		4	12	12	21		16	21	27	1,620	866	2,352	0.25	0.43	0.57	0.73	0.52	0.28	0.74	
12		1	13	13	9		14	9	20	1,503	635	2,166		0.38	0.24	0.54	0.48	0.20	0.69	
13		4	9	1	1		14	5	16	1,625	697	1,787		0.39	0.14	0.43	0.52	0.22	0.57	
14			6	3	3		9	11	27	1,541	664	1,736		0.24	0.31	0.73	0.49	0.21	0.55	
15			12	12	1		13	15	24	1,846	786	2,154		0.35	0.42	0.65	0.59	0.25	0.68	
16		1	43	9	9		53	23	25	2,520	908	2,441	2.25	1.43	0.64	0.68	0.80	0.29	0.77	
17		2	54	5	5		73	9	34	2,594	752	2,328		1.97	0.25	0.92	0.83	0.24	0.74	
18		1	7	6	6		15	11	14	1,837	574	1,216		0.41	0.31	0.38	0.59	0.18	0.39	
19		2	25	10	10	1	40	18	28	3,155	846	2,041	0.25	1.08	0.49	0.76	1.01	0.27	0.65	
20		3	7	3	3	4	24	26	29	4,203	1,020	1,993	1.00	0.65	0.70	1.34	0.32	0.63	0.63	
21		3	8	20	1		32	20	31	4,678	948	2,032		0.86	0.54	0.84	1.49	0.30	0.65	
22		3	2	2	4	4	35	10	23	4,951	1,091	2,005		0.95	0.27	0.62	1.58	0.35	0.64	
23		5	12	5	5	1	29	17	27	5,255	1,078	1,949	0.25	0.78	0.46	1.68	1.36	0.34	0.62	
24	1	1	20	2	2	5	48	15	19	5,093	1,174	1,866		1.30	0.41	0.51	1.62	0.37	0.59	
25		7	10	4	3	3	33	5	28	5,133	1,100	1,841		0.89	0.14	0.76	1.63	0.35	0.58	
26		6	12	29	3	3	53	5	34	5,037	1,032	1,868		1.43	0.14	0.92	1.60	0.33	0.59	
27		3	17	14	2	2	38	12	51	4,811	1,248	1,928		1.03	0.32	1.38	1.53	0.40	0.61	
28		2	17	15	1	4	39	12	56	4,551	1,318	1,825	0.25	1.05	0.32	1.51	1.45	0.42	0.58	
29		1	12	14	3	3	33	9	59	3,561	826	1,359	0.50	0.89	0.24	1.59	1.13	0.26	0.43	
30		5	6	10	3	8	32	7	29	4,147	889	1,406		0.86	0.19	0.78	1.32	0.28	0.45	
31		3	3	9	4	3	27	13	28	3,868	881	1,508	1.67	0.73	0.35	0.76	1.23	0.28	0.48	
32		6	6	34	4	4	55	4	21	3,092	614	937		1.49	0.11	0.57	1.00	0.20	0.30	
33		4	5	8	4	2	25	1	16	2,566	568	1,044		0.68	0.03	0.43	0.83	0.18	0.33	
34		3	4	16	2	2	25	7	12	3,547	659	1,233		0.68	0.19	0.32	1.13	0.21	0.39	
35		9	3	13	7	1	33	14	18	4,239	892	1,244		0.89	0.38	0.49	1.35	0.28	0.39	
36		3	1	16	6	6	32	11	15	4,857	899	1,237		0.86	0.30	0.41	1.54	0.29	0.39	
37		3	7	29	9	9	48	13	14	5,596	960	1,348		1.30	0.35	0.38	1.78	0.31	0.43	
38		3	7	40	10	1	62	6	8	4,286	797	957	0.25	1.68	0.16	1.36	0.26	0.30	0.30	
39		4	5	57	5	11	82	5	11	6,188	1,038	1,200		2.22	0.14	0.30	1.97	0.33	0.38	
40		3	14	64	11	5	97	16	8	6,338	1,185	1,403		2.62	0.43	0.22	2.02	0.38	0.44	
41		4	17	27	19	3	70	9	16	5,909	1,113	1,514		1.94	0.24	0.43	1.88	0.35	0.48	
42		5	5	88	17	1	117	13	22	8,420	1,316	1,534	0.25	3.16	0.35	0.59	2.67	0.42	0.49	
43		2	7	79	20	11	119	25	41	1,894	1,187	1,917		3.22	0.68	1.11	3.06	0.44	0.60	
44		11	10	72	29	10	133	16	39	9,574	1,191	1,621	0.25	3.59	0.43	1.05	3.04	0.38	0.51	
45		10	21	64	37	7	2	14	13	10,523	1,287	1,704	0.25	3.81	0.35	1.00	3.34	0.41	0.54	
46		18	9	77	30	9	151	29	46	11,956	1,249	1,803	2.00	4.08	0.78	1.24	3.80	0.40	0.57	
47		33	20	83	52	12	10	210	15	41	12,128	1,111	1,591	2.50	5.68	0.41	1.11	3.86	0.35	0.50
48		18	28	93	42	15	5	201	23	35	13,118	1,165	1,917	1.25	5.43	0.62	4.17	3.07	0.61	
49		37	17	109	64	33	277	19	37	15,198	1,164	2,163	4.25	7.49	0.51	1.00	4.83	0.37	0.69	
50		64	10	99	51	15	16	255	19	43	15,837	1,333	2,334	4.00	6.89	0.51	1.16	5.04	0.42	0.74
51		38	15	88	44	18	34	237	29	35	14,726	1,186	1,966	8.50	6.41	0.78	4.69	0.38	0.71	
52	2	49	11	67	29	15	21	194	8	6	11,970	794	1,150	5.24	6.09	0.22	3.85	0.26	0.37	
合計		9	409	348	1,699	601	216	133	3,415	758	2,662,442	52,909	94,073	33.25	20.54	37.70	84.79	16.84	29.84	

感染性胃腸炎

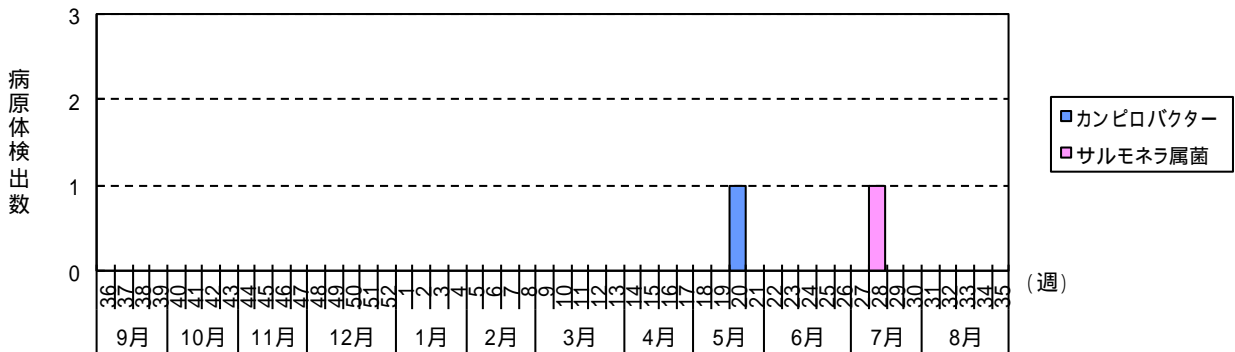
2022/2023シーズン(2022年第36週～2023年第35週)の患者報告数は12,241人(定点当たり330.99人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数11,450人、定点当たり310.32人/シーズン)の1.1倍に増加したが、過去10シーズンと比較すると同程度の発生規模であった。新型コロナウイルス感染症流行前は、年末の急峻なピークと3～4月の穏やかなピークの二峰性の動向を示す傾向にあったが、本シーズンはやや遅く1月上旬から報告数が増加し、第7週(2月中旬)に定点当たり17.54人/週とピークを迎えた。1～3月に県内全域で報告数が増加したほか、西条保健所では4～8月上旬も他保健所に比べ報告数が多い状況が続いた。地域別の定点当たり報告数は、西条保健所が494.00人/シーズンと最も多く、次いで松山市保健所403.46人/シーズン、四国中央保健所314.33人/シーズン、八幡浜保健所279.25人/シーズン、宇和島保健所276.75人/シーズン、今治保健所188.80人/シーズン、中予保健所184.00人/シーズンの順であった。乳幼児から成人まで全年齢層にわたって報告があったが、年齢別の患者報告数は、1歳が1,663人(13.6%)と最も多く、1～5歳の幼児が7,162人と全体の60.3%を占めた。病原体は1月(第5週)及び2月にノロウイルスが各1例、2月にサポウイルスが1例、5月にカンピロバクターが1例、7月にサルモネラ属菌が1例検出された。



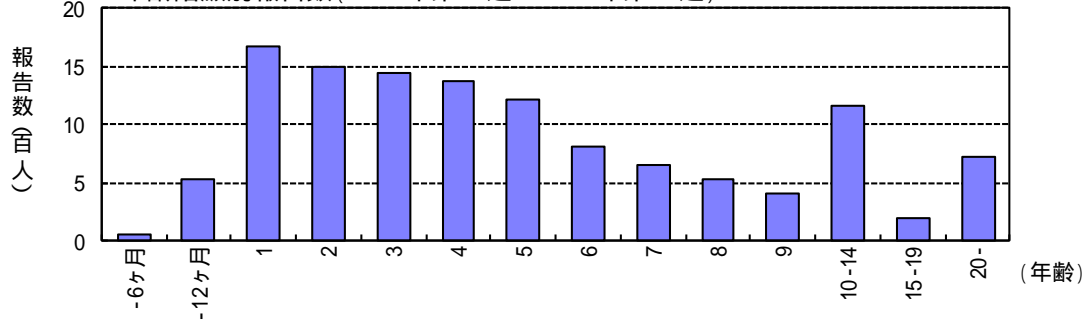
(ウイルス検出状況 詳細)



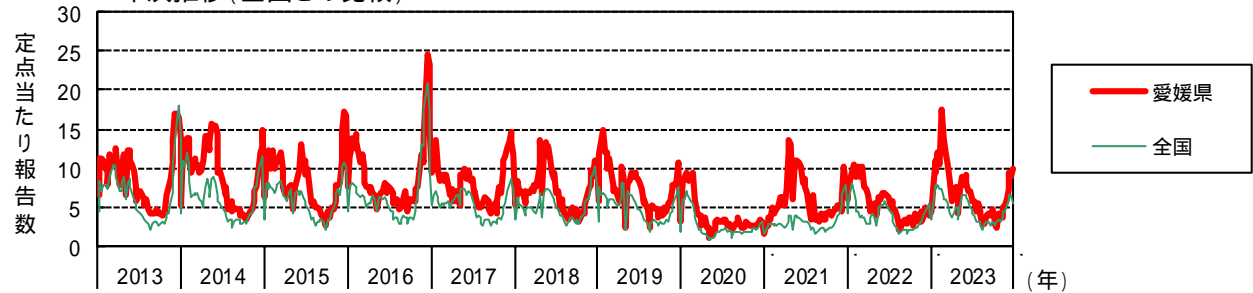
(細菌検出状況 詳細)



年齢階級別報告数(2022年第36週~2023年第35週)



年次推移(全国との比較)

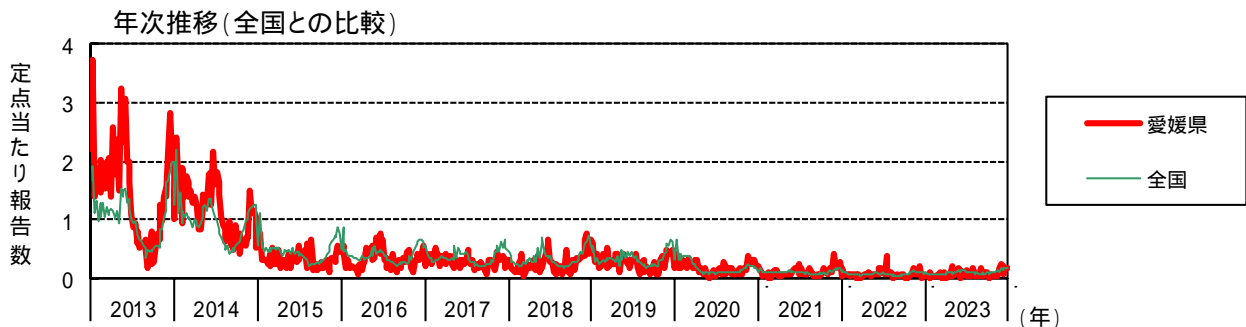
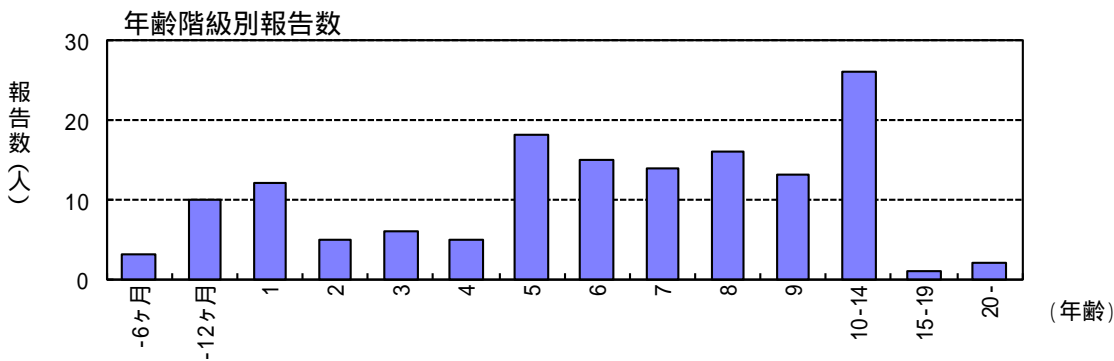
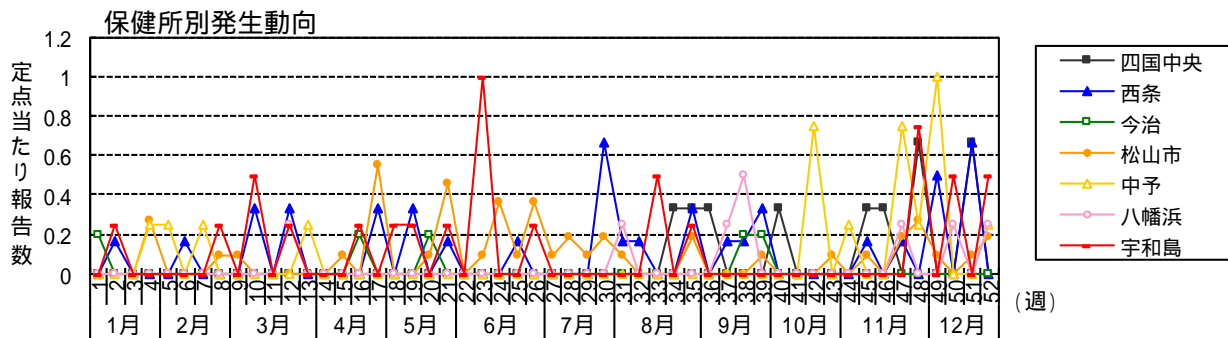
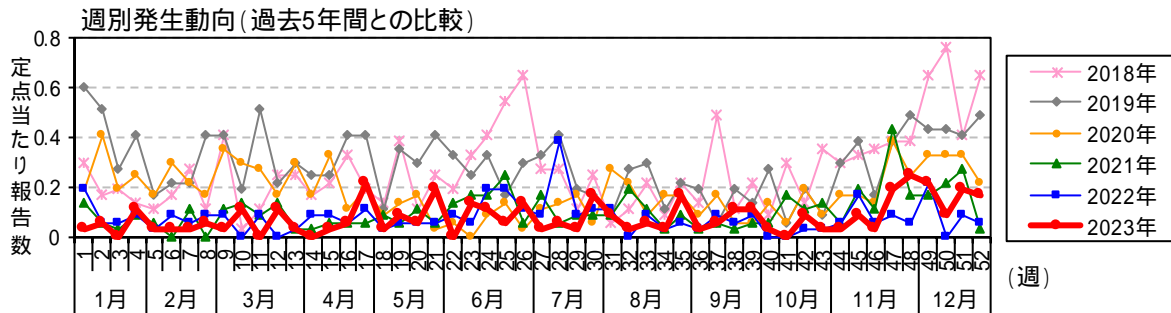


感染性胃腸炎 [2022/2023シーズン(2022年第36週～2023年第35週)]

Table with columns for 月週 (Month/Week), 患者報告数 (Patient Report Count) for various regions, 保健所別 (Municipality) and 愛媛県 (Ehime Prefecture) counts, and 定点当り報告数 (Report Count per Station) for various municipalities and Ehime Prefecture. Includes a total (合計) row at the bottom.

水痘

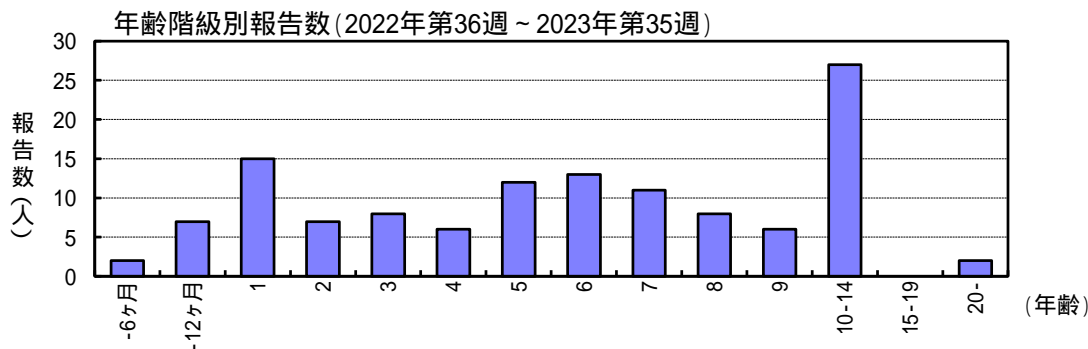
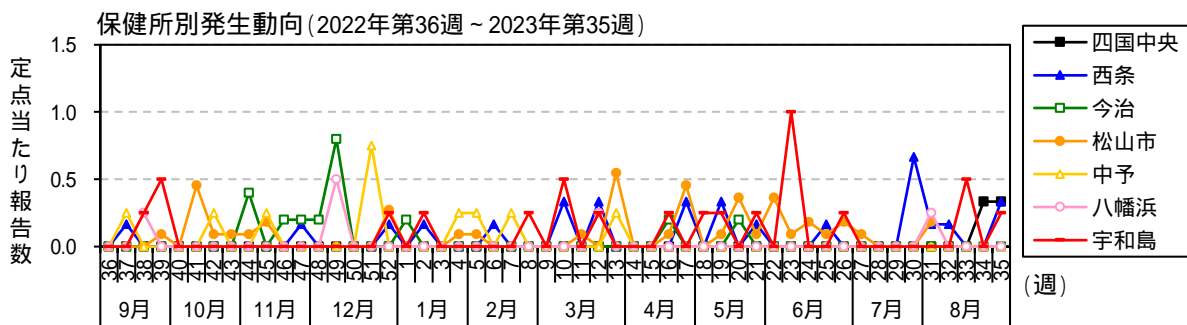
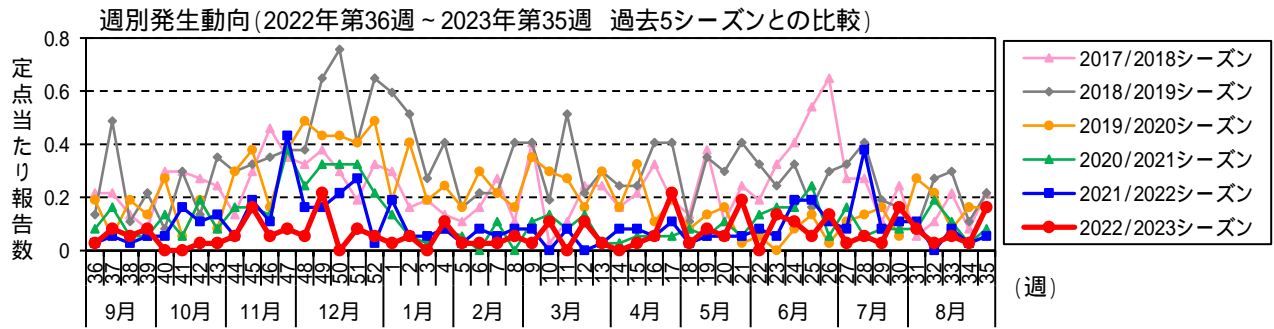
2023年の患者報告数は146人(定点当たり3.95人/年)で、前年(患者報告数145人、定点当たり3.93人/年)と同程度の発生規模であった。本疾患は、例年冬季のピークと、春から初夏にかけてのなだらかなピークの二峰性の動向を示したが、2014年10月のワクチン定期接種の開始以降、明らかなピークは見られなくなった。年間を通して報告数が少なく、第48週(11月下旬)の定点当たり0.24人週が最高値であった。地域別の定点当たり報告数は、宇和島保健所6.00人/年、西条保健所5.50人/年、松山市保健所4.45人/年、中予保健所4.25人/年、四国中央保健所3.33人/年、八幡浜保健所2.00人/年、今治保健所1.00人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、10~14歳26人(17.8%)、5歳18人(12.3%)、8歳16人(11.0%)の順であった。



月	週	患者報告数										定点当たり報告数													
		2023年 保健所別					愛媛県					2023年 保健所別				愛媛県									
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	全国			
1	1		1				1	1	7	5	274	441	591				0.20	0.17	0.25	0.03	0.19	0.14	0.09	0.14	0.19
2	2						2	2	2	2	267	302	375						0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.08	0.10
3	3						1	2	2	1	234	292	347						0.27	0.05	0.03	0.05	0.03	0.07	0.09
4	4						4	3	3	3	230	252	375						0.11	0.08	0.08	0.08	0.07	0.08	0.12
5	5						1	1	1	2	205	190	392						0.03	0.03	0.05	0.03	0.06	0.06	0.12
6	6		1				1	3	3	3	185	181	364						0.03	0.08	0.11	0.03	0.06	0.06	0.12
7	7						1	2	2	4	251	199	338						0.03	0.05	0.11	0.03	0.08	0.06	0.11
8	8						2	3	3	3	199	193	314						0.05	0.08	0.11	0.05	0.06	0.06	0.10
9	9						1	3	3	4	203	216	378						0.03	0.08	0.11	0.03	0.06	0.07	0.12
10	10						2	4	5	5	187	180	310						0.11	0.08	0.14	0.06	0.06	0.06	0.10
11	11						3	3	3	3	238	209	380						0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.12
12	12						2	4	5	5	225	168	387						0.11	0.03	0.14	0.07	0.05	0.05	0.12
13	13						1	1	1	1	239	204	372						0.03	0.03	0.03	0.03	0.08	0.06	0.12
14	14							3	3	1	302	209	366						0.03	0.08	0.11	0.03	0.10	0.07	0.12
15	15							3	3	2	283	214	340						0.03	0.05	0.05	0.03	0.10	0.07	0.11
16	16						1	2	2	2	271	225	326						0.05	0.06	0.05	0.05	0.09	0.07	0.10
17	17						2	4	4	2	283	213	352						0.22	0.11	0.05	0.09	0.07	0.11	0.10
18	18						1	1	1	3	229	225	293						0.03	0.03	0.08	0.07	0.07	0.07	0.09
19	19						1	2	2	2	344	262	403						0.05	0.05	0.05	0.11	0.08	0.13	0.13
20	20						2	2	2	4	312	226	365						0.05	0.05	0.11	0.10	0.10	0.07	0.12
21	21						1	2	2	2	397	269	405						0.19	0.05	0.05	0.13	0.09	0.10	0.13
22	22							3	3	5	346	274	376						0.08	0.08	0.14	0.11	0.09	0.12	0.12
23	23							3	3	6	397	251	386						0.14	0.05	0.16	0.13	0.08	0.12	0.12
24	24						4	4	7	6	401	260	341						0.11	0.19	0.16	0.13	0.08	0.11	0.11
25	25						2	7	7	9	418	262	303						0.05	0.05	0.19	0.24	0.13	0.08	0.10
26	26						1	4	4	2	325	287	316						0.14	0.11	0.05	0.10	0.09	0.10	0.10
27	27							3	3	6	374	215	277						0.03	0.08	0.16	0.12	0.07	0.07	0.09
28	28						2	14	2	2	312	241	308						0.05	0.38	0.05	0.10	0.08	0.10	0.10
29	29						1	3	3	3	349	214	211						0.03	0.08	0.08	0.11	0.07	0.07	0.07
30	30						4	3	3	3	299	207	211						0.16	0.11	0.08	0.10	0.07	0.10	0.10
31	31						1	3	4	3	306	195	289						0.08	0.11	0.08	0.10	0.06	0.09	0.09
32	32							1	7	7	244	159	206						0.03	0.03	0.19	0.08	0.05	0.05	0.07
33	33							3	3	2	290	174	264						0.05	0.08	0.11	0.09	0.06	0.08	0.08
34	34						1	1	1	1	251	151	247						0.03	0.03	0.03	0.08	0.05	0.05	0.08
35	35						1	6	2	3	254	169	267						0.16	0.18	0.08	0.08	0.05	0.08	0.08
36	36							1	1	1	288	160	222						0.33	0.03	0.03	0.03	0.09	0.05	0.07
37	37							2	3	2	267	213	267						0.05	0.08	0.05	0.08	0.07	0.07	0.08
38	38						1	4	2	1	241	138	255						0.11	0.05	0.03	0.08	0.04	0.08	0.08
39	39						2	4	3	2	321	192	275						0.11	0.08	0.05	0.10	0.06	0.06	0.09
40	40							1	2	2	303	190	247						0.03		0.05	0.10	0.06	0.06	0.08
41	41							6	6	6	261	183	275						0.08	0.03	0.16	0.08	0.06	0.09	0.09
42	42						3	1	1	4	319	236	235						0.03	0.03	0.11	0.10	0.08	0.07	0.07
43	43						1	1	1	5	317	274	250						0.03	0.03	0.14	0.10	0.09	0.08	0.08
44	44							2	2	2	321	271	325						0.03	0.05	0.05	0.10	0.09	0.10	0.10
45	45						1	6	7	7	427	394	406						0.08	0.16	0.19	0.14	0.13	0.13	0.13
46	46						1	2	4	4	402	357	379						0.03	0.05	0.11	0.13	0.11	0.12	0.12
47	47						2	3	3	16	363	379	445						0.19	0.08	0.43	0.12	0.12	0.14	0.14
48	48						2	3	9	2	513	359	513						0.27	0.24	0.05	0.16	0.16	0.16	0.16
49	49						3	8	8	6	431	358	452						0.22	0.22	0.16	0.14	0.11	0.14	0.14
50	50							3	8	8	560	338	561						0.08	0.08	0.22	0.18	0.11	0.18	0.18
51	51						2	7	3	10	520	323	501						0.19	0.05	0.27	0.17	0.10	0.16	0.16
52	52						2	6	2	1	483	217	298						0.16	0.05	0.03	0.16	0.07	0.10	0.10
合計		10	33	5	49	17	8	24	145	196	16,262	12,511	17,782	3.33	5.50	1.00	4.45	6.00	3.95	3.93	5.30	5.18	3.98	5.64	

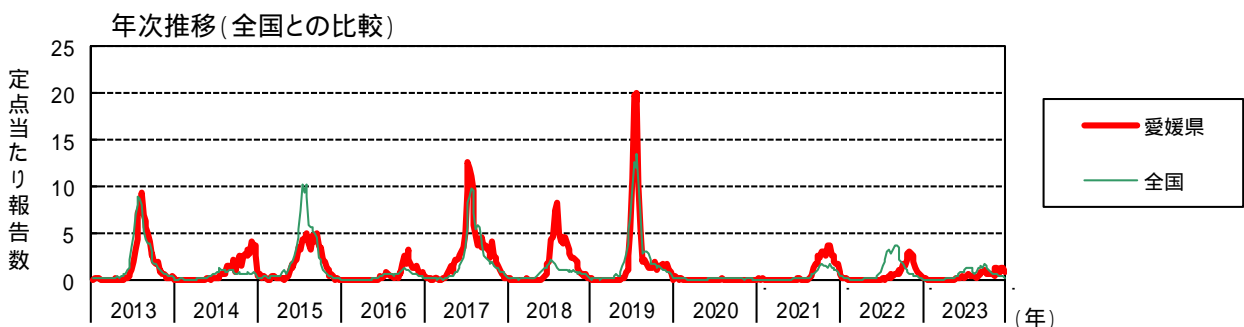
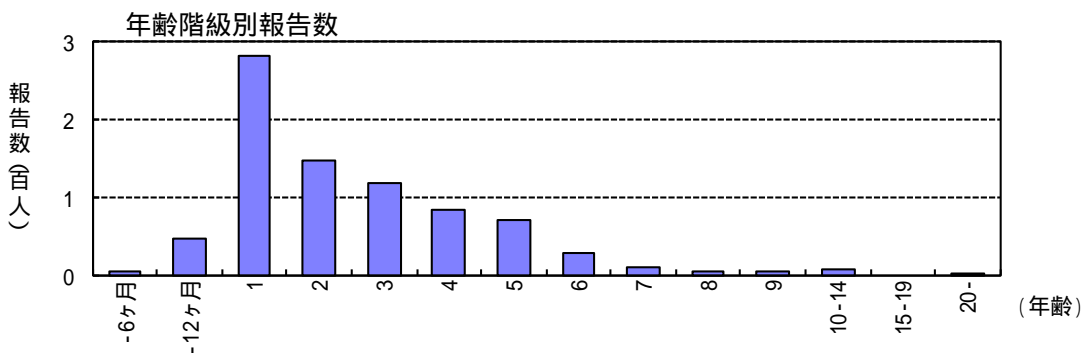
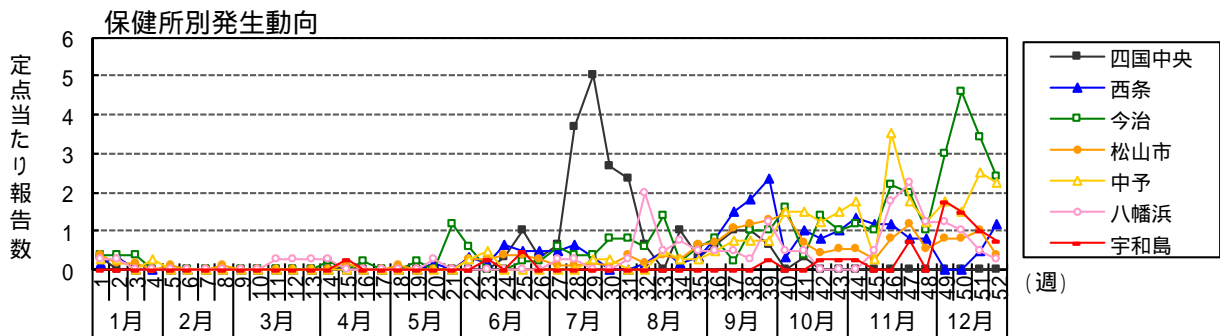
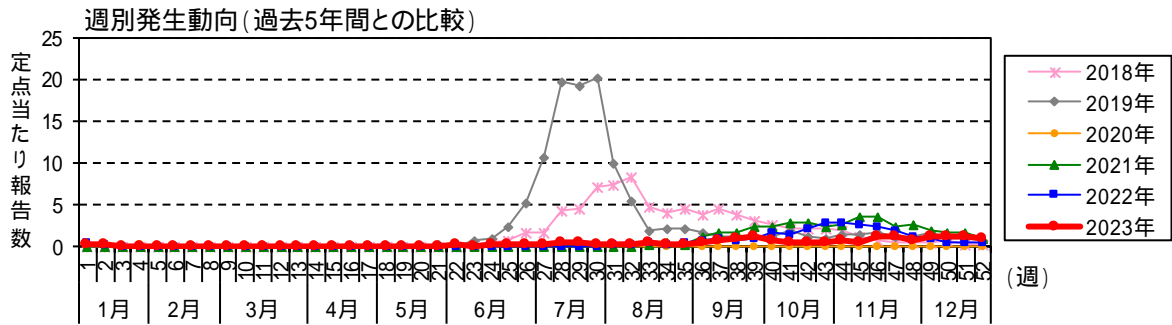
(参考)水痘(シーズン)

2022/2023 シーズン(2022年第36週~2023年第35週)の患者報告数は124人(定点当たり3.35人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数189人、定点当たり5.12人/シーズン)の0.7倍に減少し、1999年以降最も小さい発生規模であった。年間を通して報告数が少なく、第49週(12月上旬)、第17週(4月下旬)の定点当たり0.22人/週が最高値であった。地域別の定点当たり報告数は、宇和島保健所5.25人/シーズン、松山市保健所4.64人/シーズン、西条保健所3.83人/シーズン、中予保健所2.50人/シーズン、今治保健所2.40人/シーズン、八幡浜保健所1.25人/シーズン、四国中央保健所0.67人/シーズンの順であった。年齢別の患者報告数は、10~14歳27人(21.8%)、1歳15人(12.1%)、6歳13人(10.5%)の順であった。



手足口病

2023年の患者報告数は813人(定点当たり21.99人/年)で、前年(患者報告数1,138人、定点当たり30.76人/年)の0.7倍に減少した。目立ったピークがないまま低い水準で推移し、第46週(11月中旬)、第50週(12月中旬)の定点当たり1.30人/週が最高値であった。7月中旬から四国中央保健所、西条保健所、中予保健所、今治保健所と地域が入れ替わりながら流行し、12月下旬まで発生が続いた。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所38.00人/年、中予保健所28.00人/年、西条保健所22.17人/年、四国中央保健所22.00人/年、松山市保健所18.89人/年、八幡浜保健所18.50人/年、宇和島保健所7.75人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳が282人(34.7%)と最も多く、2歳以下の乳幼児が481人と全体の59.2%を占めた。病原体はコクサッキーウイルスA16型が6例、ライノウイルスが4例、コクサッキーウイルスA6型、エンテロウイルス71型が各1例検出された。

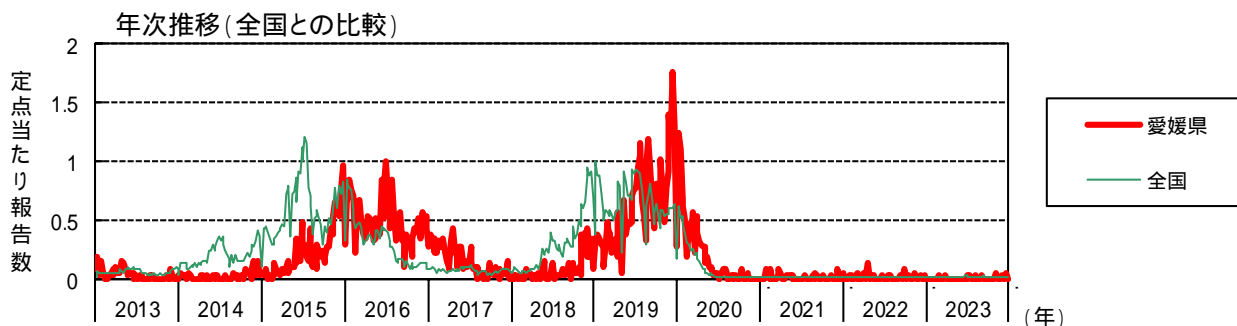
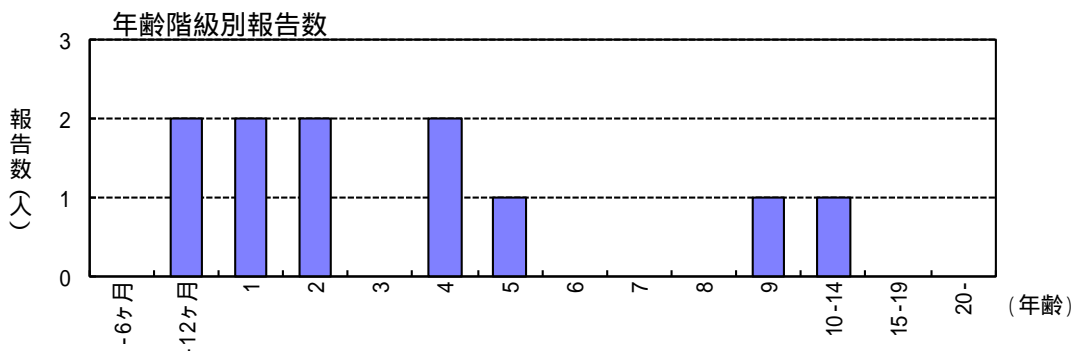
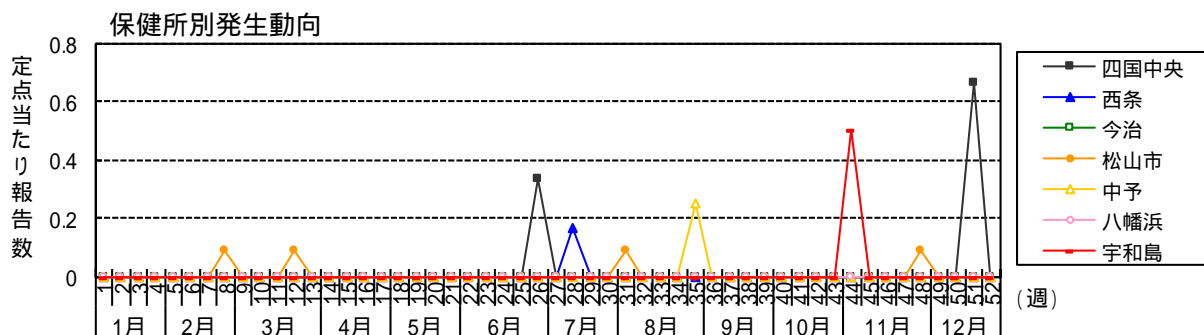
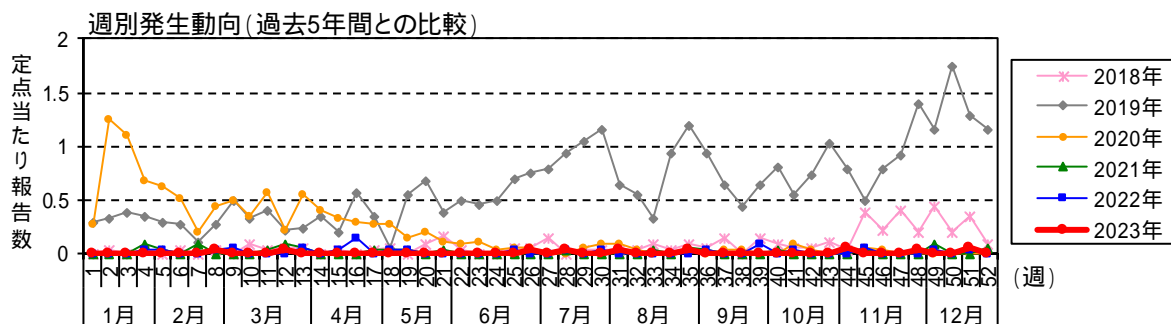


手足口病

月	週	患者報告数											定点当たり報告数													
		2023年 保健所別						愛媛県					全国													
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021									
1	1	1	1	2	4	1	1	10	22	7	322	1,171	164	0.33	0.17	0.40	0.36	0.25	0.25	0.27	0.59	0.19	0.10	0.37	0.05	
2	2	2	2	2	2	2	8	8	8	1	286	1,037	133	0.33	0.33	0.40	0.18	0.25	0.25	0.22	0.22	0.03	0.09	0.33	0.04	
3	3	4	2	2	2	1	4	4	5	2	331	1,008	163	0.33	0.33	0.40	0.18	0.25	0.25	0.11	0.14	0.05	0.10	0.32	0.05	
4	4							1	5	6	322	819	141				0.09	0.25	0.03	0.03	0.14	0.16	0.10	0.26	0.04	
5	5						1	1	3	1	293	612	119						0.03	0.03	0.03	0.08	0.09	0.20	0.04	
6	6						1	1	1	1	266	422	108							0.03	0.03	0.03	0.08	0.13	0.03	
7	7						2	2	2	2	242	284	87							0.03	0.03	0.03	0.08	0.13	0.03	
8	8						1	1	1	1	207	238	81				0.09	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.07	0.08	0.03	
9	9										206	201	72										0.03	0.07	0.06	0.02
10	10						1	1	1	1	216	174	61										0.03	0.07	0.06	0.02
11	11						1	1	1	1	224	212	45					0.25	0.25	0.03	0.03	0.03	0.07	0.07	0.01	
12	12						1	1	1	1	234	177	61					0.25	0.25	0.03	0.03	0.03	0.07	0.06	0.02	
13	13						1	1	2	2	277	185	47					0.25	0.25	0.03	0.06	0.01	0.09	0.06	0.01	
14	14			1				2	1	1	296	213	55			0.20	0.18	0.25	0.25	0.05	0.03	0.09	0.07	0.02		
15	15							3	1	2	417	277	68			0.20				0.08	0.03	0.13	0.13	0.09	0.02	
16	16			1				1		2	635	379	76							0.03		0.05	0.20	0.12	0.02	
17	17								1	1	583	446	84				0.09			0.03		0.03	0.19	0.14	0.03	
18	18						1	1	2	1	492	338	64			0.20	0.09			0.03	0.06	0.16	0.11	0.02		
19	19			1				1	1	1	576	385	151							0.03	0.03	0.18	0.12	0.05		
20	20						2	2	4	4	794	583	247			0.17				0.05		0.11	0.25	0.19	0.08	
21	21			6				6	1	2	1,134	628	228			1.20				0.16	0.03	0.36	0.20	0.07		
22	22			3				9	3	1	1,494	744	240			0.60	0.27	0.25	0.25	0.24	0.08	0.48	0.24	0.08		
23	23			1				7	1	2	2,064	807	344				0.27	0.50	0.17	0.19	0.03	0.66	0.26	0.11		
24	24			4				9	1	1	2,427	1,133	384				0.36		0.67	0.24	0.03	0.77	0.36	0.12		
25	25			3				13	1	3	2,788	1,884	363			0.20	0.36	0.50	0.24	0.35	0.03	0.89	0.60	0.11		
26	26			1				3	1	5	2,877	3,067	403			0.20	0.27	0.33	0.22	0.33	0.03	0.92	0.97	0.13		
27	27			3				10	6	5	3,366	4,502	498			0.60	0.09		0.25	0.67	0.16	1.07	1.43	0.16		
28	28			2				4	4	1	3,806	5,902	545			0.40	0.09	0.25	0.25	3.67	0.50	1.21	1.89	0.17		
29	29			2				22	7	2	3,888	6,802	471			0.40	0.18	0.25	0.25	5.00	0.19	1.24	2.16	0.15		
30	30			4				14	5	2	4,002	9,494	579			0.80	0.09	0.25	0.25	2.67	0.38	1.27	3.02	0.18		
31	31			4				16	13	1	3,814	10,461	696			0.80	0.36	0.25	0.25	2.33	0.14	1.21	3.34	0.22		
32	32			3				16	12	3	2,905	8,583	617			0.60	0.18		0.20	0.67	0.32	0.94	2.78	0.20		
33	33			7				18	24	8	2,248	8,502	913			1.40	0.36	0.50	0.50	1.40	0.65	0.73	2.73	0.29		
34	34			3				12	16	20	2,949	10,518	1,520			0.20	0.27	0.25	0.25	1.00	0.43	0.94	3.35	0.48		
35	35			2				16	21	16	4,194	11,737	1,841			0.60	0.64	0.25	0.25	0.33	0.50	1.34	3.73	0.58		
36	36			5				23	26	47	4,326	11,886	2,119			0.80	0.73	0.50	0.50	0.67	0.70	1.38	3.77	0.67		
37	37			1				30	39	64	4,710	10,816	2,546			0.20	1.09	0.75	0.50	1.00	1.05	1.50	3.44	0.81		
38	38			5				36	28	65	4,161	7,126	3,149			1.40	0.18	0.75	0.25	1.00	1.76	1.32	2.26	1.00		
39	39			5				44	40	94	5,570	6,251	3,628			1.00	1.27	0.75	0.25	0.67	1.08	1.77	1.99	1.15		
40	40			8				44	67	90	4,997	5,352	4,833			1.60	1.45	1.50	0.50	0.33	1.81	1.59	1.71	1.53		
41	41			6				25	59	111	3,762	4,172	5,381			0.40	0.80	1.50	0.50	0.33	1.59	1.20	1.71	1.62		
42	42			7				23	78	109	3,233	3,663	5,119			1.40	0.45	1.25	0.25	0.62	2.11	2.95	1.03	1.17		
43	43			6				24	107	95	2,698	2,889	4,831			1.00	1.00	1.50	0.25	1.00	2.89	0.86	0.92	1.53		
44	44			6				28	110	98	2,304	2,374	4,815			1.20	0.55	1.75	0.25	0.76	2.97	0.73	0.75	1.52		
45	45			5				18	101	138	2,302	2,018	4,439			1.17	0.27	0.25	0.50	1.17	2.73	0.73	0.64	1.41		
46	46			11				48	95	139	2,400	1,730	5,366			2.00	0.82	3.50	1.75	1.30	2.57	0.76	0.55	1.70		
47	47			5				47	75	95	1,926	1,521	4,455			2.00	1.18	1.75	2.25	0.83	2.03	0.61	0.48	1.41		
48	48			5				26	49	97	1,583	1,380	3,866			1.00	0.55	1.25	1.25	0.83	1.62	0.50	0.44	1.22		
49	49			15				43	36	75	1,442	1,279	3,950			3.00	0.82	1.75	1.75	1.16	0.97	0.46	0.41	1.14		
50	50			23				48	24	61	1,409	1,014	3,170			4.60	0.82	1.50	1.00	1.30	0.65	0.45	0.32	1.00		
51	51			3				47	17	67	1,194	894	2,741			3.40	1.00	2.50	0.50	0.50	1.27	0.38	0.28	0.87		
52	52			7				36	20	36	914	540	1,447			2.40	0.36	2.25	0.25	0.75	0.97	0.29	0.17	0.46		
合計		66	133	190	207	112	74	31	813	1,138	100,106	158,830	77,164	22.00	22.17	38.00	18.89	28.00	18.50	21.99	30.76	31.88	50.55	24.47		

伝染性紅斑

2023年の患者報告数は11人(定点当たり0.30人/年)で、前年(患者報告数27人、定点当たり0.74人/年)の0.4倍に減少した。年間を通して報告数が少なく、1999年以降最も小さい発生規模であった。地域別の定点当たり報告数は、四国中央保健所1.00人/年、宇和島保健所0.50人/年、松山市保健所0.36人/年、中予保健所0.25人/年、西条保健所0.17人/年の順で、今治保健所、八幡浜保健所からの報告はなかった。年齢別の患者報告数は、6~12か月、1歳、2歳、4歳が各2人、5歳、9歳、10~14歳が各1人であった。

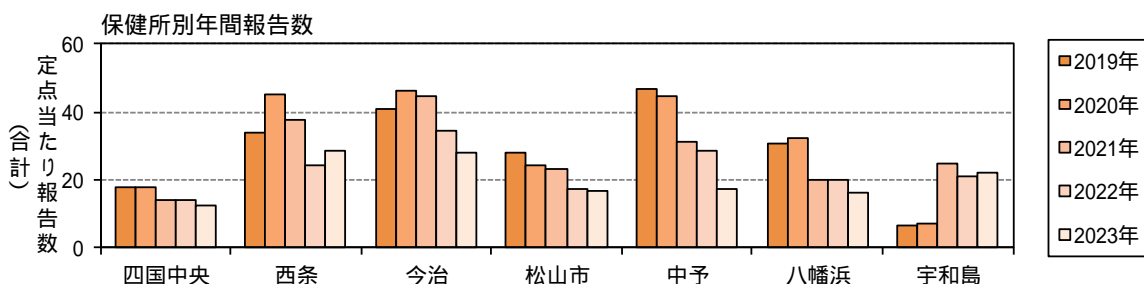
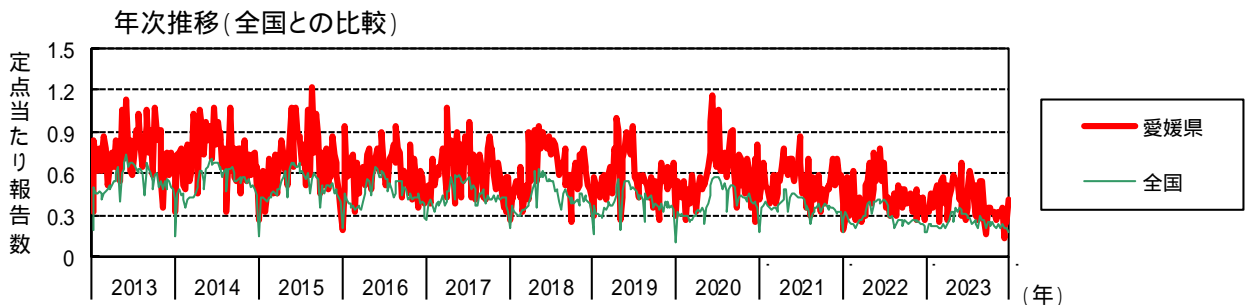
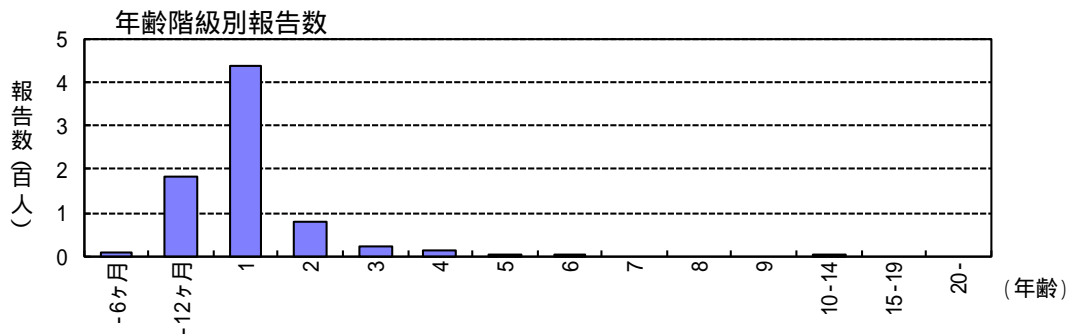
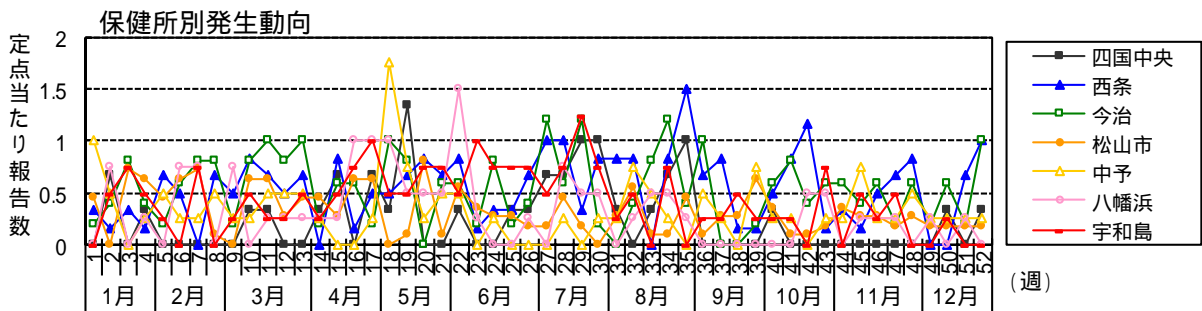
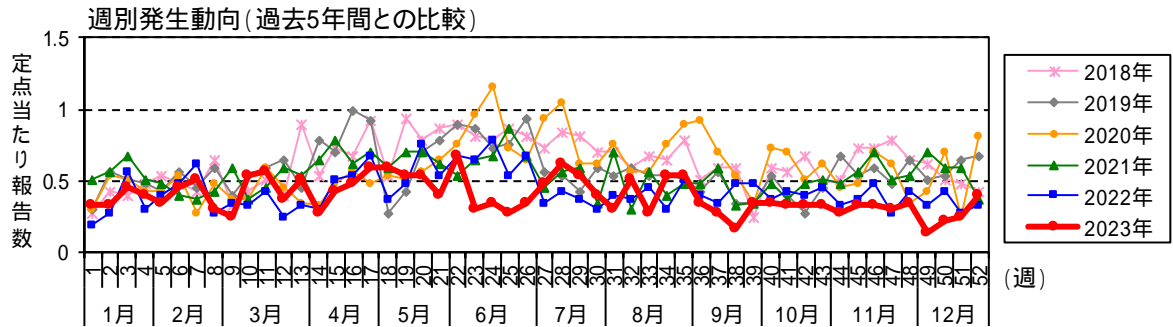


伝染性紅斑

月 週	患者報告数									定点当り報告数																	
	2023年 保健所別						愛媛県			全国			愛媛県				全国										
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	宇和島	八幡浜	中予	松山市	今治	西条	四国中央	2023	2022	2021	2023	2022	2021				
	1							1	30	41	21														0.01	0.01	0.01
2							1	42	37	21																0.01	
3							3	48	44	16																	0.01
4							1	43	48	26																	0.01
5							1	42	52	1																	0.02
6							3	38	43	22																	0.01
7							3	31	56	46																	0.01
8				1			1	54	42	30																	0.02
9							2	42	56	21																	0.01
10								31	44	37																	0.02
11							1	43	66	28																	0.01
12				1			3	43	43	28																	0.01
13							2	33	48	33				0.09													0.02
14							2	47	49	24																	0.02
15							1	44	65	31																	0.01
16							5	46	66	43																	0.02
17							1	41	73	38																	0.02
18							1	33	59	34																	0.02
19							1	45	59	35																	0.02
20							1	46	62	62																	0.02
21							1	42	60	45																	0.02
22								32	57	41																	0.02
23								41	57	54																	0.02
24								26	61	26																	0.01
25								61	57	57																	0.01
26		1						41	43	53																	0.01
27								41	35	105																	0.01
28								45	46	45																	0.01
29								49	35	82																	0.02
30								49	46	49																	0.01
31								32	39	57																	0.01
32								39	24	39																	0.01
33								24	43	67																	0.01
34								32	43	68																	0.01
35							1	60	38	43																	0.01
36				1				38	21	43			0.09														0.01
37								16	16	37																	0.01
38								32	24	30																	0.01
39								16	30	37																	0.01
40					1			31	31	64																	0.01
41								47	46	47																	0.01
42								28	33	85																	0.01
43								26	26	52																	0.01
44							2	31	27	32																	0.01
45								21	46	58																	0.01
46								27	39	26																	0.01
47							1	34	27	36																	0.01
48							1	29	48	53			0.09														0.01
49								29	36	53																	0.01
50								46	33	30																	0.01
51								24	39	32																	0.01
52							2	24	34	39																	0.01
合計							3	1,885	2,209	2,220			0.36														0.70

突発性発しん

2023年の患者報告数は756人(定点当たり20.46人/年)で、前年(患者報告数831人、定点当たり22.54人/年)の0.9倍に減少し、1999年以降最も小さい発生規模であった。本疾患は夏季にやや増加する傾向があり、本年は第22週(6月上旬)に定点当たり0.68人/週と最高値を示したが、年間を通じて大きく変動せず推移した。地域別の定点当たり報告数は、西条保健所28.33人/年、今治保健所28.20人/年、宇和島保健所22.00人/年、中予保健所17.25人/年、松山市保健所16.78人/年、八幡浜保健所16.50人/年、四国中央保健所12.67人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳が439人(58.1%)、6~12ヶ月が183人(24.2%)で、1歳以下が630人と全体の83.3%を占めた。

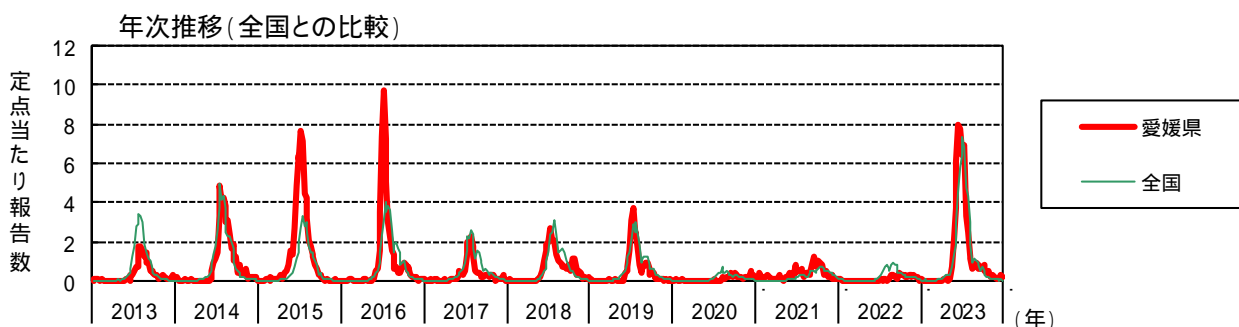
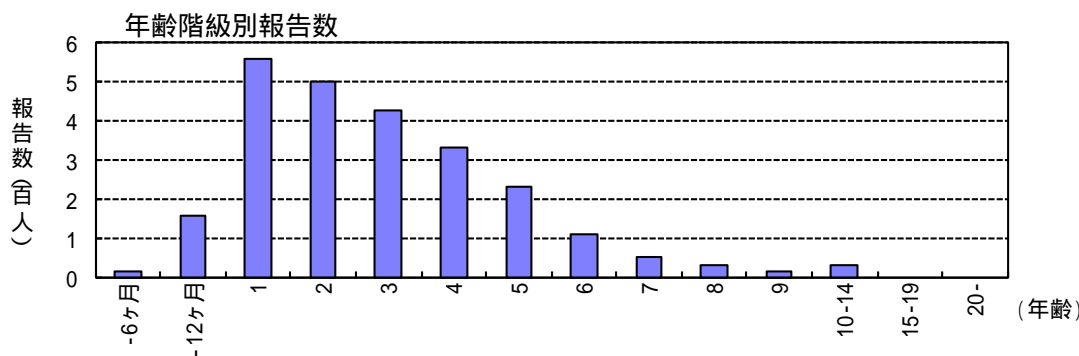
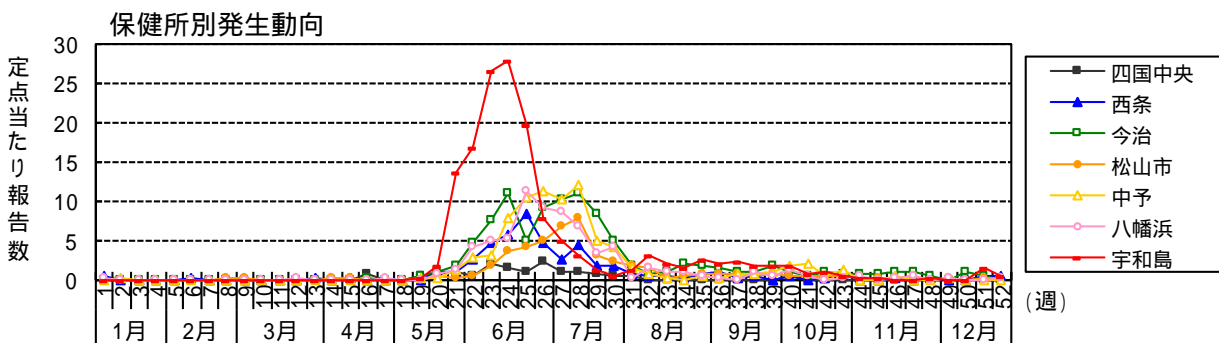
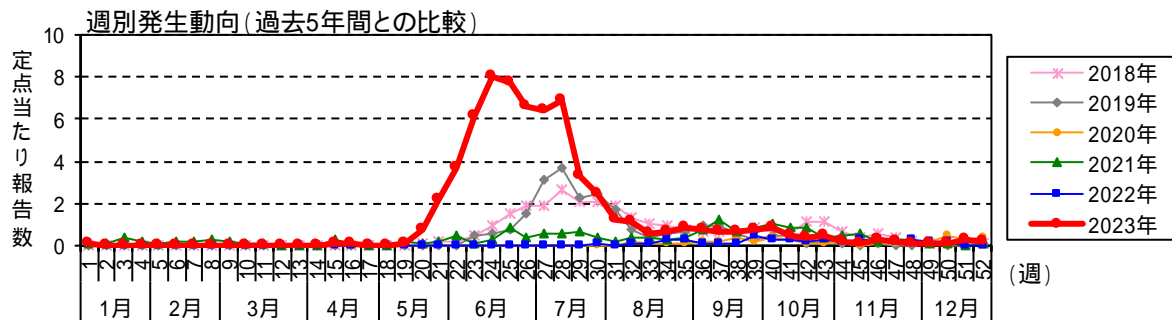


突発性発しん

月 週	患者報告数										定点当たり報告数											
	2023年 保健所別					愛媛県					全国											
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021		
1	2	2	1	5	4	12	7	19	564	822	1,121	0.67	0.33	0.20	0.45	1.00	0.75	0.50	0.32	0.19	0.51	
2	1	1	2	4	2	12	10	21	732	1,015	1,163	0.17	0.17	0.40	0.50	0.50	0.50	0.32	0.32	0.19	0.51	
3	1	1	2	8	1	17	21	25	751	936	1,167	0.33	0.33	0.80	0.73	0.75	0.75	0.46	0.46	0.57	0.68	
4	1	1	2	7	1	15	11	19	695	800	1,239	0.33	0.17	0.40	0.64	0.25	0.25	0.50	0.41	0.30	0.51	
5	4	3	4	5	2	13	15	18	697	758	1,168	0.67	0.67	0.20	0.45	0.50	0.49	0.25	0.35	0.41	0.49	
6	3	3	3	7	1	17	18	15	678	720	1,123	0.50	0.50	0.60	0.64	0.25	0.75	0.46	0.46	0.49	0.42	
7	4	4	4	8	1	19	23	14	686	747	1,110	0.80	0.80	0.80	0.73	0.25	0.75	0.62	0.51	0.62	0.38	
8	4	4	4	1	2	11	10	16	615	639	1,067	0.67	0.67	0.80	0.09	0.50	0.43	0.30	0.30	0.27	0.43	
9	3	3	1	1	1	9	13	22	653	763	1,108	0.50	0.50	0.20	0.25	0.25	0.75	0.24	0.24	0.35	0.59	
10	1	5	4	7	1	20	12	14	646	759	1,140	0.33	0.83	0.80	0.64	0.25	0.50	0.50	0.54	0.32	0.21	
11	1	4	5	7	2	21	16	17	723	825	1,029	0.33	0.67	1.00	0.64	0.50	0.25	0.57	0.43	0.46	0.23	
12	3	3	4	3	2	14	9	22	635	806	1,155	0.50	0.50	0.80	0.27	0.25	0.25	0.38	0.24	0.59	0.20	
13	4	4	5	5	2	19	12	20	758	900	1,205	0.67	0.67	1.00	0.50	0.50	0.50	0.53	0.33	0.54	0.24	
14	1	1	1	5	1	10	11	24	759	923	1,238	0.33	0.33	0.20	0.45	0.25	0.25	0.27	0.27	0.31	0.65	
15	2	5	3	3	1	16	19	29	807	1,032	1,290	0.67	0.83	0.60	0.27	0.25	0.75	0.43	0.43	0.53	0.78	
16	2	3	3	7	4	18	20	23	1,015	1,197	1,524	0.17	0.17	0.60	0.64	1.00	1.00	0.75	0.49	0.56	0.62	
17	2	3	1	7	1	22	25	26	1,045	1,219	1,490	0.67	0.50	0.20	0.64	0.25	1.00	1.00	0.59	0.69	0.70	
18	1	3	5	4	7	22	14	22	793	973	1,019	0.33	0.50	1.00	1.75	1.00	0.50	0.59	0.39	0.59	0.25	
19	4	4	4	1	3	20	18	26	1,145	1,155	1,342	1.33	0.67	0.80	0.09	0.75	0.50	0.54	0.54	0.49	0.70	
20	5	5	9	1	2	26	28	26	1,026	1,270	1,413	0.83	0.83	0.20	0.82	0.25	0.75	0.70	0.54	0.70	0.33	
21	4	4	3	1	2	15	20	23	1,097	1,272	1,409	0.67	0.67	0.60	0.09	0.50	0.50	0.75	0.41	0.54	0.62	
22	1	5	3	6	2	25	25	20	1,067	1,302	1,428	0.33	0.83	0.60	0.35	0.50	0.50	0.68	0.68	0.54	0.34	
23	1	4	4	4	2	21	24	24	985	1,286	1,393	0.17	0.17	0.20	0.36	1.00	1.00	0.30	0.65	0.65	0.31	
24	2	2	4	3	1	13	29	25	983	1,205	1,370	0.33	0.33	0.80	0.27	0.25	0.75	0.35	0.78	0.68	0.31	
25	1	2	1	3	3	10	20	32	975	1,271	1,352	0.33	0.33	0.20	0.18	0.25	0.25	0.27	0.54	0.31	0.40	
26	1	4	2	2	1	13	25	25	935	1,294	1,326	0.33	0.67	0.60	0.27	0.25	0.75	0.35	0.68	0.68	0.30	
27	2	6	6	2	2	18	13	17	877	1,229	1,324	1.00	1.00	1.20	0.18	0.25	0.50	0.49	0.35	0.46	0.28	
28	2	6	3	5	1	23	16	21	894	1,173	1,297	0.67	1.00	0.60	0.45	0.25	0.75	0.62	0.43	0.57	0.28	
29	3	2	6	2	2	20	14	22	767	955	1,080	1.00	0.33	1.20	0.18	0.25	1.25	0.54	0.38	0.59	0.24	
30	3	5	1	1	1	15	13	13	786	884	1,171	1.00	0.83	0.20	0.25	0.50	0.75	0.41	0.30	0.35	0.25	
31	1	5	3	3	1	11	15	26	848	903	1,070	0.33	0.83	0.83	0.27	0.25	0.25	0.30	0.41	0.70	0.27	
32	5	5	2	6	3	19	14	11	705	680	723	0.83	0.83	0.40	0.55	0.75	0.50	0.51	0.38	0.30	0.23	
33	1	4	4	1	2	10	17	21	605	656	987	0.33	0.33	0.80	0.09	0.50	0.50	0.27	0.46	0.57	0.20	
34	2	5	6	1	1	20	11	15	913	744	1,048	0.67	0.83	1.20	0.09	0.25	0.75	0.54	0.30	0.41	0.29	
35	3	9	2	5	2	20	19	18	849	839	1,092	1.00	1.50	0.40	0.45	0.50	0.25	0.54	0.51	0.49	0.27	
36	4	4	5	1	2	13	15	18	862	856	1,115	0.67	0.67	1.00	0.09	0.50	0.25	0.35	0.41	0.49	0.27	
37	5	5	3	3	1	10	13	22	855	863	1,188	0.83	0.83	0.60	0.27	0.25	0.25	0.27	0.35	0.59	0.27	
38	1	1	1	3	3	6	18	12	637	706	997	0.17	0.17	0.20	0.64	0.75	0.50	0.16	0.32	0.32	0.20	
39	1	1	1	1	3	13	18	13	791	848	1,020	0.17	0.17	0.20	0.64	0.75	0.25	0.35	0.49	0.35	0.25	
40	1	3	3	4	1	13	14	18	800	772	1,089	0.33	0.50	0.60	0.36	0.25	0.25	0.35	0.38	0.49	0.25	
41	5	5	4	1	1	12	16	14	690	739	1,195	0.83	0.83	0.80	0.10	0.25	0.25	0.33	0.43	0.38	0.22	
42	7	7	2	1	1	12	15	18	772	781	1,162	1.17	1.17	0.40	0.09	0.50	0.50	0.32	0.41	0.49	0.25	
43	1	2	1	2	1	12	17	19	681	774	1,074	0.17	0.17	0.60	0.18	0.25	0.50	0.32	0.46	0.51	0.22	
44	2	2	3	4	1	10	12	18	667	803	1,165	0.33	0.33	0.60	0.36	0.25	0.25	0.27	0.32	0.49	0.21	
45	1	1	2	3	3	14	14	21	763	842	1,144	0.17	0.17	0.40	0.27	0.75	0.25	0.32	0.32	0.57	0.24	
46	3	3	3	3	1	12	18	26	716	797	1,105	0.50	0.50	0.60	0.27	0.25	0.25	0.32	0.49	0.70	0.23	
47	4	4	1	2	1	11	10	19	631	815	1,084	0.67	0.67	0.20	0.18	0.25	0.25	0.30	0.27	0.51	0.20	
48	5	5	3	3	2	13	16	20	741	787	988	0.83	0.83	0.60	0.27	0.50	0.50	0.35	0.35	0.54	0.24	
49	1	1	1	2	1	5	12	26	653	738	1,033	0.33	0.33	0.20	0.18	0.25	0.25	0.14	0.32	0.70	0.21	
50	1	4	3	2	1	8	16	22	652	761	1,051	0.67	0.67	0.60	0.18	0.25	0.25	0.22	0.43	0.59	0.21	
51	2	2	1	2	1	9	10	22	652	679	1,009	1.00	1.00	0.20	0.18	0.25	0.25	0.24	0.27	0.59	0.21	
52	1	6	5	2	1	15	12	14	545	531	572	0.33	1.00	1.00	0.18	0.25	0.25	0.41	0.32	0.38	0.18	
合計	38	170	141	184	69	756	831	1,053	40,817	47,044	60,172	12.67	28.33	28.20	16.78	17.25	16.50	20.46	22.54	28.46	13.00	
																						19.08

ヘルパンギーナ

2023年の患者報告数は2,450人(定点当たり66.23人/年)で、前年(患者報告数186人、定点当たり5.03人/年)の13.2倍に増加し、過去10年で最も大きな発生規模であった。第20週(5月中旬)から報告数が増加し、第24週(6月中旬)に定点当たり8.00人/週とピークを迎えた。他保健所に先駆け第21週(5月下旬)から宇和島保健所で急増し、その後今治保健所、八幡浜保健所、西条保健所、中予保健所、松山市保健所と地域が入れ替わりながら流行した。宇和島保健所では第24週(6月中旬)に27.75人/週と他保健所に比べ非常に大きなピークがみられた。四国中央保健所では散發程度の発生であった。地域別の定点当たり報告数は、宇和島保健所が148.00人/年と最も多く、次いで今治保健所93.80人/年、中予保健所80.25人/年、八幡浜保健所69.50人/年、西条保健所44.33人/年、松山市保健所44.03人/年、四国中央保健所13.33人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳557人(22.7%)、2歳500人(20.4%)、3歳423人(17.3%)の順であったが、例年に比べ1~3歳の割合が60.4%と減少し(過去10年62.2~81.6%(平均69.1%))、4~6歳の割合が27.4%と増加した(過去10年9.2~23.8%(平均17.7%))。

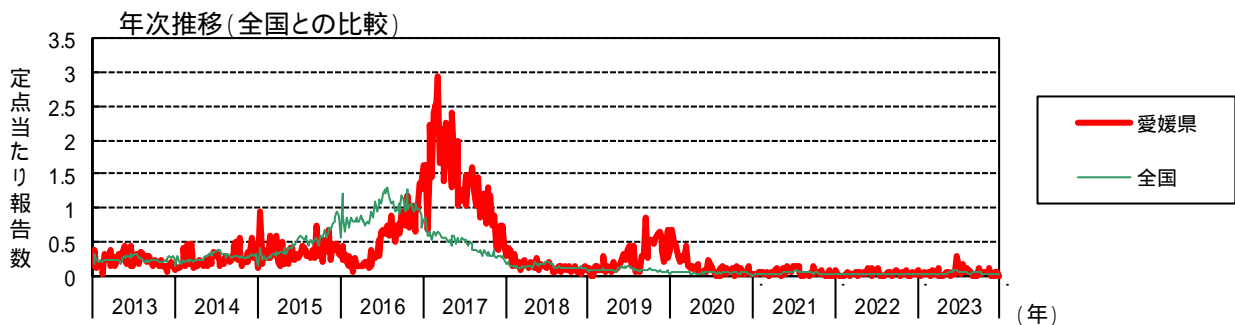
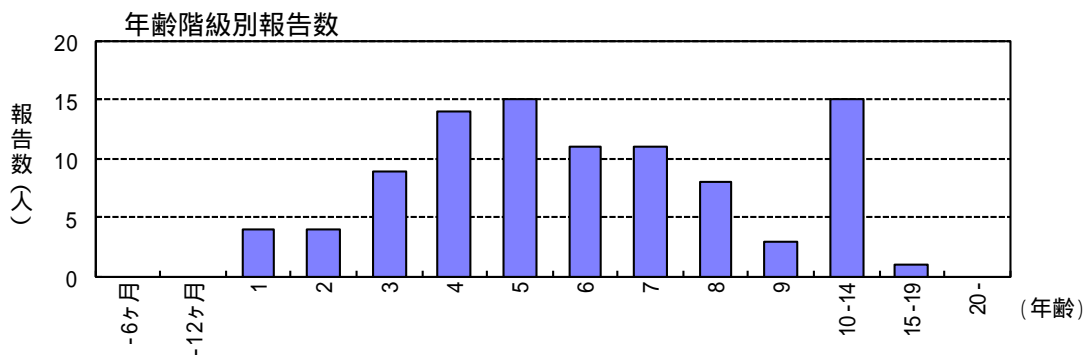
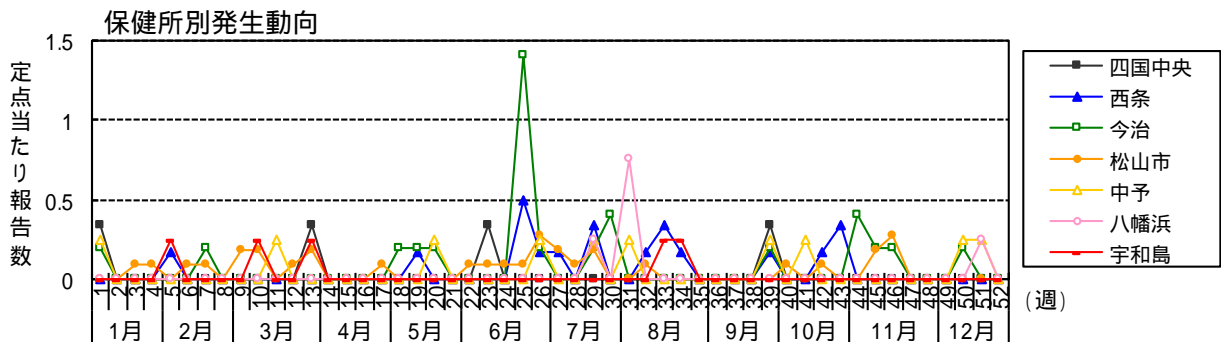
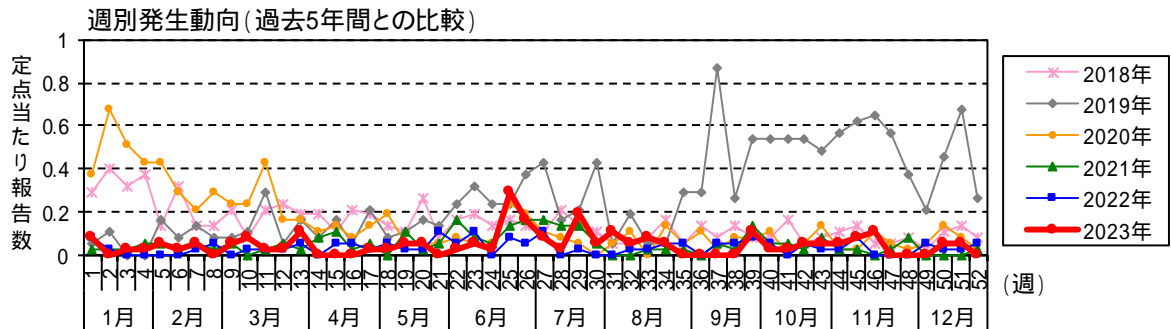


ヘルパンギーナ

月	週	患者報告数										定点当たり報告数													
		2023年					愛媛県					2023年						愛媛県			全国				
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021					
1	1		2				1		3	3	4	83	189	69			0.33			0.08	0.08	0.11	0.03	0.06	0.02
2	2							1	1	2	5	138	226	64					0.25	0.03	0.05	0.14	0.04	0.07	0.02
3	3								16	16	16	190	237	91								0.43	0.06	0.08	0.03
4	4								8	170	8	170	149	104								0.22	0.05	0.05	0.03
5	5								3	156	3	156	92	84							0.03	0.08	0.05	0.03	0.03
6	6		1						1	126	8	126	70	79			0.17			0.03	0.22	0.22	0.04	0.02	0.03
7	7								9	158	9	158	63	75						0.03	0.24	0.24	0.05	0.02	0.02
8	8								1	153	11	153	51	72						0.03	0.30	0.30	0.05	0.02	0.02
9	9								1	118	7	118	65	98						0.03	0.19	0.19	0.04	0.02	0.03
10	10								4	154	4	154	56	105						0.03	0.11	0.11	0.05	0.02	0.03
11	11								3	173	3	173	41	115						0.03	0.08	0.08	0.06	0.01	0.04
12	12								1	187	2	187	37	72					0.25	0.03	0.05	0.05	0.06	0.01	0.02
13	13								1	312	2	312	33	76			0.17			0.03	0.05	0.05	0.10	0.01	0.02
14	14								1	322	2	322	50	72						0.03	0.05	0.05	0.10	0.02	0.02
15	15								3	580	10	580	41	80			0.17			0.08	0.27	0.27	0.18	0.01	0.03
16	16	2		1					3	871	6	871	34	117						0.08	0.16	0.16	0.28	0.01	0.04
17	17								1	1,028	2	1,028	53	122						0.03	0.05	0.05	0.33	0.02	0.04
18	18								5	888	47	888	71	153						0.14	0.22	0.22	0.28	0.01	0.02
19	19	1		2					7	1,038	8	1,038	71	153						0.25	0.22	0.22	0.33	0.02	0.05
20	20	2	5	5					27	2,276	6	2,276	97	233			0.83			0.73	0.16	0.16	0.73	0.03	0.07
21	21	3	5	8					81	4,164	9	4,164	90	300			0.83			2.19	0.24	0.24	1.33	0.03	0.10
22	22	1	15	23					17	5,872	17	5,872	123	288			2.50			4.60	0.45	0.45	4.00	0.03	0.04
23	23	6	27	37					16	9,451	16	9,451	166	359			4.50			3.00	0.16	0.16	3.02	0.05	0.11
24	24	4	34	55					21	14,217	12	14,217	252	348			5.67			7.75	0.36	0.36	4.53	0.08	0.11
25	25	3	49	24					42	18,197	31	18,197	451	460			8.17			11.25	0.84	0.84	5.79	0.14	0.15
26	26	7	27	46					24	20,352	14	20,352	767	501			4.50			9.20	0.48	0.48	6.41	0.24	0.16
27	27	3	15	51					19	23,044	21	23,044	1,069	675			2.50			10.20	0.73	0.73	7.33	0.34	0.21
28	28	3	26	55					12	21,586	21	21,586	1,610	942			1.83			11.00	0.64	0.64	6.88	0.51	0.30
29	29	2	11	41					5	14,825	24	14,825	1,700	939			1.83			8.20	0.91	0.91	4.72	0.54	0.30
30	30	1	10	24					2	13,654	3	13,654	2,367	896			1.67			4.80	0.55	0.55	4.34	0.79	0.44
31	31	1	4	9					5	9,583	7	9,583	2,470	1,091			0.67			1.80	0.73	0.73	3.05	0.79	0.35
32	32	3	3	15					12	5,685	4	5,685	1,932	615			0.50			0.60	1.36	1.36	1.84	0.63	0.20
33	33	2	2	5					8	2,887	4	2,887	1,579	785			0.33			1.00	0.18	0.18	0.93	0.51	0.25
34	34	1	1	10					6	3,401	10	3,401	2,478	1,384			0.17			2.00	0.36	0.36	1.09	0.79	0.44
35	35	4	4	9					10	3,371	14	3,371	2,805	1,489			0.67			1.80	0.55	0.55	1.07	0.89	0.47
36	36	5	7	8					8	2,903	6	2,903	2,768	1,640			0.83			1.40	0.73	0.73	0.92	0.88	0.52
37	37	1	4	7					9	2,447	3	2,447	2,554	1,666			0.17			0.80	0.64	0.64	0.78	0.81	0.53
38	38	2	2	5					7	1,761	4	1,761	1,361	1,340			0.33			1.00	0.27	0.27	0.56	0.43	0.42
39	39	6	8	6					7	2,139	33	2,139	1,419	1,665			1.60			1.60	0.55	0.55	0.68	0.45	0.53
40	40	1	2	5					7	1,674	39	1,674	1,268	1,931			0.33			1.00	0.45	0.45	0.53	0.40	0.61
41	41	2	2	3					3	878	12	878	931	2,225			0.40			0.30	0.30	0.30	0.30	0.28	0.71
42	42	1	4	4					4	742	8	742	1,026	2,233			0.17			0.80	0.36	0.36	0.24	0.33	0.71
43	43	4	3	3					2	1,924	13	1,924	756	1,024			0.67			0.60	0.27	0.27	0.17	0.24	0.61
44	44	3	2	2					1	369	7	369	646	1,625			0.60			0.60	0.18	0.18	0.12	0.21	0.51
45	45	3	2	2					6	377	12	377	580	1,493			0.60			0.60	0.18	0.18	0.12	0.21	0.51
46	46	1	4	2					10	333	11	333	565	1,490			0.17			0.80	0.18	0.18	0.11	0.18	0.47
47	47	4	4	3					9	276	11	276	594	1,250			0.80			0.80	0.27	0.27	0.09	0.19	0.40
48	48	1	2	2					4	223	12	223	585	1,176			0.17			0.40	0.09	0.09	0.07	0.19	0.37
49	49			1					3	189	5	189	529	909			0.09			0.25	0.25	0.25	0.06	0.17	0.29
50	50			5					5	162	7	162	400	854			1.00			1.00	0.14	0.14	0.05	0.13	0.27
51	51	3	2	1					12	173	1	173	324	664			0.50			0.40	0.09	0.09	0.05	0.10	0.21
52	52	3	3	2					7	90	4	90	215	313			0.50			0.25	0.03	0.03	0.03	0.07	0.10
合計		40	266	469	484	321	278	592	2,450	186	685	194,747	38,029	37,417			44.33	93.80	80.25	69.50	44.03	66.23	18.51	62.02	11.87

流行性耳下腺炎

2023年の患者報告数は95人(定点当たり2.57人/年)で、前年(患者報告数69人、定点当たり1.87人/年)の1.4倍に増加したが、過去10年と比較すると同程度の発生規模であった。年間を通じて低い水準で推移し、第25週(6月下旬)の定点当たり0.30人/週が最高値であった。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所4.40人/年、松山市保健所2.93人/年、西条保健所2.83人/年、中予保健所2.50人/年、四国中央保健所1.33人/年、八幡浜保健所、宇和島保健所各1.25人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、5歳、10~14歳が各15人(15.8%)、4歳が14人(14.7%)、6歳、7歳が11人(11.6%)の順で、幼児から19歳まで幅広い年齢層にみられた。



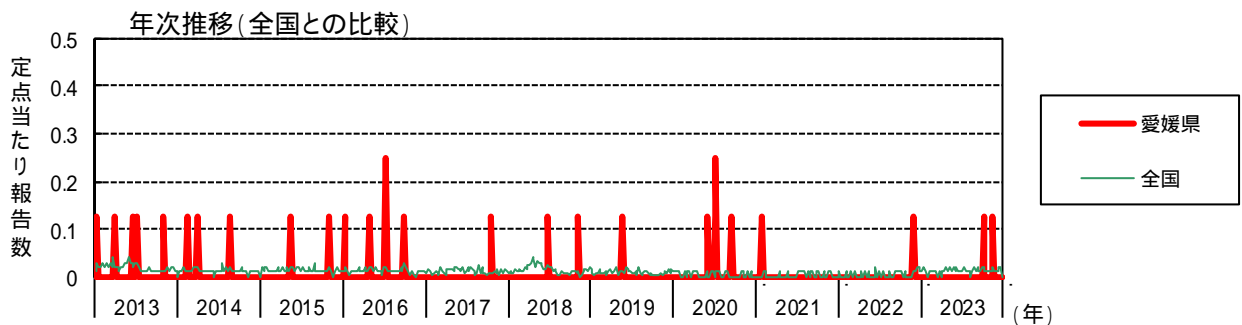
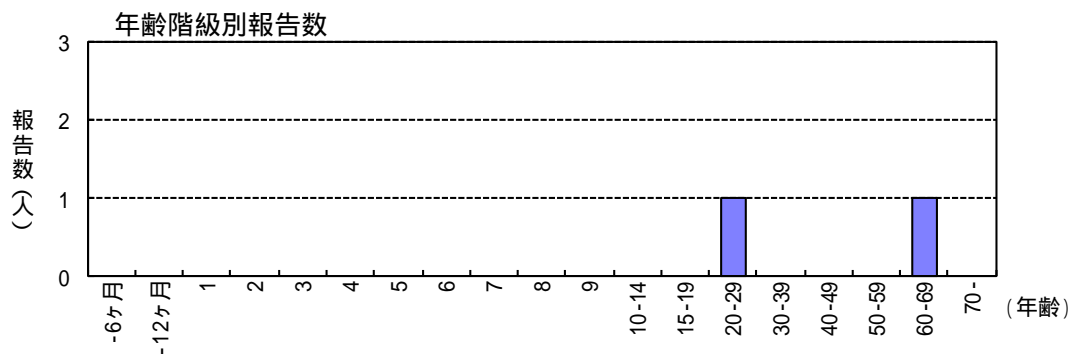
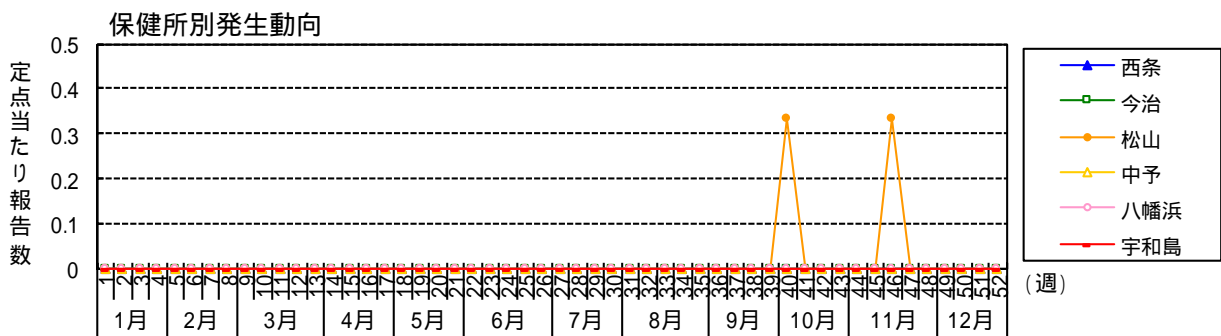
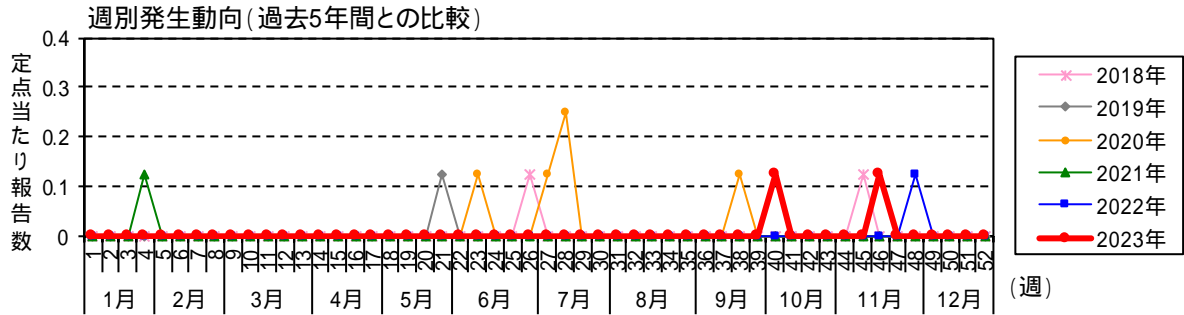
流行性耳下腺炎

月 週	患者報告数										定点当たり報告数											
	2023年 保健所別					愛媛県					全国											
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021		
1	1		1		1		3	3	1	63	68	103	0.33	0.20	0.25		0.08	0.08	0.03	0.02	0.03	
2							1	1	1	68	88	114					0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	
3				1			1	1	1	84	77	135	0.09				0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	
4				1			1	1	2	76	75	130	0.09				0.03	0.03	0.05	0.02	0.04	
5				1			2	2	2	96	84	131				0.25	0.05	0.05	0.03	0.04		
6				1			1	1	2	92	54	112					0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	
7			1	1			2	1	2	95	73	108	0.09	0.20			0.05	0.03	0.05	0.03	0.03	
8							1	2	1	81	75	76					0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	
9				2			2	2	2	95	63	113					0.05	0.05	0.05	0.02	0.04	
10				2			3	1	1	91	88	112	0.18				0.08	0.03	0.03	0.02	0.04	
11				2			1	1	1	100	88	112	0.18	0.25		0.25	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	
12				1			1	1	2	79	65	104	0.09				0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
13				2			4	2	1	97	82	86	0.20			0.25	0.11	0.06	0.03	0.03	0.03	
14							1	2	3	95	54	124						0.08	0.03	0.02	0.04	
15							2	2	4	114	99	136					0.06	0.06	0.11	0.04	0.04	
16							2	2	1	110	121	121					0.06	0.03	0.04	0.04	0.04	
17				1			1	1	2	107	86	126	0.09				0.03	0.03	0.05	0.04	0.04	
18							1	2	4	97	76	108		0.20			0.03	0.06	0.03	0.02	0.03	
19							2	1	1	123	112	157		0.20			0.05	0.03	0.11	0.04	0.05	
20							2	1	1	184	121	171		0.20	0.25		0.05	0.03	0.03	0.06	0.05	
21							2	4	2	215	123	180					0.05	0.11	0.05	0.07	0.04	
22				1			1	2	6	218	128	183					0.03	0.05	0.16	0.07	0.06	
23				1			2	2	3	259	127	161	0.33				0.05	0.11	0.08	0.04	0.05	
24				1			1	1	2	245	102	201					0.03	0.03	0.05	0.08	0.03	
25				3			11	3	5	281	114	167		1.40			0.30	0.08	0.14	0.09	0.05	
26				1			6	2	3	195	131	197		0.20	0.25		0.16	0.05	0.16	0.06	0.06	
27				2			3	4	6	219	115	245					0.08	0.11	0.16	0.07	0.08	
28				1			1	5	5	221	112	246					0.03	0.14	0.14	0.07	0.08	
29				2			7	1	5	167	93	213		0.20	0.25	0.25	0.19	0.03	0.14	0.05	0.07	
30				2			2	1	2	177	78	227		0.40			0.05	0.05	0.05	0.06	0.07	
31							4	2	2	195	74	216			0.25		0.11	0.11	0.02	0.02	0.07	
32				1			2	1	1	149	56	160	0.09				0.05	0.03		0.05	0.05	
33				2			3	1	1	109	73	199				0.25	0.08	0.03	0.03	0.02	0.06	
34				1			2	2	1	133	95	158				0.25	0.05	0.05	0.04	0.03	0.05	
35							2	2	1	162	97	179				0.25	0.05	0.05	0.03	0.03	0.06	
36									1	145	111	174						0.05	0.03	0.05	0.06	
37									2	148	111	173						0.05	0.05	0.04	0.06	
38									2	155	93	139						0.05	0.03	0.03	0.05	
39				1			4	3	5	154	113	138	0.33				0.11	0.08	0.14	0.05	0.04	
40				1			1	2	2	143	96	142			0.25		0.03	0.05	0.05	0.03	0.05	
41				1			1	1	2	115	90	150			0.25		0.03	0.05	0.05	0.04	0.05	
42				1			2	2	2	120	106	122					0.05	0.05	0.03	0.03	0.04	
43				2			2	1	3	110	86	121					0.05	0.03	0.08	0.04	0.04	
44							2	1	1	106	102	115		0.40			0.05	0.03	0.03	0.03	0.04	
45				2			3	3	1	139	106	122		0.20			0.08	0.08	0.03	0.04	0.04	
46				1			4			106	108	107		0.20			0.11	0.03	0.03	0.03	0.03	
47							1		1	71	131	98							0.03	0.02	0.04	
48							3		3	104	112	92						0.03	0.08	0.04	0.03	
49									2	85	115	91						0.05		0.03	0.04	
50				1			2	1	1	107	132	90		0.20	0.25		0.05	0.03	0.04	0.03	0.03	
51							2	1	1	108	97	89			0.25		0.05	0.03	0.03	0.03	0.03	
52							2	2	1	56	57	50					0.05	0.05	0.03	0.02	0.02	
合計	4	17	22	32	10	5	95	69	100	6,864	4,933	7,324	1.33	4.40	2.50	1.25	2.57	1.87	2.70	2.19	1.57	2.32

(4) 眼科定点対象疾患(週報)

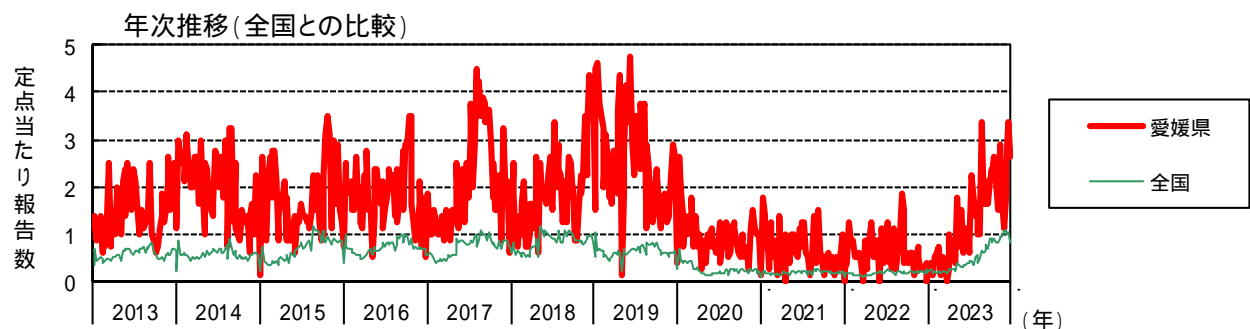
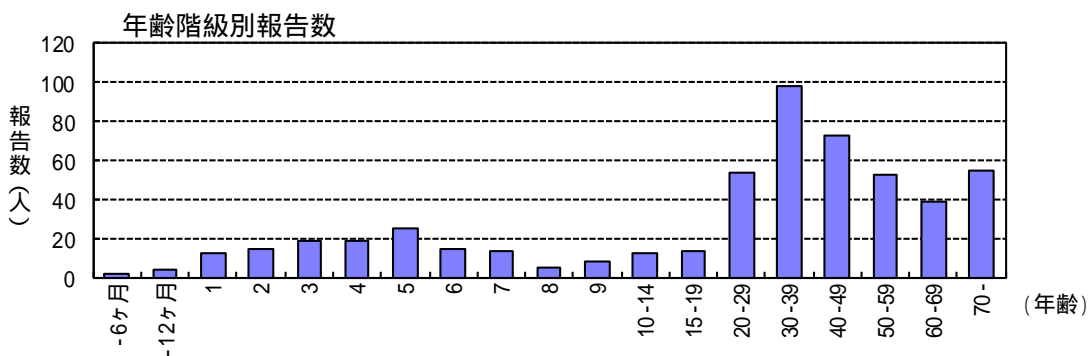
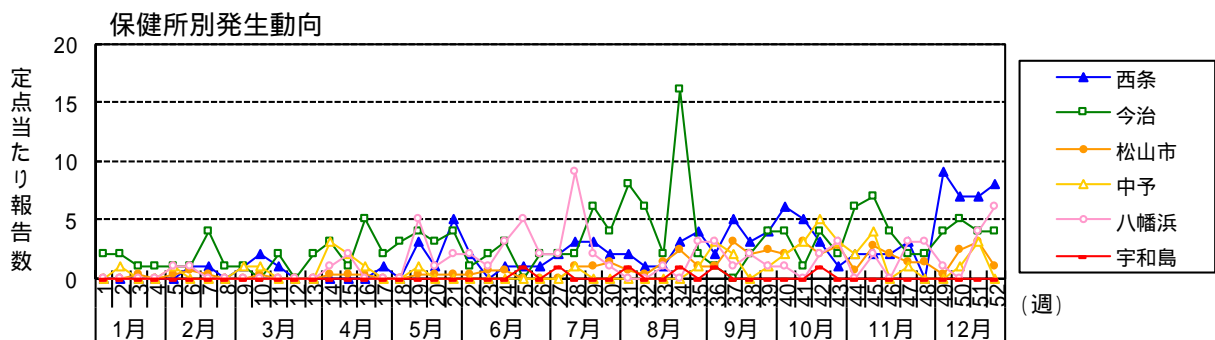
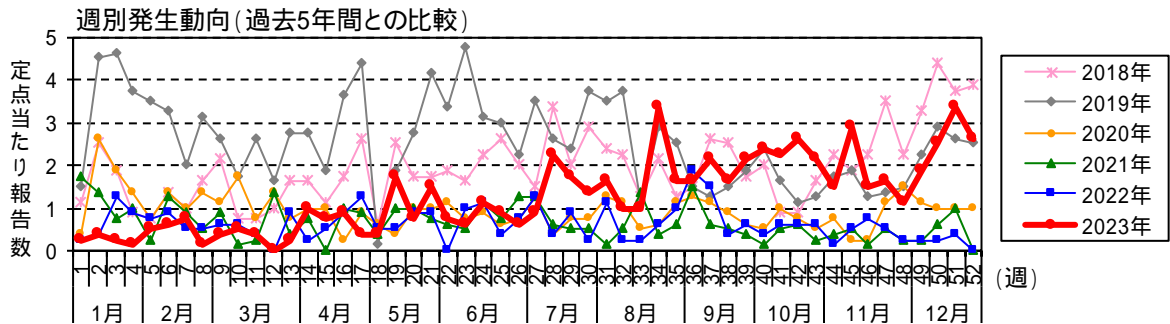
急性出血性結膜炎

2023年の患者報告数は2人(定点当たり0.25人/年)で、前年(患者報告数1人、定点当たり0.13人/年)と同様少数の報告であった。松山市保健所からの報告で、年齢は20歳代、60歳代各1人であった。本疾患は、2004年9~10月に宇和島地区で地域的な短期流行があって以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。



流行性角結膜炎

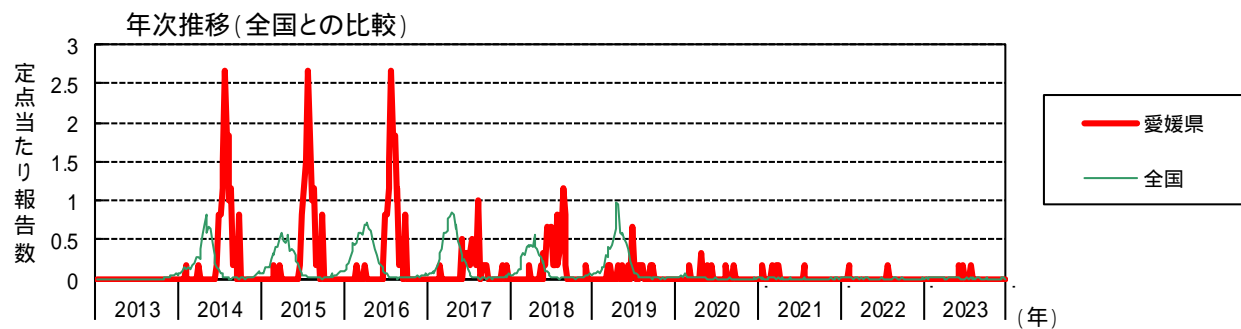
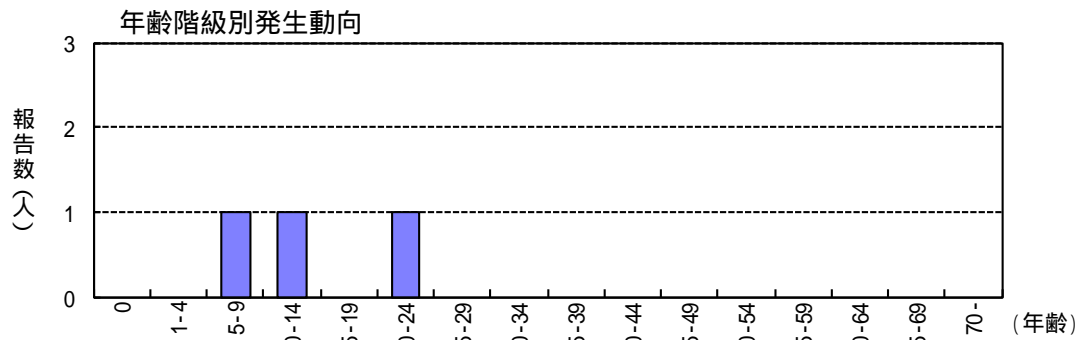
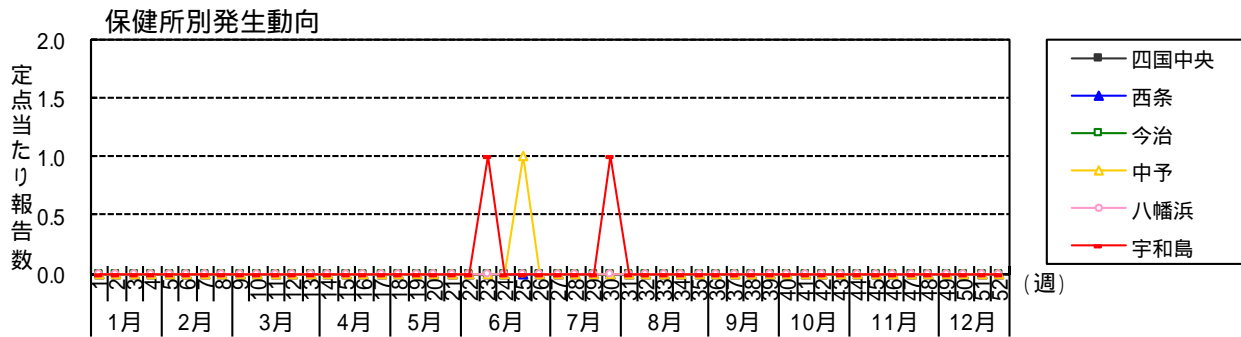
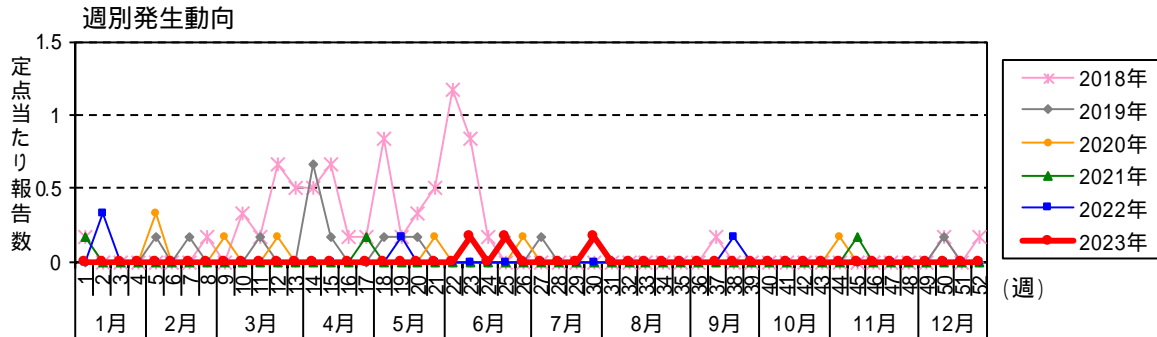
2023年の患者報告数は533人(定点当たり66.63人/年)で、前年(患者報告数259人、定点当たり32.55人/年)の2.1倍に増加したが、過去10年と比較すると同程度の発生規模であった。本疾患は、2020年以降大きな変動を示すことなく低い水準で推移していたが、本年は増減を繰り返しながら年間を通じて増加傾向を示した。明確なピークはみられず、最高値は第34週(8月下旬)、第51週(12月下旬)の3.38人/週であった。地域別の定点当たり報告数は、今治保健所が155.00人/年、西条保健所が111.00人/年と東予地域で多く、次いで八幡浜保健所76.00人/年、松山市保健所47.33人/年、中予保健所43.00人/年、宇和島保健所6.00人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、30歳代98人(18.4%)、40歳代72人(13.5%)、70歳以上55人(10.3%)の順で、20歳以上の成人が69.4%(370人)を占めた。



(5) 基幹定点対象疾患(週報)

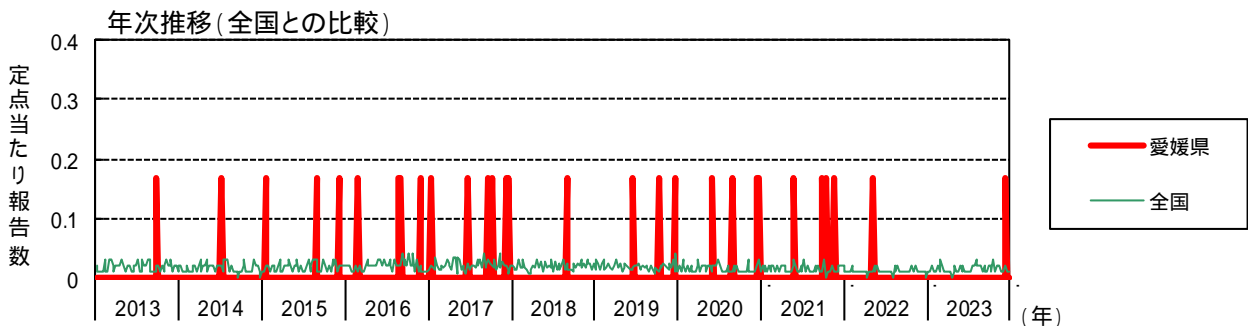
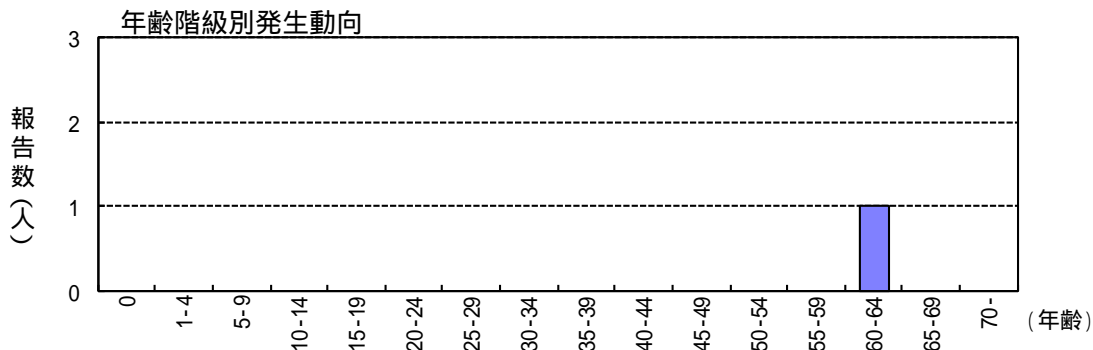
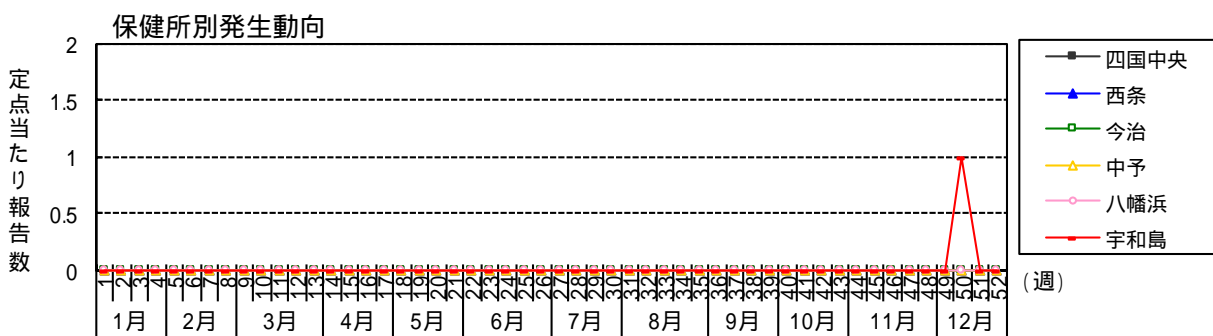
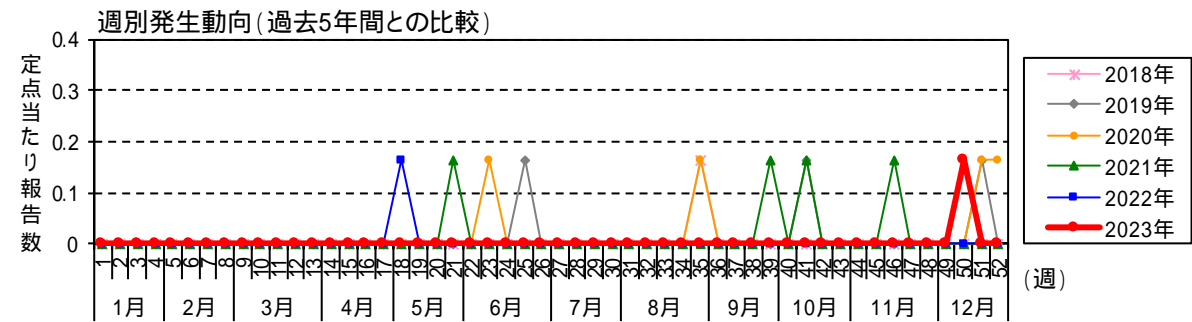
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(ロタウイルス胃腸炎)

2023年の患者報告数は3人(定点当たり0.50人/年)で、前年(患者報告数4人、定点当たり0.67人/年)と同様少数の報告であった。宇和島保健所から2人、中予保健所から1人の報告があり、年齢別の患者報告数は、5~9歳、10~14歳、20~24歳が各1人であった。



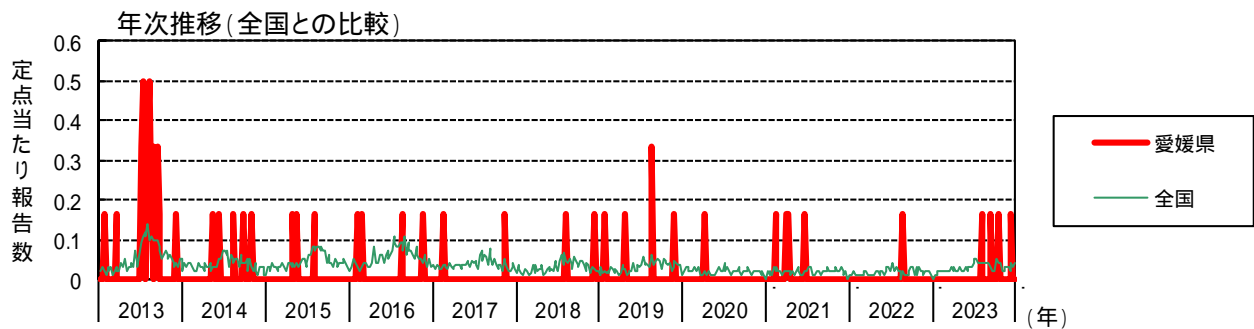
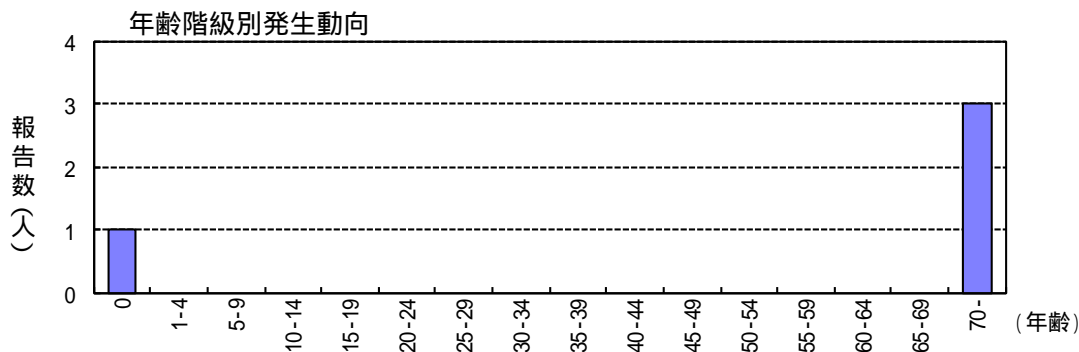
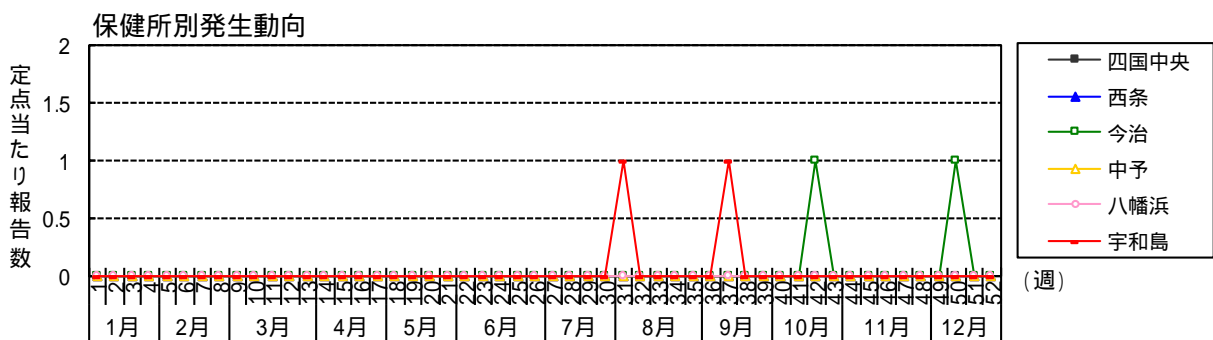
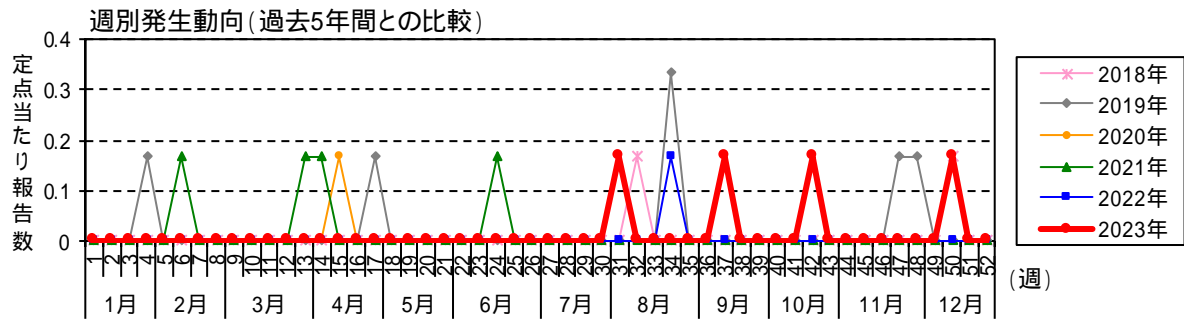
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)

2023年の患者報告数は1人(定点当たり0.17人/年)で、前年(患者報告数1人、定点当たり0.17人/年)と同様少数の報告であった。宇和島保健所からの報告で、年齢は60~64歳であった。病原体は不明であった。



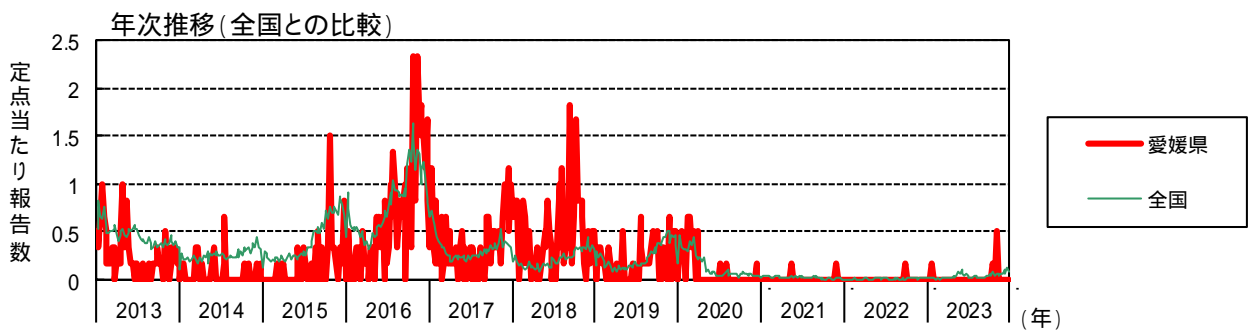
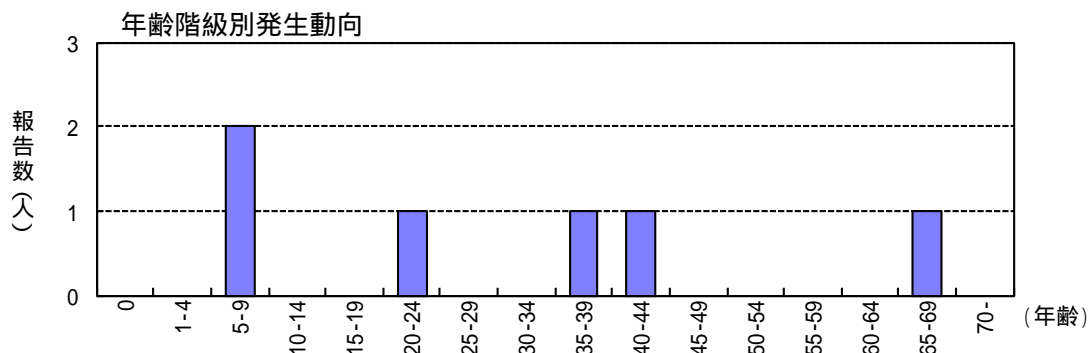
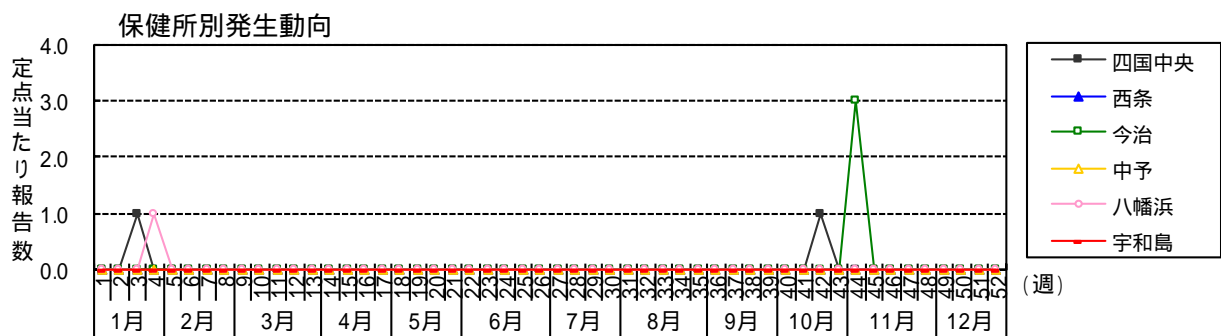
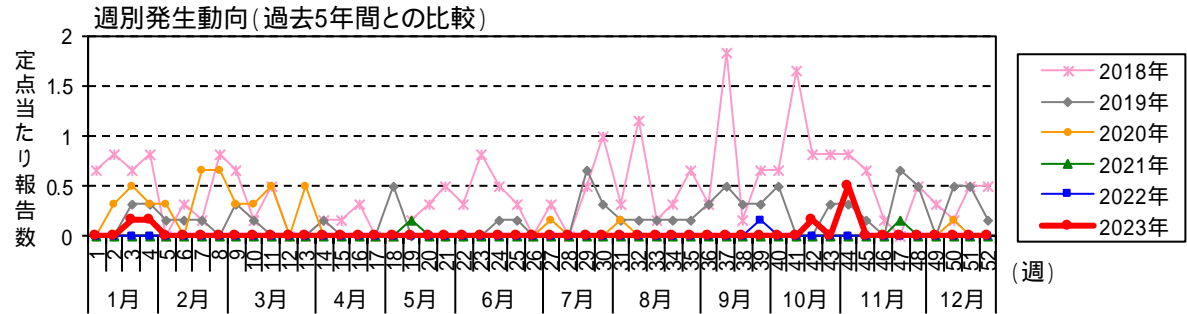
無菌性髄膜炎

2023年の患者報告数は4人(定点当たり0.67人/年)で、前年(患者報告数1人、定点当たり0.17人/年)と同様少数の報告であった。今治保健所、宇和島保健所各2人の報告で、年齢は70歳以上3人、1歳未満1人であった。病原体は不明であった。



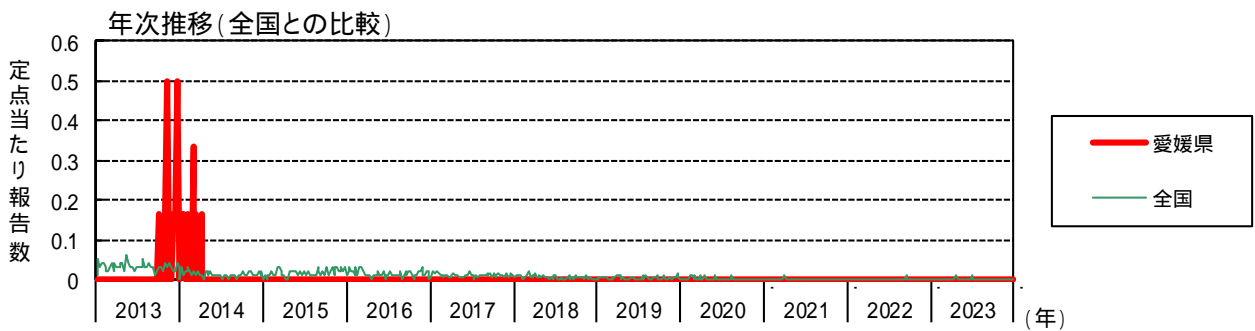
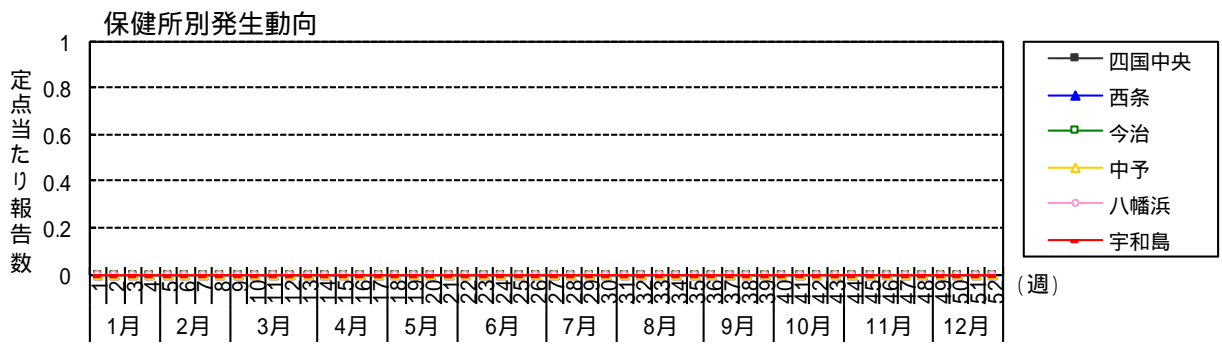
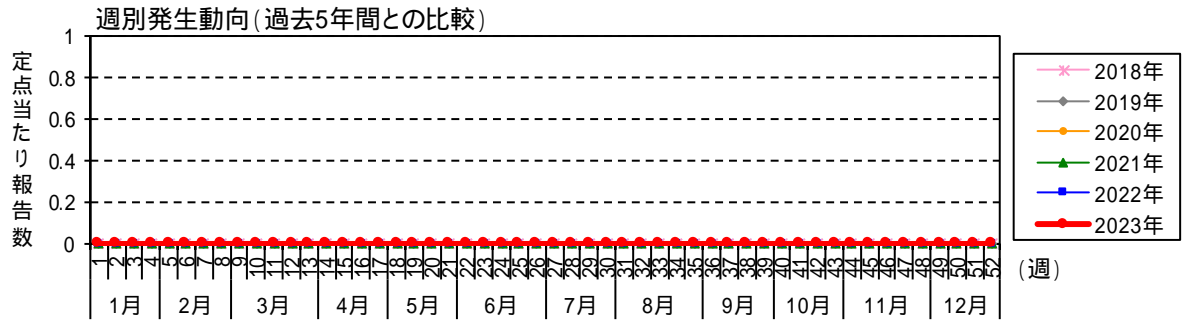
マイコプラズマ肺炎

2023年の患者報告数は6人(定点当たり1.00人/年)で、前年(患者報告数1人、定点当たり0.17人/年)と同様少数の報告であった。地域別の報告数は、今治保健所3人、四国中央保健所2人、八幡浜保健所1人で、年齢は5~9歳2人、20~24歳、35~39歳、40~44歳、65~69歳各1人であった。



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

2023年の患者報告は前年同様なかった。1999年の感染症法施行以降、2004年に4人、2013年に10人、2014年に7人の報告があった以外は、年間0~2人と少数の報告で推移している。



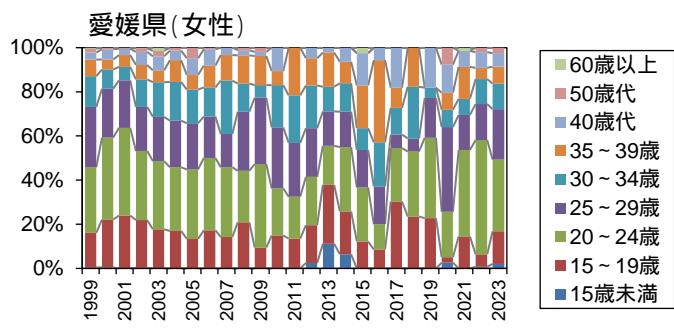
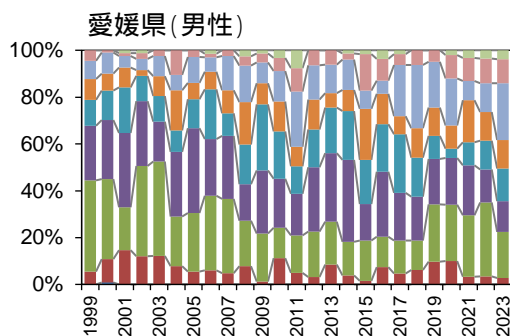
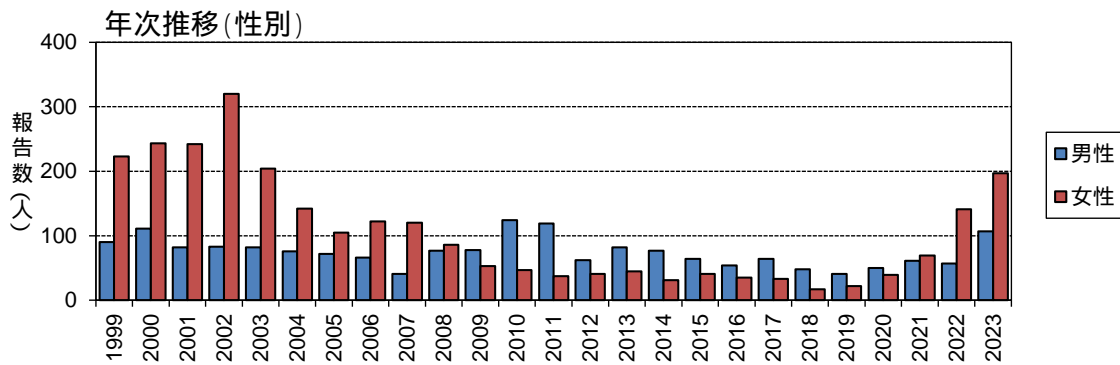
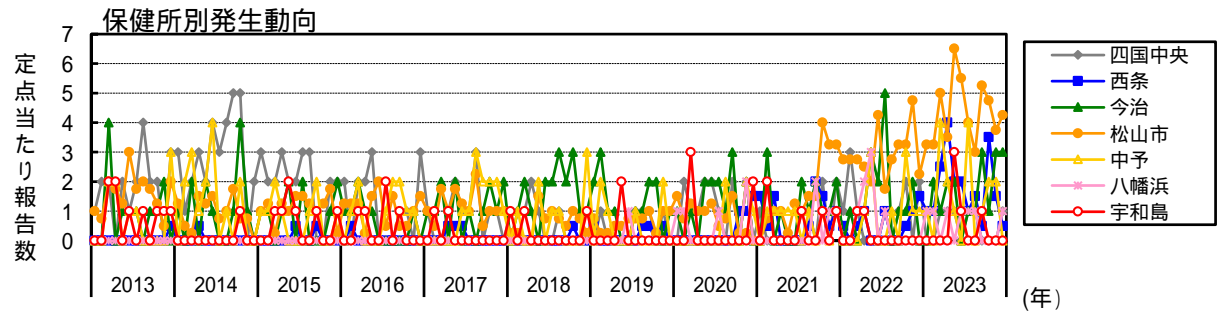
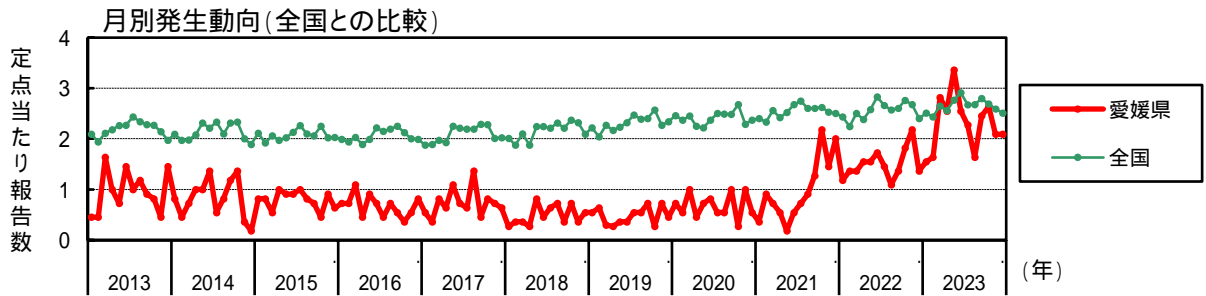
クラミジア肺炎(オウム病は除く)

月 週	患者報告数										定点当たり報告数										
	2023年 保健所別					愛媛県					全国										
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021						
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					0.01
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					
31																					
32																					
33																					
34																					
35																					
36																					
37																					
38																					
39																					
40																					
41																					
42																					
43																					
44																					
45																					
46																					
47																					
48																					
49																					
50																					
51																					
52																					
合計																					

(6)STD 定点対象疾患(月報)

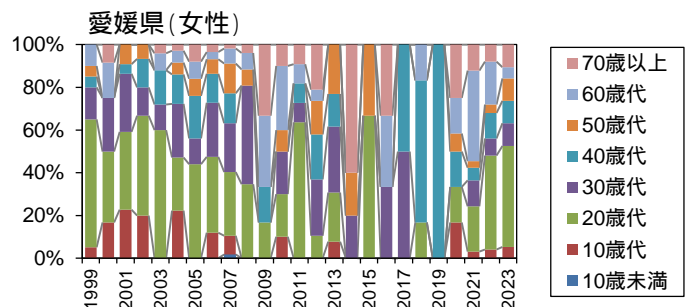
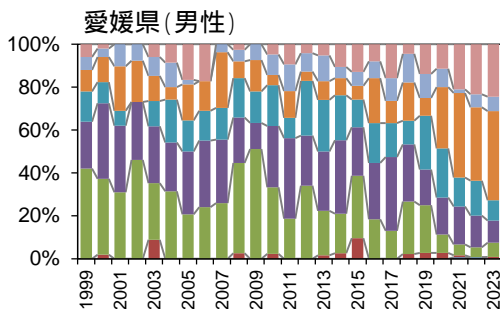
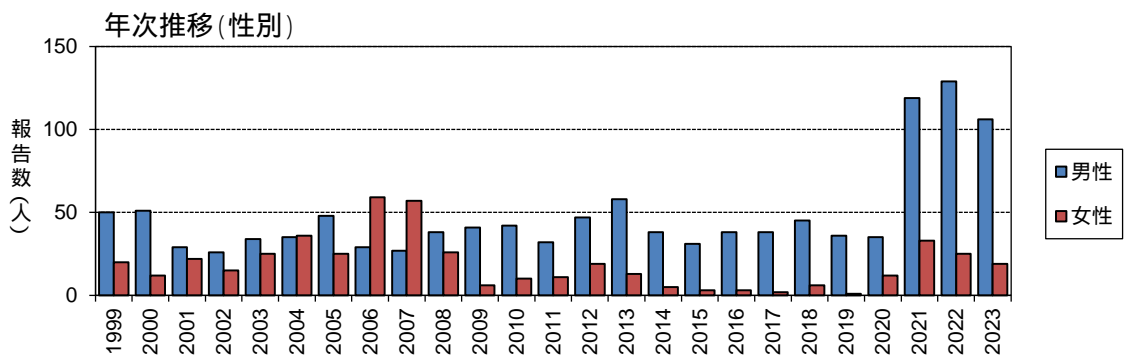
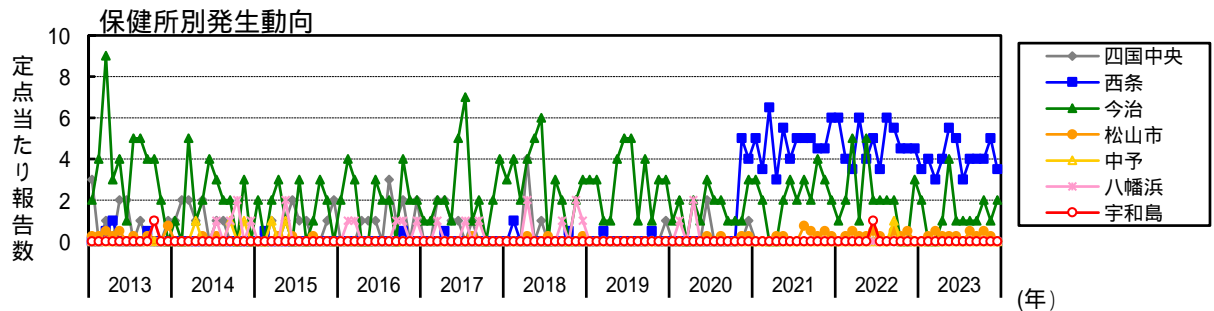
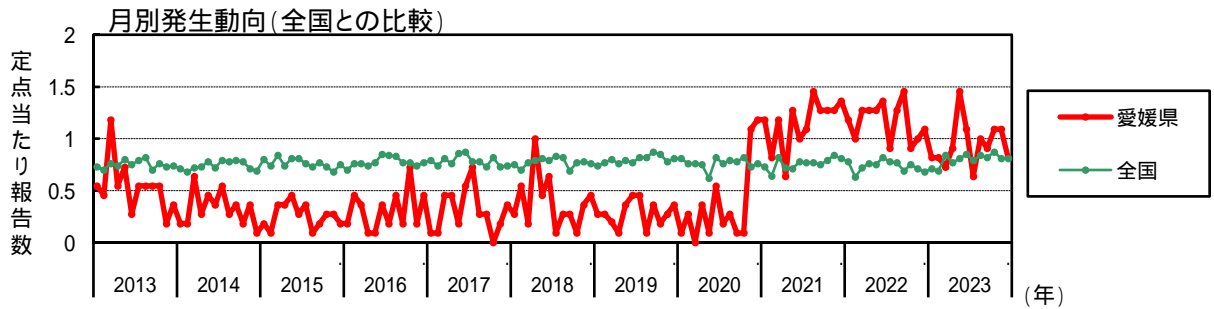
性器クラミジア感染症

2023年の患者報告数は304人(定点当たり27.64人/年)で、前年(患者報告数198人、定点当たり18.00人/年)の1.5倍に増加した。性別は男性107人(35.2%)、女性197人(64.8%)で、前年(男性57人、女性141人)と比べ男性は1.9倍、女性は1.4倍に増加した。年齢別の患者報告数では男性は20歳代~40歳代が83.2%(89人)を占め、女性は10歳代後半(15~19歳)~30歳代が89.3%(176人)を占めた。



性器ヘルペスウイルス感染症

2023年の患者報告数は125人(定点当たり11.36人/年)で、前年(患者報告数154人、定点当たり14.00人/年)と0.8倍に減少した。性別は男性106人(84.8%)、女性19人(15.2%)で、前年(男性129人、女性25人)と比較して男性、女性ともに減少した。年齢別の患者報告数は、男性では50歳代44人(41.5%)、70歳以上26人(24.5%)、30歳代11人(10.4%)の順で、2020年以降50歳代が占める割合が増加している(過去10年6.5~39.5%(平均18.3%))。女性では20歳代が9人(47.4%)と最も多く、10歳代~30歳代が63.2%を占めた。



性器クラミジア感染症

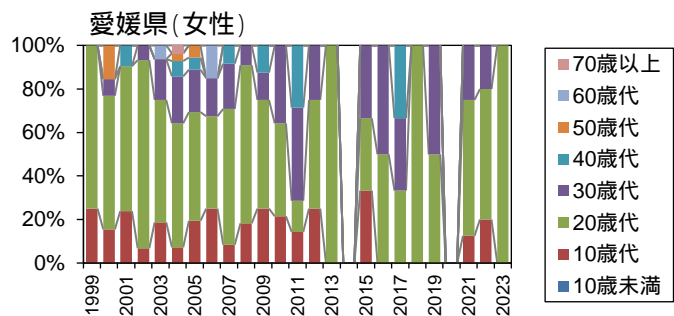
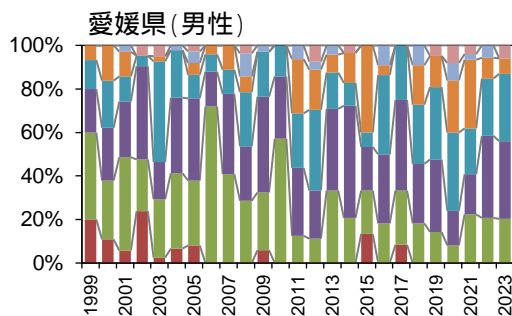
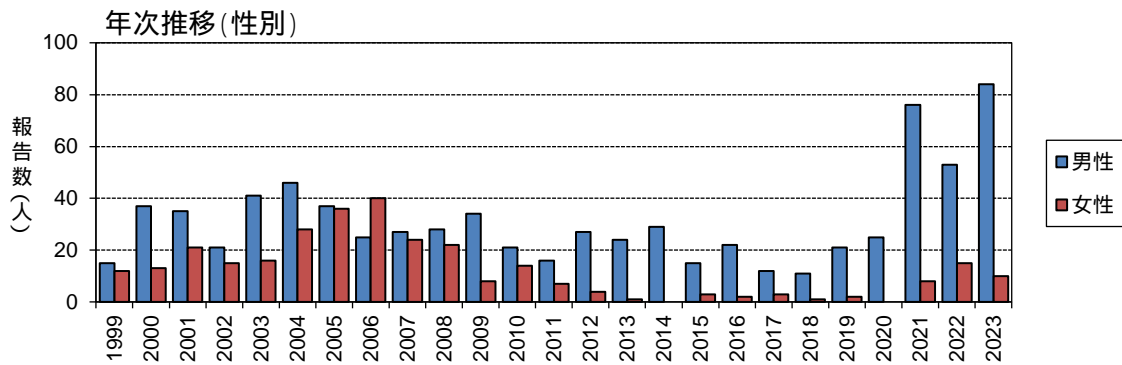
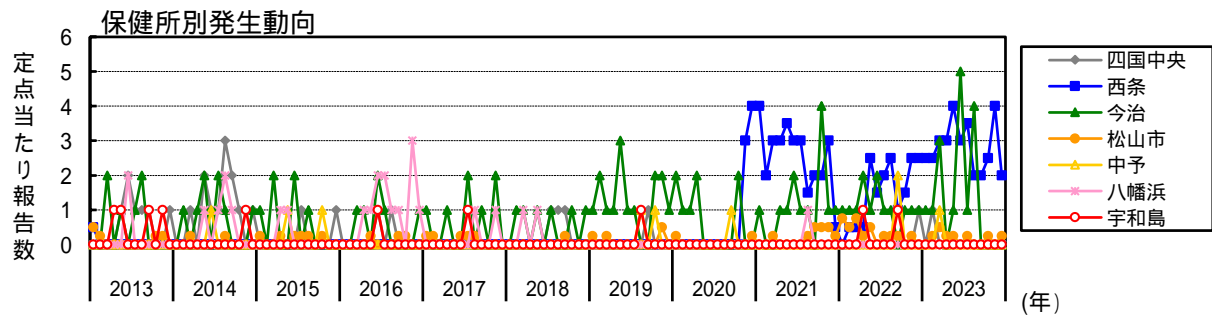
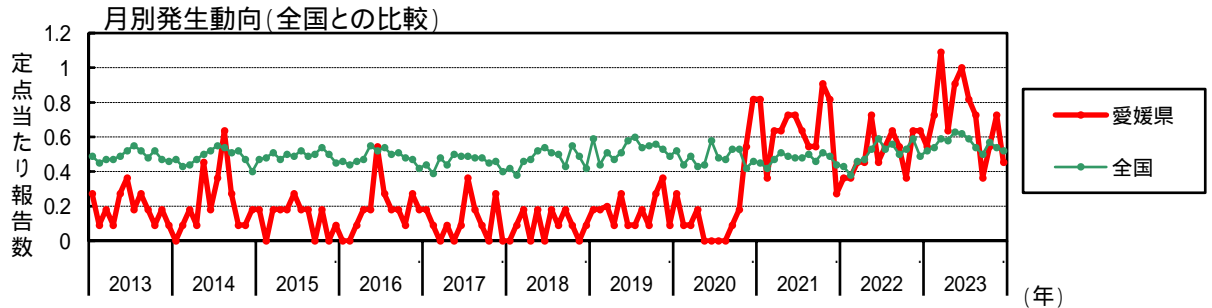
月	患者報告数										定点当たり報告数																
	2023年 保健所別					愛媛県					2023年 保健所別						愛媛県										
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021					
1		2		13	1	1		17	13	4	2,471	2,396	2,363				1.00	3.25	1.00	1.00	1.00	1.55	1.18	0.36	2.51	2.43	2.40
2		2	2	13	1	1		18	15	10	2,396	2,204	2,293				1.00	3.25	1.00	1.00	1.64	1.36	0.91	2.43	2.24	2.33	
3	1	5	1	20	4			31	15	8	2,615	2,468	2,510				1.00	5.00	4.00		2.82	1.36	0.73	2.65	2.50	2.56	
4	1	8	2	14	2	1		28	17	6	2,512	2,344	2,373				1.00	4.00	2.00	1.00	2.55	1.55	0.55	2.56	2.38	2.42	
5	1	4	2	26	1	3		37	17	2	2,721	2,541	2,475				1.00	6.50	1.00		3.36	1.55	0.18	2.77	2.58	2.52	
6		4		22		1		28	19	6	2,872	2,780	2,635				2.00	5.50	1.00	1.00	2.55	1.73	0.55	2.91	2.83	2.68	
7	1	2	1	16	4	1		25	16	8	2,635	2,613	2,710				1.00	4.00	4.00	1.00	2.27	1.45	0.73	2.67	2.66	2.75	
8	1	3	1	12		1		18	12	10	2,634	2,519	2,560				1.00	3.00		1.00	1.64	1.09	0.91	2.68	2.57	2.60	
9		1	3	21	1	1		27	15	14	2,749	2,559	2,560				0.50	5.25	1.00	1.00	2.45	1.36	1.27	2.80	2.60	2.60	
10		7	1	19	2			29	20	24	2,648	2,715	2,571				3.50	4.75	2.00		2.64	1.82	2.18	2.69	2.76	2.62	
11		3	3	15	2			23	24	16	2,547	2,634	2,495				1.50	3.75	2.00		2.09	2.18	1.45	2.59	2.68	2.53	
12	1	1	3	17		1		23	15	22	2,470	2,363	2,458				1.00	4.25		1.00	2.09	1.36	2.00	2.51	2.40	2.50	
合計	6	42	19	208	17	7	5	304	198	130	31,270	30,136	30,003				6.00	52.00	17.00	7.00	27.64	18.00	11.82	31.78	30.66	30.52	

性器ヘルペスウイルス感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数															
	2023年 保健所別					愛媛県					2023年 保健所別						愛媛県									
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021				
1		7	2					9	13	13	704	770	718				3.50	2.00			0.82	1.18	1.18	0.71	0.78	0.73
2		8		1				9	11	9	682	618	632				4.00	0.25			0.82	1.00	0.82	0.69	0.63	0.64
3		6		2				8	14	13	829	714	805				3.00	0.50			0.73	1.27	1.18	0.84	0.72	0.82
4		8	1	1				10	14	7	757	748	706				4.00	1.00	0.25		0.91	1.27	0.64	0.77	0.76	0.72
5		11	4	1				16	14	14	801	741	702				5.50	4.00	0.25		1.45	1.27	1.27	0.81	0.75	0.71
6		10	1	1				12	15	11	835	811	770				5.00	1.00	0.25		1.09	1.36	1.00	0.85	0.82	0.78
7		6	1	2				7	10	12	783	766	761				3.00	1.00			0.64	0.91	1.09	0.79	0.78	0.77
8		8	1	1				11	14	16	822	752	753				4.00	1.00			1.00	1.27	1.45	0.84	0.77	0.77
9		8	1	1				10	16	14	803	675	737				4.00	1.00	0.25		0.91	1.45	1.27	0.82	0.69	0.75
10		8	2	2				12	10	14	859	739	775				4.00	2.00	0.50		1.09	0.91	1.27	0.87	0.75	0.79
11		10	1	1				12	11	14	794	700	823				5.00	1.00	0.25		1.09	1.00	1.27	0.81	0.71	0.84
12		7	2					9	12	15	800	671	799				3.50	2.00			0.82	1.09	1.36	0.81	0.68	0.81
合計	97	16	12					125	154	152	9,469	8,705	8,981				48.50	16.00	3.00		11.36	14.00	13.82	9.62	8.86	9.14

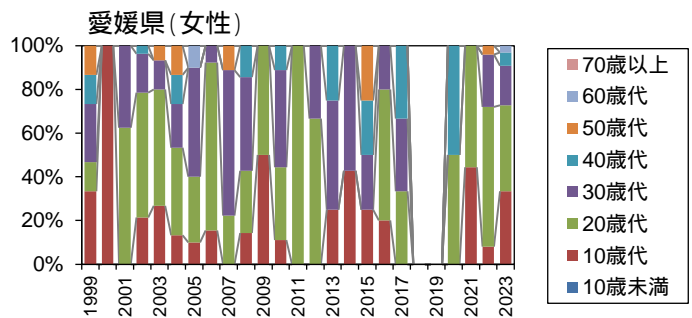
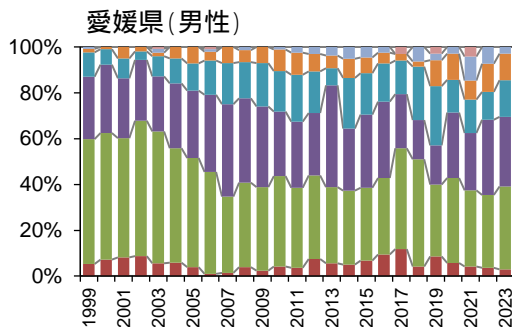
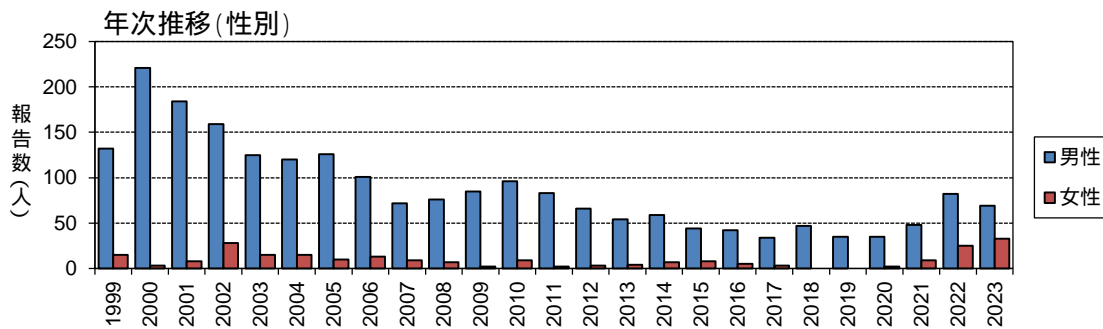
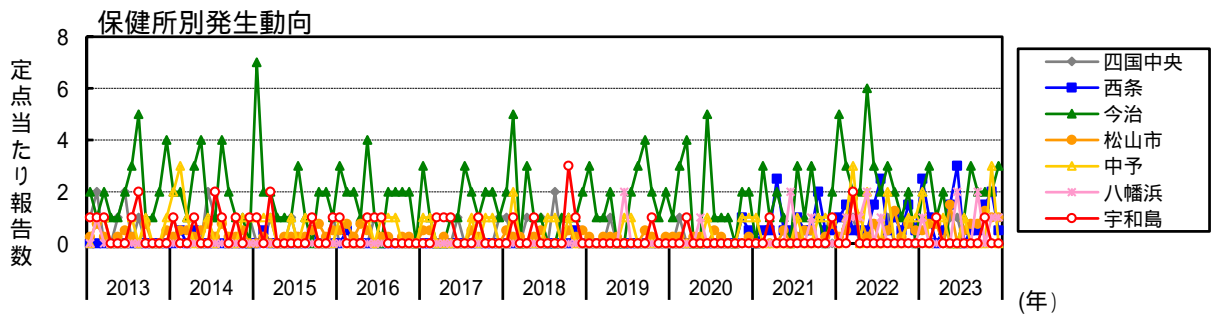
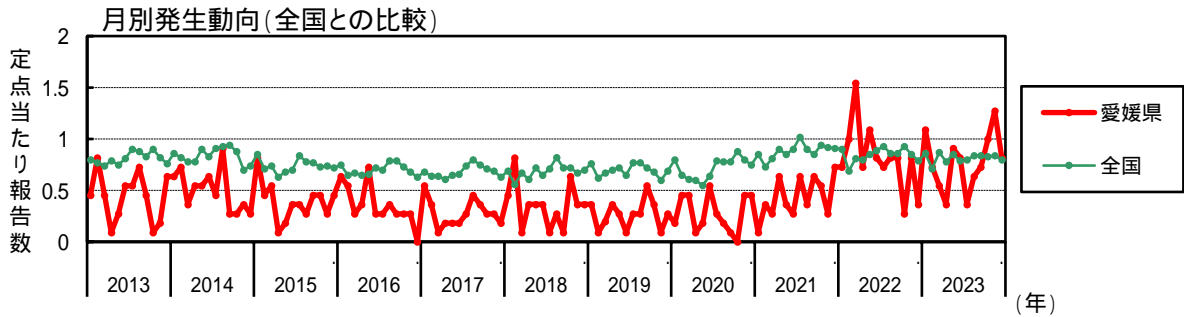
尖圭コンジローマ

2023年の患者報告数は94人(定点当たり8.55人/年)で、前年(患者報告数68人、定点当たり6.18人/年)の1.4倍に増加した。性別は男性84人(89.4%)、女性が10人(10.6%)で、前年(男性53人、女性15人)と比較して男性は増加し、女性は減少した。年齢別の患者報告数は、男性は30歳代が30人(35.7%)と最も多く、次いで40歳代が26人(31.0%)、20歳代が17人(20.2%)の順であった。女性はすべて20歳代であった。



淋菌感染症

2023年の患者報告数は102人(定点当たり9.27人/年)で、前年(患者報告数107人、定点当たり9.73人/年)と同程度であった。性別は男性69人(67.6%)、女性33人(32.4%)で、前年(男性82人、女性25人)と比較して男性は減少し、女性は増加した。年齢別の患者報告数は、男性は30歳代が21人(30.4%)、20歳代が25人(36.2%)、40歳代が11人(15.9%)と続き、20~40歳代が57人と全体の82.6%を占めた。女性は20歳代13人(39.4%)、10歳代11人(33.3%)、30歳代6人(18.2%)の順で、10歳代が前年(2人)の5.5倍に増加した。



尖圭コンジローマ

月	患者報告数										定点当たり報告数																						
	2023年 保健所別					愛媛県					全国					2023年 保健所別					愛媛県					全国							
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021
1		5	1	1			6	4	9		508	424	443		2.50	1.00					0.55	0.36	0.82		2.50	1.00					0.52	0.43	0.45
2	1	5	1	1			8	4	4		529	376	412		1.00	1.00	0.25				0.73	0.36	0.36		2.50	1.00	0.25			0.54	0.38	0.42	
3		6	3	2	1		12	5	7		579	457	458		3.00	3.00	0.50	1.00			1.09	0.45	0.64		3.00	3.00	0.50	1.00		0.59	0.46	0.47	
4		6		1			7	5	7		571	458	500		3.00		0.25				0.64	0.45	0.64		3.00		0.25			0.58	0.47	0.51	
5		8	1	1			10	8	8		617	523	485		4.00	1.00	0.25				0.91	0.73	0.73		4.00	1.00	0.25			0.63	0.53	0.49	
6		6	5				11	5	8		610	581	468		3.00	5.00					1.00	0.45	0.73		3.00	5.00				0.62	0.59	0.48	
7		7	1	1			9	6	7		581	520	468		3.50	1.00	0.25				0.82	0.55	0.64		3.50	1.00	0.25			0.59	0.53	0.48	
8		4	4				8	7	6		530	552	496		2.00	4.00					0.73	0.64	0.55		2.00	4.00				0.54	0.56	0.50	
9		4					4	6	6		491	496	453		2.00						0.36	0.55	0.55		2.00					0.50	0.50	0.46	
10		5		1			6	4	10		563	521	505		2.50		0.25				0.55	0.36	0.91		2.50		0.25			0.57	0.53	0.51	
11		8					8	7	9		534	584	483		4.00						0.73	0.64	0.82		4.00					0.54	0.59	0.49	
12		4		1			5	7	3		508	487	431		2.00		0.25				0.45	0.64	0.27		2.00		0.25			0.52	0.49	0.44	
合計	1	68	16	8	1		94	68	84		6,621	5,979	5,602		1.00	34.00	16.00	2.00	1.00		8.55	6.18	7.64		1.00	34.00	16.00	2.00	1.00	6.73	6.08	5.70	

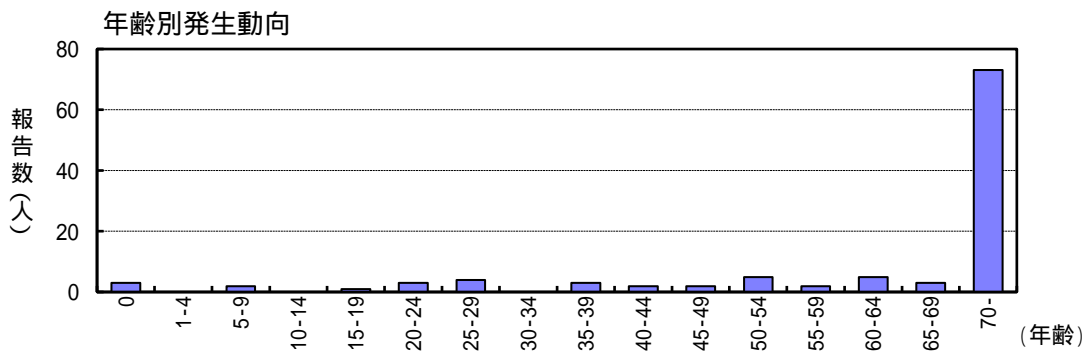
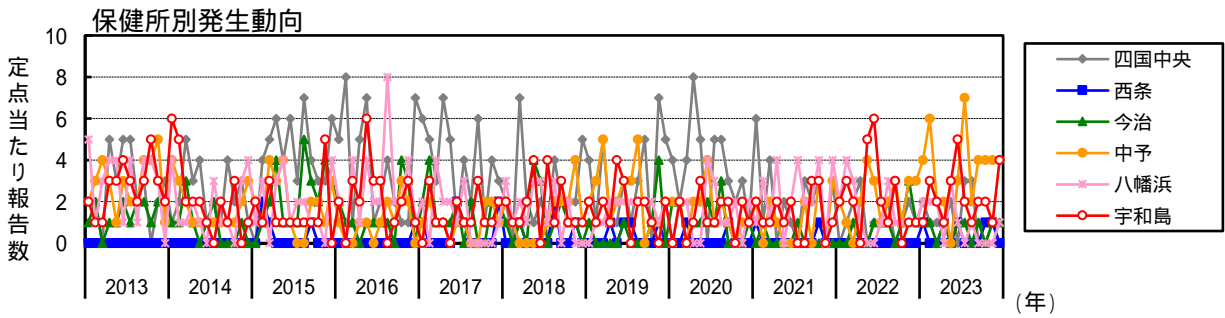
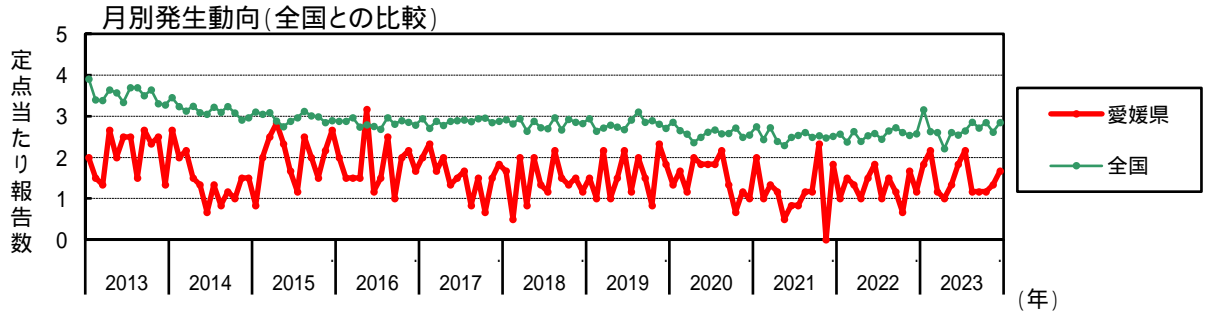
淋菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数																					
	2023年 保健所別					愛媛県					全国					2023年 保健所別					愛媛県					全国						
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022
1		5	2	2	2	1	12	8	1		851	888	839		2.50	2.00	0.50	2.00	1.00		1.09	0.73	0.09		2.50	2.00	0.50	2.00	1.00	0.86	0.90	0.85
2		2	3	3			8	11	4		701	685	714		1.00	3.00	0.75				0.73	1.00	0.36		1.00	3.00	0.75			0.71	0.69	0.73
3			1	3	1		6	17	3		860	796	790			1.00	0.75	1.00		1.00	0.55	1.55	0.27		1.00	0.75	1.00			0.87	0.81	0.81
4		1	2		1		4	8	7		767	791	888		0.50	2.00		1.00			0.36	0.73	0.64		0.50	2.00		1.00		0.78	0.80	0.90
5	1	3		6			10	12	4		898	837	835		1.00	1.50	1.50				0.91	1.09	0.36		1.00	1.50	1.50			0.85	0.85	0.85
6	1	6				2	9	9	3		776	871	887		1.00	3.00			2.00		0.82	0.82	0.27		1.00	3.00		2.00		0.79	0.89	0.90
7			1	2	1		4	8	7		793	915	1,002			1.00	0.50	1.00			0.36	0.73	0.64			1.00	1.00		0.80	0.93	1.02	
8		1	3	3			7	9	4		827	840	889		0.50	3.00	0.75				0.64	0.82	0.36		0.50	3.00	0.75			0.84	0.86	0.90
9		1	2	3			8	9	7		822	845	839		0.50	2.00	0.75		2.00		0.73	0.82	0.64		0.50	2.00	0.75			0.84	0.86	0.85
10		3	2	5		1	11	3	6		819	911	920		1.50	2.00	1.25			1.00	1.00	0.27	0.55		1.50	2.00	1.25			0.83	0.93	0.94
11		4	2	4	3	1	14	9	3		829	840	906		2.00	2.00	1.00	3.00	1.00		1.27	0.82	0.27		2.00	2.00	1.00	3.00	1.00	0.84	0.85	0.92
12		1	3	4		1	9	4	8		791	774	890		0.50	3.00	1.00		1.00		0.82	0.36	0.73		0.50	3.00	1.00		1.00	0.80	0.79	0.91
合計	2	27	21	35	8	7	102	107	57		9,674	9,993	10,399		2.00	13.50	21.00	8.75	8.00	2.00	9.27	9.73	5.18		2.00	13.50	21.00	8.75	8.00	9.83	10.17	10.58

(7) 基幹定点対象疾患(月報)

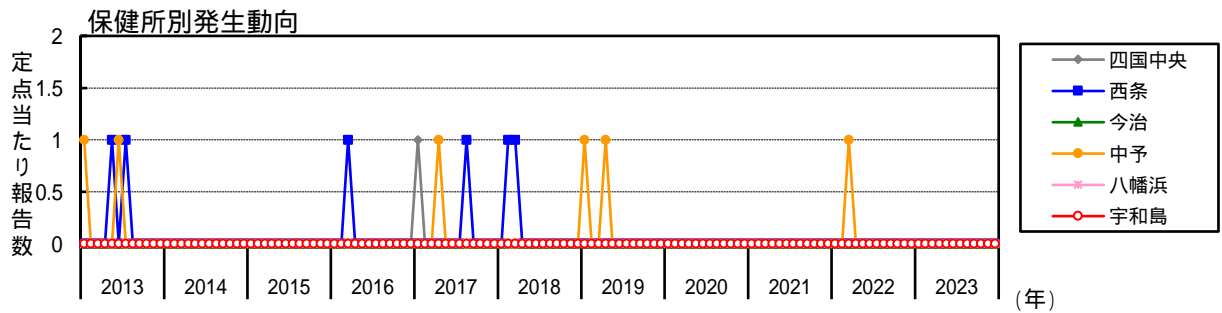
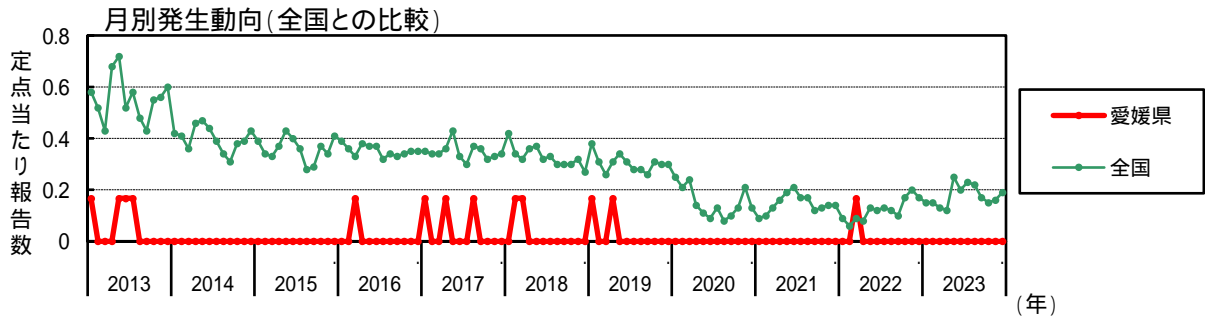
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2023年の患者報告数は108人(定点当たり18.00人/年)で、前年(患者報告数92人、定点当たり15.33人/年)の1.2倍に増加した。高齢者に多くみられ、70歳以上が73人と全体の67.6%を占めた。



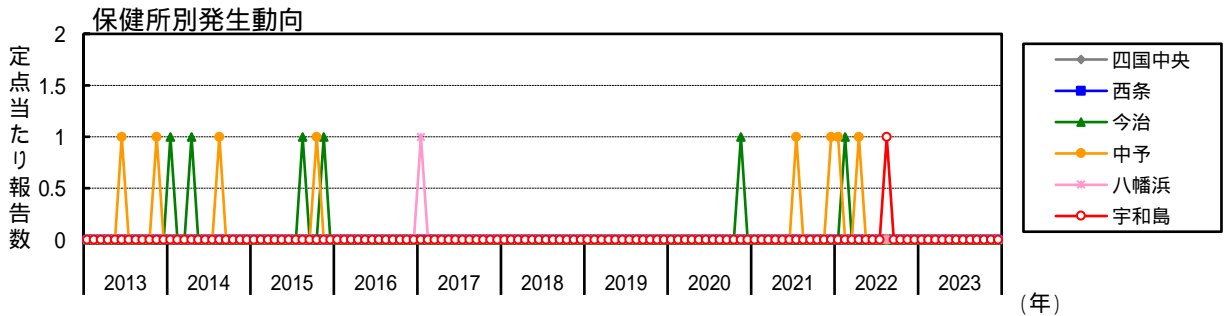
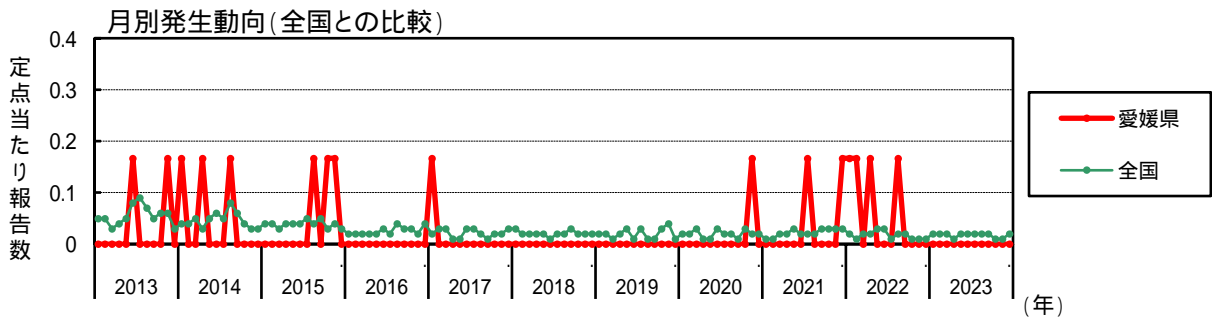
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2023年に県内での患者報告はなかった。県内の患者報告数は、2007年以降年間6人以下の少数報告で推移している。



薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年に県内での患者報告はなかった。県内の患者報告数は2003年以降年間10人以下の少数報告で推移している。



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数													
	2023年 保健所別						愛媛県			全国			2023年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021
1	2	1	1	4	2	1	11	6	12	1,521	1,232	1,319	2.00	1.00	1.00	4.00	2.00	1.00	1.83	1.00	2.00	3.16	2.57	2.75
2	1		1	6	2	3	13	9	6	1,263	1,144	1,169	1.00		1.00	6.00	2.00	3.00	2.17	1.50	1.00	2.63	2.38	2.44
3	1			2	2	2	7	8	8	1,259	1,264	1,311	1.00			2.00	2.00	2.00	1.17	1.33	1.33	2.61	2.63	2.73
4	1	1	1	2		1	6	6	7	1,059	1,145	1,147	1.00	1.00	1.00	2.00		1.00	1.00	1.00	1.17	2.21	2.39	2.39
5	2				3	3	8	9	3	1,249	1,212	1,101	2.00				3.00	3.00	1.33	1.50	0.50	2.61	2.53	2.29
6		1	1	3	1	5	11	11	5	1,225	1,243	1,194		1.00	1.00	3.00	1.00	5.00	1.83	1.83	0.83	2.55	2.59	2.49
7	3		1	7		2	13	6	5	1,273	1,176	1,219	3.00		1.00	7.00		2.00	2.17	1.00	0.83	2.65	2.45	2.54
8	3			2	1	1	7	9	7	1,372	1,271	1,250	3.00			2.00	1.00	1.00	1.17	1.50	1.17	2.86	2.65	2.61
9			1	4		2	7	7	7	1,310	1,311	1,192			1.00	4.00		2.00	1.17	1.17	1.17	2.72	2.73	2.49
10		1		4		2	7	4	14	1,370	1,247	1,216		1.00		4.00		2.00	1.17	0.67	2.33	2.85	2.61	2.53
11	1	1	1	4		1	8	10		1,259	1,218	1,190	1.00	1.00	1.00	4.00		1.00	1.33	1.67		2.62	2.54	2.48
12			1	4	1	4	10	7	11	1,371	1,231	1,208			1.00	4.00	1.00	4.00	1.67	1.17	1.83	2.85	2.58	2.52
合計	14	5	8	42	12	27	108	92	85	15,531	14,694	14,516	14.00	5.00	8.00	42.00	12.00	27.00	18.00	15.33	14.17	32.36	30.68	30.30

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数														
	2023年 保健所別						愛媛県			全国			2023年 保健所別						愛媛県			全国			
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	
1										71	44	45											0.15	0.09	0.09
2										71	28	49											0.15	0.06	0.10
3								1		62	42	63								0.17			0.13	0.09	0.13
4										59	39	76											0.12	0.08	0.16
5										119	61	91											0.25	0.13	0.19
6										97	57	100											0.20	0.12	0.21
7										111	62	83											0.23	0.13	0.17
8										104	56	82											0.22	0.12	0.17
9										81	49	58											0.17	0.10	0.12
10										71	83	64											0.15	0.17	0.13
11										75	95	69											0.16	0.20	0.14
12										90	82	66											0.19	0.17	0.14
合計								1		1,011	698	846								0.17			2.11	1.46	1.77

薬剤耐性緑膿菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数														
	2023年 保健所別						愛媛県			全国			2023年 保健所別						愛媛県			全国			
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2023	2022	2021	2023	2022	2021	
1								1		9	8	4								0.17			0.02	0.02	0.01
2								1		11	5	3								0.17			0.02	0.01	0.01
3										8	8	11											0.02	0.02	0.02
4								1		4	10	9								0.17			0.01	0.02	0.02
5										8	15	12											0.02	0.03	0.03
6										11	12	8											0.02	0.03	0.02
7									1	11	7	9									0.17	0.02	0.01	0.02	
8								1		8	11	9								0.17			0.02	0.02	0.02
9										8	9	13											0.02	0.02	0.03
10										6	6	15											0.01	0.01	0.03
11										5	6	12											0.01	0.01	0.03
12									1	8	6	13										0.17	0.02	0.01	0.03
合計								4	2	97	103	118								0.67	0.33	0.20	0.22	0.25	

2023 年(令和5年)感染症発生動向調査結果
一病原体検査結果一

2023年(令和5年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -

1 細菌検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

(1) 全数把握対象感染症

赤痢

県内で細菌性赤痢患者の届出があった場合には、分離された菌株について、当所で確認検査を実施するとともに、国立感染症研究所に菌株を送付している。国立感染症研究所では、Multilocus variable-number tandem-repeat analysis (MLVA) 法による型別を実施し、当所では血清型別試験、細胞侵入性関連遺伝子 (*invE*、*ipaH*) の遺伝子検査を実施している。県内で届出のあった細菌性赤痢患者 1 名は、フィリピンからの留学生であり、腹痛と血便のため医療機関を受診し赤痢菌が分離された。当該菌株は、フレキシネル variant Y で、*invE*、*ipaH* 遺伝子の保有が確認された(表 1)。

表 1 愛媛県における細菌性赤痢からの分離株(2023年)

診断月日	保健所名	感染地域	菌型(血清型)	<i>invE</i>	<i>ipaH</i>
11/27	西条	不明	<i>Shigella flexneri</i> variant Y	+	+

腸管出血性大腸菌感染症

県内で腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症患者及び無症状病原体保有者の届出があった場合には、分離された菌株について当所で確認検査を実施するとともに、国立感染症研究所に菌株を送付している。国立感染症研究所では、EHEC O26、O111、O157 については MLVA 法による型別を実施し、その他の EHEC についてはパルスフィールドゲル電気泳動 (PFGE) 法による型別を実施して、全国規模の同時多発的な集団発生“diffuse outbreak (散在的集団発生)”を監視している。当所では、分離株の生化学的性状、O 抗原及び H 抗原の血清型別、ベロ毒素 (VT) の型別、薬剤感受性試験、PFGE 法に加え、EHEC O26、O111、O157 については MLVA 法を実施し県内規模の diffuse outbreak を監視している。薬剤感受性試験は、臨床・検査標準協会 (CLSI) の抗菌薬ディスク感受性試験実施基準等に基づき、アンピシリン (ABPC)、セフトキシム (CTX)、ゲンタマイシン (GM)、カナマイシン (KM)、イミペネム (IPM)、ノルフロキサシン (NFLX)、シプロフロキサシン (CPFX)、ナリジクス酸 (NA)、ST 合剤 (SXT)、メロペネム (MEPM)、セフトジジム (CAZ)、ホスホマイシン (FOM)、クロラムフェニコール (CP)、セフォキシチン (CFX)、アミカシン (AMK)、ストレプトマイシン (SM)、テトラサイクリン (TC)、コリスチン (CL) の 18 薬剤に対する耐性の有無を判定している。

県内で届出のあった EHEC 患者及び無症状病原体保有者 16 名から分離された EHEC について解析を行った(表 2)。分離株の血清型別及び VT 型別を併せた分類では、O157:H7 VT2 5 株、O26:H11 VT1、O132:H- VT2、O157:H7 VT1&2 が各 2 株、O15:H12 VT1、O91:H- VT1、O103:H2 VT1&2、O156:H25 VT1、O181:H49 VT2 が各 1 株であった。

事例 1 (患者 2 名、O26:H11 VT1) は、岡山県、島根県及び広島県の分離株と MLVA コンプレックス型 (23c201) が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例6(患者1名、O157:H7 VT1&2)は、東京都、埼玉県、富山県、滋賀県、福井県の分離株と MLVA コンプレックス型(23c047)が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例7(患者1名、O157:H7 VT2)は川崎市、徳島県、横浜市、明石市、兵庫県、福山市、東京都、神戸市、大阪府、長崎県埼玉県の分離株と MLVA コンプレックス型(23c026)が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例9(患者1名、O157:H7 VT1&2)は、香川県及び岡山県の分離株と MLVA コンプレックス型(23c064)が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例10(患者1名、O157:H7 VT2)は、埼玉県の分離株と MLVA 型(23m0498)が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例11(患者1名、O103:H2 VT1&2)は、埼玉県及び川崎市の分離株と MLVA 型(23m4012)が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

病原因子関連遺伝子は、*eae* 及び *hlyA* 遺伝子を共に保有していたのは10株(8事例)、*eae* 遺伝子のみ保有が1株(1事例)、*hlyA* 遺伝子のみ保有が1株(1事例)、*eae* 及び *hlyA* 遺伝子を共に保有していなかったのは4株(3事例)であった。

薬剤感受性試験の結果、ST、CP、SM、TCの4剤耐性が2株(2事例)、CP、SM、TCの3剤耐性が1株(1事例)、SM、TC及びST、TCの2剤耐性が2株(2事例)、STの1剤耐性が1株(1事例)であった(表2)。

表2 愛媛県における腸管出血性大腸菌感染症患者からの分離株(2023年)

事例番号	診断月日	保健所名	疫学情報	患者感染者数 (無症状者再掲)	血清型		VT型別	病原因子	耐性薬剤	MLVA型 ²⁾	MLVA ³⁾ コンプレックス	株数
					O	H ¹⁾						
1	2023/4/3~4/8	今治	家庭内	2(1)	26	11	1	<i>eae, hlyA</i>		20m2121	23c201	2
2	4/25	松山市	散発	1(1)	181	49	2	<i>hlyA</i>				1
3	4/27	松山市	散発	1(1)	156	25	1	<i>eae, hlyA</i>				1
4	2023/6/30~7/7	八幡浜 松山市	家庭内	2(1)	157	7	2	<i>eae, hlyA</i>		23m0264		2
5	2023/7/26~7/31	中予 松山市	家庭内	2(2)	132	H-/Hg18	2		CP,SM,TC			2
6	8/1	宇和島	散発	1	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	SM,TC	23m0103	23c047	1
7	8/26	西条	散発	1	157	7	2	<i>eae, hlyA</i>	ST,CP,SM,TC	23m0212	23c026	1
8	8/29	松山市	散発	1(1)	157	7	2	<i>eae, hlyA</i>		23m0497		1
9	8/30	西条	散発	1	157	7	1, 2	<i>stx2c, stx2d, eae, hlyA</i>		23m0496	23c064	1
10	9/25	松山市	散発	1	157	7	2	<i>eae</i>	ST,CP,SM,TC	23m0498		1
11	10/27	松山市	散発	1	103	2	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	ST	23m4012		1
12	11/20	八幡浜	散発	1(1)	91	H-/Hg14	1			23m8021		1
13	11/27	松山市	散発	1(1)	15	12	1		ST,TC			1
計				16(9)								16

1) Hg : H-genotyping PCR法による判別。国立感染症研究所で実施。

2) MLVA : ゲノム上に散在するリピート配列のリピート数の違いを基に菌株を型別する方法。国立感染症研究所によって付与されたMLVA型。
"23mXXXX" [23 : 2023 (分離年)、m : MLVA、XXXX : 番号]と表記。

3) MLVA コンプレックス : SLV (Single locus variant : 一遺伝子座でリピート数が異なる、PFGEにおける2~3バンド違いと同様の意味。)の関係にあるMLVA型。
"23cYYY" [23 : 2023 (分離年)、c : complex、YYY : 番号]と表記。

レジオネラ症

県内で届出のあったレジオネラ症患者から分離されたレジオネラ属菌 1株について解析を行った(表3)。病原体は *Legionella pneumophila*、血清群 1 (Serogroup; SG1) であった。

Sequence-Based Typing(以下、「SBT解析」という)の結果、当該株の Sequence Type は ST624 であった。

表3 愛媛県におけるレジオネラ症患者からの分離株(2023年)

事例番号	診断月日	保健所名	疫学情報	病原体	血清群	ST ¹⁾
1	11/22	西条	散发	<i>Legionella pneumophila</i>	1	624

1) SBT解析によるSequence type

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

県内でカルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症の届出があった場合は、平成29年3月28日付け健感発0328第4号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症等に係る試験検査の実施について」に基づき、当該菌株についてPCR法による主要なカルバペネマーゼ遺伝子(IMP型、NDM型、VIM型、KPC型、GES型、OXA-48型)の検出及び阻害剤を用いたβ-ラクタマーゼ産生性の確認等、詳細な分子疫学的解析を実施している。

県内で届出のあったCRE感染症患者27名の患者由来株が搬入された。

菌種の内訳は、*Klebsiella aerogenes*が14株、*Enterobacter cloacae*が6株、*Klebsiella pneumoniae*が2株、*Enterobacter cloacae complex*、*Enterobacter hormaechei*、*Enterobacter sp.*、*Enterobacter spp.*、*Serratia marcescens*が各1株であった(表10)。PCR法による主要なカルバペネマーゼ遺伝子検出の結果、27株中1株(*Klebsiella pneumoniae*)がカルバペネマーゼ産生株で、カルバペネマーゼ遺伝子型はGES-24型であった(表4)。

表4 愛媛県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症患者からの分離株(2023年)

菌株番号	診断月日	保健所	検出検体	検出菌種	PCR法			表現型検査		
					カルバペネマーゼ遺伝子 ¹⁾	ESBL ²⁾	AmpC ³⁾	クラブラン酸試験	SMA ⁴⁾	ポロン酸
1	1/25	宇和島	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
2	2/15	松山市	血液	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
3	5/2	宇和島	喀痰	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	EBC	-	-	-
4	5/9	宇和島	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
5	4/26	松山市	創部壊死組織	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	-	SHV	-	-	-	-
6	5/29	松山市	胆汁	<i>Enterobacter hormaechei</i>	-	-	-	-	-	-
7	6/16	宇和島	血液	<i>Enterobacter cloacae complex</i>	-	-	EBC	-	-	-
8	6/22	宇和島	膿瘍	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	-	-	-	-
9	6/29	宇和島	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
10	7/14	松山市	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
11	7/17	中予	穿刺液	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	GES-24	-	-	-	+	+
12	7/24	西条	喀痰	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
13	8/1	宇和島	尿	<i>Enterobacter sp.</i>	-	-	-	-	-	-
14	8/22	西条	胆汁	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
15	8/29	西条	膿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
16	9/8	宇和島	喀痰	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
17	9/14	宇和島	尿	<i>Enterobacter sp.</i>	-	-	-	-	-	-
18	9/21	松山市	尿	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	-	-	-	-
19	9/22	今治	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
20	10/10	松山市	血液	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	-	-	-	-
21	11/6	松山市	血液	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
22	11/2	宇和島	膿瘍	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
23	11/16	松山市	血液	<i>Serratia marcescens</i>	-	-	-	-	-	-
24	11/29	宇和島	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
25	12/22	宇和島	尿	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	-	-	-	-
26	12/25	松山市	穿刺液	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-
27	12/22	松山市	血液	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	EBC	-	-	+

1) カルバペネマーゼ遺伝子: IMP、VIM、NDM、KPC、OXA-48、GES

2) 基質拡張型β-ラクタマーゼ遺伝子: TEM型、SHV型、CTX-M-1group、CTX-M-2 group、CTX-M-9 group

3) AmpC β-ラクタマーゼ遺伝子: MOX、CIT、DHA、EBC、FOX、ACC

4) SMA: メルカプト酢酸ナトリウム試験

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

県内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出があった場合には、当所で当該菌株について Lancefield の分類により群別を行い、A 群溶血性レンサ球菌については T 血清型別を実施している。

県内で届出のあった劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者由来 11 株が搬入された。Lancefield 分類による群別の結果、G 群溶血性レンサ球菌 5 株、A 群溶血性レンサ球菌及び B 群溶血性レンサ球菌が各 3 株であった(表 5)。

A 群溶血性レンサ球菌 3 株の菌種は、*Streptococcus pyogenes* で、T 血清型別は TB3264 が 2 株、TB23 が 1 株であった。

表 5 愛媛県における劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者からの分離株(2023 年)

診断月日	保健所名	菌種	Lancefield群別 血清型	T血清型別
2/20	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	TB3264
3/9	松山市	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群	—
4/21	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
4/26	松山市	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群	—
5/17	松山市	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群	—
5/24	今治	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	TB3264
5/31	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	TB23
7/19	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
9/19	宇和島	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
10/31	中予	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
12/8	宇和島	<i>Streptococcus G</i>	G群	—

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

県内でバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の届出があった場合は、平成 29 年 3 月 28 日付け 健感発 0328 第 4 号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症等に係る試験検査の実施について」に基づき、当該菌株について菌種同定、耐性遺伝子検査等、詳細な分子疫学的解析を実施している。

県内で届出のあった VRE 感染症患者 2 名の患者由来株が搬入された。菌種は 2 株とも *Enterococcus faecium* で、耐性遺伝子は *vanA* であった(表 6)。

表 6 愛媛県におけるバンコマイシン耐性腸球菌感染症患者からの分離株(2023 年)

菌株番号	診断月日	保健所	検出検体	検出菌種	耐性遺伝子
1	1/24	今治	喀痰	<i>Enterococcus faecium</i>	<i>vanA</i>
2	3/3	今治	喀痰	<i>Enterococcus faecium</i>	<i>vanA</i>

(2) 定点把握対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた指定届出機関のうち、病原体定点等の医療機関において、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎等患者から採取された検体について細菌学的検査を実施している。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭ぬぐい液を羊血液寒天培地で分離を行い、 β 溶血を認めた集落について同定検査及びLancefieldの分類による群別試験を実施した。A群溶血性レンサ球菌と同定された菌株については、T血清型別を実施した。

病原体定点においてA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者から採取された咽頭ぬぐい液2例中2例(100%)からA群溶血性レンサ球菌が分離された。T血清型別は、TB3264及びT型別不明が各1株であった(表7)。

感染性胃腸炎

検査対象病原体は下痢原性大腸菌、サルモネラ属菌及びカンピロバクター属菌とし、通常3種類の選択分離培地上に発育した集落を釣菌し、生化学的性状試験及び血清学的試験等により同定している。下痢原性大腸菌は11種類(*stx1*、*stx2*、*stx2f*、*estA1*、*estA2*、*elt*、*invE*、*aggR*、*eae*、*astA*、*afaD*)の病原因子関連遺伝子の有無をPCR法で確認し、腸管出血性大腸菌(EHEC)、腸管侵入性大腸菌(EIEC)、腸管毒素原性大腸菌(ETEC)、腸管病原性大腸菌(EPEC)及び腸管凝集付着性大腸菌(EAaggEC)、その他の大腸菌(EAST1EC、DAEC)に分類し、市販免疫血清で血清型別を実施している。カンピロバクター属菌は、*Campylobacter spp.*、*C. jejuni*、*C. coli*、*C. lari*、*C. upsaliensis*、*C. fetus*を対象としたMultiplex-PCRを実施し、*C. jejuni*についてはPennerの耐熱性抗原による血清型別試験及び遺伝子検査を実施している。

感染性胃腸炎患者糞便検体4例について病原菌検索を行なった結果、サルモネラ属菌及びカンピロバクター属菌各1株が分離された。分離されたカンピロバクター属菌は*C. jejuni*で、Penner型別はB群が1株であった(表7)。

表7 愛媛県における定点把握対象感染症患者からの病原細菌検出状況(2023年)

疾患名	検出病原菌	血清型別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>S. pyogenes</i> (A群)	TB3264					1								1
		UT					1								1
		計					2								2
		検査数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
感染性胃腸炎	サルモネラ属菌								1						1
	カンピロバクター属菌						1								1
		計					1		1						2
		検査数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	4

2 ウイルス検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

(1) 全数把握対象感染症

全数把握対象感染症が発生した場合には、当所で遺伝子検査等によるウイルス検査を実施するとともに、必要に応じて国立感染症研究所へ検体を送付し、確認検査を依頼している。本年の県保健所及び松山市からの依頼により受け付けた検体は、血液（血清）が 39 検体、痂皮が 6 検体、糞便が 4 検体、鼻咽頭ぬぐい液が 76 検体、尿が 3 検体、髄液が 1 検体であった。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

疑い患者 17 例の検体（血清）について検査した結果、3 例から SFTS ウイルスが検出された。

日本紅斑熱

疑い患者 12 例の検体（血清、痂皮）について抗体検査等を実施した。

Q熱

疑い患者 2 例の検体（血清）について抗体検査等を実施した。

麻しん

疑い患者 2 例の検体（鼻咽頭ぬぐい液、尿、血液）について検査した結果、1 例から麻しんウイルス（ワクチン株）が検出された。

風しん

疑い患者 1 例の検体（鼻咽頭ぬぐい液、血液、尿）について検査した結果、風疹ウイルスは検出されなかった。

E 型肝炎

疑い患者 1 例の検体（糞便）について検査した結果、E 型肝炎ウイルスは検出されなかった。

急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）

疑い患者 1 例の検体（鼻咽頭ぬぐい液、髄液、糞便、尿、血液）について検査した結果、ウイルスは検出されなかった。

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症

五類感染症（定点把握対象）へ移行した 2023 年 5 月 8 日までの間、71 例の検体（鼻咽頭ぬぐい液等）について遺伝子増幅検査を実施した結果、70 例から新型コロナウイルスが検出された。

急性肝炎

疑い患者 1 例の検体（鼻咽頭ぬぐい液、血清、尿、腸内容物、血液）について検査した結果、コクサッキーウイルス A2 型が検出された。

(2) 定点把握対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた患者定点として選定された医療機関のうち、病原体定点はインフルエンザ定点（指定提出機関）8（内科 4、小児科 4）、小児科定点 8、基幹定点 6、眼科定点 2 の機関が設定されている（2023.4.1 現在）。病原体検査対象疾患のうちウイルス性疾患は、インフルエンザ定点のインフルエンザ、小児科定点の咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、眼科定点の流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、基幹定点の無菌性髄膜炎である。これらの医療機関から、病原体検査要領に基づいて採取された検体について、ウイルス学的検査を実施した。検査材料：臨床材料は、2023 年 1 月から 12 月の間に採取された。当所に搬入された呼吸器感染症等患者検体（咽頭ぬぐい液、結膜ぬぐい液等）は、試験に供するまで-80℃で冷凍保存した。また、

感染性胃腸炎患者検体(糞便)は、試験に供するまで-30℃で冷凍保存した。検査方法:呼吸器感染症等患者検体からのウイルス分離にはFL、RD-18s、Vero細胞を常用した。感染性胃腸炎起因ウイルス検索には、電子顕微鏡法(EM)、PCR法、リアルタイムPCR法及びIC法を用いた。

病原体定点種類別検体数

2023年に病原体定点から受付を行った検体数は196検体であった。病原体定点種類別・臨床診断名別の受付状況を表1に示した。

2023年はインフルエンザ定点等から受付を行ったインフルエンザ検体は151検体、その他1検体であった。小児科定点からの検体数は37検体で、対象疾患別では手足口病が最も多く13検体、次いでヘルパンギーナが11検体、感染性胃腸炎が8検体、咽頭結膜熱が5検体であった。眼科定点からの検体の受付はなかった。基幹定点からの検体数は7検体で、対象疾患別では無菌性髄膜炎が6検体、その他1検体であった。

2016年4月1日の改正感染症法施行以降、定点医療機関や地域ごとの検体数は概ね平準化されたものの、調査に十分な検体数には至っていない。一年間に流行する疾患の動向をより正確に把握し、県民へ情報提供するために、一定数の検体確保に努める必要がある。

呼吸器感染症等患者検体からの検出

呼吸器感染症等患者検体からのウイルス検出状況について、月別検出状況を表2に、臨床診断名別検出状況を表3に示した。188検体についてウイルス検査を実施した結果、175検体からウイルスが検出され(検出率93.1%)、このうち2検体は、2種類の病原体が検出された。

表1 定点医療機関からの臨床診断名別検体受付状況(2023年)

保健所名	種別	インフルエンザ	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	無菌性髄膜炎	その他	合計
四国中央	インフルエンザ	6						1	7
	小児科				1				1
	基幹							1	1
西条	インフルエンザ	54							54
	小児科 基幹	6			2	1			9
今治	インフルエンザ	22							22
	小児科 眼科 基幹			8	5	1			14
中予	インフルエンザ	18							18
	小児科 基幹								
八幡浜	インフルエンザ	5							5
	小児科 基幹								
宇和島	インフルエンザ								
	小児科 基幹					2		6	6
松山市	インフルエンザ	40							40
	小児科 基幹		5		5	7			17
合計		151	5	8	13	11	6	2	196

表2 呼吸器感染症等患者検体からの月別ウイルス検出状況(2023年)

ウイルス型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ	AH1pdm09						1		2	1	6	4	6	20
	AH3	13	7	11	6	4	4	13	5	9	18	20	13	123
	B(Victoria系統)											1	1	2
コクサッキー	CV-A2				2		4	1						7
	CV-A4								1					1
	CV-A6									1				1
	CV-A10									1				1
	CV-A16									1	2	1	2	6
	CV-B5							1						1
エンテロ	EV-A71						1							1
ライノ	Rhino					1	1	1	1	1		1		6
アデノ	Ad1													1
	Ad3								1			2		3
パラインフルエンザ	HPIV3									1				1
新型コロナ	SARS-CoV-2									1				1
合計		13	7	11	8	5	11	16	10	16	26	29	23	175
検体数		19	8	12	8	6	13	16	9	15	26	31	25	188

表3 臨床診断名別ウイルス検出状況(2023年)

ウイルス型		インフルエンザ	手足口病	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	その他	合計
インフルエンザ	AH1pdm09	20			7		20
	AH3	123			1		123
	B(Victoria系統)	2					2
コクサッキー	CV-A2				7		7
	CV-A4				1		1
	CV-A6	1					1
	CV-A10				1		1
	CV-A16	6					6
	CV-B5				1		1
エンテロ	EV-A71	1					1
エコー	Echo11						0
	Echo30						0
ライノ	Rhino	4			2		6
ムンプス	Mumps						0
アデノ	Ad1			1			1
	Ad3			3			3
パラインフルエンザ	HPIV3					1	1
新型コロナ	SARS-CoV-2					1	1
合計		145	12	4	12	2	175

表4 臨床材料別ウイルス検出状況(2023年)

臨床材料別		咽頭ぬぐい液	鼻腔ぬぐい液(鼻汁)	便	髄液	合計
検体数		61	123	2	2	188
検出数		56	117	0	0	173
検出率(%)		91.8	95.1	0	0	92.0
インフルエンザ	AH1pdm09	7	13			20
	AH3	24	99			123
	B(Victoria系統)		2			2
コクサッキー	CV-A2	7				7
	CV-A4	1				1
	CV-A6	1				1
	CV-A10	1				1
	CV-A16	6				6
	CV-B5	1				1
エンテロウイルス	EV-A71	1				1
ライノ	Rhino	6				6
アデノ	Ad1	1				1
	Ad3	3				3
パラインフルエンザ	HPIV3		1			1
新型コロナ	SARS-CoV-2		1			1

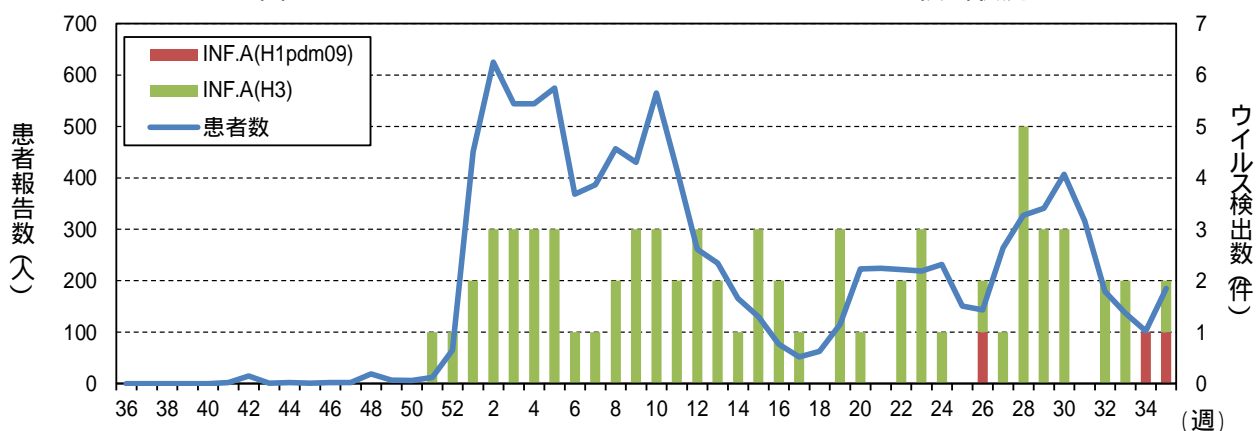
ウイルス別検出状況

・インフルエンザウイルス

インフルエンザウイルスは、すべての月のインフルエンザ患者検体から 145 件検出された。内訳は、AH1pdm09 が 20 件、AH3 が 123 件、B(Victoria 系統)が 2 件であり、B(山形系統)は検出されなかった。AH1pdm09 は 6 月及び 8 月から 12 月に検出されていた。また AH3 は年間を通して検出されていた。B(Victoria 系統)は 11 月及び 12 月に検出されていた。

図 1 に 2022/2023 シーズンの週毎のインフルエンザ患者報告数とインフルエンザウイルスの検出状況を示した。例年は春季を迎えるとともに患者報告数が減少し、流行は一旦終息するが、本シーズンは流行が終息することなく、2023/2024 シーズンに移行した。ウイルスの検出も患者報告数と同様に、春季以降 AH3 の検出が続いていた。

図 1 2022/2023 シーズン インフルエンザウイルス検出状況



・エンテロウイルス等

エンテロウイルスは 4 月及び 6 月から 12 月に手足口病及びヘルパンギーナから計 18 件検出された。

ウイルス型別では、コクサッキーウイルス(CV)-A2 が 7 件、CV-A16 が 6 件、CV-A4、CV-A6、CV-A10、CV-B5、エンテロウイルス(EV)-A71 が各 1 件検出された。臨床診断名別では、手足口病患者検体から CV-A16 が 6 件、ライノウイルスが 4 件、CV-A6、エンテロウイルス(EV)-A71 がそれぞれ 1 件検出されており、2023 年の手足口病の主病因は、CV-A16 であったと考えられた。また、ヘルパンギーナから CV-A2 が 7 件、ライノウイルスが 2 件、CV-A4、CV-A10、CV-B5 がそれぞれ 1 件検出されており、2023 年のヘルパンギーナの主病因は CV-A2 であったと考えられた。

・アデノウイルス

8 月に採取された咽頭結膜炎患者検体から、アデノウイルス 3 型 (Ad3) が 1 件、11 月、12 月に採取された咽頭結膜炎患者検体から、アデノウイルス 1 型が 1 件、Ad3 が 2 件検出された。流行性角結膜熱患者検体の受付はなかった。

臨床材料別ウイルス検出状況

呼吸器感染症等患者検体からの臨床材料別のウイルス検出状況を表 4 に示した。検体数は計 188 検体で、その内訳は、咽頭ぬぐい液 61 検体、鼻腔ぬぐい液 (鼻汁) 123 検体、髄液 2 検体、便 2 検体であった。ウイルス検出率は咽頭ぬぐい液 91.8%、鼻腔ぬぐい液 95.1%、髄液 0%、便 0%であった。

年齢別ウイルス検出状況

インフルエンザウイルス、エンテロウイルス等及びアデノウイルスの年齢別検出数を、それぞれ表 5、表 6 に示した。

インフルエンザウイルスは、AH1pdm09 は 0 歳から 4 歳を除く全ての年齢区分、AH3 は全ての年齢区分、B(Victoria 系統)は 5 歳から 9 歳及び 40 歳以上の年齢区分において検出された。いずれの型も検出年齢に明らかな傾向はみられなかったが、また、B(山形系統)は検出されなかった。

エンテロウイルス等は、2023 年のヘルパンギーナの主病因と考えられた CV-A2 は 1 歳から 2 歳で多く検出された。また、手足口病の主病因と考えられた CV-A16 は 1 から 6 歳で多く検出された。ライノウイルスは 1 歳から 2 歳で多く検出された。

アデノウイルスは年齢区分に偏りなく検出された。

表 5 インフルエンザウイルス年齢別検出数(2023 年)

年齢区分	AH1pdm09	AH3	B(Victoria)
0 ~ 4		10	
5 ~ 9	2	13	1
10 ~ 14	2	15	
15 ~ 19	1	16	
20 ~ 29	2	17	
30 ~ 39	3	10	
40	10	42	1
合 計	20	123	2

表 6 エンテロ・アデノウイルス等年齢別検出数(2023 年)

年齢区分	コクサッキー						エンテロ	ライノ	アデノ	
	CV-A2	CV-A4	CV-A6	CV-A10	CV-A16	CV-B5	EV-A71	Rhino	Ad1	Ad3
< 1								1		
1 ~ 2	6	1	1		3			4	1	
3 ~ 4					1	1	1	2		1
5 ~ 6	1			1	2					1
7 ~ 9										
10 ~ 19										1
20										
合 計	7	1	1	1	6	1	1	7	1	3

感染性胃腸炎患者検体からの検出

感染性胃腸炎患者検体からの月別ウイルス検出状況を表 7 に示した。

感染性胃腸炎患者検体からのウイルス検出状況

2023 年に病原体定点から受付を行った感染性胃腸炎患者検体は 8 検体で、このうち 6 検体からウイルスが検出された(検出率 75.0%)。検出されたウイルスは、ノロウイルス GII(NoV GII)が 2 件(25.0%)、サポウイルス(SaV)が 4 件(50.0%)であった。ノロウイルス GI(NoV GI)及びアストロウイルスは検出されなかった。

月別のウイルス検出数は 1 月、2 月、11 月、12 月に計 6 件の検出があった。NoV GII は 1 月、2 月にそれぞれ 1 件検出された。また、SaV は 2 月に 1 件、11 月に 2 件、12 月に 1 件検出された。

胃腸炎起因ウイルス年齢別分布

胃腸炎起因ウイルスは 0 歳、1 歳及び 8 歳で計 6 件検出され、0 歳で 2 件、1 歳で 3 件、8 歳で 1 件検出された。それ以外の年齢層では検出されなかった。

表7 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出状況 (2023年)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
NoV GII	1	1											2
SaV		1									2	1	4
Adeno													0
Rota													0
合計	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	6
検体数	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	8
検出率(%)	50.0	66.7	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	75.0

(3) 積極的疫学調査

2023年は下記について積極的疫学調査(感染症法第15条に規定する感染症の発生の状況、動向及び原因の調査)に係る検査を実施した。

○次世代シーケンサーを用いたSARS-CoV-2の全ゲノム遺伝子系統解析

SARS-CoV-2の変異株の発生と動向の監視のために国からの要請を受け、SARS-CoV-2陽性となった患者検体について次世代シーケンサー(NGS)を用いた全ゲノム遺伝子系統解析を実施した。

表8と図2に月別のゲノム解析数とNextClade系統分類別検出数を示した。

表8 SARS-CoV-2ゲノム解析NextClade系統分類別検出数(月別)(2023年)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
21L(BA.2~)	3												3
22A(BA.4~)	1												1
22B(BA.5~)	107	22	1	3									133
22D(BA.2.75~)	10	2			2	8	3	3					28
22E(BQ.1~)	13	3	1	2	2			1					22
22F(XBB~)				3	1	1	1	6	7	1			20
23A(XBB.1.5~)				3	2	4	1	11	1	1			23
23B(XBB.1.16~)					1	21	29	21	10	2			84
23C(CH.1.1~)								4	2				6
23D(XBB.1.9~)				2	5	19	32	9	11	6			84
23E(XBB.2.3~)						1	10	3		1			15
23F(EG.5.1~)						2	8	11	10	8	2	1	42
23H(HK.3~)												2	2
23I(BA.2.86~)										5		4	9
Recombinant	2						4	1					7
ゲノム解析数	136	27	2	13	13	56	88	70	41	24	2	7	479

()内Pango系統

2023年に全ゲノム解析を実施したSARS-CoV-2陽性検体は479件であった。NextClade系統分類(2023年はすべてOmicron株)別では、22B(Pango系統:BA.5~)が1月から4月にかけて133件、23B(Pango系統:XBB.1.16~)が5月から10月にかけて84件、23D(Pango系統:XBB.1.9~)が4月から10月にかけて84件が検出された。また、免疫逃避性の上昇などから感染拡大が懸念された22D(Pango系統:BA.2.75)は1月から8月に計28件、23I(Pango系統:BA.2.86~)は10月及び12月に計9件検出された。

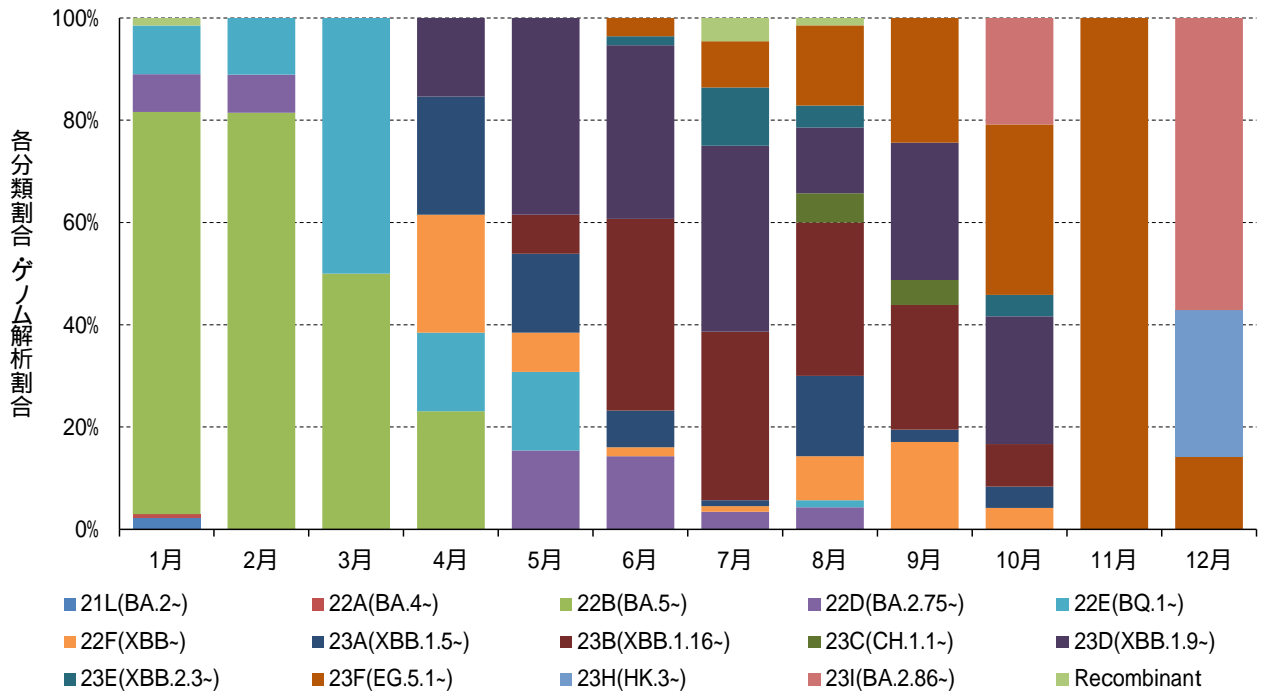


図2 NextClade 系統分類別検出割合(月別)(2023年)

2023 年(令和5年)結核登録者情報

2023年(令和5年) 結核登録者情報

1 概況

2023年の結核新登録患者数は86人であり、前年(98人)と比べ減少した。結核罹患率(人口10万対率)は6.7となり、前年(7.5)と比べ減少し、一般に結核低まん延の指標とされる「罹患率人口10万あたり10以下」を5年連続して下回った。新登録患者における70歳以上の割合は73.3%で、全国(62.1%)と比較し高齢者の占める割合が高かった。県内の年齢階級別罹患率は、前年と比較し10歳代、50歳代では横ばいで、20歳代、30歳代は増加し、その他の年齢層では減少した。保健所別の罹患率は高い順に、宇和島保健所12.4、八幡浜保健所10.5、西条保健所8.9、今治保健所7.3、松山市保健所5.0、中予保健所3.2、四国中央保健所2.5であり、今治保健所、中予保健所、宇和島保健所では前年より増加した。喀痰塗抹陽性肺結核患者数は32人で前年の46人から14人減少し、罹患率は2.5で前年の3.5から1.0減少した。新登録肺結核患者のうち喀痰塗抹陽性者は54.2%を占めた。患者が発病してから初診までに2ヶ月以上経過している割合(受診の遅れ)は7.4%で、前年(30.2%)から減少した。また、初診から診断までに1ヶ月以上経過している割合(診断の遅れ)は27.9%で、前年(3.8%)から増加した。2023年末現在の結核登録患者数は195人(結核登録率15.1)、活動性結核患者数は55人(有病率4.3)であり、前年と比較して結核登録患者数、活動性結核患者数ともに減少した。

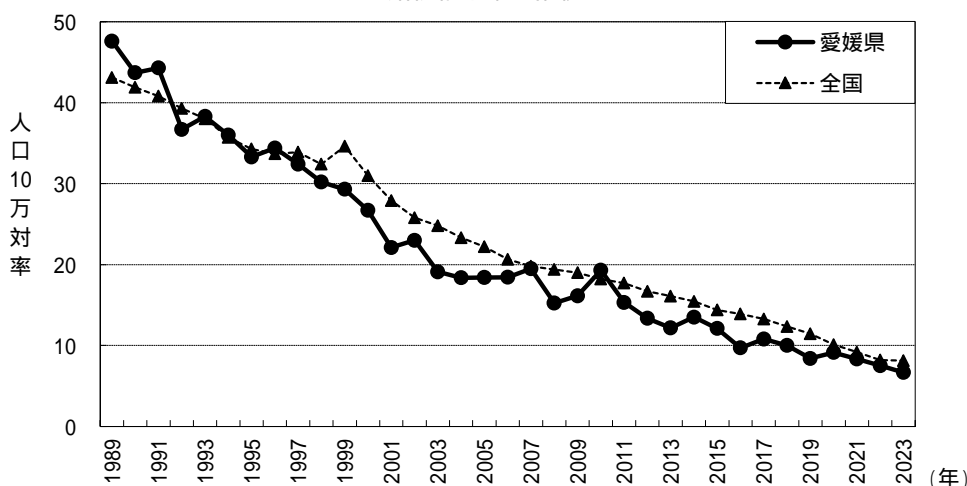
2 新登録患者の状況

(1) 患者数及び罹患率の動向

県内で2023年に新たに結核患者として登録された患者数(新登録患者数)は86人で、前年の98人から12人減少した。結核罹患率(人口10万人あたりの新登録患者数)は6.7となり、前年の7.5から0.8減少した。県内の罹患率は減少傾向が続いており、2019年には8.4と結核低まん延の水準である「罹患率10以下」を下回った。2020年はやや増加したが、2021年以降3年続けて減少し、本年は過去最少の罹患率となった。

全国の結核罹患率は8.1であり、前年(8.2)と比べ0.1減少し、2021年以降3年続けて結核低まん延の水準を下回った。都道府県別の罹患率は、大阪府(13.1)が最も高く、次いで大分県(12.2)、奈良県(10.8)、兵庫県(10.2)、京都府(9.9)の順であった。一方、最も低かったのは岩手県(3.6)で、次いで山梨県(4.0)、山形県(4.4)、長野県、宮城県(各5.2)の順であり、43都道府県で罹患率10を下回った。なお、本県は低い順で18位となり、前年(20位)よりも順位が上がった。

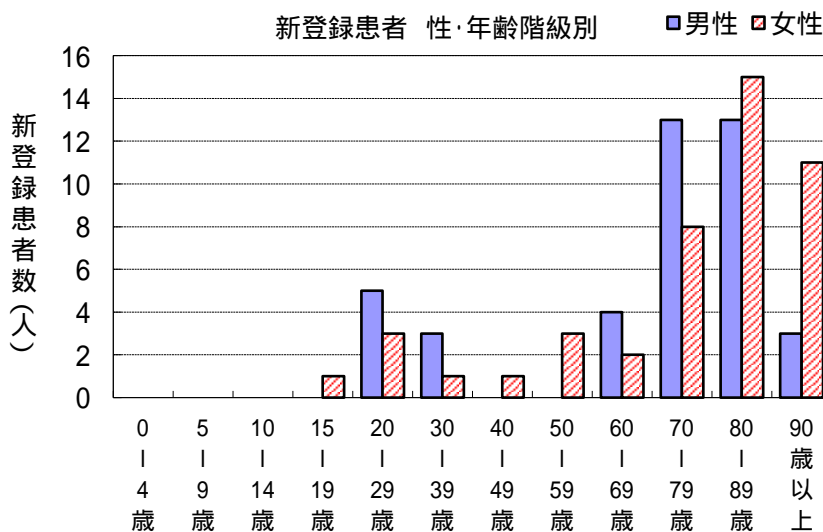
結核罹患率の推移



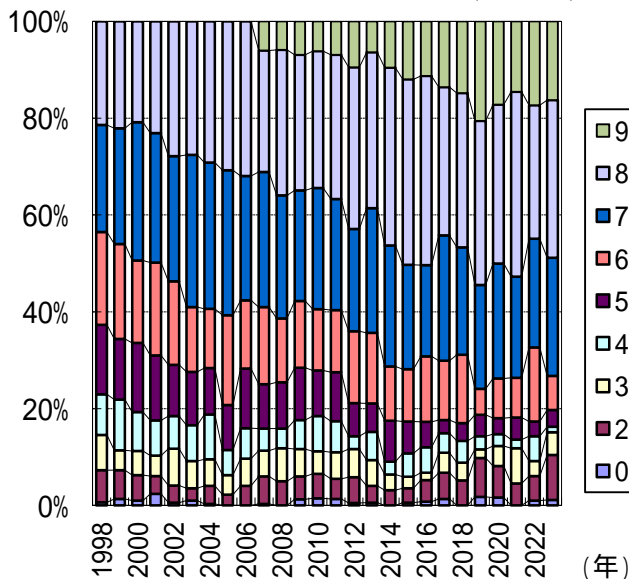
(2) 性・年齢階級別

男女別の新登録患者数は、男性 41 人、女性 45 人であった。前年（男性 59 人、女性 39 人）と比較し、男性は 18 人減少し、女性は 6 人増加した。

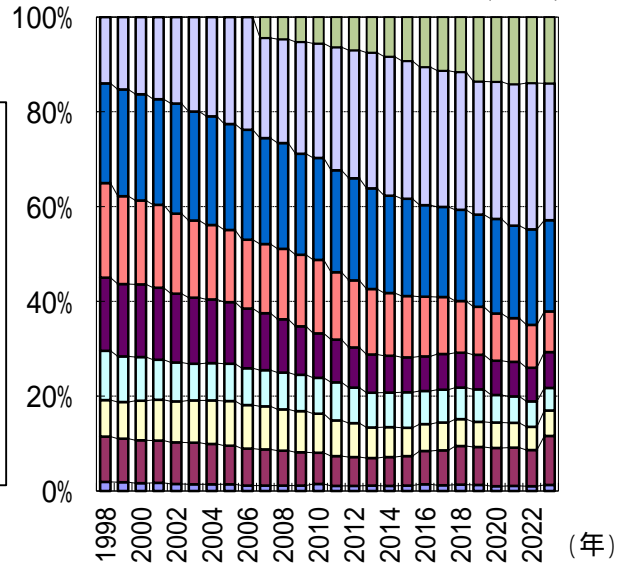
年齢階級別の新登録患者数をみると、10 歳代は 2012 年以降 0~2 人と患者数が少ない状況が続いており、本年も 1 人とごく少数の報告であった。前年と比較し、20 歳代は増加し、40 歳代、60 歳代、90 歳以上では減少した。その他の年齢階級では横ばいであった。70 歳以上の高齢者が 63 人（前年 66 人）と新登録患者の 73.3%（前年 67.3%）を占めており、全国（62.1%）と比較して高齢者の占める割合が高かった。年齢階級別の罹患率は、60 歳代以下の年齢階級では 0.5~7.8 と 10 を下回ったものの、70 歳以上の高齢者では、70 歳代では 10.6、80 歳以上では 27.3 と高かった。また、前年と比較し、20 歳代（7.8 前年 4.9）、30 歳代（3.3 前年 2.4）は増加したが、その他の年齢層では横ばいもしくは減少した。なお、0~14 歳の小児結核はなかった（前年 0 人）。



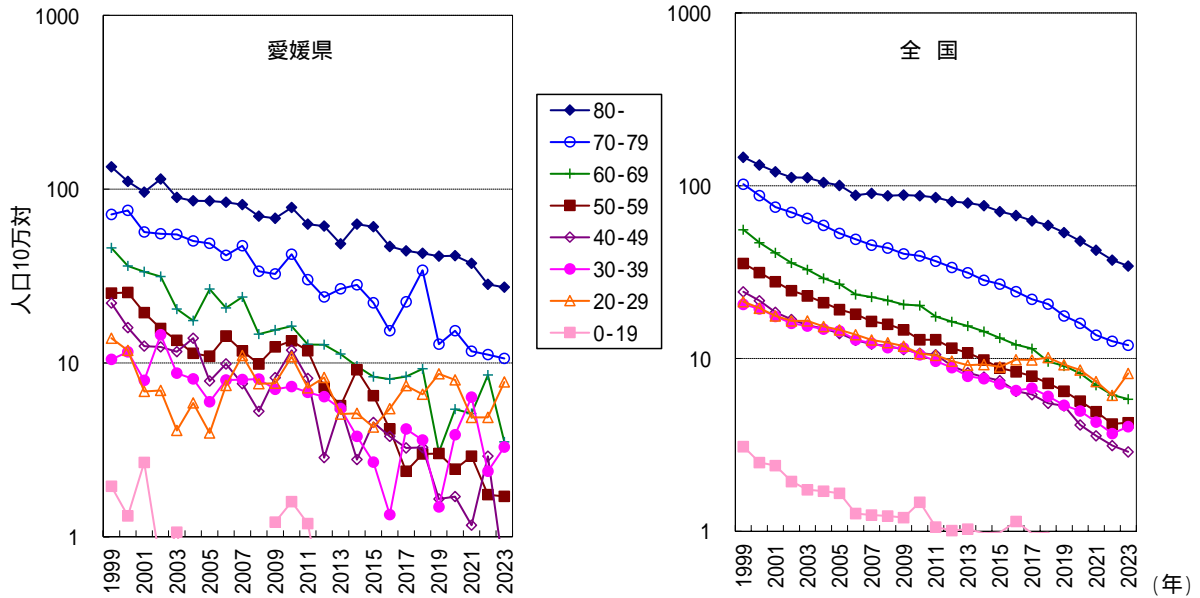
新登録患者 年齢構成の推移(愛媛県)



新登録患者 年齢構成の推移(全国)



新登録患者 年齢階級別罹患率の推移

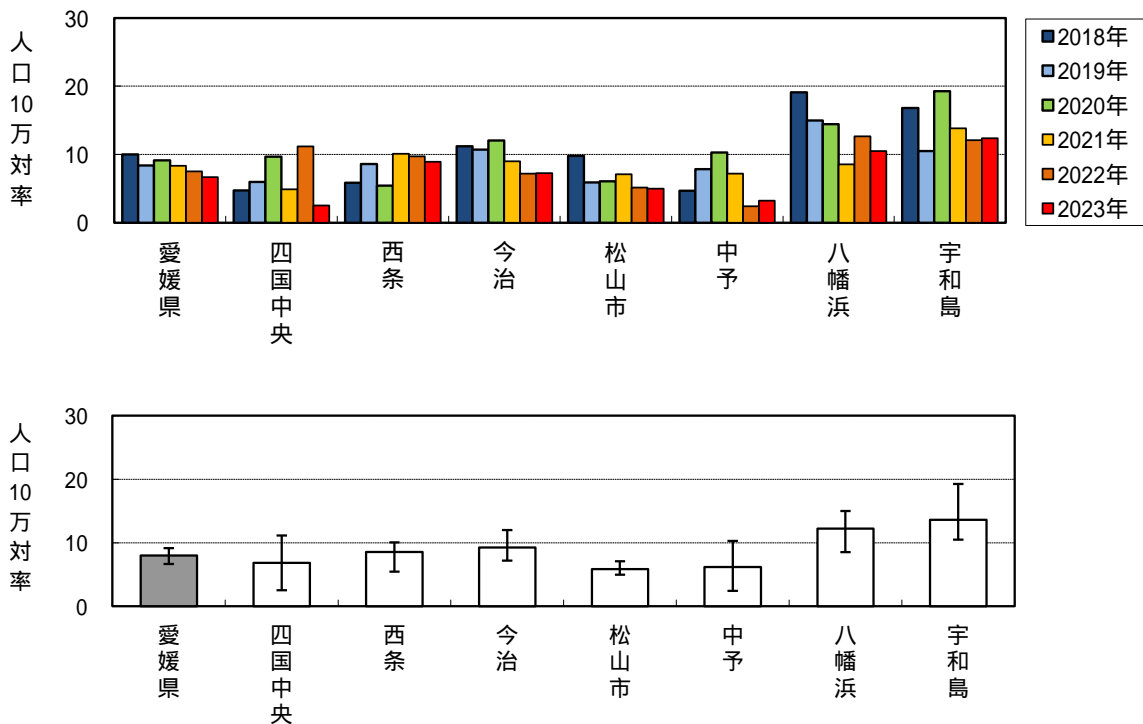


(3) 保健所別

2023年の保健所別の罹患率を比較すると、高い順に、宇和島保健所 12.4 (前年 12.1)、八幡浜保健所 10.5 (前年 12.7)、西条保健所 8.9 (前年 9.7)、今治保健所 7.3 (前年 7.2)、松山市保健所 5.0 (前年 5.1)、中予保健所 3.2 (前年 2.4)、四国中央保健所 2.5 (前年 11.2) であった。前年と比較し、今治保健所、中予保健所、宇和島保健所の3保健所で増加し、それ以外の保健所では減少した。

保健所別の過去5年間(2019~2023年)の罹患率の平均は、高い順に宇和島保健所 13.6、八幡浜保健所 12.2、今治保健所 9.2、西条保健所 8.5、四国中央保健所 6.8、中予保健所 6.2、松山市保健所 5.8 であり、南予で高い傾向が見られた。

新登録患者 保健所別罹患率の推移



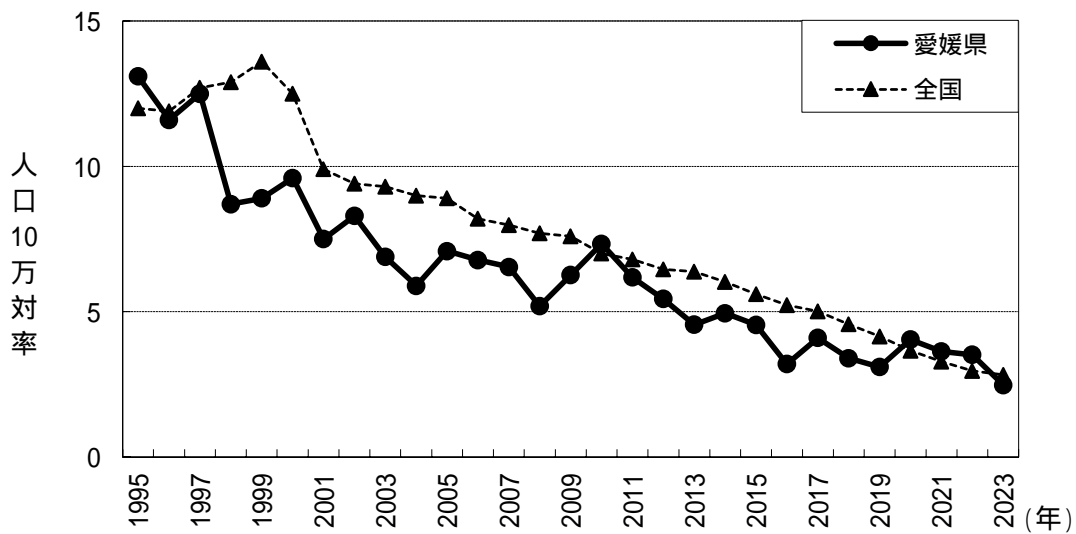
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向

新登録患者のうち、排菌により感染拡大の危険が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は 32 人で、前年の 46 人から 14 人減少した。罹患率は 2.5 で、前年の 3.5 から 1.0 減少した。喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は減少傾向が続いており、2020 年はやや増加したものの 2021 年以降は 3 年続けて減少し、本年は過去最少の罹患率となった。全国の喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は 2.8 で前年の 3.0 より 0.2 減少し、1999 年をピークに減少傾向が続いている。

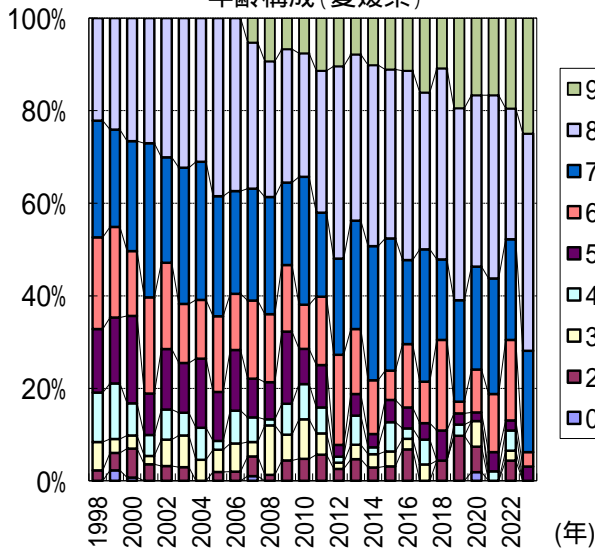
新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合は 54.2%で、前年(63.0%)から減少したものの、依然として半数を超えている。

喀痰塗抹陽性肺結核患者のうち 70 歳以上の高齢患者の割合は増加傾向にあり、本年は 93.8%と前年 (69.6%) から増加し、過去最高となった。

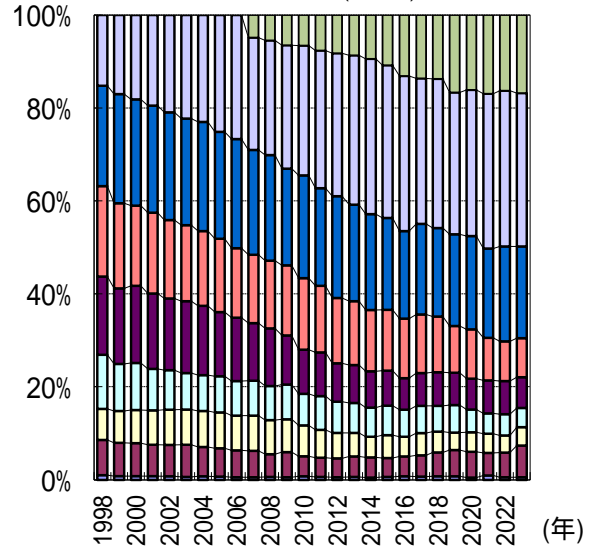
喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の推移



新登録塗抹陽性肺結核患者
年齢構成(愛媛県)



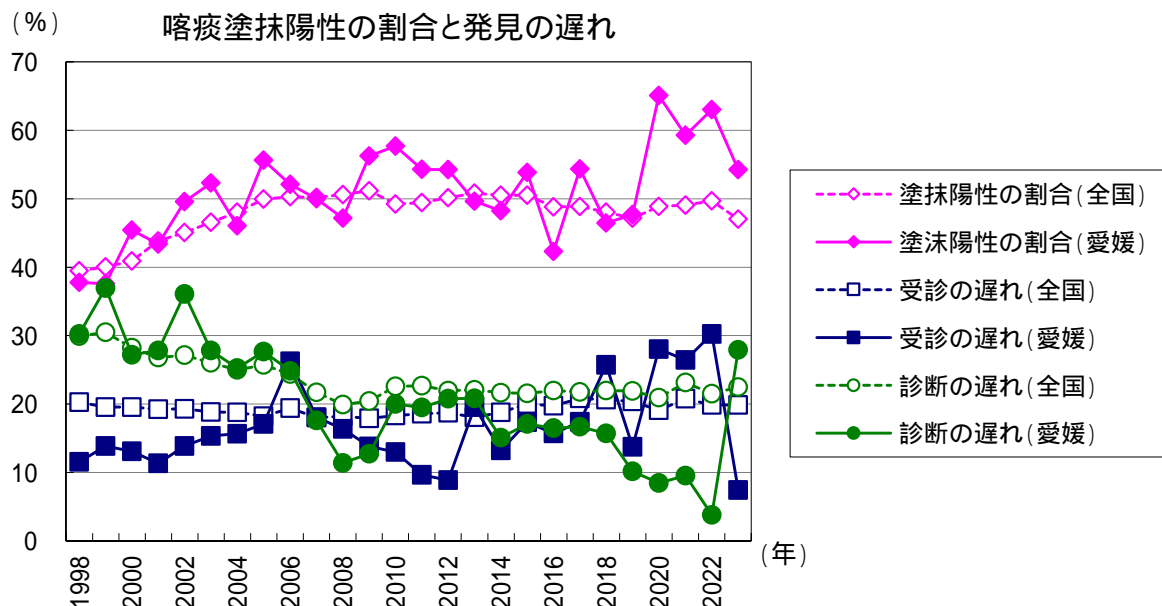
新登録塗抹陽性肺結核患者
年齢構成(全国)



(5) 発見の遅れ

新登録有症状肺結核患者において、発病から初診までに要する期間が2ヶ月以上の割合を「受診の遅れ」の指標とした場合、全国では18~20%でほぼ横ばいで推移している。本県では、2006年から2012年にかけて減少傾向にあったが、その後増減を繰り返している。本年は7.4%と前年の30.2%から急減し、過去最少となった。

一方、初診から診断(登録)までに要する期間が1ヶ月以上の割合を「診断の遅れ」の指標とした場合、全国では2007年以降20~22%でほぼ横ばいで推移している。本県では、2014年以降増減を繰り返しながら減少傾向を示していたが、本年は27.9%(前年3.8%)と急増した。



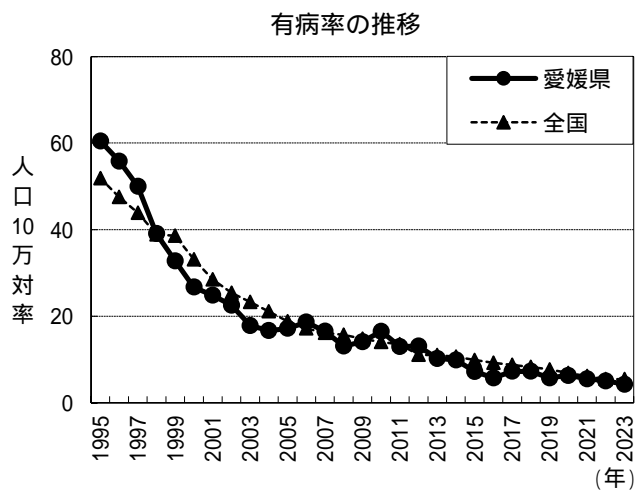
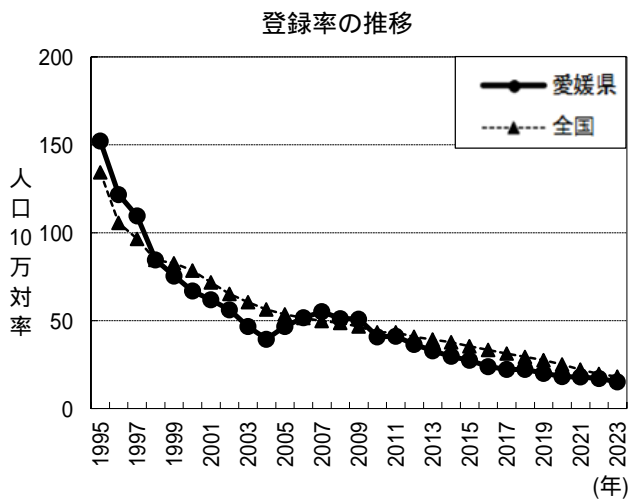
塗抹陽性の割合：新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合
 受診の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、発病～初診の期間が2ヶ月以上の場合
 診断の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、初診～診断(登録)の期間が1ヶ月以上の割合

3 年末現在結核登録者の状況

2023 年末の愛媛県における結核登録患者数は 195 人で、前年の 224 人より 29 人減少した。結核登録率(人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者)は 15.1 で、前年の 17.1 から 2.0 減少した。全国の登録率は 18.0 であり、前年の 19.7 から 1.7 減少した。

年末現在の活動性結核患者数(年末時点で結核の治療を受けている、あるいは治療の必要がある患者数)は 55 人で、前年の 66 人より 11 人減少した。有病率(人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数)は 4.3 で、前年の 5.1 から 0.8 減少した。全国の有病率は 5.5 で、前年の 5.4 より 0.1 増加した。

県内の登録率の年次推移をみると、2004 年までは順調に減少していたが、2005 年から 2007 年にかけて増加し、2006 年には全国値を上回った。2008 年以降は再び減少傾向を示し、本年は過去最少となった。



登録率：人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者数

有病率：人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数

表 4-1 2023 年 新登録患者数 - 保健所別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他		
			総 数	初 回 治 療	再 治 療				
愛媛県 総数	86	59	32	30	2	23	4	27	26
四国中央	2	1	1	1				1	5
西 条	19	16	10	10		4	2	3	2
今 治	11	9	4	3	1	5		2	5
松 山 市	25	19	9	8	1	9	1	6	6
中 予	4	2	2	2				2	2
八 幡 浜	13	7	5	5		2		6	4
宇 和 島	12	5	1	1		3	1	7	2

表 4-2 2023 年 新登録患者数 - 性、年齢階級別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他		
			総 数	初 回 治 療	再 治 療				
愛媛県 総数	86	59	32	30	2	23	4	27	26
男	41	30	15	14	1	12	3	11	9
女	45	29	17	16	1	11	1	16	17
0-4歳									2
男									1
女									1
5-9歳									
男									
女									
10-14歳									
男									
女									
15-19歳	1							1	1
男									
女	1							1	1
20-29歳	8	6				4	2	2	2
男	5	4				2	2	1	1
女	3	2				2		1	1
30-39歳	4	4				4			1
男	3	3				3			
女	1	1				1			1
40-49歳	1							1	3
男									
女	1							1	3
50-59歳	3	1	1	1				2	4
男									1
女	3	1	1	1				2	3
60-69歳	6	2	1		1	1		4	4
男	4	2	1		1	1		2	
女	2							2	4
70-79歳	21	14	7	7		7		7	4
男	13	10	7	7		3		3	3
女	8	4				4		4	1
80-89歳	28	23	15	14	1	6	2	5	4
男	13	9	5	5		3	1	4	2
女	15	14	10	9	1	3	1	1	2
90歳以上	14	9	8	8		1		5	1
男	3	2	2	2				1	1
女	11	7	6	6		1		4	

表 4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2023年		2022年		2021年		2020年		2019年		2018年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	86	6.7	98	7.5	110	8.3	122	9.1	112	8.4	135	10.0
四国中央	2	2.5	9	11.2	4	4.9	8	9.7	5	6.0	4	4.7
西条	19	8.9	21	9.7	22	10.1	12	5.4	19	8.6	13	5.8
今治	11	7.3	11	7.2	14	9.0	19	12.0	17	10.7	18	11.2
松山市	25	5.0	26	5.1	36	7.1	31	6.1	30	5.9	50	9.8
中予	4	3.2	3	2.4	9	7.2	13	10.3	10	7.8	6	4.7
八幡浜	13	10.5	16	12.7	11	8.5	19	14.4	20	15.0	26	19.1
宇和島	12	12.4	12	12.1	14	13.8	20	19.3	11	10.5	18	16.8

表 4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2023年		2022年		2021年		2020年		2019年		2018年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4							1	0.8				
5-9												
10-14							1	0.8				
15-19	1	1.2	1	1.0					2	1.8		
20-29	8	9.3	5	5.1	5	4.5	8	6.6	9	8.0	7	5.2
30-39	4	4.7	3	3.1	8	7.3	5	4.1	2	1.8	5	3.7
40-49	1	1.2	5	5.1	2	1.8	3	2.5	3	2.7	6	4.4
50-59	3	3.5	3	3.1	5	4.5	4	3.3	5	4.5	5	3.7
60-69	6	7.0	15	15.3	9	8.2	10	8.2	6	5.4	19	14.1
70-79	21	24.4	22	22.4	23	20.9	29	23.8	24	21.4	30	22.2
80-89	28	32.6	27	27.6	42	38.2	40	32.8	38	33.9	43	31.9
90-	14	16.3	17	17.3	16	14.5	21	17.2	23	20.5	20	14.8

表 4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別

保健所	2023年		2022年		2021年		2020年		2019年		2018年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	32	2.5	46	3.5	48	3.6	54	4.0	41	3.1	46	3.4
四国中央	1	1.3	6	7.4	1	1.2	2	2.4	1	1.2		
西条	10	4.7	9	4.2	11	5.0	6	2.7	8	3.6	3	1.3
今治	4	2.6	8	5.2	6	3.9	11	7.0	7	4.4	9	5.6
松山市	9	1.8	11	2.2	14	2.7	12	2.3	12	2.4	18	2.8
中予	2	1.6	2	1.6	4	3.2	6	4.7	2	1.6	3	2.3
八幡浜	5	4.0	7	5.5	5	3.9	8	6.1	8	6.0	6	4.4
宇和島	1	1.0	3	3.0	7	6.9	9	8.7	3	2.9	7	6.5

表 4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別

年齢階級	2023年		2022年		2021年		2020年		2019年		2018年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4												
5-9												
10-14							1	1.9				
15-19												
20-29			2	4.3			3	5.6	4	9.8	2	4.3
30-39			1	2.2			3	5.6				
40-49			2	4.3	1	2.1			1	2.4		
50-59	1	3.1	1	2.2	2	4.2	1	1.9	1	2.4	3	6.5
60-69	1	3.1	8	17.4	6	12.5	5	9.3	1	2.4	9	19.6
70-79	7	21.9	10	21.7	12	25.0	12	22.2	9	22.0	8	17.4
80-89	15	46.9	13	28.3	19	39.6	20	37.0	17	41.5	19	41.3
90-	8	25.0	9	19.6	8	16.7	9	16.7	8	19.5	5	10.9

表 4-7 2023 年 新登録患者数 - 結核病類、性、年齢階級別

	新登録患者数 総数	肺結核		肺外結核								
		肺結核	気管支結核	粟粒結核	結核性胸膜炎	肺門リンパ節結核	他のリンパ節結核	腸結核	脊椎結核	他の骨・関節結核	皮膚結核	結核性腹膜炎
愛媛県 総数	86	59	1	3	16	3	3	3	2	1	1	4
男	41	30		1	11	1	1	1		1		
女	45	29	1	2	5	2	2	2	2		1	4
0-4歳												
男												
女												
5-9歳												
男												
女												
10-14歳												
男												
女												
15-19歳	1											1
男												
女	1											1
20-29歳	8	6		1					1	1		
男	5	4								1		
女	3	2		1					1			
30-39歳	4	4										
男	3	3										
女	1	1										
40-49歳	1							1				
男												
女	1							1				
50-59歳	3	1				1			1			
男												
女	3	1				1			1			
60-69歳	6	2			2	2						
男	4	2			1	1						
女	2				1	1						
70-79歳	21	14	1	1	3		3	1				2
男	13	10		1	3		1	1				
女	8	4	1				2					2
80-89歳	28	23			8			1				1
男	13	9			6							
女	15	14			2			1				1
90歳以上	14	9		1	3						1	
男	3	2			1							
女	11	7		1	2						1	

表 4-8 2023 年 新登録肺結核患者数 - 職業、菌情報、保健所別

	総 数		接客業等		看護師・保健師		医師		その他の医療職	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	32	27		1					1	1
四国中央	1									
西 条	10	6								
今 治	4	5								
松山市	9	10		1						1
中 予	2									
八幡浜	5	2							1	
宇和島	1	4								

	教員・保母		小中学生等児童		高校生以上の 生徒学生等		その他 常用勤労者		その他 臨時雇・日雇	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数						1	1	9		
四国中央										
西 条								1		
今 治								3		
松山市						1		4		
中 予										
八幡浜								1	1	
宇和島										

	その他 自営業・自由業		家事従事者		乳幼児		無職・その他		不明	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数							30	15		
四国中央							1			
西 条							10	5		
今 治							4	2		
松山市							9	3		
中 予							2			
八幡浜							3	1		
宇和島							1	4		

表 4-9 2023 年 新登録患者数 - 発見方法別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結 核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性		菌 陰 性 ・ そ の 他	
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	86	59	32	30	2	23	4	27	26
健康診断	10	9	1	1		7	1	1	15
個別健康診断									
定期健康診断	7	6				5	1	1	2
学校健診									
住民健診	1	1				1			
職場健診	6	5				4	1	1	2
施設健診									
接触者健康診断	3	3	1	1		2			11
家族健診	2	2	1	1		1			5
その他	1	1				1			6
その他の集団検診									2
医療機関	75	49	30	28	2	16	3	26	11
受診	42	29	18	16	2	9	2	13	3
他疾患入院中	16	9	7	7		2		7	2
他疾患通院中	17	11	5	5		5	1	6	6
その他	1	1	1	1					
不明									
登録中の健康診断									

表 4-10 2023 年 新登録有症状肺結核患者数 - 発見の遅れの期間別

	肺 結 核 活 動 性					
	総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他
		総 数	初 回 治 療	再 治 療		
発病～初診の期間						
総数	44	30	28	2	11	3
2週未満	15	10	9	1	4	1
2週以上1月未満	4	4	4			
1月以上2月未満	6	2	2		3	1
2月以上3月未満						
3月以上6月未満	1	1	1			
6月以上	1	1	1			
不明・該当せず	17	12	11	1	4	1
初診～診断の期間						
総数	44	30	28	2	11	3
2週未満	27	20	18	2	5	2
2週以上1月未満	4	2	2		2	
1月以上2月未満	9	6	6		3	
2月以上3月未満	2	1	1		1	
3月以上6月未満						
6月以上	1	1	1			
不明・該当せず	1					1
発病～診断の期間						
総数	44	30	28	2	11	3
2週未満	8	6	5	1	1	1
2週以上1月未満	8	7	7		1	
1月以上2月未満	6	1	1		4	1
2月以上3月未満	3	2	2		1	
3月以上6月未満	1	1	1			
6月以上	1	1	1			
不明・該当せず	17	12	11	1	4	1

表 4-11 2023 年 新登録患者数 - 化療内容、保健所別(その1)

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結 核 症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県									
総数	86	59	32	30	2	23	4	27	26
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	59	42	19	17	2	21	2	17	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	24	14	11	11		2	1	10	
INH及びRFPの2剤									2
その他の2剤									
その他の3剤以上	2	2	2	2					
INH単独									23
その他単独									1
不明・化療なし	1	1					1		
四国中央									
総数	2	1	1	1				1	5
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	2	1	1	1				1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上									
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									4
その他単独									1
不明・化療なし									
西条									
総数	19	16	10	10		4	2	3	2
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	11	10	6	6		3	1	1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	6	4	3	3		1		2	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上	1	1	1	1					
INH単独									2
その他単独									
不明・化療なし	1	1					1		
今治									
総数	11	9	4	3	1	5		2	5
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	8	7	2	1	1	5		1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	3	2	2	2				1	
INH及びRFPの2剤									1
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									4
その他単独									
不明・化療なし									

INH: イソニアジド、RFP: リファンピシン、PZA: ピラジナミド、EB: エタンブロール、SM: ストレプトマイシン

表 4-11 2023 年 新登録患者数 - 化療内容、保健所別(その2)

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
			総 数	初 回 治 療			再 治 療		
松山市									
総数	25	19	9	8	1	9	1	6	6
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	20	14	4	3	1	9	1	6	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	5	5	5	5					
INH及びRFPの2剤									1
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									5
その他単独									
不明・化療なし									
中予									
総数	4	2	2	2				2	2
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	2	1	1	1				1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	1							1	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上	1	1	1	1					
INH単独									2
その他単独									
不明・化療なし									
八幡浜									
総数	13	7	5	5		2		6	4
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	11	7	5	5		2		4	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	2							2	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									4
その他単独									
不明・化療なし									
宇和島									
総数	12	5	1	1		3	1	7	2
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	5	2				2		3	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	7	3	1	1		1	1	4	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									2
その他単独									
不明・化療なし									

INH: イソニアジド、RFP: リファンピシン、PZA: ピラジナミド、EB: エタンブロール、SM: ストレプトマイシン

表 4-12 2023 年 年末現在登録者数 - 保健所別

	登録者 総数	活 動 性 結 核								不活動 性結核	活動性 不 明	(別掲) 潜在性 結 核 感染症	
		総数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性				
			総数	登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性			登 録 時 そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 そ の 他					
				総数	初 回 治 療	再 治 療						治 療 中	観 察 中
愛媛県 総数	195	55	35	18	16	2	15	2	20	136	4	17	13
四国中央	7									7		2	2
西 条	46	12	9	4	4		5		3	32	2	1	1
今 治	24	10	9	5	4	1	4		1	14		2	
松 山 市	59	16	10	3	2	1	5	2	6	42	1	5	5
中 予	16	4	3	3	3				1	11	1	2	2
八 幡 浜	23	6	2	2	2				4	17		3	2
宇 和 島	20	7	2	1	1		1		5	13		2	1

表 4-13 2023 年 年末現在登録者数 - 性、年齢階級別

	登録者 総数	活 動 性 結 核								不活動 性結核	活動性 不 明	(別掲) 潜在性 結 核 感染症	
		総数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性				
			総数	喀 痰 塗 抹 陽 性			登 録 時 そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 そ の 他					
				総数	初 回 治 療	再 治 療						治 療 中	観 察 中
愛媛県 総数	195	55	35	18	16	2	15	2	20	136	4	17	13
男	102	26	20	10	9	1	9	1	6	73	3	6	4
女	93	29	15	8	7	1	6	1	14	63	1	11	9
0-4歳												2	3
男												1	
女												1	3
5-9歳													
男													
女													
10-14歳													
男													
女													
15-19歳	1	1							1			1	
男													
女	1	1							1			1	
20-29歳	14	7	5				4	1	2	7		1	
男	9	4	3				2	1	1	5			
女	5	3	2				2		1	2		1	
30-39歳	9	2	2				2			7			1
男	7	2	2				2			5			
女	2									2			1
40-49歳	7									7		3	1
男	3									3			
女	4									4		3	1
50-59歳	12	2	1	1	1				1	10		1	
男	7									7			
女	5	2	1	1	1				1	3		1	
60-69歳	22	7	2	2	1	1			5	15		2	3
男	15	3	2	2	1	1			1	12			
女	7	4							4	3		2	3
70-79歳	50	12	9	5	5		3	1	3	36	2	4	2
男	30	8	6	5	5		1		2	20	2	3	2
女	20	4	3				2	1	1	16		1	
80-89歳	56	17	13	7	6	1	6		4	37	2	2	3
男	23	7	6	2	2		4		1	15	1	1	2
女	33	10	7	5	4	1	2		3	22	1	1	1
90歳以上	24	7	3	3	3				4	17		1	
男	8	2	1	1	1				1	6			
女	16	5	2	2	2				3	11		1	

参 考 资 料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱

第一 目的

本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成 10 年法律第 114 号。以下「法」という。)に基づき、感染症の患者発生状況に関する情報(以下「患者情報」という。)、疑似症発生状況に関する情報(以下「疑似症情報」という。)及び感染症の病原体に関する情報(以下「病原体情報」という。)を迅速かつ的確に収集、分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ的確な感染症対策の確立に資することを目的とする。

第二 対象感染症

事業の対象とする感染症は次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

(1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱 (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

(8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。) (12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 MER S コロナウイルスであるものに限る。) (13) 鳥インフルエンザ(H5N1) (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)

3 三類感染症

(15) コレラ (16) 細菌性赤痢 (17) 腸管出血性大腸菌感染症 (18) 腸チフス (19) パラチフス

4 四類感染症

(20) E型肝炎 (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) (22) A型肝炎 (23) エキノコックス症 (24) エムポックス (25) 黄熱 (26) オウム病 (27) オムスク出血熱 (28) 回帰熱 (29) キャサヌル森林病 (30) Q熱 (31) 狂犬病 (32) コクシジオイデス症 (33) ジカウイルス感染症 (34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) (35) 腎症候性出血熱 (36) 西部ウマ脳炎 (37) ダニ媒介脳炎 (38) 炭疽 (39) チクングニア熱 (40) つつが虫病 (41) デング熱 (42) 東部ウマ脳炎 (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) (44) ニパウイルス感染症 (45) 日本紅斑熱 (46) 日本脳炎 (47) ハンタウイルス肺症候群 (48) Bウイルス病 (49) 鼻疽 (50) ブルセラ症 (51) ベネズエラウマ脳炎 (52) ヘンドラウイルス感染症 (53) 発しんチフス (54) ボツリヌス症 (55) マラリア (56) 野兎病 (57) ライム病 (58) リッサウイルス感染症 (59) リフトバレー熱 (60) 類鼻疽 (61) レジオネラ症 (62) レプトスピラ症 (63) ロッキー山紅斑熱

5 五類感染症(全数)

(64)アメーバ赤痢 (65)ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。) (66)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 (67)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) (68)急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。) (69)クリプトスポリジウム症 (70)クロイツフェルト・ヤコブ病 (71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (72)後天性免疫不全症候群 (73)ジアルジア症 (74)侵襲性インフルエンザ菌感染症 (75)侵襲性髄膜炎菌感染症 (76)侵襲性肺炎球菌感染症 (77)水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。) (78)先天性風しん症候群 (79)梅毒 (80)播種性クリプトコックス症 (81)破傷風 (82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84)百日咳 (85)風しん (86)麻しん (87)薬剤耐性アシネトバクター感染症

6 新型インフルエンザ等感染症

(113)新型インフルエンザ (114)再興型インフルエンザ (115)新型コロナウイルス感染症 (116)再興型新型コロナウイルス感染症

7 指定感染症

該当なし

二 定点把握の対象

1 五類感染症(定点)

(88)RSウイルス感染症 (89)咽頭結膜熱 (90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。) (91)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (92)感染性胃腸炎 (93)急性出血性結膜炎 (94)クラミジア肺炎(オウム病を除く。) (95)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。) (96)新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。) (97)水痘 (98)性器クラミジア感染症 (99)性器ヘルペスウイルス感染症 (100)尖圭コンジローマ (101)手足口病 (102)伝染性紅斑 (103)突発性発しん (104)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (105)ヘルパンギーナ (106)マイコプラズマ肺炎 (107)無菌性髄膜炎 (108)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (109)薬剤耐性緑膿菌感染症 (110)流行性角結膜炎 (111)流行性耳下腺炎 (112)淋菌感染症

2 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症(定点)

(117)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

三 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

(118)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断した

ものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。

第三 実施主体

実施主体は県とし、愛媛県医師会等関係機関の協力を得て事業を実施する。

第四 実施体制の整備

一 愛媛県感染症情報センター

愛媛県感染症情報センター（以下「感染症情報センター」という。）を、愛媛県立衛生環境研究所（以下「衛生環境研究所」という。）に設置する。感染症情報センターは、県及び松山市（以下、「県等」という。）から報告された患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集、分析し、その結果を全国情報等と併せて速やかに関係機関等へ提供・公開する。

二 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

1 県は、定点把握対象の感染症について、患者及び当該感染症により死亡した者（法第14条第1項の厚生労働省令で定める五類感染症に限る。）の情報及び疑似症情報を収集するため、法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点を選定する。

2 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点を選定する。

なお、法施行規則第7条の3に規定する五類感染症については、法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。

三 愛媛県感染症対策連携協議会

本事業に関する事項については、愛媛県感染症対策連携協議会において協議することとし、愛媛県感染症対策連携協議会設置要綱第7条の規定に基づく解析評価担当委員（以下「解析評価委員」という。）が解析評価を行う。

四 検査施設

本事業に係る検体等の検査については、衛生環境研究所又は保健所の検査施設（以下「衛生環境研究所等」という。）において実施する。衛生環境研究所等は、別に定める病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査業務管理要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努める。

また、県等は、県等域内における検査が適切に実施されるよう施設間の役割を調整するとともに、衛生環境研究所は、松山市において実施できない項目について検査事務を受託する等、検査実施体制の整備を図る。

第五 事業の実施

一 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

1 医師

医師は、一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」（以下「届出基準等通知」という。）に基づき診断した場合及び当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検案した場合は、届出基準等通知別記様式により、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

2 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等について、別記様式1の検査票を添付して提供する。

3 保健所

(1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力する。

(2) 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対し、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼等する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

(3) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

(4) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

4 衛生環境研究所等

(1) 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センター等と情報共有する。

また、病原体情報について、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

(2) 衛生環境研究所等において検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(3) 患者が一類感染症と診断されている場合、県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

5 感染症情報センター

- (1) 感染症情報センターは、患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。
 - (2) 感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。
 - (3) 感染症情報センターは、収集した患者情報及び病原体情報を全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。
- 6 本庁健康増進課
- 本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。
- 7 情報の報告等
- (1) 本庁は、管轄する区域外に居住する者について、法第 12 条第 1 項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県等に通報する。
 - (2) 本庁は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第 15 条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県等に通報する。
 - (3) (1)～(2)の報告等について、感染症サーベイランスシステムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合は、当該報告をしたものとみなす。

二 全数把握対象の五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86)を除く。）

1 医師

全数把握対象の五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86)を除く。）を届出基準等通知に基づき診断した又は当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検案した医師は、届出基準等通知別記様式を用いて診断後 7 日以内に最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

2 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、別記様式 1 の検査票を添付して提供する。

3 保健所

- (1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力する。
- (2) 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関

等に対し、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

(3) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

(4) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

4 衛生環境研究所等

(1) 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センター等と情報共有する。

また、病原体情報について、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

(2) 衛生環境研究所等において検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(3) 県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

5 感染症情報センター

(1) 感染症情報センターは、患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(2) 感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報(月単位の場合は月報)等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。

(3) 感染症情報センターは、収集した患者情報、病原体情報及び全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。

6 本庁健康増進課

本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

三 定点把握対象の五類感染症

1 定点の選定

(1) 患者定点

県は、定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等

の協力を得て、対象感染症に応じ、次に掲げる医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。患者定点数は、別に定める基準（国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱。以下「算定基準」という。）を準用し算定する。

対象感染症	医療機関
ア 第二の(88)、(89)、(91)、(92)、(97)、(101)から(103)まで、(105)及び(111)に掲げるもの（小児科定点）	小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）
イ 第二の(90)に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）及び(96)新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」とする）（インフルエンザ/COVID-19 定点及び基幹定点） なお、基幹定点における届出基準は、インフルエンザ定点及びCOVID-19 定点と異なり、入院患者に限定されることに留意すること。	上記アで選定した小児科に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの） なお、インフルエンザ定点と COVID-19 定点は同一とする。
ウ 第二の(93)及び(110)に掲げるもの（眼科定点）	眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）
エ 第二の(98)から(100)まで及び(112)に掲げるもの（性感染症定点（STD 定点））	産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和 23 年政令第 326 号）第 3 条の 2 第 1 項第 1 号ハ及びニ（2）の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）
オ 第二の(92)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(94)、(95)、(104)及び(106)から(109)までに掲げるもの（基幹定点）	原則患者を 300 人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）

(2) 病原体定点

県は、病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点として選定された医療機関の中から、次の基準により病原体定点を選定する。

病原体定点	算定基準	対象感染症
ア 小児科病原体定点	(1)のアにより選定された小児科定点の概ね 10%	第二の(88)、(89)、(91)、(92)、(97)、(101)から(103)まで、(105)及び(111)に掲げるもの
イ インフルエンザ病原体定点（法第 14 条の 2 第 1 項に規定する指定提出機関として指定）	(1)のイにより選定されたインフルエンザ定点の概ね 10%（小児科定点から 10%以上及び内科定点から 10%以上とし、それぞれ 3 定点と 2 定点を下回らないように選定）	第二の(90)に掲げるもの
ウ 眼科病原体定点	(1)のウにより選定された眼科定点の概ね 10%	第二の(93)及び(110)に掲げるもの
エ 基幹病原体定点	(1)のオにより選定された基幹定点の全て	第二の(92)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(95)及び(107)に掲げるもの

2 調査単位等

- (1) 患者情報のうち、前記1の(1)のア、イ、ウ及びオ（第二の(104)、(108)及び(109)に関する患者情報を除く。）により選定された患者定点にあつては1週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、前記1の(1)のエ及びオ（第二の(104)、(108)及び(109)に関する患者情報のみ）により選定された患者定点にあつては各月を調査単位とする。
- (2) 病原体情報のうち、前記1の(2)のイにより選定されたインフルエンザ病原体定点にあつては、第二の(90)に掲げるインフルエンザの流行期（1の(1)のイにより選定されたインフルエンザ定点当たりの患者発生数が県単位で1を超えた時点から1を下回るまでの間）には1週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、非流行期（流行期以外の期間）には各月を調査単位とする。その他の病原体定点にあつては、各月を調査単位とする。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により患者発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に届出を行う。

イ 前記アの届出は、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

(2) 病原体定点

ア 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のための検体等を採取する。

イ 病原体定点は、検体等について、別記様式1の検査票を添えて、保健所との連携を図りながら速やかに衛生環境研究所へ送付する。

ウ 1の(2)のアにより選定された小児科病原体定点においては、第二の(88)、(89)、(91)、(92)、(97)、(101)から(103)まで、(105)及び(111)の対象感染症のうち、患者発生状況等を踏まえ県等においてあらかじめ選定した複数の感染症について、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付する。

エ 1の(2)のイにより選定されたインフルエンザ病原体定点においては、第二の(90)に掲げるインフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む。）について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付する。

(3) 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあつては、検体等について、保健所に協力し、別記様式1の検査票を添えて提供する。

(4) 保健所

ア 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医療機関からの届出である場合には、患者定点から得られた患者情報を、調査単位が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、

月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症サーベイランスシステムに入力する。

イ 対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、本庁健康増進課及び感染症情報センターへ報告する。

ウ 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

エ 保健所は、医療機関等から検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

オ 保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

(5) 衛生環境研究所等

ア 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあつては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体を検査し、その結果を病原体情報として保健所を経由して病原体定点に通知するとともに、本庁健康増進課及び感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報については、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

イ 検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

ウ 県域を超えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から検体等の提出を求められた場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(6) 感染症情報センター

ア 感染症情報センターは、患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

イ 感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。

ウ 感染症情報センターは、収集した患者情報、病原体情報及び全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。

(7) 本庁健康増進課

本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに

に、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

四 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点）

1 定点の選定

県は、疑似症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、次に掲げる医療機関の中から疑似症定点を選定する。定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案しつつ、できるだけ県の疑似症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

対象感染症	医療機関
第二の(117)に掲げるもの	集中治療その他これに準ずるものを提供することができる病院又は診療所のうち疑似症に係る指定届出機関として適当と認めるもの。 また、以下のアからウの順に優先順位をつけ、上記の基準を踏まえて選定する。 ア 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料（1～4）、小児特定集中治療室管理料又はハイケアユニット入院医療管理料（1～2）の届出をしている医療機関 イ 法に基づく感染症指定医療機関 ウ マスギャザリング（一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団）において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関

2 実施方法

(1) 疑似症定点

- ア 疑似症定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により疑似症発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に直ちに届出を行う。
- イ 前記アの届出は、原則として、感染症サーベイランスシステムへの入力により実施することとする。

(2) 保健所

- ア 保健所は、疑似症定点において感染症サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに感染症サーベイランスシステムに入力する。
- イ 保健所は、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報について本庁健康増進課及び感染症情報センターへ報告する。
- ウ 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

(3) 感染症情報センター

- ア 感染症情報センターは、疑似症情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。
- イ 感染症情報センターは、県内の全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、そ

の結果を週報等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。

ウ 感染症情報センターは、収集した疑似症情報を全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。

(4) 本庁健康増進課

本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した疑似症情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

第六 その他

一 県は、効果的かつ円滑な感染症発生動向調査体制を構築するため、松山市と密接な連携を図る。

二 感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的に用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ本人等に同意をとることが望ましい。

なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の別に定める規定に従う。

三 情報の提供を行うときは、個人情報保護に十分留意する。

四 本事業に協力を得た医師、解析評価委員に対して予算の範囲内で謝金を支出する。

五 この要綱で定めるもののほか、感染症発生動向調査事業の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成13年1月1日から施行する。

2 愛媛県結核・感染症発生動向調査実施要綱（昭和62年1月1日）は、廃止する。

附 則

この実施要綱の改正は、平成14年11月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年8月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年11月5日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 9 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 18 年度に限り使用することができる。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 11 月 22 日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 19 年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 20 年 1 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 19 年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 23 年 2 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

この実施要綱の一部改正は、平成23年9月5日から施行する。

ただし、第五の三の1の(1)の表中イの指定については、平成23年8月17日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年3月4日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年5月6日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年7月26日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年9月19日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年1月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年5月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成28年2月15日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年3月27日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年8月11日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和3年2月17日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年5月8日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年5月26日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年6月23日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年9月25日から施行する。

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症検査票(病原体)

患者コード	性別 (男・女)	住所 市 町	定点医療機関の場合は、該当するものに○ ・インフルエンザ定点 ・小児科定点 ・眼科定点 ・性感染症定点 ・基幹定点
氏名	年齢 (歳 カ月)	住所	

[主治医等記載欄]

医療機関等名及び主治等医師名(記載者)			
検体送付日	年 月 日	分離株(無・有・検査中)	
診断名			
発病日	年 月 日		
入院・外来の別	入院	外来	
検査材料	採取日	年 月 日	
	材料の種類 [該当するもの1つを○で囲んでください]	・ふん便(腸内容物、直腸ぬぐい液) ・髄液 ・尿 ・吐物 ・喀痰 ・気管吸引液 ・穿刺液(腹水、胸水、関節液、その他[]) ・咽頭ぬぐい液(うがい液、鼻汁) ・皮膚病巣(水疱内容、痂皮、創傷) ・結膜ぬぐい液(結膜擦過物、眼脂) ・陰部尿道頭管擦過物 / 分泌物 ・細胞診、生検、剖検材料(臓器) ・血液(全血、血清、血漿、抗凝固剤[]) ・その他()	
臨床的事項	臨床症状・徴候等 [該当するものを全てを○で囲んでください] (基礎疾患を除く)	・無症状 ・胃腸炎(下痢、腹痛、嘔吐、嘔気、血便、膿球) ・頭痛 ・発熱(最高 °C) ・角膜炎、結膜炎、角結膜炎 ・熱性けいれん ・関節痛(関節炎)、筋肉痛 ・髄膜炎、意識障害、麻痺(部位)、 ・口内炎 ・上気道炎(咽頭炎/痛、扁桃炎) 中枢神経系症状(脳炎、脳症、脊髄炎、 ・下気道炎(肺炎、気管支炎) その他[] ・水泡 ・発疹(丘疹、紅斑、バラ疹) ・循環器障害(心筋炎、心膜炎、心不全) ・出血傾向(全身性・局所:部位) ・ショック症状(低血圧、循環不全) ・リンパ節腫脹(部位) ・黄疸 ・肝機能障害 ・唾液腺腫脹(耳下腺炎、顎下腺炎) ・腎機能障害(HUS、血尿、乏尿、蛋白尿、多尿、腎不全) ・浮腫(部位) ・尿路生殖器症状(膀胱炎、尿道炎、外陰炎、頸管炎) ・その他の症状(上記以外の症状や臨床徴候)[]	
	基礎疾患		
転帰	経過観察中、軽快、治癒、後遺症有り、死亡(原因)		
主治医等から地方衛生研究所への連絡事項(関連の臨床検査結果等)[]			
* インフルエンザ迅速キット使用(無・有 :メーカー・品名 []、陰性・陽性[]型)・保留)			
* 抗インフルエンザ薬投与(無・有 :薬剤名 []、投与開始日 年 月 日 予防・治療投与) 投与終了日 年 月 日			

[保健所等記載欄](主治医記載可)

発生の状況	・散発 ・地域流行 ・家族内発生(無、有) ・集団発生(無、有) ・発生市町() 有の場合(保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、宿舍・寮、病院、老人ホーム(介護施設を含む)、福祉・養護施設、旅館・ホテル、飲食店、事業所、海外ツアー、国内ツアー、その他[])		
最近の海外渡航歴	国名		
	期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
ワクチン接種歴	無、有、不明 [最終接種年月日 年 月 日] ワクチン名 (Lot No)		

[地方衛生研究所記載欄]

記載者名			
抗体検出方法結果	(蛍光、IP、ELIZA、CF、HI、PA、中和、イムノブロット、ゲル内沈降、凝集反応、その他[])		
病原体検出	検出年月日	年 月 日	
	検出方法 [陽性となった方法を○で囲んでください]	・分離培養 (培養細胞 : 細胞名 []) 人工培地、発育鶏卵、動物、その他 []) ・抗原検出 (蛍光、EIA、RPHA、LA、PA、IC [イムノクロマト]、その他 []) ・遺伝子検出 1.非増幅(ハイブリ、PAGE、その他 []) 2.増幅(PCR、リアルタイムハイブリ、PCR+シーケンス、LAMP、その他 []) ・電顕 ・鏡検	
	検出病原体(群、型、亜型)		
その他特記事項			

注1) 患者の氏名及び住所欄については、感染症法第16条の3、第26条の3、第26条の4、第44条の7及び第50条に基づく一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ等感染症又は新感染症に係る検査の場合に記載をお願いします。

注2) 主治医記載欄については、検体送付日において記載できる範囲で記載をお願いします。

注3) ワクチン接種歴については、当該疾患に係るものにつき記載してください。

注4) 医療機関(民間検査所を含む)で病原体を分離した場合は、地方衛生研究所への分離株の送付をお願いします。

愛媛県感染症対策連携協議会設置要綱

(目的)

第1条 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第10条の2第1項の規定に基づき、感染症の発生の予防及びまん延の防止のための施策の実施に当たっての連携協力体制の整備を図るため、愛媛県感染症対策連携協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 感染症発生の防止及びまん延の防止の施策に関する事項
- (2) 医療提供体制の確保及び医療機関等の連携協力体制に関する事項
- (3) 予防計画の策定、改定及び推進に関する事
- (4) 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱（平成13年1月1日制定）に基づく感染症発生動向調査（以下「感染症発生動向調査」という。）に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関する事

(委員)

第3条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、保健所設置市、感染症指定医療機関、診療に関する学識経験者の団体、消防機関及びその他の関係機関のうちから、知事が委嘱し、又は任命する。

- 2 協議会の委員は、30人以下とする。
- 3 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任させることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は会長が指名した者をもって充てる。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。ただし、委員の任命後最初に開かれる会議は、知事が招集する。

(部会)

第6条 協議会は、必要に応じて、部会を置くことができる。

- 2 部会に、部会長及び部会員を置き、会長が指名する。
- 3 部会は、部会長が必要に応じて招集し、部会長が議長となる。
- 4 協議会は、その定めるところにより、部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

(解析評価担当委員)

第7条 感染症発生動向調査に係る情報の解析評価を担当する解析評価担当委員をおく。

- 2 解析評価担当委員は、会長が協議会の委員のうちから指名する。

(関係者の出席)

第8条 会長が必要と認めた時は、協議会の会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、保健福祉部健康衛生局健康増進課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が、協議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和5年6月23日から施行する。

愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領

第一 趣旨

本要領は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年10月2日号外法律第114号）に基づき、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るために実施する愛媛県感染症発生動向調査事業において、病原体の検査情報の収集に関する必要な事項を定めるものとする。

第二 病原体検査の対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業において病原体検査の対象とする感染症は、次のとおりとする。

一 全数把握の対象

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱（以下、要綱という。）第二の一に掲げる全数把握対象感染症とする。

二 定点把握対象の五類感染症（病原体定点別）

要綱第二の二に掲げるもののうち、次の定点把握対象感染症とする。

1 小児科病原体定点

(89)咽頭結膜熱 (90)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (91)感染性胃腸炎
(93)手足口病 (96)ヘルパンギーナ (97)流行性耳下腺炎

2 インフルエンザ病原体定点(内科病原体定点及び小児科病原体定点)

(98)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)

3 眼科病原体定点

(99)急性出血性結膜炎 (100)流行性角結膜炎

4 基幹病原体定点

(91)感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(106)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)
(109)無菌性髄膜炎

第三 関係機関の役割

一 検査実施機関

検査実施機関は、衛生環境研究所又は保健所とする。

ただし、衛生環境研究所で検査の実施が困難なものについては、国立感染症研究所又は検査可能な機関（以下、「国立感染症研究所等」という。）に、衛生環境研究所が協力を依頼する。

検査実施機関別の検査対象感染症は、別表1のとおりとする。

二 医療機関・医師

第二の一に掲げる検査対象感染症の患者を診断あるいは感染疑いと判断した医師は、保健所から病原体検査のための検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）の提供の依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等について、別記様式1（要綱第五の一の2に定める様式をいう。以下同じ。）の検査票を添えて、速やかに保健所に提供

する。

三 病原体定点に選定された医療機関

- 1 第二の二に掲げる病原体定点の検査対象感染症の患者を診断した医師は、第四に示した検体数について、第五の別表2に掲げる検査材料を、別表3に従い採取する。採取された検体等は、別記様式1に掲げる検査票を添えて、速やかに保健所に提供する。
- 2 基幹病原体定点は、第二の二の4に掲げる検査対象感染症のほか、保健所から第二の二に掲げる検査対象感染症の検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、可能な範囲で検体等の提供に協力する。

四 保健所

- 1 保健所は、検査対象感染症の発生状況から、必要に応じて病原体検査のための検体等の提供を医療機関に依頼等する。
- 2 保健所は、医療機関における検体等の採取や搬送に協力し、第二の一に掲げる検査対象感染症のうち三類感染症の検体等の提供を受けた場合は、可能な範囲において検査を実施し、その結果を診断した医師に通知する。
- 3 保健所は、三類感染症の病原体を分離した場合又は第二の一に掲げる検査対象感染症の検体等の提供を受けた場合は、別記様式1の検査票を添えて、検体等を衛生環境研究所に搬送する。
- 4 保健所は、特定病原体を衛生環境研究所に搬送する場合は、省令第31条の36に規定された運搬基準を遵守すること。

五 衛生環境研究所

- 1 衛生環境研究所は、検体等と別記様式1の検査票が搬入された場合は、当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、本庁及び感染症情報センターに通知する。
- 2 衛生環境研究所において、検査の実施が困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所等に協力を依頼する。
- 3 衛生環境研究所は、病原体検査情報を、病原体検出情報システムに入力する。

第四 定点把握の五類感染症の病原体検査検体数

定点把握の五類感染症の病原体検査検体数は、要綱第五の三の3の(3)に示すとおりとする。

なお、眼科病原体定点及び基幹病原体定点については、検査対象感染症につき、概ね月4件の検体を採取することとし、基幹病原体定点については、検査対象感染症以外に必要なに応じて小児科病原体定点対象感染症の検体を採取する。

第五 検体採取

一 器材

検体採取に必要な器材、培地等は衛生環境研究所が準備し、必要に応じ保健所から関係医療機関に配布する。

二 検査材料

病原体検査のために採取すべき検査材料は、別表2のとおりとする。

第六 病原体検査検体の採取、保存、輸送等

一 細菌感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア 抗生物質投与前の糞便の一部を滅菌綿棒で取り、輸送用培地(キャリーブリア培地等)の寒天部に深く差し込み密栓する。止むを得ない場合は、直腸スワブを採取し、前項と同様輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。

イ 検体採取後は、室温で保存し、速やかに検査に供する。遅くとも24時間以内に分離培養するのが望ましい。

(2) 鼻咽頭ぬぐい液

ア 滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、輸送用培地(キャリーブリア培地等)中に綿棒を深く差し込み、直ちにキャップを確実に閉める。

イ 検体採取後は、室温で保存し、24時間以内に分離培養するのが望ましい。

2 保存及び輸送方法

(1) 検査材料は、容器から内容物が漏れないようにビニールテープ等で密栓する。所定の搬送用ボックスに入れ、できるだけ速やかに室温で搬送する。

(2) 検体は、冷凍での保存・搬送はしてはならない。

二 ウイルス感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア できるだけ早期(急性期)に排泄直後の糞便を採取する。

イ ウイルス分離培養検査用は糞便2g(2ml)を採取するか、又は滅菌綿棒で少量(0.1-0.2g)をウイルス分離用保存液の中に取り、よく攪拌後綿棒を取り除いて密栓する。

ウ 下痢症ウイルス検査用は、母指頭大(約5g)以上の糞便あるいは嘔吐物を容器に採取し密栓する。

(2) 鼻咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿球部をよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(3) 咽頭うがい液

滅菌生理食塩水8~10mlを用い咽頭の奥でよくうがいをさせ、清浄なコップ等に吐き出されたうがい液を5mlのウイルス分離用保存液又は滅菌ブイヨン液に等量加え密栓する。

(4) 髄液

1~5mlを無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

(5) 水疱内溶液

水疱又は膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器等で局所を突き刺して内容液を吸引し、ウイルス分離用保存液に入れ密栓する。

(6) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒をウイルス分離用保存液中でよく振とうして擦過物を浮遊させた後、綿球部を管壁でよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(7) 血液、血清

ウイルス分離用の血液は、抗凝固剤（クエン酸又はEDTA）入り採血管に4～5mlを採取し、室温でできるだけ速やかに検査機関に搬送する。

血清免疫学的診断用の場合は、凝固剤入り採血管に3～5mlを採血する。30分程度静置後3,000rpmで遠心分離し、血清を滅菌セラムチューブ等に採取し、搬送するまで冷凍庫（-25以下）に保存する。

血清免疫学的診断には、急性期（発病3日以内）と回復期（発病後2～3週間後）のペア血清が必要なことが多い。

2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 検体採取当日又は翌日に検査が可能な場合は、氷冷して保存・搬送する。
- (3) 2日以上保存する場合は、密封しドライアイスアセトン又は液体窒素で急速凍結した後、-25以下（できれば-70以下が望ましい）で冷凍保存する。
- (4) 冷凍して搬送する場合は、断熱性の搬送用ボックスに入れ、ドライアイス又は寒剤（例：氷75%＋食塩25%）等を使用し、搬送中に融解しないようにする。
- (5) 保存又は搬送にドライアイスを使用する場合は、CO₂ガスが容器に入り、pHが低下するのを防ぐため、検体容器をビニールテープでシールして密封する。

三 原虫感染症

1 採取方法

- (1) 母指頭大（約5g）以上の糞便を、保存培地の入っていない採便容器に採取し密栓する。
- (2) 連日あるいは1日おきに複数回採取するのが望ましい。

2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 保存、輸送は冷蔵(4)で行う。
- (3) 長期間(3日以上)の保存が避けられない場合は-25以下で冷凍保存し、溶解しないよう氷冷して搬送する。

第七 その他

- 一 県は、県内の病原体に関する情報を統一的に収集し、分析し、及び公表する体制を構築するため、松山市と緊密な連携を図る。
- 二 この要領に定めるもののほか、病原体検査の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成13年1月1日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成15年11月5日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 30 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 30 年 5 月 1 日から施行する。

別表 1

検査実施機関別検査対象感染症

類型	疾 病	BSL	検 査 可 能 機 関			
			保健所	衛生環境 研究所	国立感染症 研究所	備 考
一類	エボラ出血熱	4			○	
	クリミア・コンゴ出血熱	4			○	
	痘そう	4			○	
	南米出血熱	4			○	
	ペスト	4			○	
	マールブルグ病	4			○	
	ラッサ熱	4			○	
二類	急性灰白髄炎	2		○	○	
	結核	3		○	(結研)	V N T R 検査
	ジフテリア	2		○	○	
	重症急性呼吸器症候群 ※1	3		○	○	
	中東呼吸器症候群 ※2	3		○	○	
	鳥インフルエンザ (H5N1)	3		○	○	
鳥インフルエンザ (H7N9)	3		○	○		
三類	コレラ	2	○	○		
	細菌性赤痢	2	○	○		
	腸管出血性大腸菌感染症	2	○	○		
	腸チフス	3	○	○		
	パラチフス	3	○	○		
四類	E型肝炎	2		○	○	
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	3		○	○	
	A型肝炎	2		○		
	エキノコックス症	2			○	
	黄熱	3			○	
	オウム病	2			○	
	オムスク出血熱	2			○	
	回帰熱	3			○	
	キャサヌル森林病	3			○	
	Q熱	3			○	
	狂犬病	3		○	○	
	コクシジオイデス症	3			○	
	サル痘	2			○	
	ジカウイルス感染症	2		○	○	
	重症熱性血小板減少症候群 ※3	3		○	○	
	腎症候性出血熱	3			○	
	西部ウマ脳炎	3			○	
	ダニ媒介脳炎	3			○	
	炭疽	3		○		
	チクングニア熱	3		○		
	つつが虫病	3			○	
	デング熱	2		○		
	東部ウマ脳炎	3			○	
	鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	3			○	
	ニバウイルス感染症	3			○	
	日本紅斑熱	3		○		
	日本脳炎	2		○		
	ハンタウイルス肺症候群	3			○	
	Bウイルス病	3			○	
	鼻疽	3			○	
	ブルセラ病	3			○	
	ベネズエラウマ脳炎	3			○	
	ヘンドラウイルス感染症	3			○	
	発しんチフス	3			○	
	ボツリヌス症	2		○		
	マラリア	2			○	
	野兔病	3			○	
	ライム病	3			○	
	リッサウイルス感染症	3			○	
	リフトバレー熱	3			○	
	類鼻疽	2			○	
	レジオネラ症	2		○		
レプトスピラ症	2			○		
ロッキー山紅斑熱	3			○		

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書(2023年)

類型	疾 病	BSL	検 査 可 能 機 関			
			保健所	衛生環境 研究所	国立感染症 研究所	備 考
五類 全数	アメーバ赤痢	2			○	
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	2	○	○	○	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		○	○	
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	2		○	○	
	急性脳炎 ※4	-		○	○	
	クリプトスポリジウム症	2		○		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2			○	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		○		
	後天性免疫不全症候群	3	○	○	○	
	ジアルジア症	2		○		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			○	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2			○	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2			○	
	水痘（患者が入院を要すると認められる例に限る）	2				病原体検査対象外
	先天性風しん症候群	2			○	
	梅毒	2	○			
	播種性クリプトコックス症	2			○	
	破傷風	2			○	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		○	○	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2		○	○	
	百日咳	2		○		
	風しん	2		○		
	麻しん	2		○		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2		○	○		
五類 定点	RSウイルス感染症	2		○		病原体検査対象外であるが対応可能
	咽頭結膜熱	2		○		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		○		
	感染症胃腸炎	2		○		
	水痘	2				病原体検査対象外
	手足口病	2		○		
	伝染性紅斑	2				病原体検査対象外であるが対応可能
	突発性発しん	2				病原体検査対象外
	ヘルパンギーナ	2		○		
	流行性耳下腺炎	2		○		
	インフルエンザ（鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ等感染症を除く）	2		○		
	急性出血性結膜炎	2		○		
	流行性角結膜炎	2		○		
	性器クラミジア感染症	2				病原体検査対象外
	性器ヘルペスウイルス感染症	2				病原体検査対象外
	尖圭コンジローマ	2				病原体検査対象外
	淋菌感染症	2				病原体検査対象外
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	2				病原体検査対象外
	細菌性髄膜炎 ※5	2		○		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2		○	○	病原体検査対象外
	マイコプラズマ肺炎	2				病原体検査対象外
	無菌性髄膜炎	2		○		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		○	○	病原体検査対象外
薬剤耐性緑膿菌感染症	2		○	○	病原体検査対象外	
新型	新型インフルエンザ	3		○	○	衛研でH亜型、国立感染症研でN亜型検出
	再興型インフルエンザ	3		○	○	衛研でH亜型、国立感染症研でN亜型検出

※1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。
 ※2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。
 ※3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。
 ※4 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。
 ※5 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

別表 2

感染症別の採取材料一覧表

類型	検査対象感染症名	病原体	BSL	採取検査材料							検査方法				検査担当機関		
				血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検材料の他	生検	検査	培養法		抗原検出法	抗体検出法
一類	1 エボラ出血熱	V	4	S									○	○	○	○	感染研
	2 クリミア・コンゴ出血熱	V	4	○									○	○	○	○	感染研
	3 痘そう	V	4	○							○		○	○	○	○	感染研
	4 南米出血熱	V	4	○									○	○	○	○	感染研
	5 ペスト	B	4	○									○				感染研
	6 マールブルグ病	V	4	○									○	○	○	○	感染研
	7 ラッサ熱	V	4	○									○	○	○	○	感染研
二類	8 急性灰白髄炎	V	2	S	○	○	○						○		○		衛環研・感染研
	9 結核	B	3														衛環研
	10 ジフテリア	B	2	S	○								○	○			衛環研
	11 重症急性呼吸器症候群(SARS)	V	3	○	○	○							○		○	○	衛環研・感染研
	12 中東呼吸器症候群(MERS)	V	3		○											○	衛環研・感染研
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	V	3	S	○								○			○	衛環研・感染研
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	V	3	S	○								○			○	衛環研・感染研
三類	15 コレラ	B	2			○							○				保健所
	16 細菌性赤痢	B	2			○							○				保健所
	17 腸管出血性大腸菌感染症	B	2	○	○								○				保健所
	18 腸チフス	B	3	○	○	○			○				○				保健所
	19 パラチフス	B	3	○	○	○			○				○				保健所
四類	20 E型肝炎	V	2	S		○										○	衛環研・感染研
	21 ウエストナイル熱	V	3	S			○						△		○	○	感染研
	22 A型肝炎	V	2	S		○										○	衛環研
	23 エキノコックス症	条虫	2	S										○	○		感染研
	24 黄熱	V	3	○									○	○		○	感染研
	25 オウム病	クラミジア	2	○	○								○	○	○	○	感染研
	26 オムスク森林病	V	2	○			○								○	○	感染研
	27 回帰熱	スピロヘータ	3	○									○	○		○	感染研
	28 キャサヌル森林病	V	3	○			○								○	○	感染研
	29 Q熱	リケッチア	3	○	○										○		感染研
	30 狂犬病	V	3				○	○					○	○		○	衛環研・感染研
	31 コクシジオイデス症	真菌	3										○				感染研
	32 サル痘	V L3扱い	2	S	○								○	○	○	○	感染研
	33 ジカウイルス感染症	V	2	S						○						○	衛環研・感染研
	34 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	V	3	S												○	衛環研
	35 腎症候性出血熱	V	3	○									○		○	○	感染研
	36 西部ウマ脳炎	V	3	○			○								○	○	感染研
	37 ダニ媒介脳炎	V	3	○			○								○	○	感染研
	38 炭疽	B	3	○		○				○			○				衛環研
	39 チクングニア熱	V	3	S												○	衛環研
	40 つつが虫病	リケッチア	3	S											○		感染研
	41 デング熱	V	2	○									○			○	衛環研
	42 東部ウマ脳炎	V	3	○			○								○	○	感染研
	43 鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)	V	3	S	○								○			○	感染研
	44 ニパウイルス感染症	V	3	S	○					○			○		○	○	感染研
45 日本紅斑熱	リケッチア	3	○											○		衛環研	
46 日本脳炎	V	2	○		○									○		衛環研	
47 ハンタウイルス肺症候群	V	3	○											○	○	感染研	
48 Bウイルス病	V	3	S	○								○			○	感染研	
49 鼻疽	B	3	○									○				感染研	
50 ブルセラ病	B	3	○		○							○				感染研	
51 ベネズエラウマ脳炎	V	3	○											○	○	感染研	
52 ヘンドラウイルス感染症	V	3	○											○	○	感染研	
53 発しんチフス	リケッチア	3	○									○				感染研	
54 ボツリヌス症	B	2	S		○							○				新研研 (国立医薬品食品衛生研究所)	
55 マラリア	原虫	2	○												○	感染研	

別表 2

感染症別の採取材料一覧表

類型	検査対象感染症名	病原体	BSL	採取検査材料							検査方法			検査担当機関			
				血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検材料の他	生検	検査		培養法	抗原検出法	抗体検出法
四類	56 野兔病	B	3	○									○	○	感染研		
	57 ライム病	スピロヘータ	3	○			○				皮膚病巣	○			感染研		
	58 リッサウイルス感染症	V	3	○			○				脳	○	○	○	感染研		
	59 リフトバレー熱	V	3	○										○	感染研		
	60 類鼻疽	B	3	○							膿・呼吸器分泌物	○			感染研		
	61 レジオネラ症	B	2	S	○	○		○			痰、気管吸引液	○		○	衛環研		
	62 レプトスピラ症	スピロヘータ	2	○			○		○			○		○	感染研		
63 ロッキー山紅斑熱	リケッチア	3	○										○	感染研			
五類全数	64 アメーバ赤痢	原虫	2	S		○					肝臓瘍液、腸、肝				△	感染研	
	65 ウイルス性肝炎（E型、A型除く）	V	2	○									○		保健所		
	66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	B	2								菌株	○			○	衛環研	
	67 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	V	2	S	○	○	○					○		○	衛環研・感染研		
	68 急性脳炎	V、B	一	○	○	○	○		○			○	△	△	△	衛環研・感染研	
	69 クリプトスポリジウム症	原虫	2			○										○	衛環研
	70 クロイツフェルト・ヤコブ病	プリオン	2				○				膿、扁桃、脾臓等		○			感染研	
	71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	B	2		○		○	○		○	皮膚、腹水、胸水	○	△			衛環研	
	72 後天性免疫不全症候群	V	3	○									○	○		保健所・衛環研	
	73 ジアルジア症	原虫	2			○										○	衛環研
	74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	B	2								菌株					感染研	
	75 侵襲性髄膜炎菌感染症	B	2								菌株					感染研	
	76 侵襲性肺炎球菌感染症	B	2								菌株					感染研	
	77 水痘（入院を要すると認められるものに限る）	V	2														対象外
	78 先天性風しん症候群	V	2	○	○				○		白内障レンズ	○			○	感染研	
	79 梅毒	スピロヘータ	2	○										○		保健所	
	80 播種性クリプトコックス症	真菌	2														感染研
	81 破傷風	B	2	S							創傷部組織	○		○		感染研	
	82 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	B	2								菌株	○			○	衛環研・感染研	
	83 パンコマイシン耐性腸球菌感染症	B	2								菌株	○			○	衛環研	
84 百日咳	B	2	○	○						痰、気管吸引液	○		△	○	衛環研		
85 風しん	V	2	○	○		○		○							○	衛環研	
86 麻しん	V	2	○	○		○		○		脳(SSPE)	○		○	○	衛環研		
87 薬剤耐性アシネトバクター感染症	B	2								菌株						衛環研	
五類定点	88 R S ウイルス感染症	V	2		○							○	○			衛環研	
	89 咽頭結膜熱	V	2	S	○	○	○	○	○		痰、気管吸引液	○	○		○	衛環研	
	90 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	B	2		○							○	△			衛環研	
	91 感染症胃腸炎	V B 原虫	2	S		○						○	○		○	衛環研	
	92 水痘	V	2													対象外	
	93 手足口病	V	2	S	○	○	○			○		○			○	衛環研	
	94 伝染性紅斑	V	2	○	○											○	衛環研
	95 突発性発しん	V	2														対象外
	96 ヘルパンギーナ	V	2	S	○	○						○				○	衛環研
	97 流行性耳下腺炎	V	2	S	○		○		○			○					衛環研
	98 インフルエンザ	V	2	S	○		○	○			肺、脳	○		○	○	衛環研	
	99 急性出血性結膜炎	V	2	S	○	○	○					○			○	衛環研	
100 流行性角結膜炎	V	2	S	○	○	○					○			○	衛環研		
106 細菌性髄膜炎	B	2								菌株	○			△	衛環研		
109 無菌性髄膜炎	V	2	S	○	○	○					○			△	衛環研		

(注) 病原体：B…細菌、V…ウイルス
 血液・血清：S…血清、○…全血
 検査担当機関：感染研…国立感染症研究所、衛環研…衛生環境研究所
 保健所…西条保健所、宇和島保健所

別表3

愛媛県感染症発生動向調査事業の病原体検査に係る検体採取及び保存方法

定点分類	疾病	検体	採取方法	採取容器	保存
小児科	咽頭結膜熱	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
	A群溶レン菌咽頭炎	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。48時間以内に搬送。	咽頭用スワブ	常温
	感染性胃腸炎 (細菌性)	糞便	滅菌綿棒で糞便を採取し、輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。48時間以内に搬送。	シードスワブ 1号	常温
	感染性胃腸炎 (ウイルス性)	糞便	糞便を5g以上採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	採便容器	冷蔵 または 冷凍
		おう吐物	おう吐物を5g以上採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	採便容器	冷蔵 または 冷凍
	手足口病	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		水疱	滅菌綿棒で水疱内容物を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		糞便	滅菌綿棒で便(又は直腸)を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		(菌株)	(菌分離ができた場合、菌株での提供もお願いします。)		常温
	ヘルパンギーナ	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
流行性耳下腺炎	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍	
インフル	インフルエンザ	鼻腔ぬぐい液 咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で鼻腔または咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。4~6日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
眼科	急性出血性結膜炎	結膜ぬぐい液	滅菌綿棒で下瞼結膜をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
	流行性角結膜炎				
基幹	細菌性髄膜炎	菌株	(菌株での提供をお願いします)		常温
	無菌性髄膜炎 (髄液、咽頭ぬぐい液、糞便の3点セットが望ましい)	髄液	滅菌容器に1~5mL採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	滅菌容器	冷蔵 または 冷凍
		咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭を拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		糞便	滅菌綿棒で便(又は直腸)を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍

参考

感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律
第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について
(届出基準等通知、令和5年9月25日施行)

1 全数把握対象疾患

一類感染症	(1) エボラ出血熱
	(2) クリミア・コンゴ出血熱
	(3) 痘そう
	(4) 南米出血熱
	(5) ペスト
	(6) マールブルグ病
	(7) ラッサ熱
二類感染症	(8) 急性灰白髄炎
	(9) 結核
	(10) ジフテリア
	(11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)
	(12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)
	(13) 鳥インフルエンザ(H5N1)
	(14) 鳥インフルエンザ(H7N9)
三類感染症	(15) コレラ
	(16) 細菌性赤痢
	(17) 腸管出血性大腸菌感染症
	(18) 腸チフス
	(19) パラチフス
四類感染症	(20) E型肝炎
	(21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)
	(22) A型肝炎
	(23) エキノコックス症
	(24) エムポックス
	(25) 黄熱
	(26) オウム病
	(27) オムスク出血熱
	(28) 回帰熱
	(29) キャサスル森林病
	(30) Q熱
	(31) 狂犬病
	(32) コクシジオイデス症
	(33) ジカウイルス感染症
	(34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)
	(35) 腎症候性出血熱
	(36) 西部ウマ脳炎
	(37) ダニ媒介脳炎
	(38) 炭疽
	(39) チクングニア熱
	(40) つつが虫病
	(41) デング熱
	(42) 東部ウマ脳炎
	(43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)
	(44) ニパウイルス感染症
	(45) 日本紅斑熱
	(46) 日本脳炎
	(47) ハンタウイルス肺症候群
	(48) Bウイルス病
	(49) 鼻疽
	(50) ブルセラ症
	(51) ベネズエラウマ脳炎
	(52) ヘンドラウイルス感染症
	(53) 発しんチフス
	(54) ボツリヌス症
	(55) マラリア
	(56) 野兎病
	(57) ライム病
	(58) リッサウイルス感染症
	(59) リフトバレー熱
	(60) 類鼻疽
	(61) レジオネラ症
	(62) レプトスピラ症
	(63) ロッキー山紅斑熱

1 全数把握対象疾患(つづき)

五類感染症	(64) アメーバ赤痢
	(65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)
	(66) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
	(67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)
	急性脳炎
	(68) (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)
	(69) クリプトスポリジウム症
	(70) クロイツフェルト・ヤコブ病
	(71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	(72) 後天性免疫不全症候群
	(73) ジアルジア症
	(74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症
	(75) 侵襲性髄膜炎菌感染症
	(76) 侵襲性肺炎球菌感染症
	(77) 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)
	(78) 先天性風しん症候群
	(79) 梅毒
(80) 播種性クリプトコックス症	
(81) 破傷風	
(82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
(83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
(84) 百日咳	
(85) 風しん	
(86) 麻しん	
(87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症	
新型インフルエンザ等感染症	(113) 新型インフルエンザ
	(114) 再興型インフルエンザ
	(115) 新型コロナウイルス感染症
	(116) 再興型新型コロナウイルス感染症
指定感染症	該当なし

2 定点把握対象疾患

五類感染症	(88) RSウイルス感染症
	(89) 咽頭結膜熱
	(90) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)
	(91) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
	(92) 感染性胃腸炎
	(93) 急性出血性結膜炎
	(94) クラミジア肺炎(オウム病を除く。)
	(95) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)
	新型コロナウイルス感染症
	(96) (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)
	(97) 水痘
	(98) 性器クラミジア感染症
	(99) 性器ヘルペスウイルス感染症
	(100) 尖圭コンジローマ
	(101) 手足口病
	(102) 伝染性紅斑
	(103) 突発性発しん
(104) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	
(105) ヘルパンギーナ	
(106) マイコプラズマ肺炎	
(107) 無菌性髄膜炎	
(108) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
(109) 薬剤耐性緑膿菌感染症	
(110) 流行性角結膜炎	
(111) 流行性耳下腺炎	
(112) 淋菌感染症	
疑似症	(117) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

3 法第 14 条第 8 項の規定に基づく把握の対象

<p>疑似症</p>	<p>(118) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。</p>
------------	--

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書
令和5年(2023年)

令和7年3月発行

発行 愛媛県感染症情報センター
(愛媛県立衛生環境研究所)
愛媛県東温市見奈良 1545 番地 4
電話(089)948-9678
